活用マニュアル（印刷用）について

このMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360には、ユーザーズマニュアルと活用マニュアル（閲覧用）の2種類のマニュアルがあります。本書は、活用マニュアル（閲覧用）と同じ内容を記載してある、印刷用としてのマニュアルです。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobatReaderでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」（viiiページ）をご覧ください。

はじめに

本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、便利な使い方「MOPYING」について記載しています。

こちら↑

1章　オプション

別売品（オプション）の紹介、取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

こちら↑

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールしてプリンターを使用できるまでについて説明しています。

こちら↑

3章　ネットワークでの設定

ユーティリティーを使ったIPアドレスの設定方法、IPPまたはLPR（TCP/IP）を使った印刷方法について説明します。

こちら↑

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使った便利な印刷機能について詳しく説明しています。

こちら↑

5章　用紙のセット

使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

こちら↑

6章　操作パネル

操作パネルのスイッチやランプについて説明しています。

こちら↑

7章　メニューモード

操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。

こちら↑

8章　日常の保守

消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。

こちら↑

9章　故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状をもとに、原因と処置方法を説明します。

こちら↑

10章 ユーザーサービス

さまざまなユーザーサービスについて説明しています。

こちら↑

付録　技術情報

このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。

こちら↑

索引・用語解説

わからない用語の解説や、索引があります。

こちら↑

893-810044-522-A　第2版

プリンターに添付で、本書の他にあるユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

商標について

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

MULTIWRITER、MOPYINGは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標、または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

2004年9月　初版

2007年2月　第2版

893-810044-522-A　第2版

MultiWriter 2860N / 2830N / 2360N / 2360

レーザプリンタ

活用マニュアル（印刷用）

893-810044-522-A
第2版

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

本製品を安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、**人が死亡する、または重傷**を負うおそれがあることを示します。
	指示を守らないと、**火傷やけがのおそれ、および物的損害**の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起　注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		**火傷**を負うおそれがあることを示します。
	破裂するおそれがあることを示します。		**けが**をするおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		**指などがはさまれる**おそれがあることを示します。
	発煙または火災のおそれがあることを示します。		**特定しない一般的な注意・警告**を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止　行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

記号	内容	記号	内容
	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。		

行為の強制　行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

記号	内容	記号	内容
	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。		アース線を接続してください。感電や火災のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueTypeは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorks、Printing Force FUJI XEROXロゴは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。
その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating system 日本語版およびMicrosoft Windows XP Professional operating system 日本語版の略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating system 日本語版の略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating system 日本語版の略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating system 日本語版の略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating system 日本語版の略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Srandard Edition 日本語版およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system Enterprise Edition 日本語版の略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating system 日本語版およびMicrosoft Windows 2000 Server operating system 日本語版の略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating system 日本語版の略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating system 日本語版の略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0 日本語版およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0 日本語版の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Edition 日本語版の略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0 日本語版の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51 日本語版およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51 日本語版の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5 日本語版およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5 日本語版の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1 日本語版の略です。また、Windows Server 2003について特記がない場合は、Windows XPと読み替えてください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

893-810044-522-A　第2版

はじめに

このたびは、NECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360は高性能なCPUを採用し、省スペース、高速ウォームアップ、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

それぞれの特長を以下に示します。

- MultiWriter 2860N
  - 最高28ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - ネットワークインターフェース標準装備
  - USB 2.0 インターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1880枚（手差し30枚給紙）
  - スキャナユニット（オプション）対応
  - 最高1500dpi相当の解像度（600dpi＋SET）

- MultiWriter 2830N
  - 最高28ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - ネットワークインターフェース標準装備
  - USB 2.0 インターフェース標準装備
  - 両面印刷機能（オプション）対応
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1850枚
  - スキャナユニット（オプション）対応
  - 最高1500dpi相当の解像度（600dpi＋SET）

- MultiWriter 2360N
  - 最高21ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - ネットワークインターフェース標準装備
  - USB 2.0 インターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1380枚（手差し30枚給紙）
  - スキャナユニット（オプション）対応
  - 最高2400dpi相当の解像度（1200dpi＋SET）

- MultiWriter 2360
  - 最高21ページ/分の印刷速度（A4サイズ横の場合）
  - USB2.0 インターフェース標準装備
  - 両面印刷機能を標準
  - 2段カセット標準
  - 最大給紙容量1380枚（手差し30枚給紙）
  - 最高2400dpi相当の解像度（1200dpi＋SET）

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。「MOPYING」については、「プリンティングスタイル「MOPYING」とは」（9ページ）をお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を十分にご活用ください。

2004年9月　初版
2007年2月　第2版

Printing Force FUJI XEROXロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社のプリンター技術が活用されています。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と電子マニュアルの「活用マニュアル」があります。活用マニュアルは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［MANUAL］フォルダーに収録されており、閲覧用（HTML）と印刷用（PDF）のファイルがあります。活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページをご覧ください。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。それぞれ、目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を十分にご活用ください。

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360　ユーザーズマニュアル

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

印刷用（本書）

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360　活用マニュアル（電子マニュアル）

プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した、汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルについて」（viiページ）をご覧ください。

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページ、および印刷方法についてはviiiページをご覧ください。

活用マニュアルについて

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360の活用マニュアル（電子マニュアル）では、以下の機種について説明しています。説明中に特に指定のないかぎり4機種共通のものとなります。

- MultiWriter 2860N
- MultiWriter 2830N
- MultiWriter 2360N
- MultiWriter 2360

この活用マニュアルを使いやすくお読みいただくために、以下に簡単な目的別のガイドを記載します。

1ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項を記載しています。必ずお読みください。

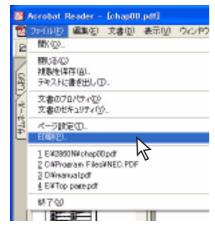
活用マニュアルガイド

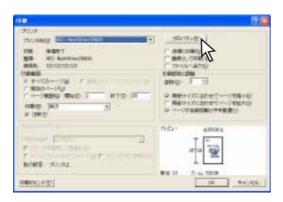
本書を印刷するには

このマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 2860Nを使って活用マニュアル（印刷用）を両面印刷*する手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

* MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

❶ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［プロパティ］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

❸ **［メイン］シートの左側にある［機能選択バー］から［両面印刷］をクリックする。**

［レイアウト］シートが表示されます。

❹ **［長辺綴じ］をクリックする。**

❺ **［用紙］タブをクリックする。**

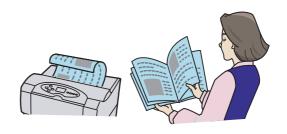
［用紙］シートが表示されます。

❻ **［用紙サイズ］から［A4］を選択し、［OK］をクリックする。**

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

❼ **印刷部数を指定して［OK］をクリックする。**

両面印刷で出力されます。

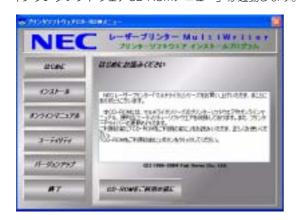
ユーザーズマニュアルのように両面で仕上がります。

活用マニュアル（閲覧用）の開き方

活用マニュアル（閲覧用）は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でインターネットブラウザーを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上またはNetscape Navigator 4.5以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

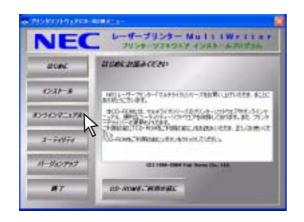
以下に開き方の手順を説明します。

❶ **お使いのOS（日本語版）を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

「プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー」が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❸ **［オンラインマニュアル］をクリックする。**

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ **右側のボックスの［MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360　活用マニュアル（閲覧用）］を選び、［オンラインマニュアルを読む］をクリックする。**

お使いのインターネットブラウザーが起動し、「活用マニュアル（閲覧用）」が開きます。

目次

4章 より進んだ使い方 215

6章　操作パネル 313

7章　メニューモード 323

8章　日常の保守 369

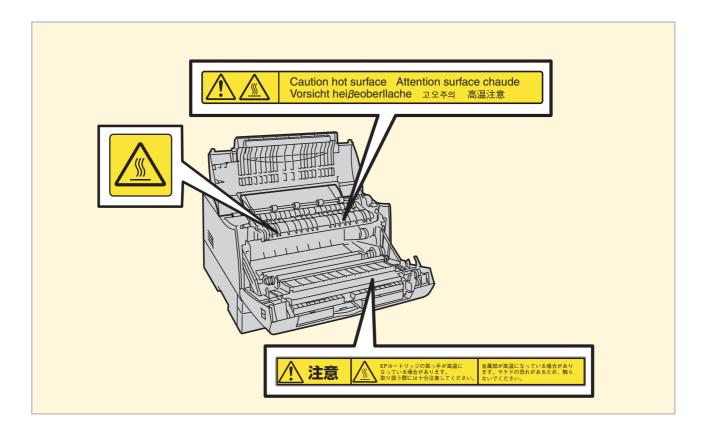
9章　故障かな？と思ったら 377

安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

893-810044-522-A　第2版

安全上のご注意

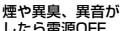
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明についてはiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。
（このプリンターは、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザー製品です。）

分解・修理・改造はしない

マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

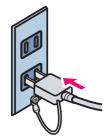
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを触らない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、火傷をするおそれがあります。

電源コードのアース線を取り付ける

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐためにアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）の行っている接地端子

アース線の取り付けは、電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、接地接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースがとれない場所やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店またはNECの相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のような場所にはアース線を取り付けないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり、危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸わない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

⚠注意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない

電源コードを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

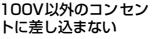
⚠注意

高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

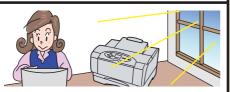
巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流のコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

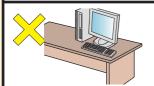
プリンターを1人で持ち上げない

プリンターの質量は以下のとおりです（EPカートリッジ含まず）。

- MultiWriter 2860N：約17.8kg
- MultiWriter 2830N：約17.3kg
- MultiWriter 2360N/2360：約17.2kg

プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

⚠注意

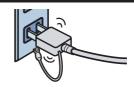
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

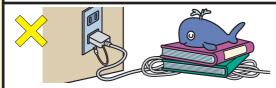
専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。また、添付の電源コードを他の装置や用途に使用しないでください。火災の原因となることがあります。

電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

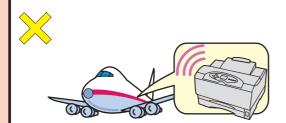
電源コードは曲げたりねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

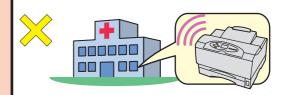
無線LANボードに関する安全上のご注意

オプションの無線LANボードを取り付けた場合の注意事項について説明します。

心臓ペースメーカーに近づけない

植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

飛行機内では使用しない

飛行機内では無線LANボードを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

使用禁止区域では使用しない

心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源は切ってください。

無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

ぬれた手で触らない

無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

注意

無線LANカードの差し込む向きを間違えない

無線LANボードのPCカードスロットに無線LANカードを取り付けるときは、カードの向きを間違えないでください。差し込む向きを間違うと故障や発火の原因となるおそれがあります。

補聴器のそばで使用しない

補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANボードを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANボードを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし、事故の原因となるおそれがあります。

～MultiWriterを使って手間もコストも大幅削減！～

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

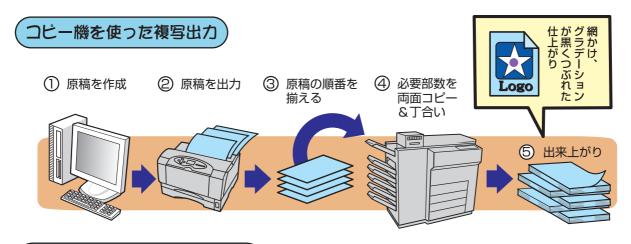
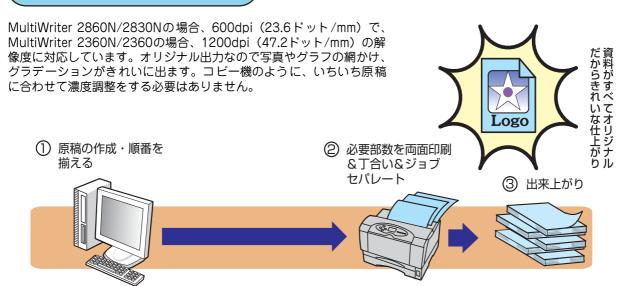
コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360はジョブセパレート機能による簡単仕分け印刷、両面印刷機能*をサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。

* MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

コピー機を使った複写出力

MOPYINGによるオリジナル出力

MultiWriter 2860N/2830Nの場合、600dpi（23.6ドット/mm）で、MultiWriter 2360N/2360の場合、1200dpi（47.2ドット/mm）の解像度に対応しています。オリジナル出力なので写真やグラフの網かけ、グラデーションがきれいに出ます。コピー機のように、いちいち原稿に合わせて濃度調整をする必要はありません。

コピー機よりコストが安い

MultiWriterを使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterは感光体とトナーを一体型にしたEPカートリッジを採用することで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。

さらに、MultiWriter 2860N/2830Nは、約14,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2800-12）は、1枚あたり約3円*[2]、約6,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2800-11）は、1枚あたり約5円*[2]と低コスト。

MultiWriter 2360N/2360は、約12,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2300-12）は、1枚あたり約4円*[2]、約6,000ページ*[1]印刷可能なEPカートリッジ（型番：PR-L2300-11）は、1枚あたり約5円*[2]と低コスト。

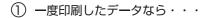
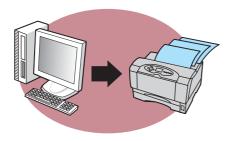
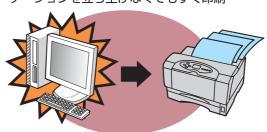
MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

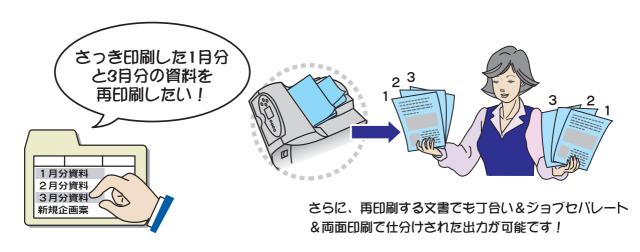
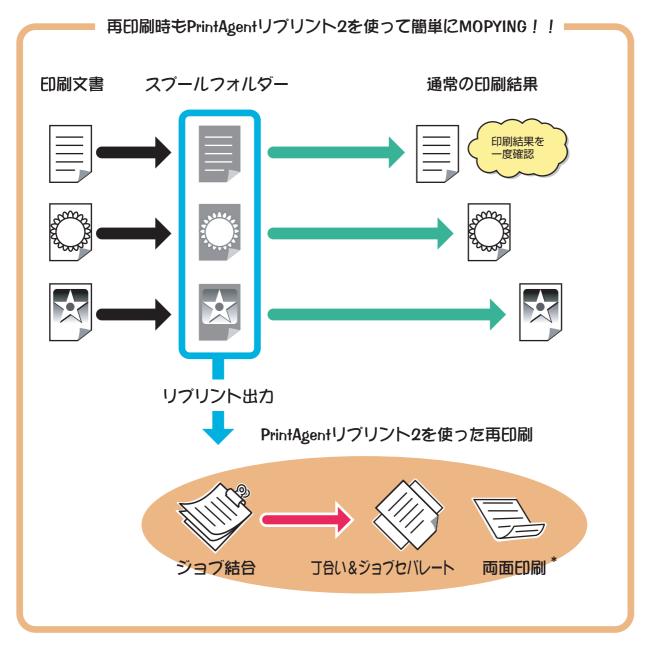
*1　A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時
*2　平成19年2月現在

一度印刷した文書なら、すぐリプリント（再印刷）

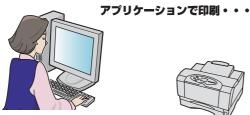
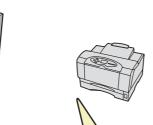
「リプリント機能」を使うと、一度でも印刷したデータなら設定範囲内でパソコンのスプールフォルダーに残しておき、再印刷することができます。これを使えば、いちいちアプリケーションを立ち上げずにコピー感覚ですぐ再印刷が可能。

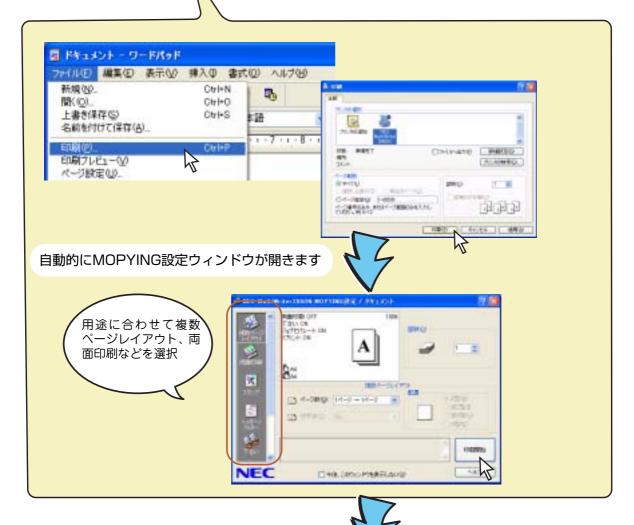
しかも蓄えた印刷データを自由に組み合わせて再印刷することも可能です。

コピー作業のように原稿を持って席とコピー機を往復することはありません。自席でPrintAgentを使って作業は終了です。

② PrintAgentが覚えているのでアプリケーションを立ち上げなくてもすぐ印刷

しかも、覚えているドキュメントで自由な組み合わせが可能（ジョブ結合）

さらに、再印刷する文書でも丁合い＆ジョブセパレート＆両面印刷で仕分けされた出力が可能です！

リプリント機能はMultiWriterに添付されている印刷統合ソフトウエア「PrintAgent」のPrintAgent リプリント2が提供します。

* MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

MOPYING設定ウィンドウで簡単設定

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360では、印刷開始前にプリンタードライバーのプロパティで設定を忘れても大丈夫。アプリケーションの印刷を選択した後に「MOPYING設定ウィンドウ」が表示される＊[1]ので、複数ページ印刷や両面印刷＊[2]の設定が印刷開始後でも簡単に行えます。これによって、より快適にMOPYINGを実現できます。

＊1 標準設定ではMOPYING設定ウィンドウは表示されません。MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、プリンターソフトウエアのインストール時、またはプロパティダイアログボックスで有効にする必要があります。手順については「MOPYING設定ウィンドウ」（235ページ）をご覧ください。

＊2 MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

複数ページレイアウト印刷、両面印刷、仕分け印刷などのMOPYINGが簡単にできます！

高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 2860N/2830Nは、毎分28ページ、MultiWriter 2360N/2360は、毎分21ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能＊1を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、パソコンからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です＊2。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

＊1 電子ソート機能を有効にする場合、64MB以上のメモリー増設（オプション）が必要です。
＊2 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力

電子ソート機能を使った出力

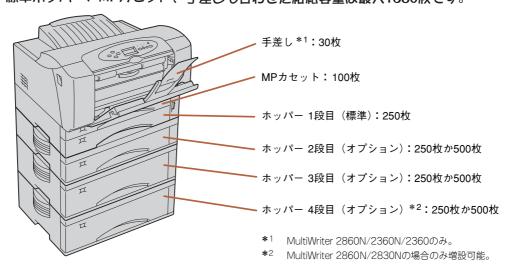
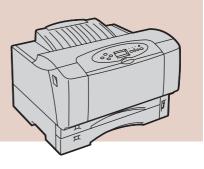
プリンターのメモリーに蓄えられたデータを使って電子ソート

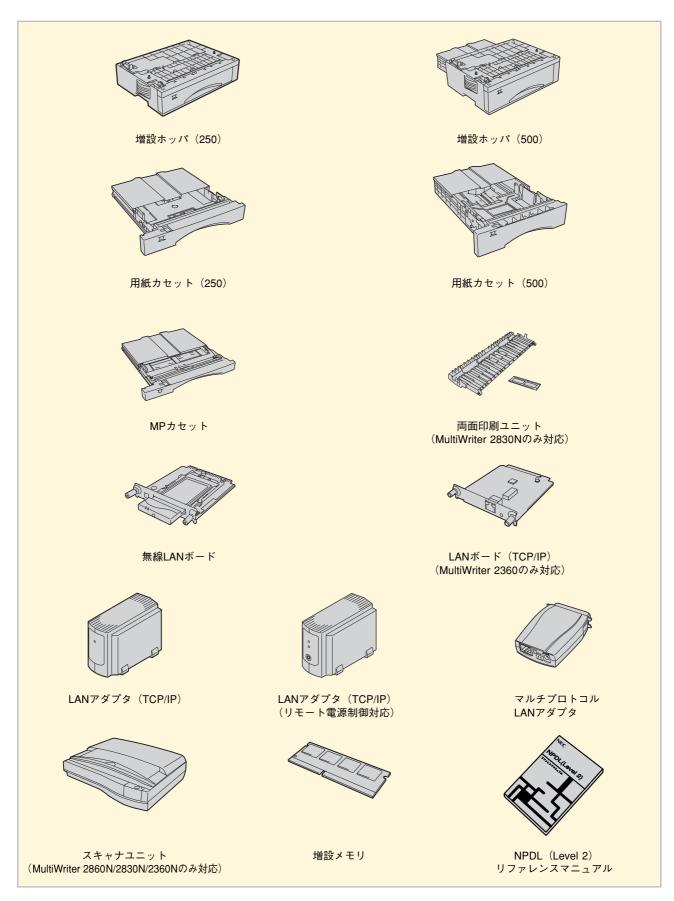
MultiWriter 2860Nは、増設ホッパーを最大3台まで増設可能です。
標準ホッパー、MPカセット、手差しも合わせた給紙容量は最大1880枚です。

MultiWriter 2830Nは、増設ホッパーを最大3台まで増設可能です。
標準ホッパー、MPカセットも合わせた給紙容量は最大1850枚です。

MultiWriter 2360N/2360は、増設ホッパーを最大2台まで増設可能です。
標準ホッパー、MPカセット、手差しも合わせた給紙容量は最大1380枚です。

＊1 MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ。
＊2 MultiWriter 2860N/2830Nの場合のみ増設可能。

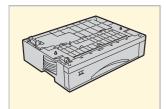
1章 オプション

この章では、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

増設ホッパ（250）
増設ホッパ（500）
用紙カセット（250）
用紙カセット（500）
MPカセット
両面印刷ユニット
（MultiWriter 2830Nのみ対応）
無線LANボード
LANボード（TCP/IP）
（MultiWriter 2360のみ対応）
LANアダプタ（TCP/IP）
LANアダプタ（TCP/IP）
（リモート電源制御対応）
マルチプロトコル
LANアダプタ
スキャナユニット
（MultiWriter 2860N/2830N/2360Nのみ対応）
増設メモリ
NEC
NPDL(Level 2)
NPDL（Level 2）
リファレンスマニュアル

オプション一覧

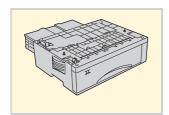
オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

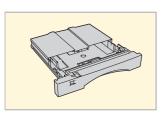
給紙オプション

増設ホッパ（250）（型番 PR-L2360-02)

A3、A4、A5、B4、B5、レターサイズの用紙（普通紙）を250枚までセットすることができます。PR2000/4R-02、PR2200X-02、PR-L2200X2-02、PR-L2650-02、PR-L2300-02は使用できません。

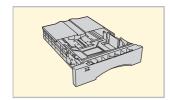
項目	型番 PR-2360-02
サイズ	459(W)× 555(D)×104(H) mm (A3、B4サイズセット時、最大で突起部分含まないサイズ) 459(W)× 420(D)×104(H) mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小で突起部含まないサイズ)
質量	約4.3kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、A5、B5、レター
備考	MultiWriter 2860N/2830Nは、3台まで増設可能 MultiWriter 2360N/2360は、2台まで増設可能

増設ホッパ（500）（型番 PR-L2360-03)

A3、A4、B4、レターサイズの用紙（普通紙）を500枚までセットすることができます。PR2000/4R-03、PR2400-03、PR2200X-03、PR-L2200X2-03、PR-L2650-03、PR-2300-03は使用できません。

項目	型番 PR-2360-03
サイズ	459(W)× 562(D) ×139(H) mm (突起部を含まないサイズ)
質量	約5.5kg
対応用紙	普通紙　A3、B4、A4、レター
備考	MultiWriter 2860N/2830Nは、3台まで増設可能 MultiWriter 2360N/2360は、2台まで増設可能

用紙カセット（250）（型番 PR-L2300-04)

標準ホッパー、増設ホッパ（250）用の用紙カセットです。各用紙サイズごとにカセットを用意しておき、用紙サイズを変えるときにカセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L2300-04
サイズ	414（W）×555（D）×65（H）mm (A3、B4サイズセット時、最大) 414（W）×420（D）×65（H）mm (A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小)
質量	約1.6kg

用紙カセット（500）（型番PR-L2300-05）

増設ホッパ（500）用の用紙カセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L2300-05
サイズ	414（W）×562（D）×100（H）mm
質量	約2.5kg

MPカセット(型番PR-L2300-MP)

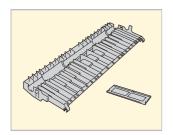
MP用の増設MPカセットです。用紙サイズを変えたいときに、いちいち用紙を入れ替える必要がなく、カセットごと交換することができて便利です。

項目	型番 PR-L2300-MP
サイズ	414（W）×546（D）×39（H）mm （A3、B4サイズセット時、最大） 414（W）×411（D）×39（H）mm （A4、A5、B5、レターサイズセット時、最小）
質量	約1.1kg

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360のそれぞれが対応しているカセットは以下のとおりです。

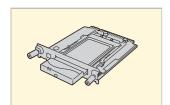
カセット型番	増設ホッパ（250）	増設ホッパ（500）	本体給紙部	
	PR-L2360-02	PR-L2360-03	標準ホッパー	MP
PR-L2300-04	○	×	○	×
PR-L2300-05	×	○	×	×
PR-L2300-MP	×	×	×	○

○ ：取り付け可
× ：取り付け不可

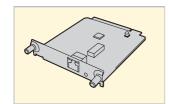
両面印刷ユニット（MultiWriter 2830Nのみ対応、型番 PR-L2830-DL）

MultiWriter 2830Nで両面印刷を行うためのオプションです。

項目	型番 PR-L2830-DL
対応用紙	普通紙（乾式PPC用紙）　A3、B4、A4、B5、A5、レター
備考	• MultiWriter 2830N専用オプション • 別売のスキャナユニット（PR-MW-SC13）を利用する際は本両面印刷ユニットを使用することができません。

ネットワークオプション

無線LANボード（型番 PR-WLX-13）

IEEE802.11b規格に準拠し、転送速度最大11Mbpsの無線LAN環境にプリンターを接続する内蔵型LANボードです。従来の有線LANシステムのようにネットワークケーブルが散乱することなく、ネットワークケーブル敷設工事の必要がないため、安価に、また手軽にLAN環境が構築できます。さらに、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360と組み合わせることで世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによって、プリンターの管理が行えます。
添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると、無線LAN環境を初めて構築する方や不慣れな方でも、設定項目ごとにウィザード画面上でサポートされている解説や操作手順により、簡単に分かりやすく設定を行うことができます。

PrintAgentに対応しています。

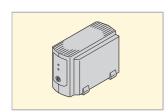
LANボード（TCP/IP）（MultiWriter 2360のみ対応、型番 PR-NP-04T）

MultiWriter 2360専用の100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備しているプリンター内蔵型LANボードです。

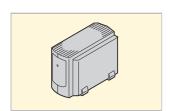
PrintAgentに対応してます。

ネットワーク対応環境

ネットワーク OS	プロトコル	
	TCP/IP	IPP
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	○	○
Windows Me、Windows 98、Windows 95	○*1	○*2
Windows NT 4.0	○	○*3
UNIX	○	×

*1　NEC TCP/IP Printing Systemにより対応します。
*2　Windows 98、Windows 95はNEC Internet Printing Systemにより対応します。
*3　NEC Internet Printing Systemにより対応します。

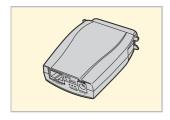
LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-03TR2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。
さらに、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。
このLANアダプターはPrintAgentに対応しています。PrintAgentが提供するプリンタ管理ユーティリティのリモート電源制御機能を使って、コンピューターからプリンターの電源のON/OFFができます。（詳細は4章の「リモート電源制御」（277ページ）をご覧ください。）

LANアダプタ（TCP/IP）（型番 PR-NP-02T2）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、SNMP（ネットワーク管理プロトコル）に対応している外置き型LANアダプターです。

さらに、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360と組み合わせることで、世界標準のPrinter-MIBに対応し、このMIBを監視するネットワーク管理ソフトウエアによってプリンターの管理が行えます。

PrintAgentに対応しています。

> LANアダプターが対応しているPrinter-MIBおよび操作パネルによるIPアドレス設定などの機能を有効にするためには、プリンターのインターフェースの設定をECPモードにする必要があります。詳しくは、ユーザーズマニュアル1章の「Step 4　IPアドレスとサブネットマスクを設定する」を参照してください。

マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、マルチプロトコルに対応している外付け型LANアダプターです。このLANアダプターはPrintAgentおよびSNMP（Printer MIB、Host Resource MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

LANアダプターネットワーク環境

<table>
<tr><th colspan="2">PR-NP-02T2/PR-NP-03TR2</th><th colspan="2">PR-NPX-05</th></tr>
<tr><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th><th>ネットワーク OS</th><th>プロトコル</th></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows XP、Windows Server 2003、
Windows 2000</td><td rowspan="6">TCP/IP</td><td>Windows XP、Windows Server 2003</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>Windows 2000</td><td rowspan="3">TCP/IP
NetBEUI</td></tr>
<tr><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC TCP/IP Printing Systemにより対応）</td><td>Windows Me、Windows 98、Windows 95
（NEC Network Printer Portにより対応）</td></tr>
<tr><td>Windows NT 4.0</td><td>Windows NT 4.0</td></tr>
<tr><td rowspan="2">UNIX</td><td>UNIX</td><td>TCP/IP</td></tr>
<tr><td>NetWare　3.X/4.X/5.X</td><td>IPX/SPX</td></tr>
</table>

スキャナオプション

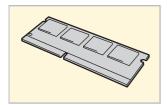
スキャナユニット（MultiWriter 2860N/2830N/2360N対応、型番 PR-MW-SC13）

MultiWriter 2860N/2830N/2360Nに対応したネットワークスキャンやコピーを可能とするスキャナユニットです。ほかに、ADFユニット（型番PR-MW-SF10）、スキャナテーブル（型番PR-MW-ST10）を、別売りしています。詳しくは、スキャナユニット（型番PR-MW-SC13）のユーザーズマニュアルまたは、「http://nec8.com」をご覧ください。

MultiWriter 2830Nで別売の両面印刷ユニット（PR-L2830-DL）を利用している際は本スキャナユニットを利用することができません。

メモリー

増設メモリ（128MB、256MB）

（型番　PR-MW-M013、PR-MW-M014）

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360には1枚だけ取り付けることができます。
取り付けることにより次の効果があります。

- 解像度1200dpiでの印刷時のメモリー不足の解消＊1
- 電子ソート機能
- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない両面印刷＊2などの解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

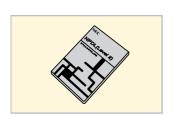
増設メモリーそれぞれのメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ（128MB）	PR-MW-M013	128MB
増設メモリ（256MB）	PR-MW-M014	256MB

＊1　1200dpiでの印刷はMultiWriter 2360N/2360のみ対応します。
＊2　MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

リファレンスマニュアル

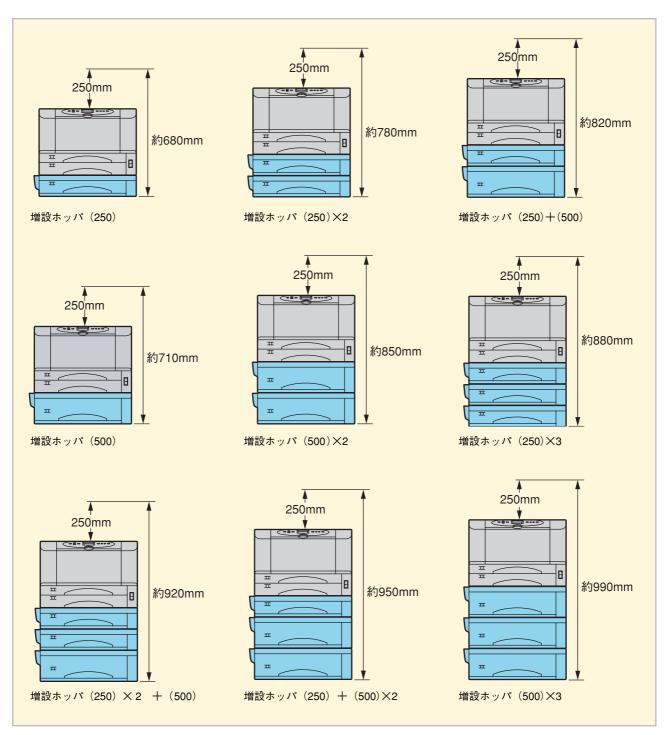
日本語ページプリンタ言語NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル

（型番PC-PRNPDL2-RM）

ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

増設ホッパー

大量印刷をサポートするために、本プリンターには増設ホッパ（250）（型番PR-L2360-02）と増設ホッパ（500）（型番PR-L2360-03）の2種類の増設ホッパーがそれぞれ用意され、MultiWriter 2860N/2830Nは最大3台、MultiWriter 2360N/2360は最大2台増設が可能です。

増設ホッパーの設置に必要な高さ

増設ホッパーを設置するために必要な高さを示します。プリンターの周囲に必要な設置スペースについてはユーザーズマニュアルの「1　設置に必要なスペースを用意する」をご覧ください。

増設ホッパーの取り付け

増設ホッパ（250）/（500）は、上から1台目（ホッパー2）、2台目（ホッパー3）、3台目（ホッパー4）*のどちらにでも取り付けることができます。
1台目、2台目、3台目*に取り付ける方法は同じです。ここでは1台目に取り付ける方法を示します。

*MultiWriter 2860N/2830Nのみ3台増設可能です。

注意

プリンターを移動する際は、プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は、次のとおりです。

- MultiWriter 2860N：約17.8kg
- MultiWriter 2830N：約17.3kg
- MultiWriter 2360N/2360：約17.2kg

1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。取り付けは2名以上で行ってください。また、プリンターの重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

重要

- 取り付け方法の詳細について、増設ホッパーに添付の説明書を十分にお読みになってから取り付けてください。
- 増設ホッパーに添付の固定用ステーを必ず取り付けてプリンターと増設ホッパーを固定させてください。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

❷ **電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

電源スイッチをOFFにしてください。ONにしたまま取り外すと故障の原因になることがあります。

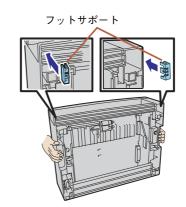
❸ **プリンターを一時的に移動する。**

プリンターの左右の取っ手を持ち、しっかりした台や机の上に置いてください。

❹ **フットサポートを取り付ける。**

重要

- フットサポートの取り付けは必ず2人以上で行い、増設ホッパー本体を立てたときはしっかりと手で持ち、固定して行ってください。
- 増設ホッパーの前面側を上に向けて立ててください。
- フットサポートは最下段の増設ホッパーにのみ取り付けてください。ホッパー間にフットサポートを取り付けると、正しく設置できません。増設ホッパーを追加で取り付ける場合、注意してください。

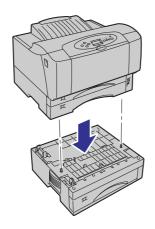
増設ホッパーの本体を立てて、図の位置にフットサポートを取り付けてください。

❺ **プリンターのあった場所に増設ホッパーを置く。**

増設ホッパーを置くときは、増設ホッパーの向きに注意してください。

重要

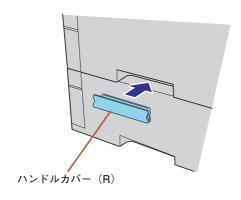
増設ホッパーを運ぶ際は、増設ホッパーの左右の取っ手を持って1台ずつ運んでください。左側にある凸部は持たないでください。

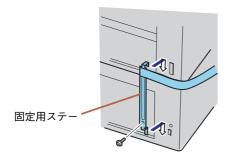
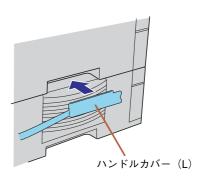
❻ 増設ホッパーの上にプリンターを取り付ける。

取り付けピンに合わせて、プリンターを増設ホッパーの上に静かに置きます。

重要

増設ホッパーを複数台取り付ける場合は、一番下の段の増設ホッパーから順番に一台ずつ載せ、最後にプリンターを載せてください。

❼ ハンドルカバーの面ファスナーの剥（はく）離紙をはがし、取り付けた増設ホッパー上段にある両側の取っ手部にハンドルカバーをはめ込む。

ハンドルカバー（R）をプリンター正面右側にはめ込んでください。

❽ ハンドルカバー（L）と固定用ステーを取り付ける。

固定用ステーの突起部を穴に引っかけた後、ネジで 1か所固定します。

固定用ステーとつながっているハンドルカバー（L）の面ファスナーの剥離紙をはがし、プリンター正面左側に、はめ込んでください。

重要

- 固定用ステーとネジは増設ホッパーにそれぞれ添付されており、増設ホッパ（250）用と増設ホッパ（500）用では、長さが異なります。下の段に取り付けた増設ホッパーの固定用ステーをお使いください。
- 固定用ステーは、プリンター背面から見て右側の2列の穴を使って取り付けてください。

❾ 電源コードとプリンターケーブルをプリンターに取り付ける。

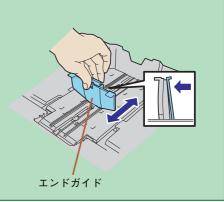
増設ホッパーへの用紙のセット

増設ホッパーへの用紙のセット方法は標準のホッパーと同じです。5章の「ホッパーに用紙をセットする」（302ページ）をご覧ください。

重要

用紙をセットし終えた用紙カセットは重くなっています。増設ホッパーに取り付ける際は用紙カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

チェック

- 増設ホッパ（500）にセットできる用紙の種類、枚数は標準ホッパーとは異なります。増設ホッパ（500）にはA3、B4、A4、レターサイズを500枚までセットできます。また、増設ホッパ（500）の用紙カセットは縮めることはできません。
- 増設ホッパ（500）のエンドガイドは、標準のホッパー、増設ホッパ（250）のエンドガイドと形状が異なります。
- 増設ホッパ（500）のエンドガイドのスライドは、右図のように中央のつまみを前に押しながら行ってください。

プリンターの設定

標準では増設ホッパ（250）に設定されています。次の場合は、プリンターのメモリースイッチ（MSW）の設定を変更する必要があります。変更する場合は、次の手順に従って変更してください。該当しない場合は、次ページの「ホッパーの切り替え」へ進んでください。

- 増設ホッパ（500）を取り付けたとき
- 増設ホッパ（500）から増設ホッパ（250）に取り換えたとき

位置	取り付けた増設ホッパー	MSW の設定
1台目（ホッパー2）	増設ホッパ（500）	MSW7-4　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-4　0
2台目（ホッパー3）	増設ホッパ（500）	MSW7-5　1
	増設ホッパ（250）	MSW7-5　0
3台目（ホッパー4）＊	増設ホッパ（500）	MSW9-3　1
	増設ホッパ（250）	MSW9-3　0

＊　MultiWriter 2860N/2830Nのみ3台まで増設可能。

次の手順は増設ホッパ（500）を1台目（ホッパー2）に取り付けた場合の操作パネルによるメモリースイッチの設定変更手順です。2台目（ホッパー3）、3台目（ホッパー4）＊に取り付ける場合も同様の手順で行います。

＊　MultiWriter 2860N/2830Nのみ3台まで増設可能。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

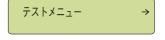
❷ **［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを消灯させる。**

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❺ **［▲］スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　→”と表示します。

メモリスイッチメニュー　→

❻ **［▶］スイッチを1回押す。**

MSW1が表示されます。

12345678
←MSW1　00000000＊

❼ **［▲］スイッチまたは［▼］スイッチを押して、MSW7を表示させる。**

12345678
←MSW7　00000000＊

❽ **［▶］スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動させる。**

12345678
←MSW7　00000000＊

❾ **［設定変更］スイッチを押して、MSW7-4を1に変更する。**

12345678
←MSW7　00010000＊

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。

ホッパーの切り替え

取り付けた増設ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ2」、「ホッパ3」または「ホッパ4」*にします。

* MultiWriter 2860N/2830Nのみ3台まで増設可能。

ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターが初期化されるまで維持する方法 .... [ホッパ] スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法 .... メニューモードによる切り替え

プリンターが初期化されるまで維持する方法

操作パネルの［ホッパ］スイッチを使って増設ホッパーを選択します。

❶ ［印刷可］スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

❷ ［ホッパ］スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ2”、“ホッパ3” または “ホッパ4” *にする。

```
ﾎｯﾊﾟ 2    A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
```

* MultiWriter 2860N/2830Nで3台増設した場合のみ対応。

❸ ［印刷可］スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

❹ コンピューターからデータを送る。

この状態は、以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- 手差し給紙*に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更
- プリンターを初期化する

* MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応。

プリンターが初期化されても増設ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

❶ メニューモードに入る。

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

```
ﾃｽﾄﾒﾆｭｰ          →
```

❷ ［▼］スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー　→” と表示されます。

```
ﾖｳｼﾒﾆｭｰ          →
```

❸ ［▶］スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

```
ﾎｯﾊﾟ  ｼｮｷｾｯﾃｲ
←           ﾎｯﾊﾟ 1*
```

❹ ［設定変更］スイッチを押して、ディスプレイ下段を“←　ホッパ2＊”、“←　ホッパ3＊” または “←　ホッパ4＊” *に変更する。

```
ﾎｯﾊﾟ  ｼｮｷｾｯﾃｲ
←           ﾎｯﾊﾟ 2*
```

❺ ［印刷可］スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に “ホッパ2××　×××”、“ホッパ3××　×××” または “ホッパ4××　×××” *と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

```
ﾎｯﾊﾟ 2    A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
              NPDL
```

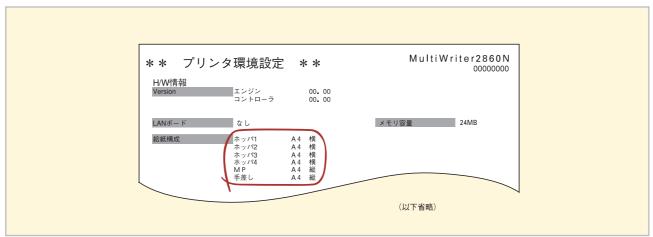
この状態は、同じ方法でホッパーの選択を変更しないかぎり維持されます。

* MultiWriter 2860N/2830Nで3台増設した場合。

テスト印刷

増設ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順についてはユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」を参照してください。

増設ホッパーを1台取り付け、用紙が正常に給紙された場合、次のように「ホッパ2」と印刷されます。2台目に取り付けた場合は「ホッパ3」、3台目*を取り付けた場合は「ホッパ4」と印刷されます。

* MultiWriter 2860N/2830Nのみ増設可能です。

増設ホッパーのステータス印刷（MultiWriter 2860N）の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで、増設ホッパーの取り付けは完了です。

リレー給紙の設定

リレー給紙とは、印刷を行っている時に給紙口の用紙がなくなった場合に用紙がセットされている別の給紙口に自動的に切り替える機能です。この機能を利用するためには同じサイズ、同じ用紙種別および、同じセット方向（A4の場合のみ）の用紙がホッパー、ＭＰ、手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）、もしくは増設ホッパーにセットされていて、プリンターのリレー給紙設定を有効にする必要があります。

チェック

A4用紙サイズをセットした場合は用紙のセット方向を同じにしてください。

リレー給紙機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

Step 1　リレー給紙を有効にする
Step 2　給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

1. **メニューモードに入る。**
   ［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。
2. **操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチ、［設定変更］スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“リレーキュウシ”をONにする。**
   詳しくは、7章の「メニューツリー」(329～339ページ)をご参照ください。

チェック

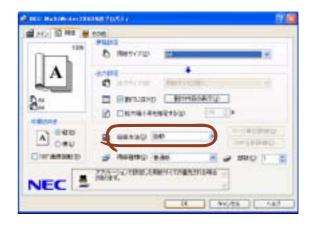
リレー給紙させるホッパーまたはMP、手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）すべての“リレーキュウシ”をONにしてください。

リレーキュウシ　セッテイ
←ホッパ　　リレー　　ON＊

3. **［メニュー終了］スイッチを押す。**
4. **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはMP、手差し(MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ)の用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっていることを確認する。**

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、［給紙方法］で［自動］を選択します。

1. **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**
2. **ホッパーの給紙方法が［自動］になっていることを確認する。**

3. **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、［OK］をクリックして印刷する。**

増設ホッパーの取り外し

増設ホッパーを取り外す場合は次の手順で行ってください。1台目、2台目、3台目*の取り外し方法は同じです。ここでは1台目を取り外す方法を示します。

*　MultiWriter 2860N/2830Nの場合のみ3台まで増設可能。

⚠注意

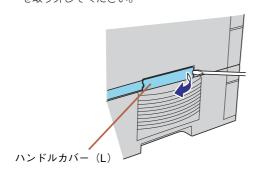
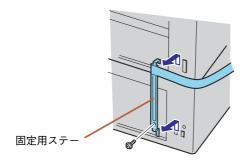
- プリンターを1人で持ち上げないでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。プリンターを移動する時には、必ず2人以上で行ってください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は、次のとおりです。
  - MultiWriter 2860N：約17.8kg
  - MultiWriter 2830N：約17.3kg
  - MultiWriter 2360N/2360：約17.2kg
- プリンターに増設ホッパーを取り付けたまま、運搬、移設しないでください。プリンターや増設ホッパーを落として、破損するおそれがあります。運搬および移設の際は、必ず両側の取っ手部のハンドルカバーと固定用ステーを取り外して、1台ずつ運んでください。ハンドルカバーの取り外しは、すきま部にマイナスドライバーなどを差し込んで、外側に引いてください。

重要

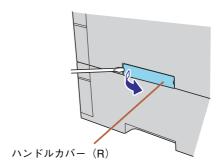
取り外し方法の詳細については、増設ホッパーに添付の説明書を十分にお読みになってから取り外してください。

❶ プリンターの電源を OFF にし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

❷ ハンドルカバー（L）と固定用ステーを取り外す。

プリンター正面左側にはめ込まれているハンドルカバー（L）を取り外してください。

1か所のネジを外してから、固定用ステーを取り外します。

重要

取り外した固定用ステーとネジは増設ホッパーと一緒に大切に保管してください。

❸ ハンドルカバー（R）を取り外す。

❹ プリンターを増設ホッパーから取り外し、一時的に台や机の上に置く。

重要

プリンターを持ち上げるとき、取っ手以外の場所を持たないでください。プリンターが破損することがあります。

❺ 増設ホッパーを外す。

2台目、3台目*の増設ホッパーが取り付けられている場合は、プリンター、1台目の増設ホッパーを一時的に台や机の上に置いてから2台目、3台目*を移動させてください。

*　MultiWriter 2860N/2830Nのみ3台まで増設可能。

重要

増設ホッパーを運ぶときは、増設ホッパーの左右の取っ手を持って運んでください。左側にある凸部は持たないでください。

❻ プリンターを元の位置に置く。

❼ 電源コードとプリンターケーブルを接続する。

両面印刷ユニット

両面印刷ユニットを取り付けることによって、MultiWriter 2830Nで両面印刷ができるようになります。

⚠注意

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手が高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから作業を行ってください。

チェック

- MultiWriter 2830N専用のオプションです。
- MultiWriter 2830Nでは両面印刷ユニットかスキャナユニットのいずれかのオプションを使用することができます。スキャナユニット（オプション）を装着している場合は、スキャナユニットを取り外してから両面印刷ユニットを取り付けてください。
- 取り付けや取り外しの際には、プリンター内部に取り付けられたEPカートリッジに強い光が当たるような場所は避けて、作業を行ってください。

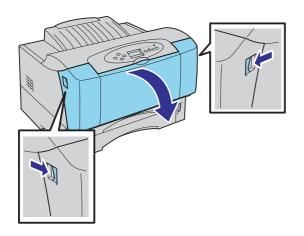
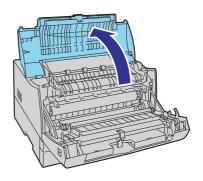
両面印刷ユニットの取り付け

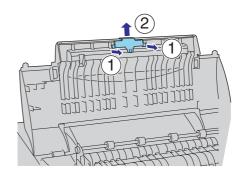
❶ **プリンターの電源をOFFにし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

⚠警告

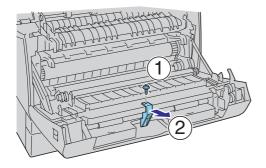
プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因になるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

❸ **トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。**

❹ **トップカバーの先端に取り付けられているブランクピースを取り外す。**

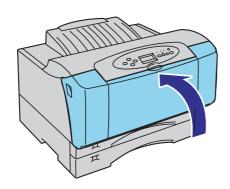
ブランクピースの両端を軽く手前に引っ張りながら上側にスライドさせて取り外します。

❺ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

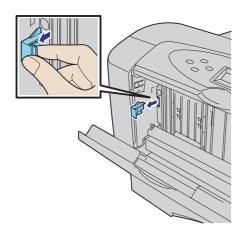
❻ **ロックピースを取り外す。**

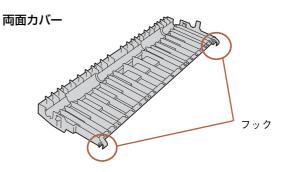
プラスドライバーを使ってロックピースを固定しているネジを外し、フロントユニットにはめ込まれているロックピースを取り外してください。

重要

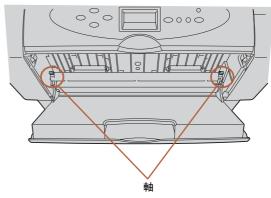
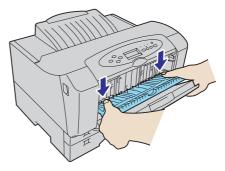
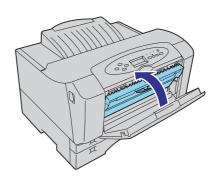
ネジを取り外す際は、プリンター内部にネジを落とさないように注意してください。

❼ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

「カチッ」と音がするまでゆっくりフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

❽ **フロントカバーを開き、センサーカバーを取り外す。**

プリンター正面左側にはめ込まれているセンサーカバーを取り外してください。

❾ **両面カバーを取り付ける。**

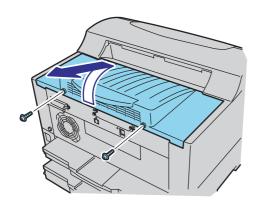
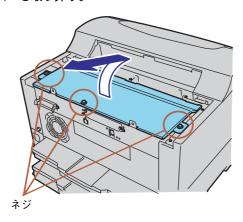
両面カバーの左右のフックをプリンター内部の軸に合わせて置き、両面カバーの両端を軽く下へ押します。

両面カバー

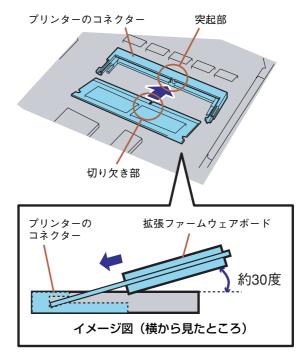
プリンター本体

❿ **両面カバーを閉じる。**

⓫ **フロントカバーを閉じる。**

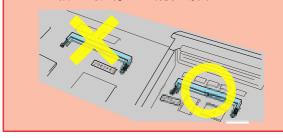
次に拡張ファームウェアボードの取り付けを行います。

重要

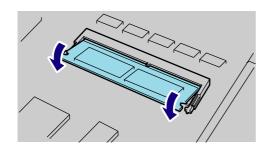
拡張ファームウェアボードは大変デリケートな電子部品です。拡張ファームウェアボードを取り扱うときには、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃してから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部分には触れないようにしてください。

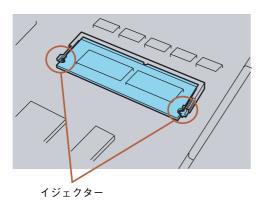
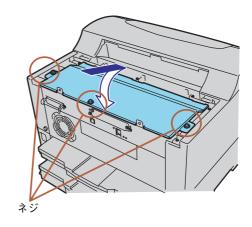
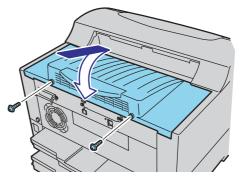
⓬ **ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。**

⓭ **コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ（3か所）をゆるめ、軽く手前を持ち上げてコントロールカバーを取り外す。**

⓮ **拡張ファームウェアボードをプリンタボードの右側にあるコネクターに取り付ける。**

拡張ファームウェアボードの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部分に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で拡張ファームウェアボードの端子が当たるまで挿入します。

重要

- 拡張ファームウェアボードの切り欠き部の向きがコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は拡張ファームウェアボードの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 拡張ファームウェアボードはプリンター背面に向かって右側の「カクチョウ」と印刷されているコネクターに取り付けてください。左側の「ゾウセツメモリ」と印刷されたコネクターも同じ形ですが、誤って取り付けると故障の原因となります。

⓯「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。

重要

奥までしっかり倒しこんでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは拡張ファームウェアボードを破損するおそれがあります。

倒し込みが固いときは、拡張ファームウェアボードの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

⓰ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

⓱ コントロールカバーを取り付け、表面から刻印された矢印で示すネジ（3か所）で固定する。

⓲ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

⓳ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

両面印刷ユニットが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **[両面]スイッチを押す。**

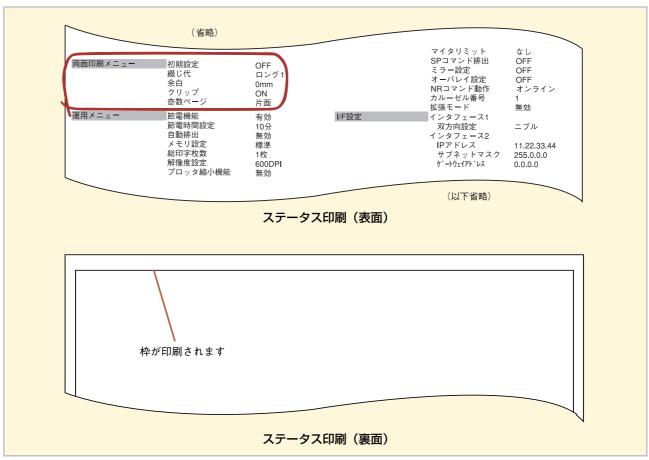
両面ランプが点灯します。

❹ **ステータス印刷をする。**

手順については、ユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」を参照してください。

用紙の両面に印刷されます。

正しく取り付けられた場合、表面に「両面印刷メニュー」の項目が印刷され、裏面に「枠」が印刷されます。

ステータス印刷（表面）

ステータス印刷（裏面）

両面印刷ユニットを装着したステータス印刷の例

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

両面印刷の設定方法

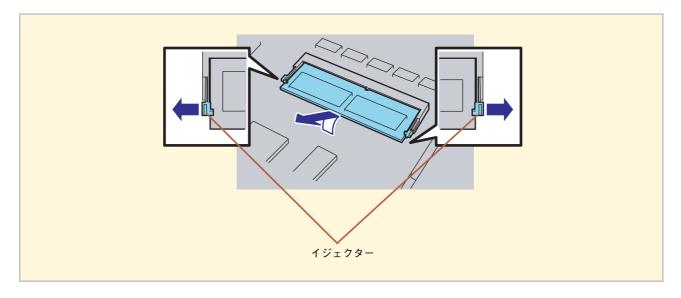
両面印刷の設定は次の方法でできます。

- 操作パネルのスイッチ ....「6章　操作パネル」（313ページ）を参照してください。
- メニューモード ....「6章　操作パネル」（313ページ）または「7章　メニューモード」（323ページ）を参照してください。
- プリンタードライバー ....4章の「両面印刷」（219ページ）を参照してください。

両面印刷ユニットの取り外し

拡張ファームウェアボードのみを取り外してください。両面カバーは取り外さずにそのまま使用してください。また、両面ユニットの取り付けの際にプリンターから取り外した部品を取り付け直す必要はありません。拡張ファームウェアボードを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付け手順の⓬と⓭を参照してカバーを取り外します。

警告 プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因になるばかりでなく、感電のおそれがあります。

拡張ファームウェアボードはコネクターのイジェクターを横に押し広げてロックを解除した後、斜めに引き抜いてください。

LANボード

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360をネットワークに接続するためのLANボードにはPR-NP-04T（MultiWriter 2360のみ対応）とPR-WLX-13の2種類が用意されています（詳細は18～19ページ参照）。

それぞれのLANボードの取り付け・取り外し手順を説明します。

使い方や操作方法については、LANボードに添付の取扱説明書をご覧ください。

重要

LANボードは大変デリケートな電子部品です。ボードを取り扱うときは、プリンター背面のコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

無線LANボードの取り付け

ここでは、無線LANボード（型番：PR-WLX-13）の取り付け手順を説明します。

❶ プリンターの電源を OFF にし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。

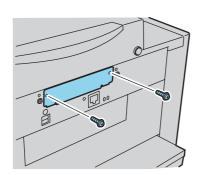
警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

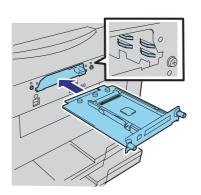
❷ 「インタフェース2」と刻印されたLANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。

チェック

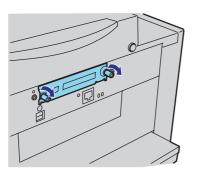
LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外してプリンターを元に戻すときに必要です。

❸ ネジがついている方を手前にして、図のようにガイドレールに沿って無線LANボードを両手で差し込む。

手ごたえがあるまで押し込みます。

注意

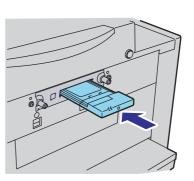
- 無線LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- 無線LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので注意してください。

チェック

図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながら無線LANボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❹ **無線LANボードの前面にあるネジ2本でプリンターに固定する。**

❺ **無線LANカードを無線LANボードのスロットに差し込む。**

注意

- 無線LANカードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- MACアドレスが記載されているラベルが貼られている面を下にして、カードをスロットに差し込んでください。向きを間違うと故障や発火の原因となります。

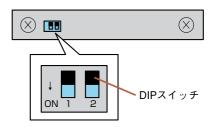
チェック

MultiWriter 2860N/2830N/2360Nに無線LANボード（型番：PR-WLX-13)を取り付けると、標準で装着されているLANインターフェースは使用できなくなります。

次に、次ページの「ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する」に進んでください。

ピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードを設定する

無線LANボードにある2極のDIPスイッチによるピア・ツー・ピアグループ接続の通信モードについての設定手順を説明します。

❶ **プリンターの電源をOFFにする。**

重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま設定変更すると、故障の原因となることがあります。

❷ **先の細いボールペンなどでDIPスイッチを切り替えて通信モードを設定する。**

SW 番号	機能	OFF（工場設定値）	ON
SW1	ピア・ツー・ピア グループ接続時に「ピア・ツー・ピア グループ」と「アドホック」のいずれの通信モードで動作するかを設定します。通信モードは、無線LANボードと無線接続するコンピューターが使用している無線LANカードの種類によって決まります。	ピア・ツー・ピア グループ ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。	アドホック* 無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。
SW2	（未使用）	－	－

* アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。また、無線LAN環境に関する設定の変更を行ったら、必ずプリンターの電源をON/OFFしてください。

重要

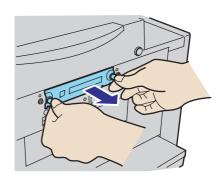
無線LANボードを装着したプリンターを無線LAN環境に接続するためには、無線に関する初期設定が必要です。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。

無線LANボードの取り外し

無線LANボード（型番：PR-WLX-13）を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにして、電源コードを抜いてから取り付け手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

無線LANボードはネジが緩んで遊びができたら、取り外せます。ネジは完全に取り外さないで、図のようにネジ2本を持って無線LANボードを引き出してください。

LANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）の取り付け

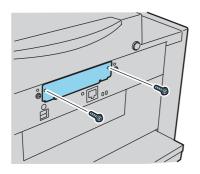
LANボード（TCP/IP）（型番PR-NP-04T)はMultiWriter 2360にのみ対応しています。

❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

⚠警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

✔チェック

無線LANボードをお使いの場合は、［インタフェース2］から無線LANボードを取り外してください。取り外し手順は「無線LANボードの取り外し」(39ページ)をご覧ください。

❷ **「インタフェース2」と刻印されたLANボード用スロットからネジ2本を外して、プレートを取り外す。**

✔チェック

LANボード用スロットのプレートおよびネジは大切に保管しておいてください。ボードを取り外してプリンターを元に戻すときに必要です。

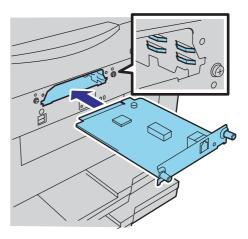
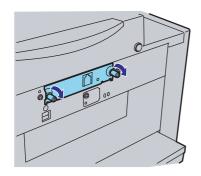
❸ **イーサネットコネクター側を手前にして、図のようにガイドレールに沿ってLANボードを両手で差し込む。**

手ごたえがあるまで押し込みます。

⚠注意

- LANボードを差し込む際、指や手をはさまないようにゆっくり作業してください。
- LANボードを強く押し込むと、プリンターが倒れてけがをするおそれがあるので注意してください。

✔チェック

図のようにプリンターのリアカバーに手をかけながらLANボードの下の方に親指をあてて、水平に押してください。

❹ LANボードにあるネジ2本でLANボードを固定する。

❺ ネットワークケーブルを接続する。

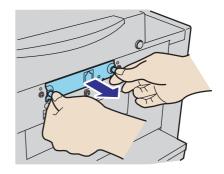
次の表に従って適切なケーブルを用意してください。

ケーブルタイプ	コネクタの形状	型番
Ethernet（10BASE-T）		PK-CA117 PK-CA118
Fast Ethernet（100BASE-TX）		

次の手順は、ユーザーズマニュアル1章の「10 ネットワークに接続する」をご覧ください。

LANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）の取り外し

LANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）を取り外すときは、プリンターの電源をOFFにして、電源コードを抜いてから取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

チェック

LANボードはネジが緩んで遊びができたら、取り外せます。ネジは完全に取り外さないでください。図のようにネジ2本を持ってLANボードを引き出してください。

LANアダプター

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360をネットワークに接続するためにLANアダプターはPR-NP-02T2、PR-NP-03TR2、PR-NPX-05の3種類が用意されています。（19～20ページ参照）

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。なお、それぞれの取り付け手順は異なります。詳しくは各LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

IPアドレスなどの設定方法については「3章　ネットワークでの設定」（89ページ）をご覧ください。

チェック

LANアダプターのコネクター部には手を触れないでください。手を触れると、コネクター部の接点が汚れ、接触不良になることがあります。

LANアダプターの取り付け

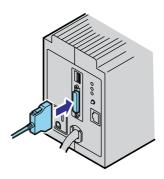
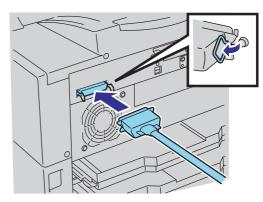
ここでは、PR-NP-02T2を例に取り付け手順を説明します。

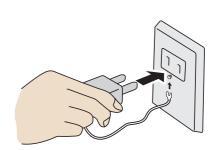
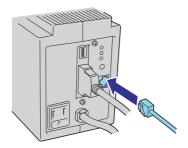
❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

重要

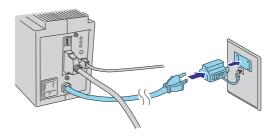
電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

❷ **LANアダプターの電源コードを抜く。**

❸ **LAN アダプターのインターフェース用ソケットとプリンターのインターフェースコネクターをLANアダプターに添付のプリンターケーブルで接続する。**

LANアダプター

プリンターの［インタフェース1］コネクター

❹ **プリンターの電源コードを AC コンセントに差し込む。**

❺ **ネットワークケーブルのコネクターをLANアダプターのEthernet用コネクターに差し込む。**

❻ **LANアダプターの電源コードをコンセントに差し込む。**

チェック

LANアダプターの電源コードは3極プラグです。2極のACコンセント（AC100V、電源容量15A以上）に差し込む場合は、3極/2極変換プラグをご使用ください。

❼ **LANアダプター前面のランプが緑色に点灯することを確認する。**

ご使用の際、PR-NT-03TR2の場合は、プリンターの電源を入れてからLANアダプター前面のスイッチを押して電源を入れてください。

コンフィグレーションページの印刷

以下の手順に従ってコンフィグレーションページを印刷してください。

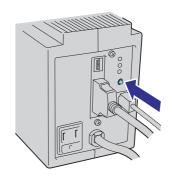
❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

重要

コンフィグレーションページを印刷する前に用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は「ホッパーに用紙をセットする」（302ページ）を参照してセットしてください。

❷ **LANアダプター背面のコンフィグレーションページボタンを押す。**

PR-NPX-05でのコンフィグレーションページの印刷方法については、PR-NPX-05に添付のセットアップガイドを参照してください。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータの受信中でないことを確認してから、取り付け手順❻から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- 電子ソート機能を有効にする
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファーの拡大
- 両面印刷＊[1]や解像度1200dpi＊[2]での印刷時のメモリー不足の解消
- 複雑な印刷データの印刷性能向上

＊1　MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。
＊2　1200dpiでの印刷はMultiWriter 2360N/2360のみ対応しています。

MultiWriter 2360N/2360をお使いのお客様へ
MultiWriter 2360N/2360は、標準メモリー（16MB）でも1200dpiでの印刷は可能です。さらに印刷性能の向上のためにメモリー増設をお勧めいたします。

重要

指定のSO-DIMMタイプの増設メモリーを使用してください。指定以外の増設メモリーを使用すると、故障の原因となることがあります。

増設メモリーの取り付け

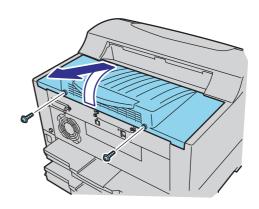
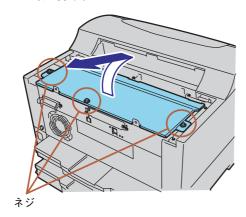
重要

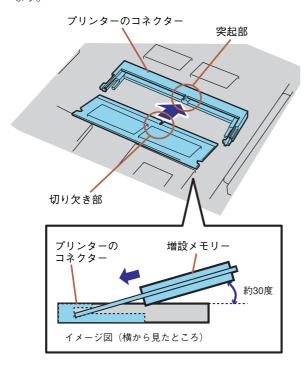
増設メモリーは大変デリケートな電子部品です。増設メモリーを取り扱うときは、プリンター背面のインターフェースコネクターが付いているフレームなどに触れて身体の静電気を逃がしてから行ってください。また、ボードは端の部分を持って取り扱い、表面の部品には触れないようにしてください。

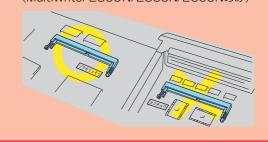
❶ **プリンターの電源を OFF にし、電源コードとプリンターケーブルをプリンターから取り外す。**

警告

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り付けると、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

❷ **ネジ2本を外して、プリンター上部にあるリアカバーを取り外す。**

❸ **コントロールカバーに刻印された矢印で示すネジ（3か所）をゆるめ、軽く手前を持ち上げてコントロールカバーを取り外す。**

❹ **増設メモリーをプリンタボードの左側にあるコネクターに取り付ける。**

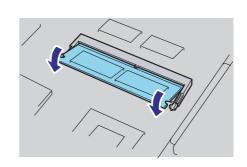
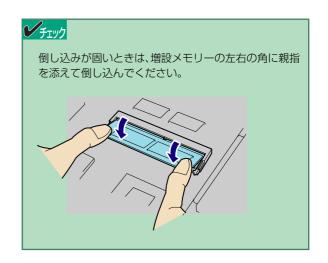
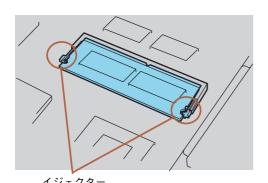
増設メモリーの切り欠き部をプリンターボードのコネクター突起部に合わせ、プリンターのコネクターに対して約30度の挿入角度で増設メモリーの端子が当たるまで挿入します。

重要

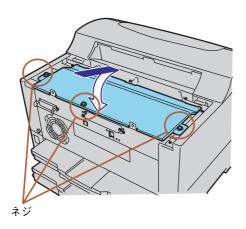
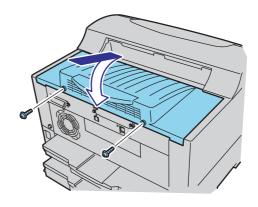
- 増設メモリーの切り欠き部の向きがコネクターの突起部と正しく合っていることを確認してください。逆の場合は増設メモリーの切り欠き部とコネクターの突起部の位置が合わず、挿入することができません。
- 増設メモリーはプリンター背面に向かって左側の「ゾウセツメモリ」と印刷されているコネクターに取り付けてください。右側の「カクチョウ」と印刷されたコネクターも同じ形ですが、誤って取り付けると故障の原因となります。
（MultiWriter 2860N/2830N/2360Nのみ）

❺ **「カチッ」という音がするまでソケットに倒し込む。**

重要

奥までしっかり倒し込んでください。しっかり押し込まずに次の手順を行うと、コネクターまたは増設メモリーを破損するおそれがあります。

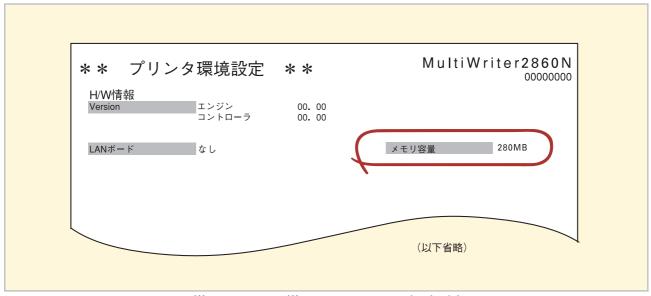
チェック

倒し込みが固いときは、増設メモリーの左右の角に親指を添えて倒し込んでください。

❻ イジェクターが立ち上がり、しっかり固定できたことを確認する。

❼ コントロールカバーを取り付け、表面に刻印された矢印で示すネジ（3か所）で固定する。

❽ リアカバーを取り付け、ネジ2本で固定する。

❾ 電源コードとプリンターケーブルを取り付ける。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、ユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」を参照してください。

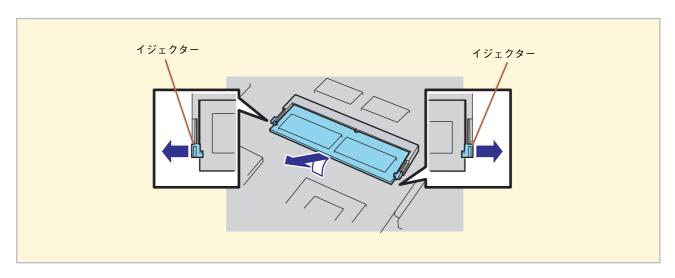
以下のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

増設メモリーを増設したステータス印刷の例
（MultiWriter 2860Nの標準メモリー 24MBに256MBメモリーを増設した場合）

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。これで増設メモリーの取り付けは完了です。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーを取り外すときは、プリンターの電源をOFFにし、電源コードをプリンターから取り外し、取り付けの手順を逆に行ってください。

プリンターの電源はOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続したまま取り外すと、故障の原因となるばかりでなく、感電のおそれがあります。

なお、増設メモリーを取り外すときはコネクターのイジェクターを横に押し広げて斜めに引き抜いてください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル*1
PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2 PR-UCX-02*3
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01 PR-UCX-02*3
PC-9800シリーズデスクトップタイプミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp･As･Ae･Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA･BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTiCanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *5	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	PC-98XA･XL･XL2･RL*5	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *5 SV-98シリーズ	PC-CA202*4 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf･Np･Nx･Nd･Nm･Ne3･Ne2･Nd2 PC-9801NL/A･NS/A	PC-CA202*4 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*4 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*4 PC-CA204*2

*1　他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。
*2　PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205のケーブルの長さは4.0m。
*3　PR-UCX-02のケーブルの長さは2.0m。
*4　ケーブルの長さは1.5m。
*5　ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*[1]、Windows Me、Windows 98*[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*1　以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。
*2　以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に9章の「PrintAgentを正しく動作させるために」（395ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**
  本書中にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。
- **フロッピーディスクでインストールする場合**
  本書ではCD-ROMを使った手順を説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。
- **MultiWriter 2830N/2360N/2360をお使いのお客様へ**
  本書中にMultiWriter 2830N/2360N/2360の記述がない場合は2860Nの記述を2830N/2360N/2360に読み替えてください。

プリンターソフトウエアCD-ROMについて

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360に添付のプリンターソフトウエアCD-ROMは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のコンピューター環境に対応した、ソフトウエアを提供しています。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
  プリンターソフトウエアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応した、プリンターソフトウエアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
  「MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360 活用マニュアル」の閲覧用（HTML形式）と、印刷用（PDF形式）の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザー、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（viページ）またはメニュープログラム内のユーティリティーをご覧ください。
- ユーティリティー
  - iPrinting.DeliveryService
  - ドキュメント・ハンドリング・ソフトウエア「DocuWorks（体験版）」
  - NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
  - NEC TrueTypeバーコードフォントキット
    NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
  - NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
  - 帳票エディタ「帳楽」お試し版
  - EASY設定ユーティリティ
  - 無線LANプリンタ導入ウィザード
  - NEC印刷ログユーティリティ
  - MultiWriterドライバ配信
  - Adobe Acrobat Reader
- バージョンアップ
  CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については「ご利用の前に」（update.txt）または4章の「プリンタードライバーのバージョンアップ」（295ページ）をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウエアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウエアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」（README.TXT）をご覧ください。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USBインターフェース*4	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP*2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003*3（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

*1　OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。
*2　Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。
*3　64ビット バージョン Wlindows Server 2003には対応していません。
*4　USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組みあわせによっては正常に動作しない場合があります。

チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）のメモリーを搭載して運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備の LAN インターフェースやオプションのLAN ボードおよびLAN アダプターでプリンターがネットワークに接続されている。（対応している型番については「1章　オプション」（15ページ）をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするために必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約16.5MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の組み合せを確認して、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、「プリンター管理者用インストール」（79ページ）をご覧ください。

コンピューターとケーブルで接続する

USBケーブルで接続する場合	
ご使用のOS • Windows XP • Windows Me • Windows 98 • Windows Server 2003 • Windows 2000	→ 「USBインターフェース接続によるインストール」（58ページ）をに進んでください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合	
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	→ 『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）に進んでください。
プラグ・アンド・プレイ*でインストールする	→ 「パラレルインターフェース接続によるインストール」（66ページ）に進んでください。

ネットワークで接続する

プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	
『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）に進んでください。	
プリンタードライバーのみインストールする	
ネットワーク接続に［NEC TCP/IP Port］を使用する	→ 『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSがもつ機能を使用する	→ 3章の「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（145ページ）に進んでください。
ターミナルサービスを使用する	
3章の「ターミナルサービス環境」（185ページ）に進んでください。	

MS-DOS環境でご使用の場合

「日本語MS-DOS環境」（86ページ）に進んでください。

* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［ローカルポート］を選択します。
- LANボード（標準装備を含む）または、LANアダプター（型番：PR-NP-02T2、型番：PR-NP-03TR2）で接続されたプリンターに印刷する場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、［NEC TCP/IP Port］を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

チェック

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、［Administrators］または［Domain Admins］グループのメンバーである必要があります。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **右側のボックスから［MultiWriter2860N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ **［次へ］をクリックする。**

はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ **［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

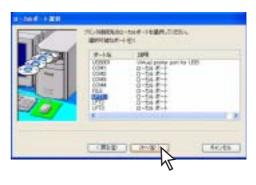
MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。
MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2860N¥DISK1¥DRIVERS.TXT」を参照してください。

❼ **プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。**

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANボード（標準装備含む）またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜［ローカルポート］を選んだ場合＞

希望するポートを選び、［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

手順❾へ進んでください。

＜［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合＞

LANインターフェース、またはプリンターに接続しているLANオプションのIPアドレス、またはホスト名を設定し、［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

IPアドレスまたはホスト名を設定する時は、LANインターフェースまたはLANアダプターにIPアドレスまたはホスト名が設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

IPアドレスを設定する場合

［検索］をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **［次へ］をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

チェック

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

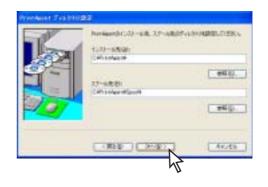
❾ **［PrintAgentをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

［PrintAgentをインストールしない］を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ **使用目的に応じて［標準インストール］または［一般ユーザ向けカスタムインストール］のインストール方法を選び、［次へ］をクリックする。**

［一般ユーザ向けカスタムインストール］を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて［次へ］をクリックしてください。［全追加］をクリックするとすべてチェックが付きます。［全削除］をクリックするとすべてチェックが外れます。

⓫ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定してからフォルダーを確認して［次へ］をクリックする。**

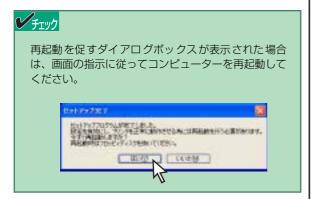
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更するか不要なファイルを削除してください。

⓬ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

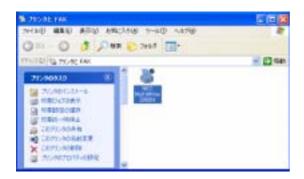
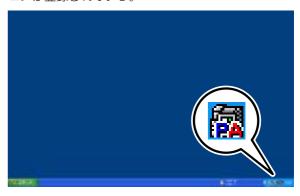
⓭ **[OK]をクリックする。**

⓮ **インストールが終了したら[OK]をクリックする。**

チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ **プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。**

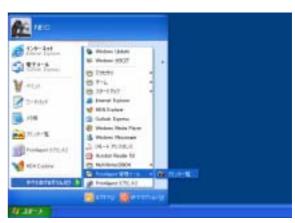
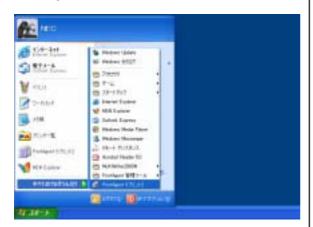
カスタムインストールでインストールした場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

□ [プリンタとFAX]フォルダー内に[NEC MultiWriter2860N]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgent システム]アイコンが登録されている。

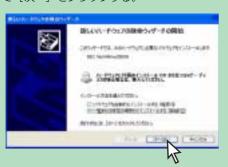
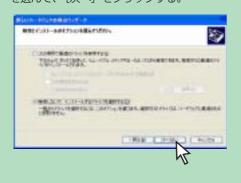
□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter2860N]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

チェック

Windows XPおよびWindows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

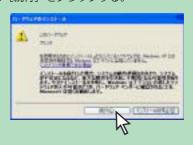
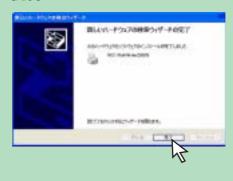
□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター覧]が登録されている。
(カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合)

☐　スタートメニューの［すべてのプログラム］の下に［PrintAgentリプリント2］が登録されている。

チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1. ［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

2. ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

3. ［ディスク使用］をクリックする。

4. ファイルのコピー元を指定して、[OK] をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

5. ［次へ］をクリックする。

6. ［続行］をクリックする。

7. ［完了］をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USB インターフェースを使ってプリンターに接続した時のプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については、「パラレルインターフェース接続によるインストール」（66ページ）を参照してください。

Windows XP 、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

Windows XPを使用しているコンピューターで、新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合、ここではWindows Updateに接続せずに次へ進んでください。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **［ディスク使用］をクリックする。**

❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、[次へ] をクリックする。

インストールを開始します。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ [完了] をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（54ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

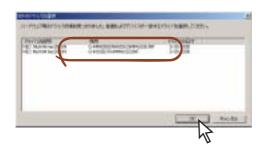
［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

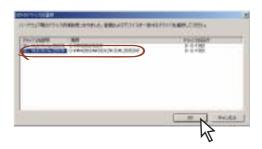
❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を示しているドライバーを選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

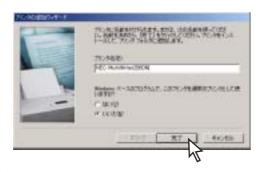
❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

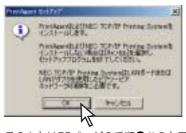
チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❿ **プリンター名を確認し、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を行った後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **［コントロールパネル］フォルダーを開く。**

❷ **［システム］アイコンをダブルクリックする。**

❸ **［デバイスマネージャ］シートをクリックする。**

❹ **［その他のデバイス］で？マークの［MultiWriter2860N］を選択し、［削除］をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USBケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

✔チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをUSBケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 98 日本語版を起動します。
USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **USBドライバーの検索場所を指定し、［次へ］をクリックする。**

［検索場所］をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ **デバイス名を確認し、［次へ］をクリックする。**

USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ **［完了］をクリックする。**

❿ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⓫ **［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

⓬ **選択項目の中から［CD-ROM ドライブ］をチェックして［次へ］をクリックする。**

⓭ **［次へ］をクリックする。**

⓮ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⓯ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓰ **PrintAgent　をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

✔チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターを USB ケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

❹ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

✔チェック

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

✔チェック

すでに一度プリンタードライバーがインストールされたコンピューターの場合は［NEC MultiWriter2860N］と表示されます。

❻ **［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

⑩［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（54ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

パラレルインターフェース接続によるインストール

ここではパラレルインターフェースを使ってプリンターに接続した時の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順について説明します。

Windows XP 、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

> **チェック**
>
> プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

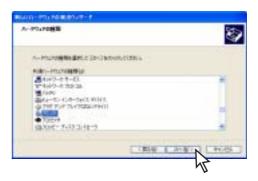
> Windows XPを使用しているコンピューターで、新しいハードウエア検出画面内にWindows Updateへの接続設定画面が表示された場合、ここではWindows Updateに接続せずに次へ進んでください。

❹ **［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

> **チェック**
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **［検索しないでインストールするドライバを選択する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **次の画面が表示されたら［プリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **［ディスク使用］をクリックする。**

❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、［次へ］をクリックする。

インストールを開始します。

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ ［完了］をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（54ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

> チェック
> プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows Me 日本語版を起動します。

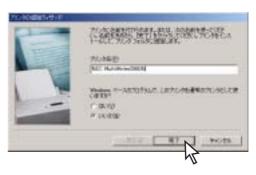
❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。

> チェック
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❼ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

❽ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

❾ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

> 必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。

❷ プリンターの電源をONにする。

❸ プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。

Windows 98 日本語版を起動します。

❹［次へ］をクリックする。

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。

❻ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❼ 選択項目の中から［CD-ROM ドライブ］をチェックして［次へ］をクリックする。

❽［次へ］をクリックする。

❾ プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

❿ **［完了］をクリックする。**

先に［PrintAgentセットアップ］ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓫ **PrintAgentをインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは53ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

> ✔チェック
>
> プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 95 日本語版を起動すると［デバイスドライブウィザード］か［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

> ✔チェック
>
> 接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

＜［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示された場合＞

プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、［次へ］をクリックする。

手順❹に進んでください。

＜［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された場合＞

［ハードウェアの製造元が提供するドライバ］を選び、［OK］をクリックする。

手順❾に進んでください。

❹ **［完了］をクリックする。**

❺ **プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ ［ファイルのコピー元］を指定して、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK2」と入力します。プリンタードライバーがインストールされます。

❽ PrintAgent　をインストールする場合は［OK］をクリックする。

このあとは53ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストール手順を終了します。

❾ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❿ ［ファイルのコピー元］を指定して、［OK］をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK2」と入力します。

⓫ プリンターの名前を確認し、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ PrintAgent　をインストールする場合は［OK］をクリックする。

このあとは53ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックし、インストールを終了します。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

チェック

プリンターソフトウエアCD-ROMは、手順中で指示されたときにコンピューターにセットしてください。また、セットした後にメニューが表示された場合は［終了］をクリックしてメニューを閉じてください。

❶ **プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する。**

❷ **プリンターの電源をONにする。**

❸ **プリンターの印刷可ランプが緑色に点灯したことを確認してから、コンピューターの電源をONにする。**

Windows 2000 日本語版を起動します。

❹ **［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、53ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

❺ **［デバイスに最適なドライバを検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **［場所を指定］を選び、［次へ］をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、［OK］をクリックする。**

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、［次へ］をクリックする。**

インストールを開始します。

❿［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［いいえ］をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（54ページ）で［プリンタドライバをインストールしない。］を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

プリンタードライバーの削除

必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。

重要

- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版

❶ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

インストールされているプリンターアイコンが表示されます。Windows 2000の場合は［プリンター］フォルダーを開きます。

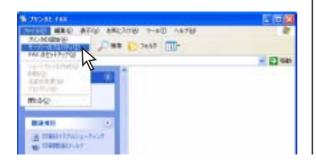
❷ **［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。**

❹ **［はい］をクリックする。**

MultiWriter2860Nのプリンタードライバーが削除されます。

❺ **［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。**

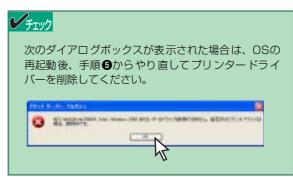
［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

❻ **［ドライバ］タブをクリックする。**

❼ **［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter2860N］をクリックする。**

❽ **［削除］をクリックする。**

❾ **［はい］をクリックする。**

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順❺からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

❿ **［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC MultiWriter2860N］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。**

［プリントサーバーのプロパティ］を閉じます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0 日本語版

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

インストール済みのプリンターアイコンが表示されます。

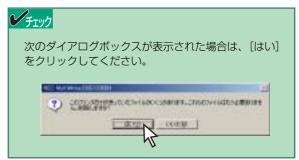
❷ **［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックする。**

❸ **［ファイル］メニューの［削除］をクリックする。**

❹ **［はい］をクリックする。**

MultiWriter2860Nのプリンタードライバーが削除されます。

チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックしてください。

PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360のプリンターソフトウエアのインストーラーでは、プリンターソフトウエアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に9章の「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」(396ページ)をお読みください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[プログラムの追加と削除]アイコンをダブルクリックする。**

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

❸ **[PrintAgentオプション選択]ダイアログボックスを開く。**

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

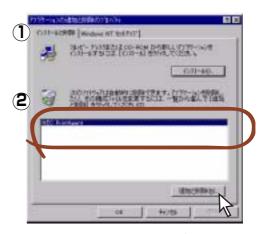
① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。

② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

<Windows Me、Windows 98、WIndows 95、Windows NT 4.0の場合>

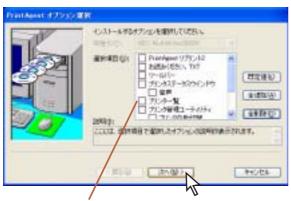
① [インストールと削除]シートを開く。

② 自動的に削除できるソフトウエアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95

Windows NT 4.0

❹ **対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。**

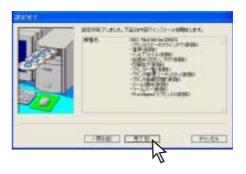
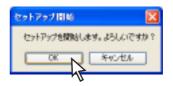
チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。

管理者向けカスタムインストールを行った場合は
選択できるオプションが異なります。

チェック

- 他の MultiWriter シリーズのプリンターソフトウエアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウエアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウエアCD-ROMがCD-ROM ドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

❺ **[完了] をクリックする。**

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。

❻ **[OK] をクリックする。**

❼ **追加・削除が終了したら [OK] をクリックする。**

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

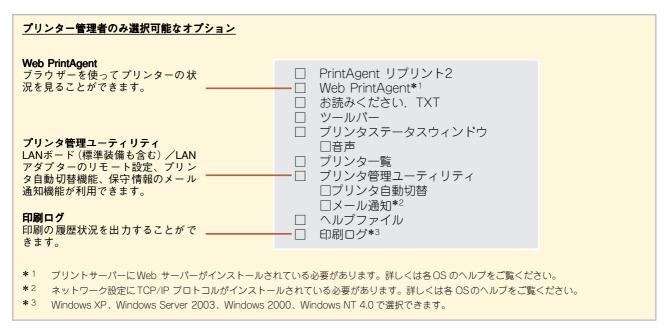
❽ **すべてのオプションを削除した場合はソフトウエアの一覧から [NEC PrintAgent] が削除されたことを確認し、[OK] をクリックする。**

プリンター管理者用インストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

以下は、ネットワーク環境でMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を使用するときに便利な機能です。

- プリンターを一元に管理する
- プリンターを自動切替で利用する
- 印刷ログを出力する
- e-mailメンテナンスを利用する
- Web PrintAgentを利用する

以上を設定するには、プリンターソフトウエアを管理者向けでインストールする必要があります。インストールの手順は次ページを参照してください。

また、プリンターを管理する方は以下の機能も利用することができます。

- パスワードの設定（85ページ）
  プリンター管理者以外の人による「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウエアの削除から保護するためのパスワードの設定が可能です。

- FD作成（インストール媒体の作成）（422ページ）
  プリンターソフトウエアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウエアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

インストール手順

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に9章の「PrintAgentを動作させる前に」（395ページ）を参照してから確認してください。

インストール方法	Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版	Windows Me 、Windows 98 、Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約13.0MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約16.5MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約18.5MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約5.5MB	約3.5MB	約4.5MB

ここでは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応したプリンターソフトウエアをプリンター管理者としてインストールする手順をWindows XPを例に説明します。

❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❸ **［インストール］をクリックする。**

❹ **右側のボックスから［MultiWriter2860N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

お使いのOS にインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

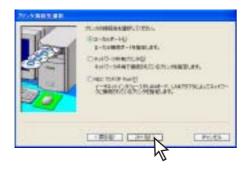
❻ ［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。

［プリンタドライバをインストールしない］を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

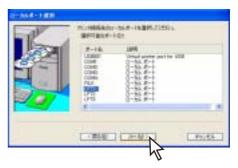
MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2860¥DISK1¥DRIVERS.TXT」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- ［NEC TCP/IP Port］は、プリンターがLANインターフェース/無線LANボード、またはLANアダプターを装備しており、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

＜［ローカルポート］を選んだ場合＞

希望するポートを選び、［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

手順❾へ進んでください。

＜［NEC TCP/IP Port］を選んだ場合＞

LANインターフェース、またはLANアダプターのIPアドレスあるいはホスト名を設定して［次へ］をクリックする。

手順❽へ進んでください。

IPアドレスを設定する場合

［検索］をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、［OK］をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ **［次へ］をクリックする。**

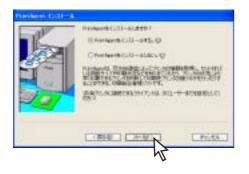
ネットワークに接続され、Windows XP、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順⓭へ進んでください。

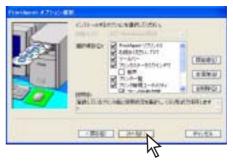
チェック

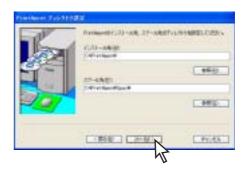
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

❾ **［PrintAgentをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

［PrintAgentをインストールしない］を選んだときは、手順⓭へ進んでください。

❿ **［管理者向けカスタムインストール］を選び、［次へ］をクリックする。**

⓫ **任意の機能を選び、［次へ］をクリックする。**

［全追加］をクリックすると、すべてチェックされます。［全削除］をクリックすると、すべてチェックが外れます。

⓬ **PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、［次へ］をクリックする。**

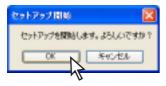
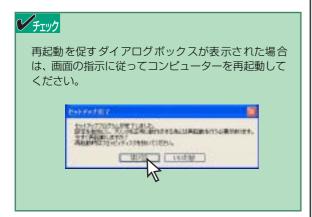
すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

⓭ **設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。**

⑭ ［OK］をクリックする。

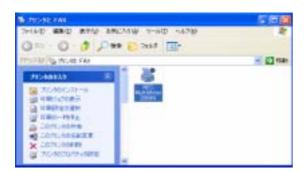
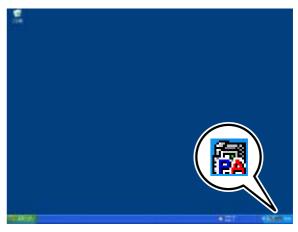
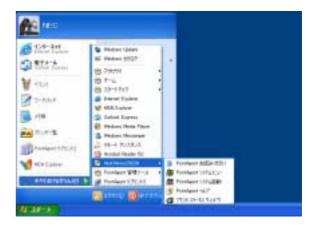
ソフトウエアのインストールが開始されます。

⑮ インストールが終了したら、［OK］をクリックする。

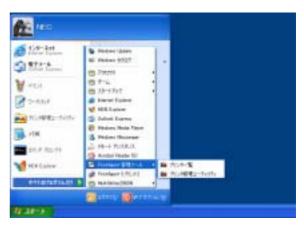
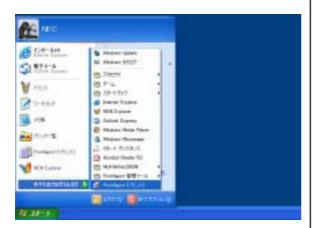
✔チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⑯ プリンターソフトウエアが正常にインストールされたことを確認する。

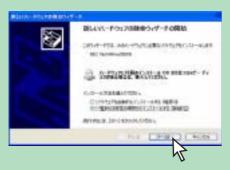
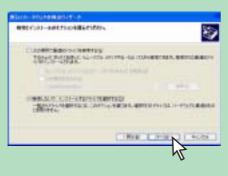
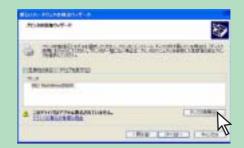
管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

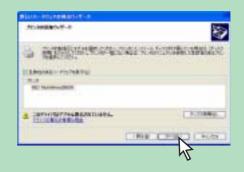
□ ［プリンタ］フォルダー内に、［NEC MultiWriter2860N］アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、［PrintAgent システム］アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［MultiWriter2860N］というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent 関連のアイコンが登録されている。

✔チェック

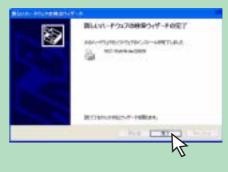
Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの［プログラム］から確認することができます。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent管理ツール］というフォルダーが追加され、その下に［プリンタ管理ユーティリティ］と［プリンター一覧］が登録されている。

□ スタートメニューの［すべてのプログラム］に［PrintAgent リプリント2］が登録されている。

チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この場合は、以下の手順に従ってプリンタードライバーをインストールしてください。［プリンタとFAX］フォルダーに新しいプリンタアイコンは作成されません。

1. ［一覧または特定の場所からインストールする］を選んで［次へ］をクリックする。

2. ［検索しないで、インストールするドライバを選択する］を選んで、［次へ］をクリックする。

3. ［ディスク使用］をクリックする。

4. ファイルのコピー元を指定して、［OK］をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

5. ［次へ］をクリックする。

6. ［続行］をクリックする。

7. ［完了］をクリックする。

パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウエアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版に対応しています。

チェック

- パスワードで保護される機能はPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウエアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください

❷ **［インストール］をクリックする。**

❸ **右側のボックスから［MultiWriter2860N］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

❹ **パスワード設定の［設定］をクリックする。**

❺ **パスワードとパスワードの確認を入力し、［設定］をクリックする。**

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま［設定］をクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、［設定］をクリックします。

日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷をするために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときにプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*3
1	MultiWriter 3650N、3300N、2860N、2850N、2850、2830N、2360N、2360、2350N、2350、2150、2130、2800N、2800、2300N、2300、2100、210S	ページプリンター（もしくは、レーザープリンター）
2	MultiWriter 2650M、2250H、2650、2650E、2250、2050	
3	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2、2200X	
4	MultiWriter 2400、2400X、2000X、2000FW、2200NW2、PC-PR2000/6W	
5	MultiWriter 2200NW、2000E、PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W、PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
6	MultiWriter 1500N、1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4、あるいはNPDL Level 2	
7	PC-PR1000、PC-PR1000/2、PC-PR2000、PC-PR602*1*2、あるいはNPDL	
8	PC-PR201シリーズ	201PLエミュレーション
9	PC-PR101シリーズ	

*1　A4ポートレート桁数が80桁のとき、用紙の左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。
*2　文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。
*3　ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンターの動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ時の設定）のままご使用になれます。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、メニューモードを使ってプリンターを設定します。
メニューモードの操作方法、メニューツリーおよび各設定項目については「7章　メニューモード」（323ページ）を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウエア：　シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
プリンター：　201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷*する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの［両面］スイッチで設定します。

＊　MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

両面印刷の設定

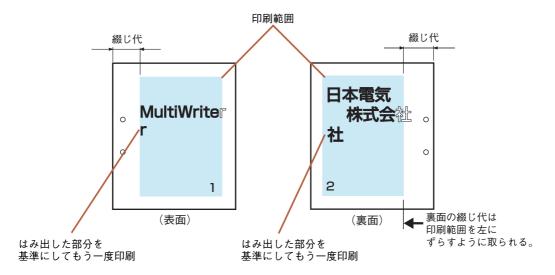
MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合、次の設定変更が必要です。
両面印刷をする場合、64MB以上のメモリーの増設をお勧めします。

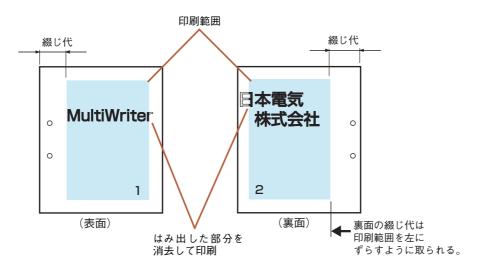
両面印刷のために必要な設定項目

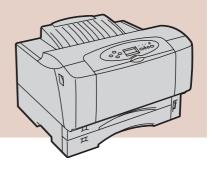
メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー － 表面微調整 － 裏面微調整	表面、裏面ともに TM：+3.9　～　－3.9ミリ LM：+3.9　～　－3.9ミリ
両面印刷メニュー － 初期設定ON － 初期設定OFF	－
両面印刷メニュー － とじしろロング1 － とじしろショート1 － とじしろロング2 － とじしろショート2	7章の「両面印刷メニュー」(342ページ）を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0　～　20ミリ
両面印刷メニュー － クリップON － クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する（ON）か、消去する（OFF）かを設定します。
両面印刷メニュー － 奇数ページ片面 － 奇数ページ両面	両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。

クリッピング機能について

余白（とじ代）を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、7章の「両面印刷メニュー」（342ページ）で設定します。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります）。

クリップOFF（チェックしていない）の場合

- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

クリップON（チェックしている）の場合

3章
ネットワークでの設定

この章では､ネットワークに接続してお使いになる場合のネットワーク設定およびネットワークユーティリティーの詳細について説明しています。また、無線LANボード使用時の注意事項についても説明しています。無線LANボードをお使いの方は、設定を行う前にお読みください。

- 標準LANインターフェースおよびLANボードをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

  1 ユーティリティーによるネットワークの設定
  2 コンフィグレーションページの印刷
  3 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- 無線LANボードをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

  1 無線LANボードに関する安全上のご注意
  2 ユーティリティーによるネットワークの設定
  3 コンフィグレーションページの印刷
  4 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- LANアダプター*をお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

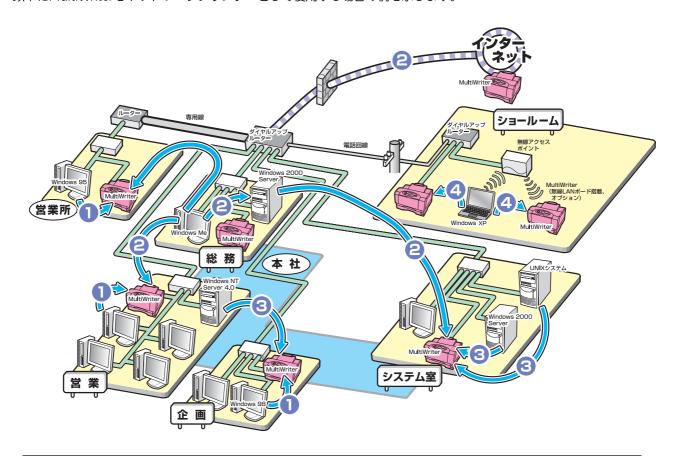
  1 ユーティリティーによるネットワークの設定
  LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は､LANボードの設定と同様に行えます｡詳しくは､各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してください。
  2 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

＊ LANアダプタ（型番：PR-NPX-05）をお使いの場合は、LANアダプターに添付のセットアップガイドを参照してください｡なお、PR-NPX-05はPrintAgentには対応していません｡

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**
  本書中にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

- **MultiWriter 2830N/2360N/2360をお使いのお客様へ**
  本書中にMultiWriter 2830N/2360N/2360の記述がない場合は2860Nの記述を2830N/2360N/2360に読み替えてください。

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。

❶ PrintAgent

PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウエアです。
丁合い、リプリント、ジョブセパレートなどの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

❷ IPP（Internet Printing Protocol）

Windows XP、Windows Server 2003、 Windows 2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。
印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。
Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。

❸ LPR

UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

❹ NEC TCP/IP Printing System（NEC Network Port）

NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる印刷方式です。
PrintAgentソフトウエアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANボードに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANボードを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANボードをより安全にご活用ください。

- 心臓ペースメーカーに近づけない

  植え込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANボードをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

- 使用禁止区域では使用しない

  心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANボードを使用しないでください。

  また、医療機関側が無線LANボードの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。

  無線LANボードの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

- 飛行機内では使用しない

  飛行機内では、無線LANボードを装着したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANボードもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

- ぬれた手で触らない

  無線LANボードがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANボードやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

ユーティリティーによるネットワークの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、標準実装LANインターフェースを使用する際に必要な設定方法について説明しています。
以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（192ページ）を参照してください。

- プリンターの操作パネル .... ユーザーズマニュアルを参照してください。
- EASY設定ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
ユーティリティーの詳細についても説明しています。「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（95ページ）を参照してください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザード .... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM に収録されています。簡単に無線LANボードの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。
- WWWブラウザー .... 汎用の WWW ブラウザーを使用してプリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- Telnet .... Telnetで接続し、プリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- UNIXコマンド .... UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。

ユーティリティーでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANインターフェースのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については、「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（145ページ）を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの［EASY］フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

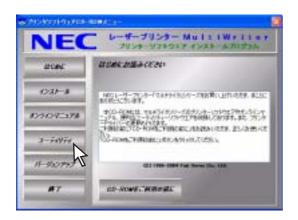
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

Windows XP上での手順を例にとって説明します。

❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**

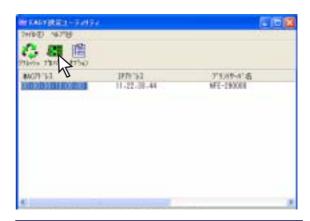
❹ **［EASY設定ユーティリティ］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［EASY］フォルダーが開きます。

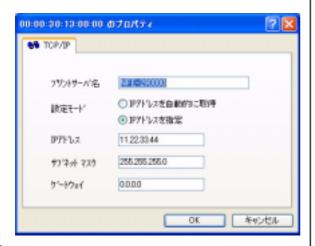
❺ **［NICSET］アイコンをダブルクリックする。**

［EASY設定ユーティリティ］ウィンドウが表示されます。

❻ **一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックする。**

［TCP/IP］タブが表示されます。

一覧にプリンターが表示されない場合は、［リフレッシュ］をクリックし、再検索を行ってください。

❼ プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が［プリントサーバ名］ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

❽［設定モード］で［IPアドレスを指定］を選択する。

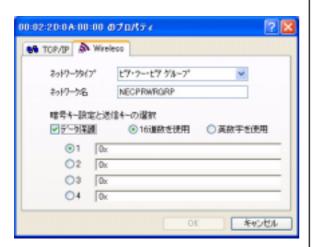
❾［IPアドレス］と［サブネットマスク］を入力する。

❿［ゲートウェイアドレス］を設定する。

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

LANボード、LANアダプターを使用している場合は、手順⓯へ進んでください。

⓫ 無線 LAN ボードを使用している場合は、［Wireless］タブをクリックする。

［Wireless］シートが表示されます。

⓬［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。

- ピア・ツー・ピアグループ
  ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカード（NEC無線LANカードなど）を使用したコンピューターとピア・ツー・ピア グループ接続します。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANボード（PR-WLX-13）のセットアップガイドを参照してください。アドホックは、無線通信に使用するチャネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャネルバンドが「チャネル1」固定になります。

- レジデンシャル・ゲートウェイ
  NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイント
  IEEE802.11b 準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。
  NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007）、無線LANアクセスポイントEX（PK-WL010）、または無線LAN AP-S100-B（PK-WL014-B）経由でネットワークに接続する場合は、この項目を選択します。

⓭ ネットワーク名（ESS-ID）を入力する。

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

⓮ データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線 LAN ボードが受信する無線メッセージを復号します。4つ設定することができます。
- 無線 LAN ボードが送信する無線メッセージを暗号化します。キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）です。

暗号キーの5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓯［OK］をクリックして、EASY 設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンターの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメーターを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンター管理者用インストール」の「インストール手順」(80ページ)を参照してください。また、操作方法などの詳細についても説明していますので、参照してください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない(同一ネットワーク内)で接続された環境で行ってください。
- LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版を例にとって説明します。

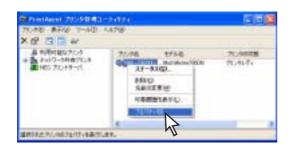
❶ **プリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。

❷ **ウィンドウの左側ボックスから［NEC プリントサーバ］を選択する。**

プリンターがまだ登録されていないときは、［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックしてプリンターを登録してください。

❸ **ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンターを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。**

❹ **［TCP/IP］タブをクリックする。**

❺ **［マニュアルで設定する］を選択する。**

重要

- ［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。
- 無線LANボードは、UNIXコマンドによる設定には対応していません。［UNIXコマンドで設定する］は選択しないでください。

❻ **IPアドレスとサブネットマスクを入力する。**

LANボード、LANアダプターを使用している場合は、手順⓫に進んでください。

❼ **無線 LAN ボードを使用している場合は、［通信設定］タブをクリックする。**

［通信設定］シートが表示されます。

❽ **［ネットワーク名］を入力する。**

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

❾ **［ネットワークタイプ］で接続する無線LAN環境を選択する。**

各項目についての説明は、「［通信設定］シート」（115ページ）をご覧ください。

❿ **データ保護を設定する。**

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy)データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、「［通信設定］シート」（115ページ）をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違って設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

⓫ **［OK］をクリックして終了する。**

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの詳細

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティは、LANインターフェースを標準実装したプリンターやオプションのLANボード/LANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認やPrintAgentのいろいろな機能を設定するユーティリティーです。
このユーティリティーは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANインターフェース/LANアダプターにより、その内容は異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版環境でPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの画面左のツリービューで［NECプリントサーバ］を選択している場合について説明します。

- ネットワークプリンターの設定と管理
  - ネットワークプリンターの一覧の確認

  - プリンターの状態の確認

  - IPアドレスの設定
  - プリンターの構成
  - リモート電源制御（型番 PR-NP-03TR2 LANアダプタ装着時）

- PrintAgentの機能
  - 印刷ジョブの制御
  - プリンタステータスウィンドウの起動
  - 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
  - プリンタ自動切替の設定（グループプリンター作成の設定）

ご利用までの手順

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順について説明します。

重要

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgent プリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定（IP アドレスなど）がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANボード、LANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウエアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- LANインターフェースへの設定は、LANボードと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウエアをインストールすることで一部の機能が有効になります（「［NetWare］シート」（118ページ）参照）。
- オプションのLANボード、LANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除（アンインストール）した後、プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANボード、LANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

Step1 使用環境を確認する

このPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用できるプリンターは以下のとおりです。

- MultiWriter 2860N（型番 PR-WLX-13装着時含む）
- MultiWriter 2830N（型番 PR-WLX-13装着時含む）
- MultiWriter 2360N（型番 PR-WLX-13装着時含む）
- MultiWriter 2360（型番 PR-NP-04Tもしくは型番 PR-WLX-13装着時）

また、以下に示すネットワークオプションが使用できるプリンターも対象となります。

- PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP）
- PR-NP-03TR2 LANアダプタ（TCP/IP）
- イーサネットコネクターを標準で装備したプリンター
  例えば、MultiWriter 2850NやMultiWriter 2350Nなど。

チェック

ただし、本ユーティリティに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティを使用してください。

Step2 イーサネットコネクターを装備しているプリンターを接続する

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

Step3　PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に［管理者向けカスタムインストール］を選択し、［プリンタ管理ユーティリティ］にチェックを付けることで行います。

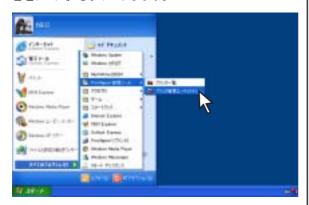
プリンターソフトウエアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、2章の「プリンター管理者用インストール」（79ページ）を参照してください。

Step4　プリンターを登録する

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使ってLANインターフェースの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANインターフェースをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレスなども参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）を参照してください。

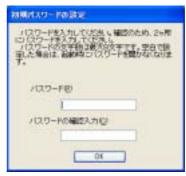
❶ **PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動する。**

［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。次に［プリンタ管理ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP以外の場合は、［プログラム］－［PrintAgent管理ツール］をポイントします。

❷ **パスワードの入力、設定をする。**

パスワードをすでに設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスがされますので、パスワードを入力してください。

パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示されます。

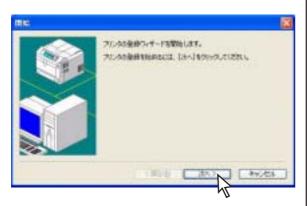
［はい］をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードが不要の場合は、［いいえ］をクリックしてください。後から［ツール］メニューの［パスワードの変更］で設定できます。

❸ **プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの［確認］ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。**

［はい］をクリックした時は手順❺に、「いいえ」をクリックした時は手順❹に進んでください。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで［NECプリントサーバ］を選択してください。

❹ **［プリンタ］メニューから［プリンタの登録］をクリックする。**

［プリンタの登録］ウィザードが開始されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、［次へ］をクリックする。

［はい］を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順❼に進んでください。

［いいえ］を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順❽に進んでください。

❼ 登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

手順⓱に進んでください。

❽ LANインターフェースと通信するプロトコルを選び、［次へ］をクリックする。

「NetWare（IPX/SPX）プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順❾に進んでください。

「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順⓭に進んでください。

❾ プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順❿に進んでください。

「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓬に進んでください。

❿ ネットワーク番号を入力して、［次へ］をクリックする。

> ✔チェック
>
> 存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。

⓫ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

⓬ **ネットワーク番号と MAC アドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

手順⓱に進んでください。

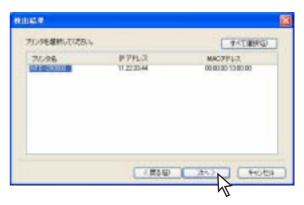
⓭ **プリンターの検索方法を選び、［次へ］をクリックする。**

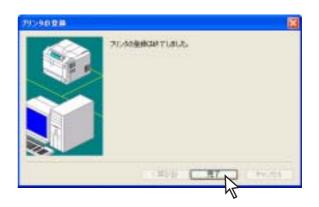
「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順⓮に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⓰に進んでください。

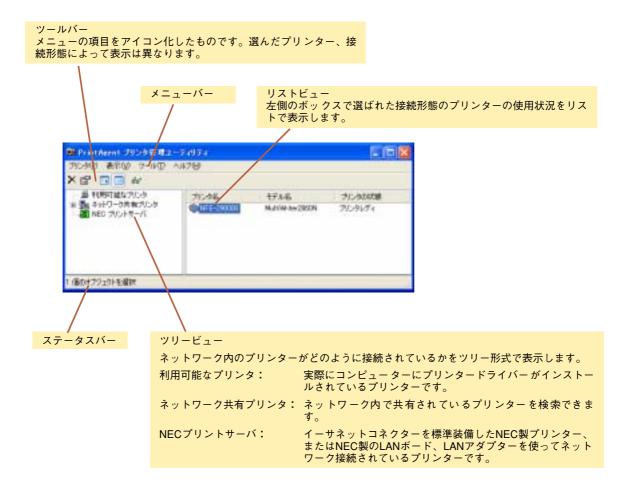
⓮ **ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

⓯ **登録したいプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

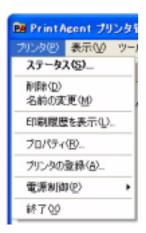
手順⓱に進んでください。

⓰ **IPアドレスとMACアドレスを入力して、［次へ］をクリックする。**

⓱ **［完了］をクリックする。**

以上でプリンターの登録は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

［プリンタ］メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。

■　**ステータス**

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの［ステータス］ボタンをクリックしても表示することができます。

■　**削除**

選択したプリンターを削除します。ツールバーの［削除］ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

■　**名前の変更**

選択したプリンターの［プリンタ名］ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは［LANボード］シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は［LANボード］シートのプリンター名には影響しません。

■　**印刷履歴を表示**

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

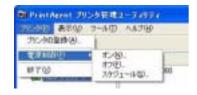
■　**プロパティ**

選択したプリンターの設定（LANボードまたはLANアダプター接続時は、これらの設定）を変更することができます。プロパティの内容については「［プロパティ］ダイアログボックス」をご覧ください。

■　**プリンタの登録**

プリンターを登録するための［プリンタの登録］ウィザードが起動します。

■　電源制御

リモート電源制御機能を持つLANアダプター（型番 PR-NP-03TR2）を使って接続されたプリンターの電源をON/OFFできます。ON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。NECプリントサーバーのリストビューにリモート電源制御機能をもつプリンターを登録し、次のサブメニューを実行します。

- オン（またはオフ）
  ［電源制御］のサブメニュー［オン］または［オフ］をクリックすると、それぞれ電源制御可能なプリンターを選ぶダイアログボックスが表示されます。プリンターを選択し、［OK］をクリックすることで［リモート電源制御］シートの設定に従ってON/OFFします。

リモート電源オン

リモート電源オフ

- スケジュール
  ［電源制御］のサブメニュー［スケジュール］をクリックすると、スケジュール可能なプリンターをON/OFFするためのタスク名の一覧が表示されます。

  この一覧では、電源ON、電源OFFのペアで20台までスケジュール管理ができます。また、スケジュールの設定状況は、各タスク名ごとに4つまでその概要を一覧に表示します。

  各タスク名の上で右クリックすると、以下の画面のようなサブメニューが表示されます。ここでプリンターをON/OFFするスケジュールを設定します。プリンターのON/OFFは［リモート電源制御］シートの設定に従います。

＜スケジュールの設定＞

［電源制御］のサブメニュー［スケジュールの設定］を選ぶと、プリンターの電源をON/OFFする日時の設定を行うダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジュール機能を使用しています。設定の詳細については、このダイアログボックスのポップアップヘルプも参照してください。

［電源制御］のサブメニュー［スケジュールのクリア］を選ぶと、選択したタスク名に設定した複数のスケジュールをすべて削除します。

重要

スケジュール機能使用上のご注意

- ［スケジュールの設定］で表示されているダイアログボックスは、Windowsのタスクスケジューラーを使用しています。タスクスケジューラーの一時停止をしている場合は、タスクスケジュラーの続行を行ってください。［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または、［Scheduled Tasks］あるいは［エクスプローラ］－［コントロールパネル］－［タスク］の［詳細設定］から設定できます。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- NECプリントサーバのリストビューに表示されている［プリンタ名］を変更した場合、すでに設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。

  ［スケジュールのクリア］でスケジュールを削除し、新たに表示されているタスク名にスケジュールを設定し直してください。
- プリンターのIPアドレスを変更した場合、すでに設定しているスケジュールは、変更前の状態のままになっています。次の手順に従ってIPアドレスを修正してください。

  ①［スケジュールの設定］から［タスク］を開く。

  ②［実行するファイル名］ボックスに表示されているIPアドレスの「IP/:」以降を修正する。

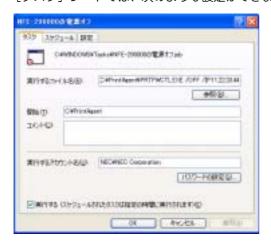
  （例）

  IPアドレス「111.222.123.123」を「100.200.123.123」に変更する場合

  「/IP:111.222.123.123」を「/IP:100.200.123.123」と修正します。
- NECプリントサーバに登録したプリンターを削除しても、このプリンターに対するスケジュールは削除されません。
- プリンタ管理ユーティリティをアンインストールすると、電源制御に必要なファイルもアンインストールされてしまい、設定時刻になってもプリンターのオン・オフができなくなります。

  ［コントロールパネル］または、［マイコンピュータ］－［タスク］または、［Scheduled Tasks］あるいは、［エクスプローラ］－［コントロールパネル］－［タスク］からタスク名を表示し、タスク名を右クリックして削除してください。Windows XPでは、［コントロールパネル］で［クラシックに切り替える］を行うと表示されます。
- ［電源制御］はTCP/IPプロトコルを使用していますので、ご使用のコンピューターにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることを確認してください。

－［タスク］シート

［タスク］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
実行するファイル名	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイル名です。
開始	プリンターの電源をON/OFFする実行ファイルへのパスです。変更しないでください。
実行する	［スケジュール］シートで設定した日時にON/OFFする実行ファイルを実行するためにチェックを付けてください。

－［スケジュール］シート

［スケジュール］シートでは、次のような設定ができます。

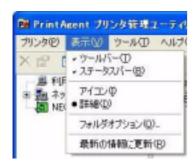
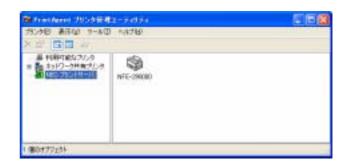
項　目	説　明
新規	プリンターをON（またはOFF）する日時の設定を行います。［タスクのスケジュール］で日単位、週単位などの選択ができます。 ［新規］をクリックするごとに、複数の日時の設定を行うことができます。 複数の設定を行った場合、［スケジュール制御］の一覧には、最初の4つの設定の概要が表示されます。
削除	［新規］で設定したスケジュールを1つずつ削除します。
詳細設定	［詳細設定］をクリックすると、次の設定項目が表示されます。 • 開始日 プリンターのON/OFFを開始する日付を設定します。 • 終了日 プリンターのON/OFFを終了する日付を設定します。 • タスクを繰り返し実行 チェックを外してください。
複数のスケジュールを表示する	チェックを付けてください。

－［設定］シート

［設定］シートでは、次のような設定ができます。

項　目	説　明
タスク完了時	［今後実行する予定のないタスクは削除する］をチェックしてください。
アイドル時	チェックを外してください。
電源の管理	チェックを外してください。

［表示］メニュー

［表示］メニューでは、次のような機能が実行できます。

- ツールバー
  ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
  ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
  右のようなプリンターの一覧をアイコンで表示します。

- 詳細
  右のようなプリンターの一覧を表示します。

- フォルダオプション
  NECプリントサーバの設定を行います。［NECプリントサーバのオプション］ダイアログボックスを表示します。
  ー［タイマー］シート

項　目	説　明
プリンタステータス更新周期	登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒刻みで設定できます。初期値は30秒です。
プリンタ応答待ち時間	プリンターとの通信時、本ユーティリティーがプリンターからの応答を待つ時間を設定します。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長く設定してください。初期値は1秒です。

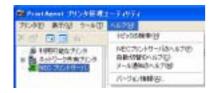
  ー［表示］シート
  詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。［プリンタ名］と［プリンタの状態］は、はじめから表示されています。
  デフォルトでは、［LANポート］シートのプリンター名と同じ名前が［モデル名］の欄に表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、［LANポート］シートのプリンター名には影響しません。

項　目	説　明
モデル名	LANボードのモデル名を表示します。
MACアドレス	LANボードの固有のネットワークアドレスを示します。
IPアドレス	LANボードのIPアドレスを表示します。
ネットワーク番号	NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。
FWバージョン	LANボード内のLAN関連ファームウエアのバージョンを表示します。
シリアル番号	プリンターのシリアル番号を表示します。

- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。

［ツール］メニュー

［ツール］メニューでは、［パスワードの変更］が選択できます。
［パスワードの変更］は、本PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

［ヘルプ］メニュー

［ヘルプ］メニューでは、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについてのヘルプを参照することができます。

ポップアップメニュー

リストビュー内の任意の場所で右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。

- 表示
  リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。［表示］メニューの［アイコン］、［詳細］と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
  登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。［表示］メニューの［最新の情報に更新］と同じ機能です。
- プリンタの登録
  プリンターを登録します。［プリンタの登録］ウィザードが起動します。［プリンタ］メニューの［プリンタの登録］と同じ機能です。
- 電源制御
  ［プリンタ］メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。

［プロパティ］ダイアログボックス

LANポートの設定は、左のような［プロパティ］ダイアログボックスで行います。

チェック

表示される内容は、LANボードによって異なります。また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

ダイアログボックスの開き方

［プロパティ］ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- ［プリンタ］メニューを使う方法
  ［プリンタ］アイコンを選択してから、［プリンタ］メニューの［プロパティ］を選択します。

- ［プリンタ］アイコンを右クリックする方法
  ［プリンタ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

- ［ツール］ボタンをクリックする方法
  ツールバーのアイコンをクリックします。

［LANポート］シート

LANポートの固有情報を表示設定します。

以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
  プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- ハードウエアタイプ
  プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- FWバージョン
  LANボードのファームウエアバージョンです。

以下の固有情報を設定できます。

- プリンタ名
  ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
  プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

プリンターによっては変更ができない機能があります。

［TCP/IP］シート

TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。

- DHCPサーバから取得する
  LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバーから取得して設定します。
- UNIXコマンド（ARP, PING）で設定する
  LANボードのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
  LANボードのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

重要

［DHCPサーバから取得する］を選択した場合は、DHCPサーバーへLANボードに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバーによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを選んで登録し直してください。

［マニュアルで設定する］を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、［UNIXコマンドで設定する］を選んでください。

［TCP/IP詳細］シート

TCP/IP詳細パラメーターを設定します。以下の機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- デフォルトゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを示します。
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
  - タイムアウト時間
    タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。
  - キープアライブパケットを送信する
    通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するか、しないかを設定します。キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。
- FTPタイムアウト
  FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

［SNMP］シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないLANボードでは、このシートは表示されません。

- 認証するコミュニティ名
  ホストコンピューターからのSNMP通信の中で、LANボードが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trap通知先
  Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。
  - IPアドレス
    LANボードがホストコンピューターにTrapを通知する時のホスト コンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    LANボードがホストコンピューターにTrapを通知する時のホストコンピューターのコミュニティ名を設定します。

チェック

Trap通知先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

［TCP/IP詳細］シートの［デフォルトゲートウェイ］ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

［リモート電源制御］シート

リモート電源制御に関する設定を行います。プリンターの電源のオン、オフ要求は［プリンタ］メニューの［電源制御］から行います。リモート電源制御機能を持つLANアダプターでのみ、このシートは表示されます。

- リモート電源制御を有効にする
  プリンターの電源へのオン、オフ要求を有効にします。
  オフ要求から［待ち時間］で設定した時間後、プリンターの電源をオフにします。［待ち時間］を「0」に設定した場合は、直ちにオフにします。ただし、プリンターによっては、電源をオフできる状態（印刷中ではないなどの、待機状態）になってからオフする場合があります。
- エラー発生時はリモート電源オフを行わない
  プリンターでエラー発生時は、電源のオフを行いません。
- オン要求後、自動で電源をオフにする
  電源のオンを要求した後、［待ち時間］に設定された時間が経過すると、プリンターの電源をオフにします。

電源制御機能の詳細については、LANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）の取扱説明書も参照してください。

［印刷履歴］シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないLANボードではこのシートは表示されません。

- 印刷履歴を作成する
  チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンターに出力する
  チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

印刷履歴はLANボードの電源切断時、またはリセット時（LANボード、またはLANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時）にすべてクリアされ、内部に保持されません。

IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。設定を［記録］から［記録しない］に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

［通信設定］シート

通信に関する設定を行います。LANボードがイーサネットで接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

■　イーサネットで接続されている場合

通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないLANボードでは、このシートは表示されません。

- 自動設定
  10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。
- マニュアルで設定する
  以下の項目をマニュアルで設定できます。
  - 通信速度
    100BASE-TX：100BASE-TX固定の接続設定になります。
    10BASE-T：　10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 通信方式
    全二重（Full Duplex）：パケットの送受信を同時に行うことができます。
    半二重（Half Duplex）：パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

■　無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。

- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから選択します。
  - ピア・ツー・ピアグループ（あるいはアドホック）
    無線LANカードを取り付けたコンピューターと無線LANプリンターを直接、無線接続します。プリンターのLANボードの設定によって、「ピア・ツー・ピア グループ」または「アドホック」の表示が異なります。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANボード（型番：PR-WLX-13）のセットアップガイドを参照してください。

［アドホック］は、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

  - レジデンシャル・ゲートウェイ
    NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
  - アクセスポイント
    無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007）、無線LANアクセスポイントEX（PK-WL010）、または無線LAN AP-S100-B（PK-WL014-B）と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期値のままご使用ください。

項　目	説　明
RTS/CTS媒体予約	チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。 • 使用しない：CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。 • 使用する：　送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANボードが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。
干渉に関する強化	ネットワーク内で使用している電子レンジなどとの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
アクセスポイント間の距離	無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。 無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

- データ保護
  チェックすると、WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。
  - キー 1から4の暗号キーは、無線LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
  - キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANボードが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

［暗号キー］は、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANボードにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。
使用できる文字は、［英数字を使用］を選択時は、半角英数字と文字記号（「＊」アスタリスクを除く）です。［16進数を使用］を選択時は、「0～9」、「A～F」です。
暗号キーの文字数は、5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数でのみ設定することができます。

［情報］シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報が取得できないときはこのシートは表示されません。

- モデル名
  プリンターのモデル名です。
- プリンタの構成
  プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンタ言語
  プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

［NetWare］シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。［カテゴリ］の設定によってシートの表示が切り替わります。

NetWareプロトコルを持たないLANボードではこのシートは表示されません。

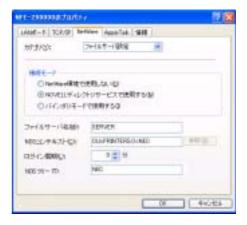
■ 一般設定

［一般設定］を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

- ネットワーク番号
  NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
  LANボードのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
  NetWareで使用するプリントサーバー名を設定します。

■ ファイルサーバ設定

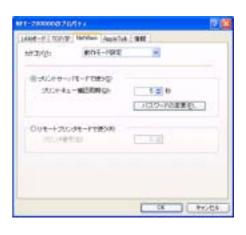
［ファイルサーバ設定］を選択すると、以下のような設定ができます。

- 接続モード
  NetWareサーバーへの接続モードを指定します。
  - NetWare環境で使用しない
    NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
  - NOVELLディレクトリサービスで使用する
    NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するときに使用します。
  - バインダリモードで使用する
    NetWare 3.1以降で使用できるモードです。

- ファイルサーバ名
  プリントサーバーが定義されているファイルサーバー名を指定します。
- NDSコンテキスト
  NDSモードで接続するときプリントサーバーが定義されているコンテキストを入力します。
- ［参照］
  NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウエアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。

- コンテキスト
  現在選択されているコンテキストを表示します。
- コンテキスト選択
  ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
- ログイン周期
  ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
- NDSツリー
  NDSツリー名を設定します。NDSコンテキストを［参照］で設定した場合、参照したツリーの名前が［NDSツリー］に設定されます。

■　動作モード設定

NetWareプリントサービスのモードを指定します。

- プリントサーバモードで使う
  プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、［パスワードの変更］をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。
- リモートプリンタモードで使う
  リモートプリンターの番号を選択できます。

［メール通知］シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。

- トナー残少をメールで通知する
  この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

> ✔チェック
>
> 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。
- To：
  メールの送信先アドレスを設定します。

> ✔チェック
>
> メールのSubjectは以下で固定です。
> Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc：
  メールの配付先アドレスを設定します。
- From：
  メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@（アットマーク)」付きの形式で入力してください。
- 本文
  メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「；(セミコロン)」を除いたものです。

無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANボードを簡単に設定することができます。ここではWindows XP上での手順を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

重要

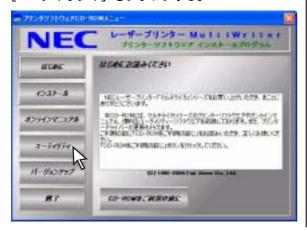
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を［コンピュータの管理者］のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000または、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 使用するモニターには800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上を推奨します。

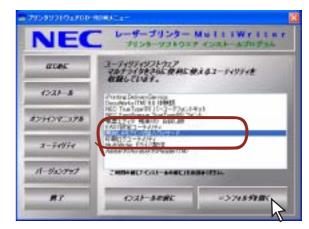
❶ **Windows XPを起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❸ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❹ **［無線LANプリンタ導入ウィザード］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

プリンターソフトウエアCD-ROM内の［Wireless］フォルダーが開きます。

❺ **［SetupWiz.EXE］アイコンをダブルクリックする。**

［無線LANプリンタ導入ウィザード］が起動します。

❻ **［次へ］をクリックする。**

［設定方法の選択］が表示されます。

設定方法の選択

- 初期設定 ....プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANボード／アダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 ....コンピューターとプリンター間の通信が可能な状態から無線LANボード／アダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 ....設定後の通信確認のために、現在のコンピューター設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

WWWブラウザー

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザーで実行する方法について説明します。

重要

- LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。
- Windows XP Service Pack 2で動作しているコンピューターでの利用については、「http://121ware.com」で情報を提供しています。詳しくは同ホームページをご覧ください。

WWWブラウザーの起動

LANインターフェースに設定されたIPアドレスをWWWブラウザーのURL入力欄に入力することでLANインターフェースのページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANインターフェースのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://11.22.33.44/
```

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

LANインターフェースとの接続に成功すると右のような画面が開きます。

WWWブラウザーでは以下の情報を設定または参照することができます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面

LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザーを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザーをご使用ください。

ここでは、MultiWriter 2860Nを例に説明します。

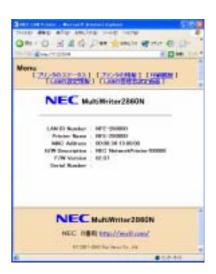
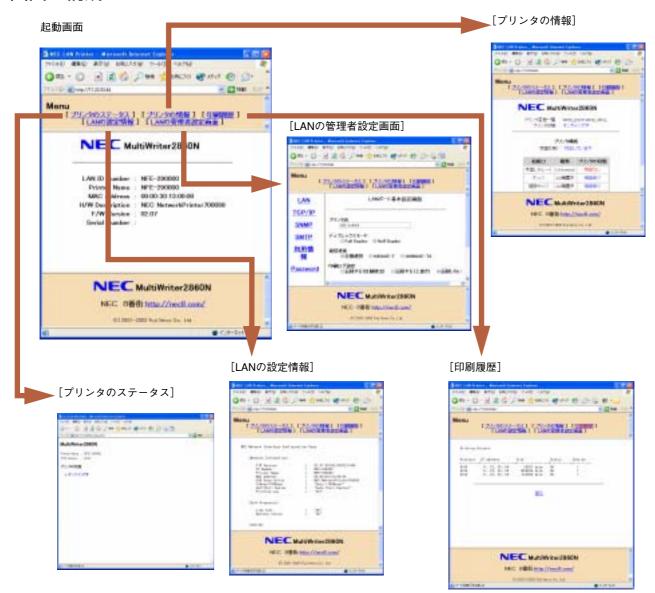
画面の構成

起動画面

［プリンタの情報］

［LANの管理者設定画面］

［LANの設定情報］

［印刷履歴］

［プリンタのステータス］

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

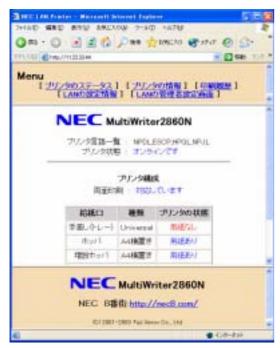
［プリンタのステータス］画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザーとして起動されます。

チェック

- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名は［LANの管理者設定］画面で変更することができます。

- Printer Name
  LANボードに登録されたプリンター名を示します。
- F/W Version
  LANボードのファームウェアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
  15秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

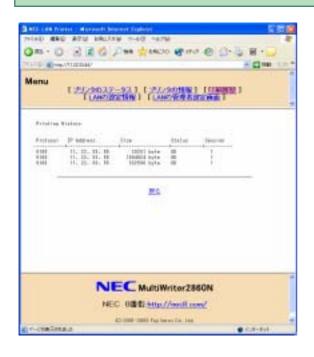
［プリンタの情報］画面では、プリンターの状態、構成情報が表示されます。

- プリンタ言語一覧
  プリンターがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  プリンターの情報画面を開いたときのプリンターの状態が表示されます。

> ✔チェック
>
> ステータスはWWWブラウザーの表示を更新するまで変わりません。

- プリンタ構成
  プリンターの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

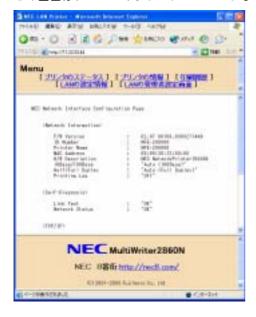
印刷履歴

［印刷履歴］画面では、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

> ✔チェック
>
> - プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では［記録しない］になっています。
> - 印刷履歴を記録するための設定変更は、［LANの管理者設定画面］で行います。

- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address：　ホストコンピューターのアドレスです。
- Size ：　プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Satus：　通信結果を示します。
- Session：　プリンターが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

［LANの設定情報］画面では、LANボードに設定されている登録情報一覧を参照することができます。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。

LANの管理者設定画面

［LANの管理者設定画面］では、LANボードの設定確認、設定変更を行うことができます。

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、LAN ボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化については、「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）を参照してください。

設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後、表示されたページの一番下にある［設定］をクリックして登録してください。

設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
  ［LANポート基本設定画面］が表示され、LANボード固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
  ［TCP/IP設定画面］が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
  ［SNMP設定画面］が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
  ［SMTP設定画面］が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
  ［利用情報 設定画面］が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
  ［Password設定画面］が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

［LANポート基本設定画面］では、LANボードのプリンター名や通信速度などの基本的な設定を行います。

- プリンタ名
  LANボード固有の名前を登録することができます。
  登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
  スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
  - Full Duplex（全二重通信）
    パケットの送受信を同時に行うことができます。
  - Half Duplex（半二重通信）
    パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
  LANボードの通信速度の設定を行います。
  - 自動選択
    10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
  - 10BASE-T
    10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 100BASE-TX
    100BASE-TX固定の接続設定になります。

チェック

10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- 印刷ログ設定
  LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
  - 記録する（自動排出）
    印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
    最大登録ジョブ数：50
  - 記録する（上書き）
    印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。
  - 記録しない
    印刷履歴は記録されません。

チェック

- 印刷履歴はLANボードの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を［記録する］から［記録しない］に変更した場合、LANボードが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

- Password
  パスワードを入力します。

無線LANボード（PR-WLX-13）を取り付けている場合は、以下が表示されます。

- プリンタ名
  LANインターフェース固有の名前を登録することができます。
- ネットワーク名
  接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名（ESS-ID）と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
  以下のネットワークタイプから設定します。
  - ピア・ツー・ピア グループ（あるいはアドホック）
  - レジデンシャル・ゲートウェイ
  - アクセスポイント

  詳しくは、無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
- アクセスポイント間の距離
  無線LANボードのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるとローミングしやすくなります。
- RTS/CTS媒体予約
  この項目をチェックすると、RTS/CTS媒体予約を使用します。

- 干渉に関する強化
  ネットワーク内で使用している電子レンジなどの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
- 暗号化
  WEP（Wired Equivalent Privacy）データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。最大4つまで設定できる暗号キーは、LANプリンターが受信する無線メッセージを復号するために使用されます。詳しくは無線LANボードに添付のセットアップガイドをご覧ください。
- 印刷ログ設定
  LANボード経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
- Password
  パスワードを入力します。

無線LAN設定については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「■ 無線で接続されている場合」（115ページ）を併せてご覧ください。

TCP/IP設定画面

［TCP/IP設定画面］では、TCP/IPに関する設定を行います。

- DHCP
  LANインターフェースのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。［使用する］選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPの設定」（192ページ）を参照してください。
- IPアドレス
  LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

> **重要**
>
> 工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。
>
> - ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
> - 接続時はプロキシーサーバーを使用しない設定にしてください。
> - プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。
> - 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザーを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
  LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。

- ゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを設定します。

  チェック
  - ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
  - 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
  FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：5～60（分）
  初期値　：10（分）

- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。
  この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。

  設定範囲　：1～64
  初期値　：64

- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。

  設定範囲　：30～7200（秒）
  初期値　：120（秒）

- AutoIp設定（PING）
  UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
  ［設定する］選択時にPINGによる設定変更が可能です。

  チェック
  IPアドレス設定後は、AutoIp設定を「設定しない」にしてください。

- KeepAlive
  ［通信タイムアウト］で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
  キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
  ［使用する］選択時にキープアライブパケットが送信されます。

- アクセス制限
  IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。詳しくは「アクセス制限」を参照してください。

- アクセス制限1
  アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。

  － 有効／無効設定
  　アクセス制限1のパラメーターの有効／無効を設定する。
  － アクセス許可／拒否設定
  　アクセス制限1のIPアドレス／ネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定する。
  － アクセス制限を行うIPアドレス
  　アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。
  　設定範囲　：各オクテットは0～255
  　初期値　：0.0.0.0
  － アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク
  　アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。
  　設定範囲　：各オクテットは0～255
  　初期値　：0.0.0.0

- アクセス制限2～5
  各パラメーター、入力条件はアクセス制限１と同じです。

- Password
  パスワードを入力します。

SNMP設定画面

- 認証されたコミュニティ名
  Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
  コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
  Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
  それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
  ［使用する］選択時に有効となります。
  - IPアドレス
    Trap送信するホストコンピューターのIPアドレスを設定します。
  - コミュニティ名
    ホストコンピューターがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

チェック

Trap送信先ホストコンピューターのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の［ゲートウェイアドレス］欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

［SMTP設定画面］では、プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。［する］を選択している場合に、有効となります。

チェック

- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
メールサーバーのIPアドレスを設定します。

チェック

メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定画面の［ゲートウェイアドレス］ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

チェック

メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

チェック

From：送信元アドレスを入力する場合
「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字（80バイト）、計240文字の入力可能です。

チェック

本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～007Eh（16進）の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。

- "（0022h）
- &（0026h）
- ;（003Bh）
- <（003Ch）
- >（003Eh）

- Password
パスワードを入力します。

利用情報 設定画面

- 利用情報記録
  利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。

- 利用情報サーバーのIPアドレス
  FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
  初期値　：0.0.0.0
  初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されます。

- ログインユーザー名
  初期値：　anonymous
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効

- ログインパスワード
  初期値：　PRN@domain-name
  使用できる文字：　文字コード（0x20-0x7F）、32文字まで有効

- サーバーのポート番号
  初期値：　21
  設定範囲：　0〜65535

- 利用情報ファイル名
  初期値：　prXXXXXX.csv（LANボードの場合）
  wlXXXXXX.csv（無線LANボードの場合）
  使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット（0x2e）「.」、64文字まで有効。
  ファイル名は、ディレクトリー指定（'/'）ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。

- Password
  パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。

画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザーからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。Telnetによるパスワード設定に関しては次ページの「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(209ページ)を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定をTelnetで変更する方法について説明します。Telnetで接続（ログイン）すると以下の情報を設定または参照することができます。

重要

LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANボードの種類によって異なります。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- アクセス制限
- SNMP
- パスワード
- LANボード管理情報

チェック

- Telnetでログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」（140ページ）を参照してください。
- Telnetでログインできるユーザーは1人です。2人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet起動画面

Telnetを使用して設定を変更することができます。

❶ ログインを希望するLANボードのIPアドレスを指定して、「Enter」キーを押す。

```
Telnet ddd.ddd.ddd.ddd
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANボードのIPアドレスです。

（実行例）

```
Telnet 11.22.33.44
```

チェック

LANボードのIPアドレスがホストコンピューターと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピューターのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。

設定に関しては、ホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

❷ パスワードを入力する。

```
Connected to:11.22.33.44

Password:
```

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」（140ページ）を参照してください。
- パスワード入力を間違うと、Telnetからログアウトされます。
- 出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

```
Main Menu
---------
1.IP Address
2.Subnet Mask
3.Gateway Address
4.Access Limitation setting
---------
5.SNMP setting
---------
6.Password
7.Management
---------
S.Save (Disconnect and Save parameters)
Q.Quit
Type Any No.>
```

❸ **各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を［Type Any No.>］の後に入力する。**

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnetをログアウトします。

❹ **［Type Any No.>］の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。**

「S」入力：設定変更した内容を　LAN　ボードに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：設定変更した内容を LAN ボードに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。

✔チェック

- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はLANボードのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANボードのIPアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current IP Address: 11.22.33.44

DHCP: OFF
1.Change IP Address
2.DHCP On/Off
3.Exit

Type Any No.>
```

❷ **直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

DHCPの詳細については「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」（192ページ）を参照してください。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

サブネットマスク

LANボードのサブネットマスクを設定します。

❶ **メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Subnet Mask: 255.0.0.0

1.Change
2.Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するサブネットマスクを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

❶ **メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
Current Gateway Address: 0.0.0.0

1.Change
2.Exit

Type Any No.>
```

❷ **「1」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❸ **変更するゲートウェイアドレスを入力する。**

❹ **設定内容を保存してログアウトする。**

> チェック
>
> ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能、およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
> 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

アクセス制限

アクセス制限を設定します。IPアドレスによるアクセス制限には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってアクセス制限を設定してください。詳しくは、「アクセス制限」(205ページ）を参照してください。

> チェック
>
> アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

アクセス制限のOn／Off

- IP アドレスによるアクセス制限機能の On/Off 設定を行えます。

コミュニティ名の設定

- アクセス制限1～5の各項目の設定を行えます。項目は以下の4項目で構成されます。
  - 有効／無効設定
  - アクセス許可／拒否設定
  - アクセス制限を行うIPアドレス
  - アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク

❶ **メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。**

次のように表示されます。

```
Access Limitation Setting
Current Access Limitaion: Off

1.Access Limitation On/Off
2.1st Level Access Limitation
3.2nd Level Access Limitation
4.3rd Level Access Limitation
5.4th Level Access Limitation
6.5th Level Access Limitation
7.Exit

Type Any No.>
```

❷ **アクセス制限On／Offの設定の場合は「1」を、アクセス制限1～5の設定の場合は「2」～「6」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定については、この手順説明の後に項目別で説明しています。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

アクセス制限On／Off

[1. Access Limitation On/Off] を選択した場合は、以下のように表示されます。（上段に現在の設定が表示されます。）

```
Current Access Limitaion: Off

1.On
2.Off

Type Any No.>
```

アクセス制限を使用する(Onにする)場合、「1」を入力し、「Enter」キーを押す。アクセス制限を使用しない(Offにする)場合は、「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

アクセス制限のメニュー画面に戻ります。

アクセス制限の設定

[2. 1st Level Access Limitation] を選択した場合は、以下のように表示されます。(上段に現在の設定が表示されます。)

```
1st Level Access Limitation

Access Limitation: Invalid
Access: Accept
Current IP Address:
XXX.XXX.XXX.XXX
Current Net Mask:
XXX.XXX.XXX.XXX
1.Access Limitation Valid/
Invalid
2.Access Accept/Reject
3.Change IP Address
4.Change Net Mask
5.Exit

Type Any No.>
```

アクセス制限2～5の各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。ここでは、アクセス制限1の設定を説明します。

❶ **アクセス制限 1 を有効にする場合、[1. Access Limitation Valid/Invalid] の設定を [Valid] にする。**

❷ **アクセス制限 1 の IP アドレス/ネットマスクにマッチしたパケットを [Accept] (許可)または [Reject] (拒否)のいずれで扱うか設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、Accept/Rejectを選択してください。

❸ **アクセス制限を行うIPアドレスを設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❹ **アクセス制限を行う IP アドレスのネットマスクを設定する。**

「4」、「Enter」キーを押して、ネットマスクを入力してください。

❺ **すべての設定が完了したら、「5」、「Enter」キーを押して、アクセス制限のメニュー画面に戻る。**

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
  SNMP Trapマネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
  GetRequest、SetRequestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大5つまで異なる名称を登録できます。

❶ **メインメニューで「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

以下のように表示されます。

```
SNMP Setting

1.1st SNMP Trap Manager
2.2nd SNMP Trap Manager
3.3rd SNMP Trap Manager
4.4th SNMP Trap Manager
5.Authentic Community
6.Exit

Type Any No.>
```

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

❷ **SNMP Trapの設定の場合は、「1」～「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。**

設定については、この手順説明の後に項目別で説明しています。

❸ **設定内容を保存してログアウトする。**

SNMP Trap

[1. 1st SNMP Trap Manager] ～ [4. 4th SNMP Trap Manager]を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
1. 1st SNMP Trap Manager

Trap: Off
Current IP Address: 0.0.0.0
Current Community Name: public

1.Trap On/Off
2.Change IP Address
3.Change Community Name
4.Exit

Type Any No.>
```

上段に現在の設定が表示されます。

❶ **SNMP Trapを使用する場合、[1. Trap On/Off] の設定を [On] にする。**

❷ **Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。**

「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。

❸ **Trap送信のコミュニティ名を設定する。**

「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。

> チェック
>
> Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANボードのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community] を選択した場合は、以下のように表示されます。

```
Authentic Community

1.Authentic Community1: public
2.Authentic Community2: public
3.Authentic Community3: public
4.Authentic Community4: fxSystemMgr
5.Exit

Type Any No.>
```

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されます。
変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

> チェック
>
> - パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン 「-」、およびアンダーバー「_」です。
> - 英語の大文字と小文字は区別されます。
> - Telnet のパスワードを変更すると、WWW ブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWW ブラウザーからの設定に関しては、「WWWブラウザー」（123ページ）を参照してください。

❶ **メインメニューで［Type Any No.>］の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押す。**

❷ **パスワードを入力する。**

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。

> チェック
>
> - 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
> - パスワードを忘れた場合は、LAN ボードの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANボードの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANボードが管理する次の情報を参照または変更することができます。

- LANボード設定情報一覧
  テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
  LANボード経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は［記録しない］に設定されています。
- 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザー（「WWWブラウザー」（123ページ）参照）または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（95ページ）参照）から行います。

- 画面表示ライン数の変更
  LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで［Type Any No.>］の後に「7」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Manager Menu

1.Display Cofiguration Data
2.Display Printing Log Data
3.Change Display Line Number
4.Web Management
5.ARP
6.Exit

Type Any No.>
```

LANボード設定情報一覧

［1. Display Configuration Data］を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。
表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）を参照してください。

WWWブラウザーへの応答設定

［4. Web Management］を選択し、設定を［Access Enable］にするとWWWブラウザーからのLANボードの設定、閲覧を許可します。
設定を［Access Disable］にすると、WWWブラウザーへの応答はなくなり、WWWブラウザーからの設定、閲覧は行えません。

ARPテーブル更新設定

［1. Request］を選択し、設定を［Current Request Setting : off］にすると、APRテーブル更新方法が変わります。

通常は、［on］でご使用ください。

［2. Life TIme］により、 APRキャッシュ時間を変更することができます。［1～1200sec］

通常は、デフォルトの［120］でご使用ください。

印刷履歴の確認

［2. Display Printing Log Data］を選択すると、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

```
There is no log data.
```

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

```
NEC Printing History
Protocol Source Host    Size[byte] Result    Jobs
--------+--------------+----------+--------+-------
9100     123.123.123.1  12         OK        1
ftp      123.123.123.2  123        Timeout   1
lpr      123.123.123.3  1234       OK        1
fttp     123.123.123.4  12345      Error     1
```

- Protocol：印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host：ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]：プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result：通信結果を示します。
- Jobs：印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

チェック

- 印刷履歴はLANプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

［3. Change Display Line Number］を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は［20］です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANボードの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）参照）。
  LANボードの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

❶ **プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。**

❷ **コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。**

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

（実行例）

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

❸ **pingコマンドを実行する。**

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32
```

❹ **arpコマンドを実行する。**

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address  Physical Address   Type
11.22.33.44       00-00-4C-29-00-00  dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

❺ **IPアドレスをコンピューターへ登録する。**

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンターに設定するIPアドレス＞＜設定するプリンターのMACアドレス＞
```

（実行例）

```
>arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

❻ **pingコマンドを実行する。**

```
>ping ＜プリンターに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）参照）。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順❸から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル（IPP）やLPRプロトコルに対応していません。IPPやLPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、「9章　故障かな？と思ったら」（377ページ）を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル（IPP）を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章の「ネットワークで思うように印刷できないときは」（403ページ）を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

Windows XPまたはWindows Server 2003からプリントサーバーを使用せず､ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。印刷するためには、以下の4つの方法があります。

プリンターにIPアドレスを設定してから各ソフトウエアをインストールしてください。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol)................. Windows XPおよびWindows Server 2003に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR)......................... Windows XPおよびWindows Server 2003に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR)..................... Windows XPおよびWindows Server 2003に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります「ユーティリティーによるネットワークの設定」（92ページ）、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタとFAX］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。**

❻ **［OK］をクリックする。**

❼ **［閉じる］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✔チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows XPおよびWindows Server 2003の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

重要

IPP（Internet Printing Protocol）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

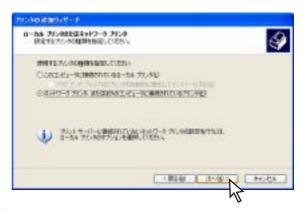
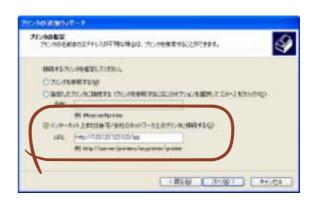
❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ **［プリンタと FAX］フォルダーの［プリンタのインストール］をクリックする。**

❹ **［次へ］をクリックする。**

❺ **［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックする。**

❻ **［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合

http://123.123.123.123/ipp

❼ ［次へ］をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

❽ ［ディスク使用］をクリックする。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

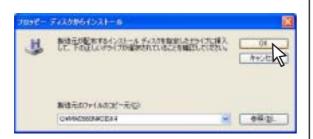
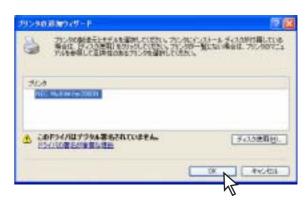
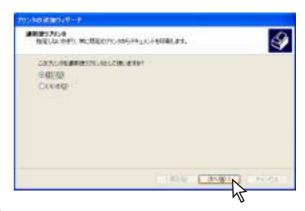
⓫ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓬ ［完了］をクリックする。

チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは､弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **[プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **[ポート] タブをクリックする。**

❸ **[双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。**

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

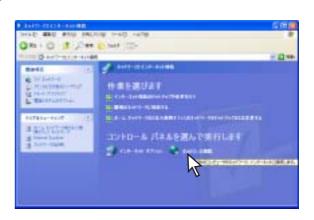
UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、次ページの「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPまたはWindows Server 2003のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

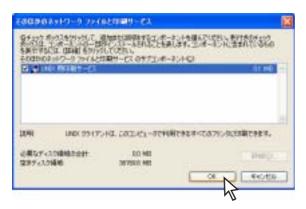
❶ **OSのCD-ROMをセットする。**

❷ **コントロールパネルの [ネットワークとインターネット接続] をクリックする。**

❸ **[ネットワーク接続] をクリックする。**

❹ ［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。

❺ ［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。

❻ ［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。

［オプション ネットワーク コンポーネントウィザード］ダイアログボックスに戻ります。

❼ ［次へ］をクリックする。

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

❷ ［終了］をクリックする。

プリンターソフトウエアを終了します。

❸ ［プリンタとFAX］フォルダーを開く。

❹ ［プリンタのインストール］をクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［このコンピュータに接続されているローカル　プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。

❼ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ **［LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。**

❿ **［ディスク使用］をクリックする。**

⓫ **［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。**

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

⓬ **使用するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。**

［次へ］をクリックしたときに、すでにこのプリンタードライバーがインストールされている場合は、既存のプリンタードライバーと置き換えることを確認する画面が表示されます。置き換えることを選択してから次へ進んでください。

⓭ **プリンターの名前を確認して、［次へ］をクリックする。**

チェック

他のプリンタがインストールされている場合は、通常使うプリンタに設定するか、しないかを選択してください。

⓮ ［テストページ］を印刷するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓯ ［完了］をクリックする。

✔チェック

以下の［ハードウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタとFAX］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、「SNMPステータスを有効にする」チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ **プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ **［プリンタとFAX］フォルダーを開く。**

❹ **［プリンタのインストール］をクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ **［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。**

❼ **［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。**

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ ［プリンタ名または IPアドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⓫へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順⓬へ進んでください。

❿ ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

⓫ 内容を確認し、［完了］をクリックする。

⓬ ［ディスク使用］をクリックする。

⓭ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

⓮ 使用するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

［次へ］をクリックしたときに、すでにこのプリンタードライバーがインストールされている場合は、既存のプリンタードライバーと置き換えることを確認する画面が表示されます。置き換えることを選択してから次へ進んでください。

⓯ **プリンターの名前を確認して、[次へ] をクリックする。**

✔チェック

他のプリンタがインストールされている場合は、通常使うプリンタに設定するか、しないかを選択してください。

⓰ **[テストページ] を印刷するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。**

⓱ **[完了] をクリックする。**

✔チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **[プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **[ポート] タブをクリックする。**

❸ **[双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[閉じる] をクリックする。**

次に、次ページの「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

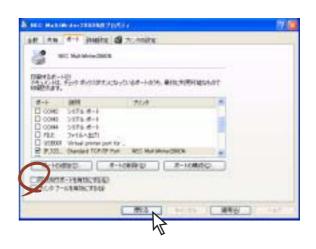
この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ **［プリンタとＦＡＸ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの構成］をクリックする。**

❹ **［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。**

❺ **［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［閉じる］をクリックする。**

以上で設定は完了です。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）... 添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）...................... Windows MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウエアを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（92ページ）、および各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。**

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［OK］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

1 IPPクライアントソフトウエアのインストール

IPPクライアントソフトウエアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ 「Windows Me」CD-ROMをセットする。

❷ ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする。

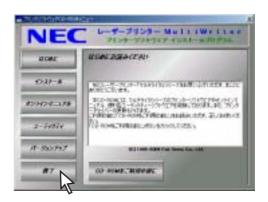
❸ 「Q:¥add-ons¥ipp¥wpnpins.exe」と入力し、［OK］をクリックする。

「Q」は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

重要

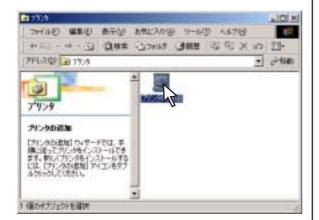
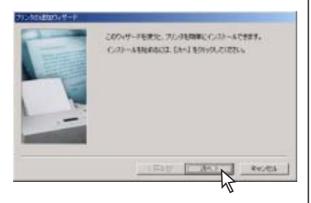
［¥add-ons¥ipp］フォルダーにある［ipp.txt］を必ずお読みください。

2 プリンタードライバーのインストール

プリンターをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷ ［終了］をクリックする。

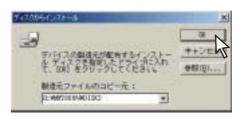
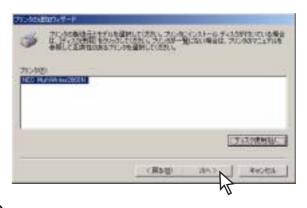
❸ ［プリンタ］フォルダーを開く。

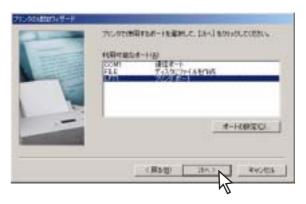
❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［次へ］をクリックする。

❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［製造元ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［製造元ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2860¥DISK2」と入力します。

❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿［LPT1:］を選び、［次へ］をクリックする。

次の「3 印刷先の変更」でIPPポートを作成するので、ここでは「LPT1:」を選びます。

⓫プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ **［キャンセル］をクリックする。**

3 印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［プリンタへのネットワーク パス］ボックスにプリンターのアドレスを入力する。**

> **重要**
>
> 入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

> IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
>
> http://123.123.123.123/ipp

❺ **［OK］をクリックする。**

この後、テストページを印刷する場合は、［MultiWriter2860Nのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

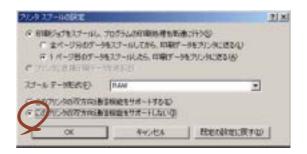
以上で設定は完了です。

次に双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［詳細］タブをクリックする。**

❸ **［スプールの設定］をクリックする。**

❹ **［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択する。**

❺ **［OK］をクリックする。**

これで、双方向通信が無効になりました。

Windows 98、Windows 95 日本語版

Windows 98/95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98/95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System（PrintAgent）...添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）................プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（92ページ）、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

NEC TCP/IP Printing System（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ ［詳細］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC TCP/IP Printing System］を選び、［OK］をクリックする。

❺［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻［OK］をクリックする。

❼［OK］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット）」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の最大は、127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows 98/95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。IPPの機能は、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❷ **［ユーティリティ］をクリックする。**

❸ **「NEC Internet Printing System for Windows 98/95］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。**

重要

［¥NECIPS¥WIN98］フォルダーにある［README.TXT］を必ずお読みください。

❹ **［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。**

❺ **［次へ］をクリックする。**

❻ **［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。**

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✔チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ **［登録］をクリックする。**

［登録ポート名のリスト］ボックスにポートが登録されます。

❽ **［次へ］をクリックする。**

❾ **［開始］をクリックする。**

❿ **［OK］をクリックする。**

✔チェック

再起動の要求があった場合はコンピューターの再起動を行なってください。

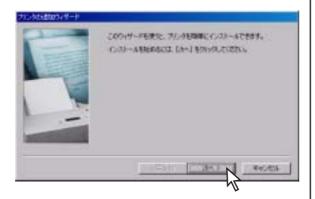
2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❷ **［終了］をクリックする。**

❸ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

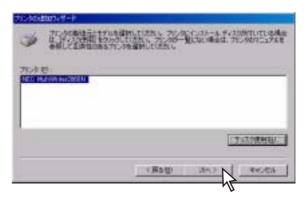
❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［次へ］をクリックする。

❻［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

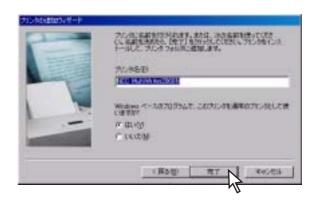
❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK2」と入力します。

❾使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

⓫プリンターの名前を確認して、［完了］をクリックする。

プリンタードライバーがインストールされます。

⓬ ［キャンセル］をクリックする。

この後、テストページを印刷する場合は、［MultiWriter2860Nのプロパティ］ダイアログボックスの［全般］シートで［印字テスト］をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

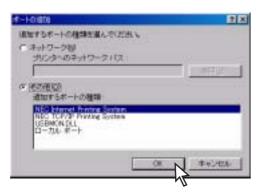
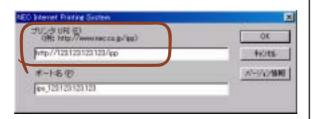
NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

❶ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ ［詳細］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［その他］、［追加するポートの種類］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［OK］をクリックする。

❺ ［プリンタURI］ボックスにプリンターのURIを入力する。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ ［OK］をクリックする。

［MultiWriter2860Nのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

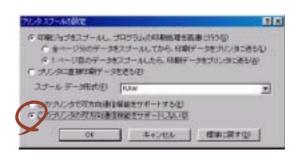
以上で設定は完了です。

次に双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［詳細］タブをクリックする。

❸ ［スプールの設定］をクリックする。

❹ ［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択する。

❺ ［OK］をクリックする。

これで、双方向通信が無効になりました。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）...........添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- IPP（Internet Printing Protocol）............Windows 2000に標準で実装されているソフトウエアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス（LPR）.....................Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）..................Windows 2000 に標準で実装されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（92ページ）または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［利用可能なポートの種類］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［閉じる］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP（Internet Printing Protocol）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

❶ プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

❷ ［終了］をクリックする。

❸ ［プリンタ］フォルダーの［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❹ ［次へ］をクリックする。

❺ ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］をクリックする。

❻ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択して、［URL］ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

❼

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

❼ ［次へ］をクリックする。

該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、［OK］をクリックしてください。

❽ ［OK］をクリックする。

❾ ［ディスク使用］をクリックする。

❿ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、［OK］をクリックする。

⓬ **［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。**

⓭ **［完了］をクリックする。**

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

以上で設定は完了です。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ **［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。**

以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワークとダイアルアップ接続］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。**

❸ **［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。**

❹ **［UNIX用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ **［プリンタ］フォルダーを開く。**

❷ **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］をクリックする。**

❸ **［ローカル プリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。**

❹ **［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。**

［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

❿ ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。

⓫ ［完了］をクリックする。

チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、［SNMPステータスを有効にする］チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［ローカルプリンタ］を選択し、［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。

❹ ［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［プリンタ名または IP アドレス］ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

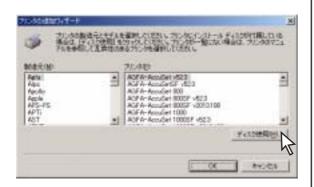
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順❽へ進んでください。
ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順❼へ進んでください。

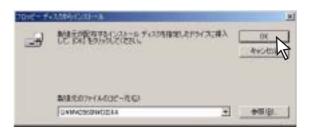
❼ [デバイスの種類] の [標準] をクリックし、[NEC Network Printer] を選び、[次へ] をクリックする。

この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。

❽ 内容を確認し、[完了] をクリックする。

画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

❾ [ディスク使用] をクリックする。

❿ [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

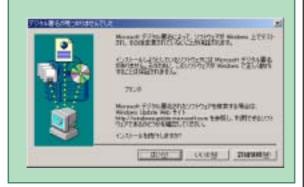
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2860N¥DISK4」と入力します。

⓫ 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。

⓬ [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。

⓭ ［完了］をクリックする。

✔チェック

［デジタル署名が見つかりませんでした］とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

［はい］をクリックし、インストールを続行します。

［いいえ］をクリックした場合は、インストールが中止されます。

次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

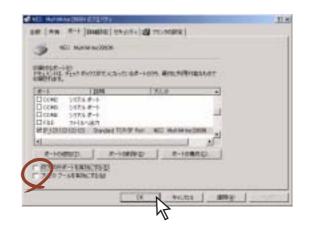
この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

❶ ［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの構成］をクリックする。

❹ ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

❺ ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port（PrintAgent）................ 添付のプリンターソフトウエアCD-ROMからプリンターソフトウエアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System（IPP）.......... プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷（LPR)...................... Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウエアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」（92ページ）またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウエアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port（NEC TCP/IP Port）を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』（53ページ）を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

❶ ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ ［ポート］タブをクリックする。

❸ ［ポートの追加］をクリックする。

❹ ［利用可能なプリンタポート］で［NEC Network Port］を選び、［新しいポート］をクリックする。

❺ ［インターネットアドレス入力］ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❻ ［OK］をクリックする。

❼ ［OK］をクリックする。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの［TCP/IPのプロパティ］設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「.（ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。
ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字（127バイト）です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System（IPP）を使用して印刷するには

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシーサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシーサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

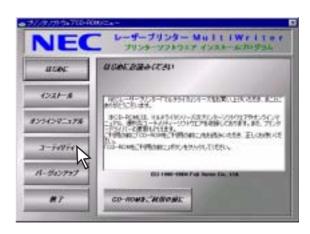
1 NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❷ ［ユーティリティ］をクリックする。

❸ ［NEC Internet Printing for Windows NT4.0］を選択し、［フォルダを開く］をクリックする。

> **重要**
>
> ［¥NECIPS¥WINNT40］フォルダーにある［README.TXT］を必ずお読みください。

❹ ［Setup.exe］アイコンをダブルクリックする。

❺ ［次へ］をクリックする。

❻ ［登録ポートのプリンタURI］ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで［登録］を行わなくても、インストール終了後に「3 印刷先の変更」（181ページ）で印刷先のポートを追加できます。

（入力例）

IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合

http://123.123.123.123/ipp

ipp://123.123.123.123/ipp

printer1.sample.nec.co.jp/ipp

> **チェック**
>
> IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❼ ［登録］をクリックする。

❽［次へ］をクリックする。

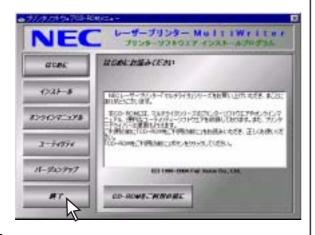
❾［開始］をクリックする。

❿［OK］をクリックする。

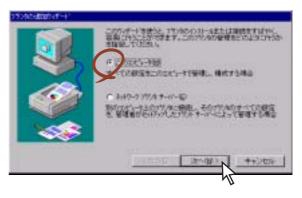
2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

❶ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❷［終了］をクリックする。

❸［プリンタ］フォルダーを開く。

❹［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❺［このコンピュータ］を選択して、［次へ］をクリックする。

❻ 使用するポートを選び、［次へ］をクリックする。

❼［ディスク使用］をクリックする。

❽［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2860N¥DISK3」と入力します。

❾ **使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。**

❿ **［次へ］をクリックする。**

⓫ **必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。**

⓬ **［完了］をクリックして、終了する。**

以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

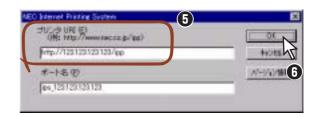
❶ **［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。**

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

❷ **［ポート］タブをクリックする。**

❸ **［ポートの追加］をクリックする。**

❹ **［利用可能なプリンタポート］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［新しいポート］をクリックする。**

❺ **［プリンタ URI］ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。**

（入力例）

Pアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp)」の場合 http://123.123.123.123/ipp ipp://123.123.123.123/ipp printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✔チェック

IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

❻ **［OK］をクリックする。**

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。

重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、双方向通信を無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は、次ページの「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

❶ **コントロールパネルの［ネットワーク］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［サービス］を選択し、［追加］をクリックする。**

❸ **［ネットワークサービス］の一覧から［Microsoft TCP/IP 印刷］を選択し、［OK］をクリックする。**

❹ **画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。**

次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

❶ ［プリンタ］フォルダーを開く。

❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

❸ ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックする。

❹ ［ポートの追加］をクリックする。

❺ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックする。

［LPR Port］が表示されない場合は、［Microsoft TCP/IP 印刷］サービスをインストールしてください。

❻ ［lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメインネームを入力する。

❼ ［ディスク使用］をクリックする。

❽ ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2860¥DISK3」と入力します。

❾ 使用するプリンターを選択して、［次へ］をクリックする。

❿ ［次へ］をクリックする。

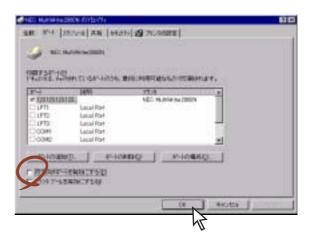
⓫ 必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。

⓬［完了］をクリックして、終了する。

次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

❶［プリンタ］フォルダー内に作成されたプリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

❷［ポート］タブをクリックする。

❸［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバーをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition（日本語版）

チェック

- PrintAgentは、ターミナルサービス環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバーは、PrintAgentに対応していません。

ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール

プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールします。
プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウエアのインストール手順を説明します。

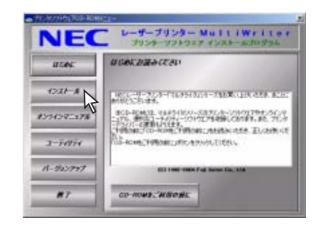
Windows NT 4.0 Terminal Service Edition（日本語版）対応のプリンタードライバーをアンインストールする場合は、プリンターソフトウエアCD-ROMにあるREADME.TXTを参照してください。README.TXTは以下の場所にあります。

「CD-ROMドライブ名:<モデル名>¥NT40TSE」

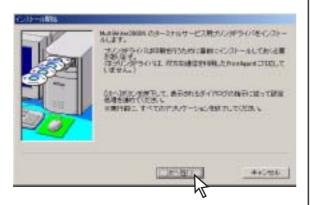
<モデル名>にはそれぞれ次のフォルダー名が当てはまります。
MW2860N：　MultiWriter 2860N
MW2830N：　MultiWriter 2830N
MW2360：　MultiWriter 2360N/2360

❶ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

［プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー］が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❷ **［インストール］をクリックする。**

❸ **右側のボックスから［MultiWriter2860N（ターミナルサービス用プリンタドライバ）］を選んで［インストール開始］をクリックする。**

Windows NT 4.0は［MultiWriter2860N（Terminal Server Edition用プリンタドライバ）］を選択します。

❹ **［次へ］をクリックする。**

❺ **［プリンタドライバをインストールする］を選び、［次へ］をクリックする。**

❻ **プリンターの接続先を選び、［次へ］をクリックする。**

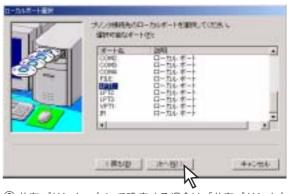
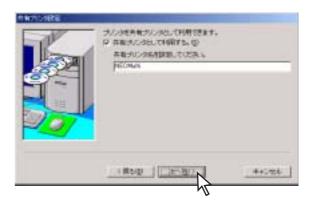
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「［ローカルポート］を選んだ場合」へ進んでください。

- ［ローカルポート］は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- ［ネットワーク共有プリンタ］は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

チェック

ネットワークポート接続する場合は、一度ローカルポートに接続してインストールを行い、「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」（145ページ）を参照して変更してください。

<［ローカルポート］を選んだ場合>

① 希望するポートを選び［次へ］をクリックする。

② 共有プリンターとして設定する場合は［共有プリンタとして利用する］をチェックして［次へ］をクリックする。

＜［ネットワーク共有プリンタ］を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、［次へ］をクリックする。

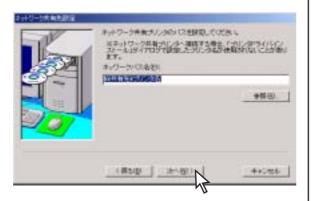
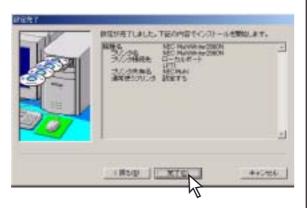
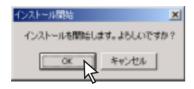
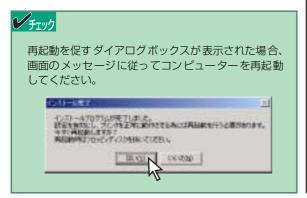
プリンターの接続先を［ネットワークパス名］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。

❼ 設定した内容を確認し、［完了］をクリックする。

❽ ［OK］をクリックする。

❾ インストールが終了したら［OK］をクリックする。

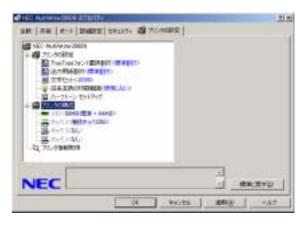
チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。

❿ プリンタードライバーが正常にインストールされていることを確認する。

［プリンタ］フォルダー内に、［NEC MultiWriter2860N］アイコンが登録されている。

⓫ オプション機器の設定を行う。

［プリンタ］フォルダーの［NEC MultiWriter2860N］アイコンをクリックし、ファイルメニューの［プロパティ］をクリックします。

［プリンタの設定］シートで、プリンターの構成を設定します。

UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。
Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」の「IPアドレス」（137ページ）を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリーを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースを初期化しないと同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）参照）。
- LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

❶ エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。
プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:      :            :
192.9.200.20        pr2860n   #MultiWriter2860N
:      :            :
:      :            :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。
「pr2860n」はプリンターのホスト名です。
「#MultiWriter2860N」はコメント文です。

❷ **ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。**

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順1で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

＜実行例＞

```
arp -s pr2860n 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

❸ **pingコマンドを実行する。**

新しいIPアドレスに変更されます。

＜実行例＞

```
ping pr2860n
```

❹ **コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。**

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（210ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機　能	
lpb	フィルターなし：	バイナリーファイルの転送に使います。
lpa	LF→CR+LF：	改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF：	ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF：	LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS：	EUCコードをプリンターJISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： LF→CR+LF +FF	EUCコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS：	Shift-JISコードをプリンターJISコードに変換します。
SJIS	Shift-JIS→JIS： LF→CR+LF +FF	Shift-JISコードのプリンターJISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と FFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

（BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例）

```
pt0|no convert:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:¥
  :sd=/usr/spool/lpd0:
pt1|ascii file:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
  :sd=/usr/spool/lpd1:
pt2|binary with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpbf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd2:
pt3|ascii with FF:¥
  :lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpaf:¥
  :sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp（file transfer protocol）コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機　　能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。デフォルトはこのモードです。
put （send）	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

（ftpコマンドによるファイル転送例）

```
olive%ftp pr2860n （[Enter］キーを押してftpコマンドを起動します。）
Connected to pr2860n
220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready
Name(pr2860n:) （[Enter］キーを押します。）
230 NEC Printer Log-In Complete.
ftp>binary （[Enter］キーを押してファイルの形式を指定します。）
200 Type set to BINARY.
ftp>put data.plt （[Enter］キーを押してdata.pltファイルを転送します。）
200 PORT command successful
250 Requested file Action okay,completed
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)
ftp>quit （ftpコマンドを終了します。）
221 Services closing control connection
olive%
```

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピューター用ソフトウエアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能（lprコマンド）を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておくと、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。
フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

＜表示例＞

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

ファイルの転送方法は、ソフトウエアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

より便利なネットワーク機能

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360には、ネットワーク上にあるプリンターの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。
ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

- 工場出荷時の設定では、[DHCPは使用しない］に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LAN インターフェースおよび無線LAN ボードに割り当てる IPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（195ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザーまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

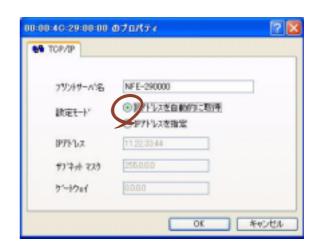
DHCPの設定

DHCP設定には、主に以下の3つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの操作パネル

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターのMACアドレスを選択し、［プロパティ］をクリックすると表示される［TCP/IP］シート上で［IPアドレスを自動的に取得］を選択してください。

＜LANボードの場合の表示例＞

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているユーティリティー「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターアイコンを選択して［プロパティ］ダイアログボックスを開き、［TCP/IP］シート上で、［DHCPサーバから取得する］を選択してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（95ページ）をご覧ください。

＜LANボードの場合の表示例＞

プリンターの操作パネル

プリンターの操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。MultiWriter 2860N/2830N/2360Nに標準実装されているLANインターフェース、オプションのLANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）、および無線LANボード（型番 PR-WLX-13）のDHCP設定を変更する方法について説明します。

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

❷ **［印刷可］スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

❺ **ディスプレイに“I／Fセッテイメニュー　→”と表示されるまで［▼］スイッチを数回押す。**

I／Fセッテイメニュー　→

❻ **［▶］スイッチを１回押す。**

ディスプレイに“←インタフェース1　セッテイ　→”と表示されます。

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❼ **［▼］スイッチを押す。**

ディスプレイ下段に“←インタフェース2　セッテイ　→”と表示されます。

I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ **［▶］スイッチを１回、［▼］スイッチを数回押す。**

ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。

❾ **［設定変更］スイッチを押す。**

“ON”に設定されます。

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。Windows Server 2003、Windows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

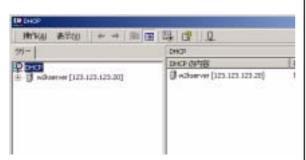
チェック

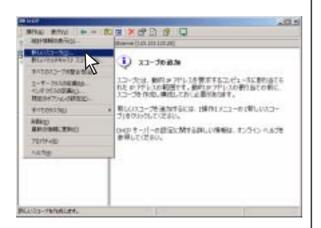
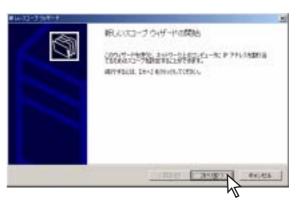
- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows Server 2003、Windows 2000の場合

ここでは、WIndows 2000の場合を例にとって説明します。Windows Server 2003においても同じ手順で設定できます。
DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

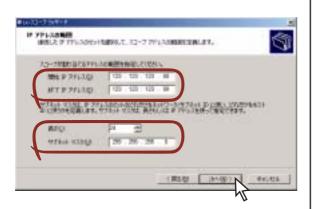
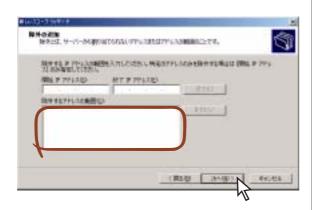
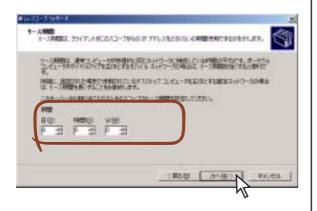
❶ **DHCPを起動する。**

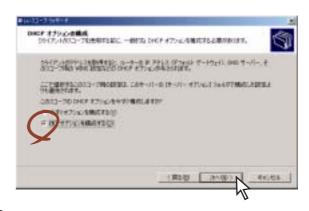
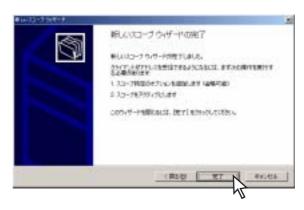
［スタート］メニューから［プログラム］－［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。

❷ **DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。**

新しいスコープウィザードが起動します。

❸ **［次へ］をクリックする。**

❹ **任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。**

ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

❺ DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、［次へ］をクリックする。

❻ 手順❺で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば［除外するアドレスの範囲］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。

❼ LAN インターフェースに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、［次へ］をクリックする。

❽［後でオプションを構成する］を選択し、［次へ］をクリックする。

ここで、オプションの設定を行う場合は、［今すぐオプションを構成する］を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

❾［完了］をクリックして、ウィザードを終了する。

❿［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上で右クリックし、［アクティブ化］をクリックする。

手順❾までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。

⓫ **手順❾までの手順で作成した［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上の［予約］を選択し、［操作］メニューから［新しい予約］をクリックする。**

LANインターフェースに常時、同じIPアドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。

✔チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

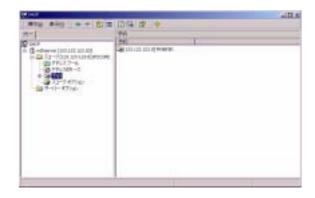
⓬ **LANインターフェースに割り当てたいIPアドレスを入力し、［予約名］ボックスに任意の名前を入力する。**

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

⓭ **［サポートされている種類］で［DHCPのみ］を選択する。**

⓮ **［追加］をクリックする。**

⓯ **［閉じる］をクリックする。**

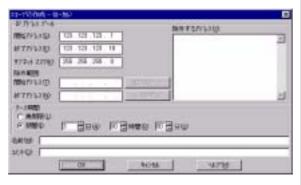
以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

❶ **［ネットワーク管理］グループの DHCP マネージャを起動する。**

❷ **メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。**

❸ **［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。**

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）

❹ **［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。**

❺ **［DHCP マネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。**

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

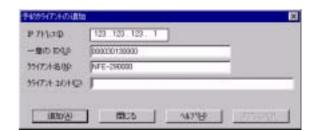
チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

❻ **以下の情報を入力する。**

- IPアドレス：LANインターフェースのIPアドレス（必須）
- 一意のID：LANインターフェースのMACアドレス（必須）
- クライアント名：任意の名前（必須）
- クライアントコメント：任意のコメント（必要時）

チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

❼ **［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。**

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインターフェースおよび無線LANボードのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANインターフェースおよび無線LANボードに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANインターフェースおよび無線LANボード用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANインターフェースおよび無線LANボードは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を1度無効にする。
  - LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合*、LANインターフェースは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANインターフェースおよび無線LANボードの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANインターフェースおよび無線LANボードの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（209ページ）参照）。
- 操作パネルでDHCPを無効（「プリンターの操作パネル」（194ページ）参照）にして、IPアドレスを再設定する。

* DHCPサーバーからIPアドレスを設定された後、DHCPサーバーのないネットワーク環境に接続を切り替えた場合を含む。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。

チェック

工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、本章の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMP] シート」（113ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（132ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（139ページ）を参照してください。

サポートしているMIBは、MIB-II（RFC1213）、ホストリソースMIB（RFC1514）、およびプリンターMIB（RFC1759）です。

SNMP MIB-II（RFC1213）オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmpInMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmpInErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmpInDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmpInTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmpInParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmpInSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmpInRedirects
	ipOutRequests	icmpInEchos
	ipOutDiscards	icmpInEchoReps
	ipReasmTimeout	icmpInTimestamps
	ipReasmReqds	icmpInTimestampReps

（次ページへ続く）

[interface] グループ

ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB（RFC1514）オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンター MIB（RFC1759）オブジェクト一覧

[General Printer] グループ

prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ

prtInputType
prtInputDimUnit
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ

prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ

prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ

prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ

prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDir
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ

prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ

prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin

（次ページへ続く）

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ

prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ

prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ

prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ

prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ

prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ

prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ

prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANインターフェースのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - 同じネットワークアドレスのホストコンピューターに Trap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要ですので、「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの［SNMP］グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が［Disabled（2)］になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、［Enabled（1)］に設定してください。なお、工場出荷時は［Enabled（1)］に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANインターフェースに登録されたIPアドレスなどの情報は保持されます。

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
  設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「［SNMP］シート」（113ページ）を参照してください。
- WWWブラウザー
  設定の詳細については、「WWWブラウザー」の「SNMP設定画面」（132ページ）を参照してください。
- Telnet
  設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（139ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンター Cold Start発生情報
- プリンター Warm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

  Variable-bindings
    hrPrinter Detected Error State
    prtAlert Index
    prtAlert Severity Level
    prtAlert Group
    prtAlert Group Index
    prtAlert Location
    prtAlert Code

アクセス制限

アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可／拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピューターを制限できます。

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザーやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンター内で以下のように実行されます。

準備動作として、設定されているアクセス制限設定値のIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い、比較アドレスを作成する。

設定IPアドレス	192.168.100.0
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（比較アドレス）

↓

ネットワーク通信が行われると、送受信パケットからIPアドレスを抽出する

↓

抽出したIPアドレスとネットマスクの論理積(AND)を行い対象アドレスを作成する。

抽出IPアドレス	192.168.100.7
設定ネットマスク	255.255.255.192
論理積結果	192.168.100.0（対象アドレス）

↓

比較アドレスと対象アドレスを比較し、上記の例では比較アドレスと対象アドレスが一致したため、アクセス制限の処理の対象となる。不一致の場合は対象外となり次優先順位のアクセス制限設定による比較の対象となる。

アクセス制限の設定

アクセス制限設定には、以下の3つの方法があります。

- WWWブラウザー
  汎用のWWWブラウザーを使用して設定します。
  WWWブラウザーからLANボードのページを起動し、［LANボードの管理者設定画面］－［TCP/IP］から「TCP/IP 設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「WWWブラウザー」（123ページ）をご覧ください。
- Telnet
  Telnetでプリンターに接続(ログイン)して設定します。
  メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押して「Access Limitation Setting」を表示して、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」（136ページ）をご覧ください。

- プリンターの操作パネル
  プリンターの操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
  アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
  プリンターの操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザーの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザー」、「Telnet」から行ってください。

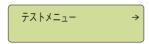
アクセス制限の解除

❶ **プリンターの電源スイッチをONにする。**
電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

❷ **[印刷可] スイッチを押す。**
[印刷可] ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**
点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

❹ **[メニュー] スイッチを押す。**
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

❺ **ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー　→”と表示されるまで [▼] スイッチを数回押す。**

I/Fセッテイメニュー　→

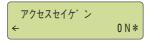
❻ **[▶] スイッチを1回押す。**
ディスプレイ下段に“←インタフェース1　セッテイ→”と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース1　セッテイ　→

❼ **[▼] スイッチを1回押す。**
ディスプレイ下段に“←インタフェース2　セッテイ　→”と表示されます。

I/Fセッテイメニュー
←インタフェース2　セッテイ　→

❽ **[▶] スイッチを1回、[▼] スイッチを数回押す。**

ディスプレイ上段に“アクセスセイゲン”と表示されます。

❾ **[設定変更] スイッチを押す。**
“OFF”に設定されます。

アクセスセイゲン
←　OFF*

❿ **[メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。**
これでアクセス制限の解除終了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。

アクセス制限使用例

使用例①　特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例②　特定ネットをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例③　応用例

192.168 ネットのみ許可したい
ただし192.168.2 ネットは拒否したい
しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10　許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168　ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例④　応用例

192.168.1.64 ～192.168.1.127 まで許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0～63　拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0～127　許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

ネットワーク設定の初期化

MultiWriter 2860N/2830N/2360N に標準実装されているLANインターフェースおよびオプションのLANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）、無線LANボード（PR-WLX-13）のIPアドレスなどのネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

チェック

MultiWriter 2860N/2830N/2360Nに標準実装されているLANインターフェース、オプションのLANボード（型番 PR-NP-04T）、および無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を実装しているMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360での初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターの初期化の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

❶ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❷ ［メニュー］スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❸ ディスプレイに“セッテイショキカメニュー　→”と表示されるまで［▲］スイッチを数回押す。

セッテイショキカメニュー　→

❹ ［▶］スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段に“メニューショキカ　ジッコウ→”と表示されます。

セッテイショキカメニュー
←メニューショキカ　ジ゛ッコウ→

❺ ［▼］スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←LANショキカ　ジッコウ→”と表示されます。

セッテイショキカメニュー
←LANショキカ　ジ゛ッコウ→

❻ ［▶］スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

✔チェック

MultiWriter 2860N/2830N/2360Nに標準実装されているLANインターフェース、オプションのLANボード（TCP/IP）（型番 PR-NP-04T）、および無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を実装しているMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360のコンフィグレーションページの印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターのコンフィグレーションページ印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- LANアダプタ（型番 PR-NP-02T2/型番 PR-NP-03TR2）
- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）

❶ プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

✔チェック

コンフィグレーションページを印刷する前に、用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、5章「ホッパーに用紙をセットする」（302ページ）を参照してセットしてください。

❷ ［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

❸ ［メニュー］スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

テストメニュー　→

❹ ［▶］スイッチを 1 回、［▲］スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←LANステータス　ジッコウ→”と表示されます。

テストメニュー
←LANステータス　ジ゛ッコウ→

❺ ［▶］スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターは［インタフェース2］に装備されたLANインターフェースの設定情報を印刷します。

インサツチュウ

❻ コンフィグレーションページを参照して標準 LAN インターフェース、LANボードまたは無線LANボードの設定内容を確認する。

次ページ以降の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

MultiWriter 2860NのLANインターフェース　コンフィグレーションページの印刷例

```
            NEC Network Interface Configuration Page

              <Network Information>

                F/W Version            :    02.07 00000.0000000000
*1              ID Number              :    NFE-290000
                Printer Name           :    NFE-290000
*1              MAC Address            :    00:00:30:13:00:00
                H/W Description        :    NEC NetworkPrinter700088
                10Base/100Base         :    "Auto (10Base)"
                Half/Full Duplex       :    "Auto (Full Duplex)"
                Printing Log           :    "Off"

              <Self-Diagnosis>

                Link Test              :    "OK"
                Network Status         :    "OK"

              <TCP/IP>

*2              IP Address             :    11. 22. 33. 44
*2              Subnet Mask            :    255.  0.  0.  0
                Gateway Address        :    0.  0.  0.  0
                Auto IP Address        :    "On"
                Max. Number of Session :    64
                Session Timeout [sec]  :    120
                Keep Alive             :    "On"
                FTP Timeout [min]      :    10
                DHCP                   :    "Off"
                e-Mail Service         :    "Off"
                Current Active Session :    0
*3             1st Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
               "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3             2nd Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
               "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3             3rd Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
               "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3             4th Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
               "Accept"                :     0. 0. 0. 0
*3             5th Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
               "Accept"                :     0. 0. 0. 0
```

＊1　ID NumberおよびMAC AddressはLANインターフェース個々の情報を示します。
＊2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
＊3　アクセス制限を設定した場合にのみ表示されます。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	LANインターフェースのファームウエアバージョンです。
ID Number	プリンター固有のネットワークIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンター固有のネットワークアドレスです。*
H/W Description	プリンターの種別です。*
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
NetWork Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
SubnetMask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

*　MultiWriter 2360にオプションのLANボードを取り付けている場合は、LANボードに関する情報を表示します。

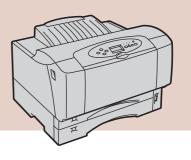
MultiWriter 2860Nに無線LANボードを取り付けた場合のコンフィグレーションページの印刷例

```
          Network Interface Configuration Page [Wireless]

            <Network Information>
              F/W Version             :    02.07 00000.0000000000
*1            ID Number               :    NWL-000000
              Printer Name            :    NWL-000000
*1            MAC Address             :    00:02:2D:00:00:00
              H/W Description         :    NEC NetworkPrinter700088
              Network Type            :    "Peer to peer"
              Network Name            :    NECPRWRGRP
              Link Quality            :    No Connection
              Access Point Name       :    ?
              Channel                 :    01
              Encryption              :    "Off"
              Medium Reservation      :    "Off"
              Interference Robustness:     "Off"
              Distance Between APs    :    "Large"
              Printing Log            :    "Off"

            <Self-Diagnosis>
              Link Test               :    "No connection"
              Network Status          :    "OK"

            <TCP/IP>
*2            IP Address              :     11. 22. 33. 44
*2            Subnet Mask             :    255.  0.  0.  0
              Gateway Address         :      0.  0.  0.  0
              Auto IP Address         :    "On"
              Max. Number of Session  :    64
              Session Timeout [sec]   :    120
              Keep Alive              :    "On"
              FTP Timeout [min]       :    10
              DHCP                    :    "Off"
              e-Mail Service          :    "Off"
              Current Active Session  :    0
*3            1st Access Limitation   :     0. 0. 0. 0
             "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
*3           2nd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
             "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
*3           3rd Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
             "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
*3           4th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
             "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
*3           5th Access Limitation    :     0. 0. 0. 0
             "Accept"                 :     0. 0. 0. 0
```

*1　ID NumberおよびMAC AddressはLANボード個々の情報を示します。
*2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
*3　アクセス制限を設定した場合のみ表示されます。

> ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	無線LANボードのファームウエアバージョンです。
ID Number	固有IDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
Network Type	無線LANプリンターの接続している無線LAN環境の接続形態です。
Network Name	認証機能に使用されるESS-IDとして設定されているネットワーク名です。半角英数文字が使用可能です。
Link Quality	無線通信対象との通信品質です。「Good」と表示される場所への無線プリンターの設置をお勧めします。
Access Point Name	無線通信対象のアクセスポイント名です。一部のアクセスポイントは対応しておらず、その場合はブランクとなります。
Channel	無線通信対象と使用している無線チャンネルバンドです。
Encryption	データ保護（暗号化）の設定状況です。
Medium Reservation	RTS/CTS 媒体予約の設定状況です。
Interference Robustness	干渉に対する強化の設定状況です。
Distance Between APs	アクセスポイント間の距離の設定状況です。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
Network Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてIPアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残量少時のメール通信設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

4章
より進んだ使い方

この章では、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360の便利な機能の紹介とその使い方について説明します。
MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360がもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、MOPYINGをより快適に使用することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を使いこなしてください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**
  本書中にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

- **MultiWriter 2830N/2360N/2360をお使いのお客様へ**
  本書中にMultiWriter 2830N/2360N/2360の記述がない場合は2860Nの記述を2830N/2360N/2360に読み替えてください。

機能の紹介

ここでは、本プリンターのもつ便利な機能の概要と設定方法について説明しています。詳細については、本書およびヘルプをご覧ください。

太枠線で囲んで記載している機能は、ネットワーク環境で使用するときに便利な機能です。本プリンターを一元管理することができます。設定方法については、本書またはヘルプをご覧ください。

スタンプ機能を使用する
.... 244ページ

ヘッダー・フッターを印刷する
..................................247ページ
OO//XX//AAA
OO//XX//AAA
OO//XX//AAA

ページ単位で給紙する..
..................................250ページ
4
3
2
1
表紙はこのホッパーから
本文はこのホッパーから
裏表紙はこのホッパーから

OHP
OHPに合い紙を入れる
............................252ページ
OHP

インサツチュウ
NEC
操作パネルにユーザー名を表示させる
.... 253ページ
ジョブインサツ
NEC

リプリントする.......254ページ
便利な機能　PrintAgent リプリント2
アプリケーションを
立ち上げないで
一度印刷した文書を
再印刷

文書を結合する.......260ページ
便利な機能　PrintAgent リプリント2
-1-
-2-
-3-
一度印刷した別々の文書を
自由に・・・
組み合わせたり
結合したり

PA
「PrintAgent」ツールバー
.............................263ページ
再印刷
ボタン操作ひとつで・・・
PrintAgentの機能を呼び出す

プリンターの状態や印刷状況を見る
..................................264ページ
便利な機能　プリンタステータスウィンドウ
プリンターの状態を
印刷できます。
パソコンに表示する

プリンターを自動切り替えする
......................268ページ
プリンターAを使いました。
C
自動的に
B
A
空いてるプリンターに

ON!
パソコンから電源を入れる ...277ページ
便利な機能 リモート電源
パソコンで
ON
電源を入れる

印刷履歴状況を出力する ...280ページ
便利な機能 PrintAgentによる印刷ログ出力
プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計
プリントサーバー
2月は
Aさんが100枚
Bさんが300枚
出力しています。

保守情報をメール通知する
...................291ページ
便利な機能 NEC e-mailメンテナンス
保守情報を
トナー切れです
メールで通知

Web PA
ブラウザーでプリンターの状況を見る
.......................294ページ
便利な機能 Web PrintAgent
ブラウザーを使って
ネットワーク
プリンターの状態を見る

VERSION UP
プリンタードライバー
プリンタードライバーをバージョンアップする 295ページ
便利な機能 MultiWriterドライバ配信機能
CD-ROMから
サーバーから
最新のプリンタードライバーに更新

両面印刷

両面印刷は、A3、B4、A4、B5、A5、レターサイズの普通紙を選択しているときに利用可能です。(用紙に関しては、付録の「用紙の規格」の「両面印刷時」(430ページ) をご覧ください。)

MultiWriter 2860N/2360N/2360では両面印刷機能を標準でサポートしています。MultiWriter 2830Nでは、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

両面印刷の設定はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。ただし、メモリー、および解像度、用紙の条件によっては印刷できない場合があります。

重要

指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。

❶ **両面印刷を有効に設定する。**

<Windows XPの場合>

① Windows XPは［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［両面印刷］ボタンを選択します。
② ［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows95は［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き(①)、［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます(②)。

<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

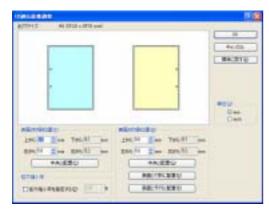
① Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［両面印刷］ボタンを選択します。
② ［両面印刷］で［長辺綴じ］または［短辺綴じ］のいずれかを選びます。

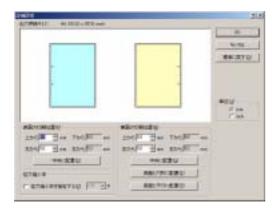
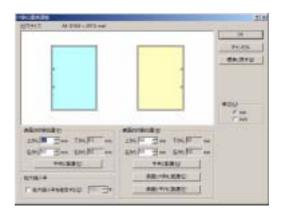
❷ **印刷開始ページを設定する。**

❸ **必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。**

<Windows XPの場合>

［その他］シートの［拡張機能］ツリーメニューの［印刷位置微調整］ダイアログボックスを開きます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックスを開きます。

<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［その他］シートの［拡張機能］ツリーメニューの［印刷位置微調整］ダイアログボックスを開きます。

❹ **［OK］をクリックする。**

ダイアログボックスを閉じます。

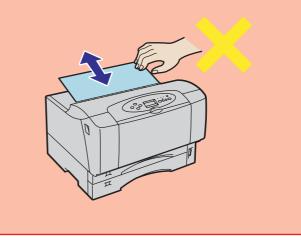
❺ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。**

プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

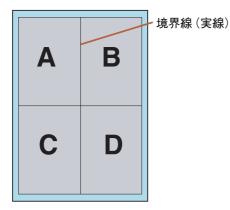
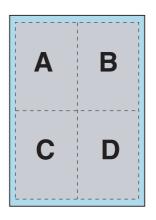
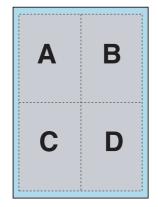
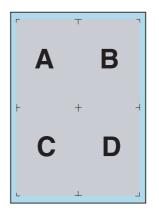
重要

両面印刷中のプリンターの動作について

両面印刷中は、片面印刷を終了した用紙が、いったんスタッカー上に現れますが、再びプリンター内部に吸い込まれていきます。これは用紙を反転させるための動作です。片面印刷終了後にスタッカー上に現れた用紙を引き抜いたり、さわったりしないでください。印刷範囲がずれたり、正しく印刷できなくなるばかりでなく、紙づまりやプリンターの故障の原因となることがあります。

複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線を次のとおり設定することができます。

他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

境界線（実線）の場合

境界線（破線）の場合

境界線（点線）の場合

境界線（カットマーク）の場合

境界線のイメージ（ページ数“4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合）

設定方法

以下に設定方法を説明します。

❶ ［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択する。

- Windows Me、Windows 98、Windows95は［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開き、［複数ページ印刷］を選択します。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択します。

❷ ［ページ数］から縮小配置するページ数を選択する。

❸ ［配置］から配置方法を選択する。

❹ 必要に応じて、［境界線］を選択する。

❺ ［OK］をクリックする。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

仕分け印刷

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360では印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、ジョブセパレート機能、丁合い印刷を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能と、丁合い機能、ジョブセパレート機能、電子ソート機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）をご覧ください。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に印刷する機能のことです。

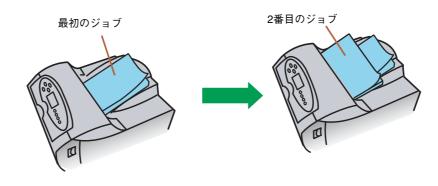
丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）をご覧ください。

また、双方向通信が無効な環境の場合には、メモリーを増設して電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。（電子ソート機能については次ページの「電子ソート機能」をご覧ください。）

ジョブセパレート機能

A4サイズの用紙をお使いの場合、印刷ジョブ（ひとつの文書）ごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、排出される用紙をスタッカー上で仕分ける機能です。ホッパー、MP、手差し*、あるいは増設ホッパーにA4用紙が縦方向と横方向にセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360のプリンタードライバーは標準でジョブセパレート機能が有効になっています。

* MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ。

ジョブセパレートを使った仕分け印刷

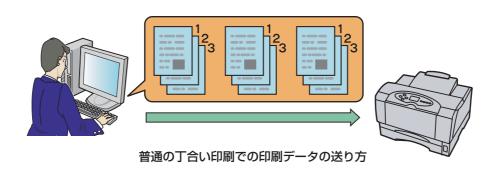
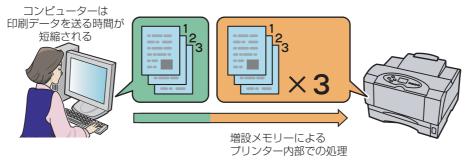
ジョブセパレートを使った仕分け印刷とは、ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた場合の使い方のことです。ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使用すると、部単位ごとに印刷するとともに、用紙を縦置き、横置きと交互にスタッカー上に仕分けて排出します。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。（電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表については付録の「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」（505ページ）を参照してください。）

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。また2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理されて印刷でき、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、ジョブセパレート機能と組み合わせてお使いになると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。（双方向通信有効時）

普通の丁合い印刷での印刷データの送り方

電子ソート機能を使った丁合い機能での印刷データの送り方

設定方法

以下の3つの機能の設定方法について説明します。

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。

チェック

- ジョブセパレート機能は、同じ種類の用紙（A4サイズ）を2つ以上の給紙口（ホッパーなど）に縦置きと横置きにセットしたときに機能します。A4サイズ以外の用紙では機能しません。
- MPまたは手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）にA4用紙をセットした場合は、プリンターの操作パネルでメニューモードの用紙種類を［普通紙］に設定してください。設定されていないと、ジョブセパレート機能は動作しません。
- ジョブセパレート機能において「手差し」を給紙口として使用できるのはMultiWriter 2860N/2360N/2360です。
- ネットワーク環境で複数のクライアントが 1 台のプリンターを共有して使用している場合にジョブセパレート機能を実現するためには、すべてのクライアントにおいて、［ジョブセパレート機能を使用する］および［給紙方法］の項目が［自動］に設定されている必要があります。
- プリンターと双方向通信が無効な場合、ジョブセパレートを使った仕分け印刷ができない場合があります。9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照して、双方向通信を有効にしてください。

❶ ホッパー、MP、手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）あるいは増設ホッパーにA4用紙を縦置き、横置きにそれぞれセットする。

チェック

- 縦置き、横置きにセットする用紙の種類が同じことを確認してください。
- A4用紙をセットする場合は用紙のセット方向（縦置き、横置き）を用紙サイズ設定ダイヤルで確認してください。

❷ プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❸ 給紙方法が［自動］になっていることを確認する。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

チェック

MPまたは手差しを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、［その他］シートの［用紙サイズエラー］を［検出する］に設定されている必要があります。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

- Windows Me、Windows 98、Windows95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートで確認します。

✔チェック

MPまたは手差しを使用してジョブセパレート機能を行う場合は、［出力制御］シートの［用紙サイズエラーを検出する］がチェックされている必要があります。

❹ **ジョブセパレート機能を有効にする。**

＜Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合＞

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［ジョブセパレート］ボタンを選択します。
② ［ジョブセパレート］の［ジョブセパレート機能を使用する］をチェックします。

＜Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合＞

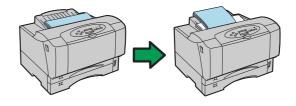
Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、ジョブセパレート機能の［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンをクリックします。

❺ **［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。**

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

❻ **次の文書の印刷部数を指定して印刷する。**

前に印刷された用紙の置き方と別の向きにセットされている給紙部から給紙され、スタッカー上に排出されます。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ・・・・）に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）をご覧ください。

チェック

丁合い機能の設定はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

またアプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

❶ **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

① Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［丁合い］ボタンを選択します。
② ［丁合い］の［丁合い機能を使用する］をチェックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

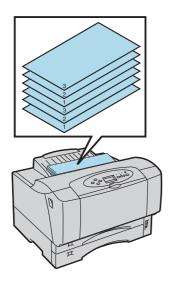
Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、［丁合い機能を使用する］ボタンをクリックします。

［丁合い機能と連動する］チェックボックスについて

［ジョブセパレート機能］で［丁合い機能と連動する］をチェックしておくと［丁合い機能を使用する］ボタンと［ジョブセパレート機能を使用する］ボタンが連動してON/OFFできるようになります。

❷［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲を指定して［OK］をクリックする。

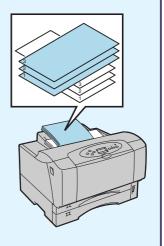
部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ‥‥）に仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が縦置き、横置きに仕分けされながらスタッカー上に排出されます。

ジョブセパレート機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と225～226ページの「ジョブセパレート機能」手順❶～❹の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることにより実現できます。(増設メモリーの取り付けは「増設メモリーの取り付け」(44ページ)を参照してください。)

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷(MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要)、ジョブセパレートの設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量をプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従ってメモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターで利用できます。

また、増設メモリーによる印刷保証枚数については、付録の「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」(505ページ)を参照してください。

チェック

- 電子ソート機能を有効にするためには、プリンターに64MB以上のメモリーを増設してください。
- MultiWriter 2360N/2360をお使いの場合で、解像度を1200dpiに設定して電子ソート機能を利用した印刷を行うためには、256MBのメモリーを増設する必要があり、操作パネルよりメニューのプリンター解像度を1200dpiに設定してください。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの[プリンタの構成]シートを開き、[メモリ]を増設したメモリーの構成に合わせます。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート
- Windows NT 4.0は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの設定]シート

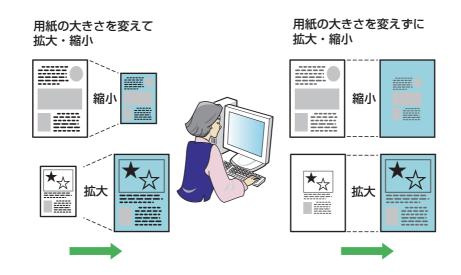
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は[プロパティ]ダイアログボックスの[プリンタの構成]シート

拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。

用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する 231ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する 234ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。

  アプリケーションの［印刷設定］ダイアログボックスで、用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ（「A4×2→A4」など）に指定します。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する 233ページ
  Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
  任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

  後述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

設定方法

出力用紙サイズを指定する

❶ ［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

- Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ ［用紙サイズ］ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

「ユーザ定義」を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（239ページ）を参照してください。

❸ ［出力用紙サイズ］に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

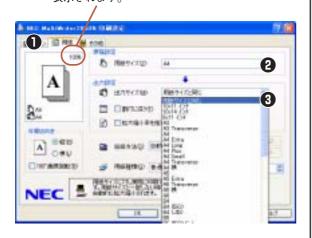
- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→❸-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→❸-(b)

❸-(a)

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［出力設定］の［割付に従う］のチェックを外し、［出力サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順❻に進んでください。

［用紙サイズ］と［出力サイズ］に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［出力用紙サイズ］で［指定する］を選び、［出力用紙サイズ］ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順❻に進んでください。

❸-(b)［割付に従う］をチェックする。

現在［用紙サイズ］で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

割り付けの設定を変更したい場合は手順❹に進んでください。変更しない場合は手順❻に進んでください。

❹ **出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。**

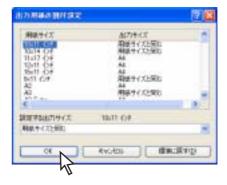
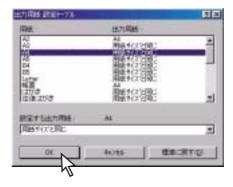
<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスを開きます。［プリンタの設定］シートの［出力用紙割付］で［ユーザ割付］を選び、［割付設定］をクリックします。

［用紙］シートの［割付内容の表示］をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスを開きます。［用紙］シートの［出力用紙の設定］をクリックします。

❺ **設定したい出力用紙サイズを選択し、［OK］または［閉じる］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

❻ **［用紙］シートの［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［プリンタの設定］シートの［OK］をクリックし、［用紙］シートの［OK］をクリックします。

チェック

- 以下の用紙サイズを指定した場合は［出力用紙サイズ］が固定となり、［出力用紙サイズ］で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

  A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

- ［給紙方法］に増設ホッパ（500）が設定されている場合はA5、B5は指定できません。

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

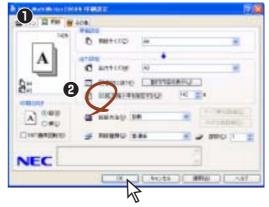
- ［レイアウト］*1シートで複数ページ印刷を設定している
- ［フォーム］*2シートでフォーム印刷を設定している
- ［用紙］シートで以下の用紙サイズを設定している
  A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［メイン］シートの［複数ページレイアウト］シートになります。
*2　Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［その他］シートになります。

❶ **［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

- Windows XP、Windows98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷ **［拡大縮小率を指定する］をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。**

❸ **［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

❶［印刷設定］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

- Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。
- Windows NT 4.0［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開きます。

❷［用紙サイズ］ボックスから用紙サイズ（下記の拡大・縮小率）を選ぶ。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

❸［OK］をクリックする。

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0

Windows Me、Windows 98、Windows 95

MOPYING設定ウィンドウ

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGを実現するために、MOPYING設定ウィンドウがあります。複数ページ印刷や丁合いなどの設定を簡単に行うことができます。

MOPYING設定ウィンドウは、一部のアプリケーションのみ対応しております。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「MW2860N¥DISK1¥DRIVERS.TXT」(MultiWriter 2830Nの場合は「MW2830N¥DISK1¥DRIVERS.TXT」、MultiWriter 2360N/2360の場合は「MW2360¥DISK1¥DRIVERS.TXT」)をお読みください。

設定方法

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

MOPYING設定ウィンドウを表示するため、設定を有効にします。

❶ **[プリンタとFAX] フォルダーを開く。**

Windows XPとWindows Server 2003以外の場合は、[プリンタ] フォルダーを開きます。

❷ **[NEC MultiWriter 2860N] アイコンをクリックする。**

❸ **[ファイル] メニューの [印刷設定] *をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

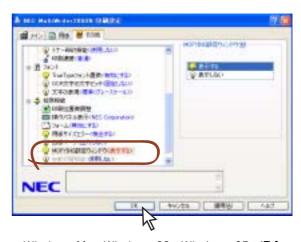
* Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は [プロパティ]、Windows NT 4.0の場合は [ドキュメントの既定値] をクリックします。

❹ **MOPYING設定を有効にする。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

[その他] シートをクリックします。

[拡張機能] の下の [MOPYING設定ウィンドウ] を選び [表示する] を選択し、[OK] をクリックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

[補助機能] シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する] をチェックし、[OK] をクリックします。

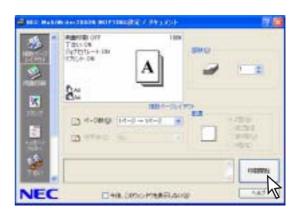
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ **アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［印刷］ダイアログボックスの［印刷］をクリックする。**

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ **複数ページレイアウト印刷や丁合いなどの設定をし、［印刷開始］をクリックする。**

印刷が開始されます。

設定を解除する

MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ **235ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。**

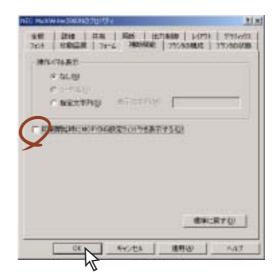
❷ **MOPYING設定を解除する。**

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［その他］シートをクリックします。

［拡張機能］で［MOPYING設定ウィンドウ］を選び、［表示しない］を選択し、［OK］をクリックします。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

［補助機能］シートを開きます。［印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する］のチェックを外し、［OK］をクリックします。

✔チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、［今後、このウィンドウを表示しない］をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定] ダイアログボックスおよび [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ7つの印刷方法が設定された [プリンターで登録済みの設定] アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

- 各アイコンをクリックすると、以下の表のとおりに各機能が設定されます。
- 各機能のいずれかの設定が変更された場合には、アイコンにマーク ⚠ が表示されます。

		[プリンターで登録済みの設定] アイコン						
		標準	2in1	両面印刷 長辺綴じ＊2	高画質＊1	両面印刷 短辺綴じ＊2	マル秘	ユーザー名
解像度		600dpi	600dpi	600dpi	1200dpi	600dpi	600dpi	600dpi
グレースケールの網点		細かく	細く	細く	標準	細く	細く	細く
	配置	Z型	左→右型	Z型	Z型	Z型	Z型	Z型
	境界線	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
複数ページレイアウト		1ページ→1ページ	2ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ	1ページ→1ページ
両面印刷＊2		片面	片面	長辺綴じ	片面	短辺綴じ	片面	片面
	印刷開始ページ	表面	表面	表面	表面	表面	表面	表面
スタンプを印刷する		しない	しない	しない	しない	しない	する	しない
	スタンプ名	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘	マル秘
ヘッダー / フッターを印刷する		しない	しない	しない	しない	しない	しない	する
	印刷項目	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名	ユーザー名
	位置	右上	右上	右上	右上	右上	右上	右上
SET 機能		使用する	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する	使用する
トナー節約		使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない	使用しない
ブラシパターン		拡大	拡大	拡大	拡大	拡大	拡大	拡大

＊1　MultiWriter 2360N/2360のみ対応
＊2　MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

設定方法

ユーザー設定の登録

❶ **任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。**

設定内容を確認したい場合は [設定一覧] をクリックして、[設定一覧] ダイアログボックスを表示させます。

❷ **[メイン] シートを開く。**

❸ **[登録と削除] をクリックする。**

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックスが表示されます。

❹ **名前を入力し、任意のアイコンを選択する。**

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで［コメント］ボックスに入力することができます。

❺ **［追加］をクリックする。**

❻ **設定内容が表示されるので、確認して［OK］をクリックする。**

［印刷設定］ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。

❼ **［登録一覧］リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、［OK］をクリックする。**

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスや［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

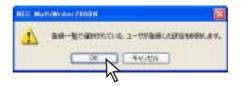
ユーザー設定の削除

❶ **［メイン］シートを開く。**

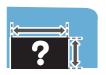
❷ **［登録と削除］をクリックする。**

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

❸ **削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。**

［プリンターで登録済みの設定］アイコンは削除できません。

❹ **［OK］をクリックする。**

❺ **［登録一覧］リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。**

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスや［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

定形外用紙サイズの用紙に印刷

設定方法

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

重要

- MPカセットまたは手差しに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については、付録の「用紙の規格」（430ページ）ページをご覧ください。）
- MPカセットまたは手差しにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～420mmです。
- 手差しに給紙できるのはMultiWriter 2860N/2360N/2360のみです。

Step 1　定形外用紙をセットする

定形外用紙をセットする際の注意は、5章の「用紙をセットする時の注意」（310ページ）を参照して用紙をセットしてください。

＜MPにセットする場合＞

❶ **MPカセットに用紙をセットする。**

手順は、5章の「MPに用紙をセットする」（305ページ）を参照してください。

❷ **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」（アスタリスク）に設定する。**

操作パネル上の［MP］スイッチで給紙口を「MP」に選択した場合に、操作パネルに表示されている用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

＜手差しにセットする場合＞

手差しに用紙をセットできるプリンターはMultiWriter 2860N/2360N/2360です。

❶ **手差しに用紙をセットする。**

手順は、5章の「手差しに用紙をセットする」（308ページ）を参照してください。

操作パネル上の［手差し］スイッチで給紙口を「手差し」に選択した場合に、操作パネルに表示されている用紙サイズは無効となり、プリンタードライバーのプロパティで設定した用紙サイズで定形外用紙の印刷を行います。

Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

> ✔チェック
>
> 新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さはプリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- ■　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- ■　Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ ［プリンタとFAX］フォルダー（Windows XP以外の場合は、［プリンタ］フォルダー）を開く。

❷ ［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックする。

❸ ［用紙］シートを開く。

❹ ［新しい用紙を作成する］をチェックして、［用紙名］（Windows NT 4.0では［用紙の説明］）に任意の用紙名、［寸法］にサイズを入力し、［用紙の保存］をクリックする。

> ✔チェック
>
> プリンターにセットできる用紙サイズ（幅（10.0～29.7cm)、高さ(14.8～42.0cm)）を設定してください。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して［閉じる］または［OK］をクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ [プリンタ] フォルダーを開く。

❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙] シートを開き、[用紙サイズ] ボックスから [ユーザ定義] を選ぶ。

チェック

[ユーザ定義] を選択すると給紙方法で [ホッパ] は選択できません。

❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ（幅（100～297mm)、長さ（用紙の高さ）（148～420mm））を設定してください。

❻ [OK] をクリックし、[プロパティ] ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3 定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外は [プリンタ] フォルダー）から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX] フォルダー（Windows XP以外は、[プリンタ] フォルダー）から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ アプリケーションの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックし、[印刷] ダイアログボックスを開く。

アプリケーションによっては、この手順後に [印刷] ダイアログボックスの [プロパティ] をクリックします。

❷ [用紙] シートを開き、[用紙サイズ] ボックスから、Step 2で追加した用紙サイズを選択する。

チェック

- 定形外用紙を選択すると給紙方法で [ホッパ] は選択できません。
- 坪量 81.4g/m² (連量 70kg) を超える用紙の場合 [用紙種類] ボックスで [厚紙] を指定してください。

❸ 給紙方法と用紙種類を指定する。

❹ 印刷部数を指定して、[OK]（または [印刷] ）をクリックする。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ アプリケーションの［ファイル］メニューで［印刷］をクリックし、［印刷］ダイアログボックスを開く。

❷ ［プロパティ］をクリックする。

❸ ［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］ボックスから、［ユーザ定義］を選択する。

チェック

- ［ユーザ定義］を選択すると給紙方法で［ホッパ］は選択できません。
- 坪量81.4g/m^2（連量70kg）を超える用紙の場合［用紙種類］ボックスで［厚紙］を指定してください。

❹ ［ユーザ定義サイズ］ダイアログボックスで［幅］と［長さ］を確認し、［OK］をクリックする。

❺ 給紙方法と用紙種類を指定する。

❻ 印刷部数を指定して、［OK］をクリックする。

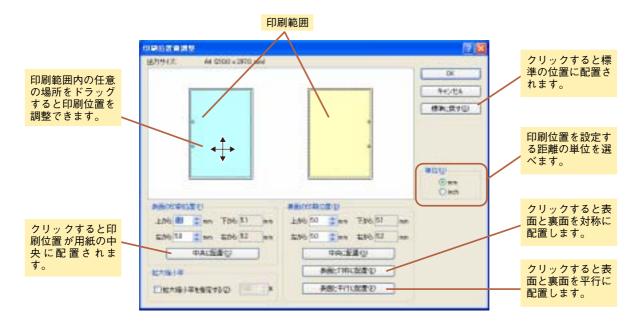
- **MPカセットから給紙する場合について**
  MPカセットから定形外用紙の印刷を行う場合、プリンターの電源を入れた後、初めて定形外用紙をセットし、印刷を行うと「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームが表示されます。このとき、MPカセットの用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。印刷が再開されます。
  また、次回異なる用紙サイズの定形外用紙の印刷を行った場合、もしくはプリンターの電源を再投入した後、定形外用紙の印刷を行った場合は、MPカセットの用紙確認のため、プリンターは「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームを表示します。［印刷可］スイッチを押して、印刷を再開してください。
- **給紙口と用紙サイズについて（「手差し」はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）**
  Windows環境でMP／手差しに印刷を行う場合の給紙口と用紙サイズの設定はプリンタードライバーでの設定が優先されます。（ただし、一部のアプリケーションでは個別に情報が管理され、プリンタードライバーの設定が無効になる場合があります。）操作パネルでMP／手差しが選択されている場合、操作パネルで設定されている用紙サイズは無効となります。プリンタードライバーで給紙口（MPもしくは手差し）と定形外用紙の用紙サイズを設定し、MPカセットもしくは手差しに定形外用紙をセットすることで、印刷が行えます。操作パネルで給紙口を変更せず「ホッパ」の時、プリンタードライバーの給紙口が「自動」の場合にはプリンターはMPを優先し、給紙します。

印刷位置の調整

OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0：［その他］シートの［拡張機能］ツリービューの［印刷位置微調整］ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：［レイアウト］シートの［詳細設定］ダイアログボックス

以下は両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

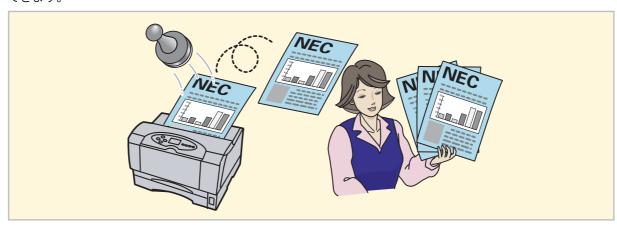
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「視覚的」に位置調整することも可能です。

［印刷位置微調整］ダイアログボックス（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0）
［詳細設定］ダイアログボックス（Windows Me、Windows 98、Windows 95）

スタンプ機能

スタンプ機能は、ドキュメントの作成をサポートする機能として「コピー禁止」や「社外秘」などを同時に印刷する機能です。スタンプ機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- 機密情報文書などの重要な書類を印刷する場合、アプリケーションデータを加工することなく、「取扱注意」や「マル秘」などの情報を加えて資料を印刷し、機密文書であることを明確化できます。

- 「DRAFT」や「回覧」などの情報を加えて資料を印刷し、文書の取り扱いレベルを設定することができます。

- 会社の社印やシンボルマークなどをあらかじめスキャナーで読み取ってビットマップファイルにしておき、資料を印刷する際にアプリケーションデータを加工することなく、これらのビットマップを付加して印刷することができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　スタンプ機能を有効にする
Step 2　スタンプ名を選択する
Step 3　必要に応じて、スタンプの 編集や追加をする
Step 4　文字またはビットマップファイルをスタンプとして登録する

Step 1　スタンプ機能を有効にする

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスを開く。**

❷ **［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［スタンプ］ボタンを選択する。**

❸ **［スタンプ］の［スタンプを印刷する］をチェックする。**

スタンプは、標準で「マル秘」、「外秘」、「CONFIDENTIAL」、「取扱注意」、「複写禁止」、「持出禁止」、「重要」、「DRAFT」、「回覧」、「至急」を登録しています。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。**

❷ **［スタンプを印刷する］をチェックする。**

スタンプは、標準で「マル秘」、「外秘」、「CONFIDENTIAL」、「取扱注意」、「複写禁止」、「持出禁止」、「重要」、「DRAFT」、「回覧」、「至急」を登録しています。

Step 2　スタンプ名を選択する

［スタンプ名］ボックスから任意のスタンプ名を選択します。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

Step 3　必要に応じて、スタンプの編集や追加をする

［スタンプ編集］をクリックして、［スタンプ編集］ダイアログボックスを開きます。

Step 4　文字またはビットマップファイルをスタンプとして登録する

文字のスタンプを印刷させる場合

❶ ［スタンプの種類］で［文字］をチェックする。

❷ ［スタンプ文字列］ボックスにスタンプとして印刷したい文字列を入力する。

❸ ［登録名］ボックスに登録名を入力したあと、［登録］をクリックする。

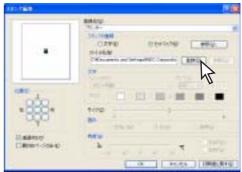
スタンプが登録されます。

ビットマップファイルのスタンプを印刷させる場合

❶ ［スタンプの種類］で［ビットマップ］をチェックする。

❷ ［参照］または［ファイル名］ボックスでスタンプとして印刷したいビットマップファイルを設定する。

❸ ［登録名］ボックスに登録名を入力したあと、［登録］をクリックする。

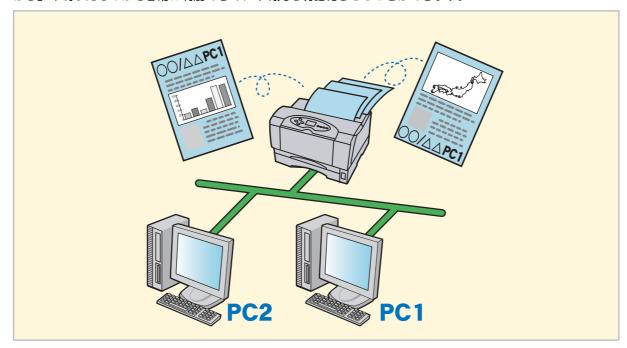
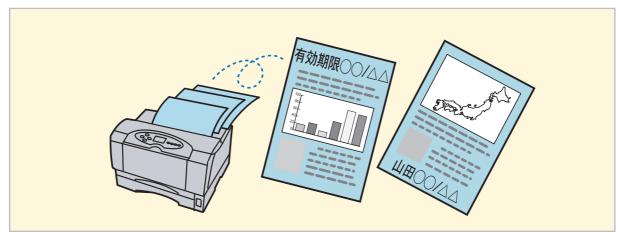
スタンプが登録されます。

❹ ［OK］をクリックし、［スタンプ編集］ダイアログボックスを閉じる。

チェック

- アプリケーションの印刷プロパティから、スタンプを新規登録することができます。登録した情報は、アプリケーションを終了しても保持されます。
- 両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）、複数ページレイアウト時でもスタンプは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにスタンプが印刷されます。

ヘッダー・フッター

ヘッダー／フッター機能は、あらかじめ日付や作成者などを設定して、文章と同時に印刷する機能で、文章の区別、仕分けなどを簡単に識別できる便利な機能です。ヘッダー／フッター機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- ヘッダー／フッター機能がないアプリケーションから印刷を行う場合にも、「ユーザー名」や「コンピューター名」をヘッダー／フッター位置に印刷することができ、共有のネットワークプリンタなどにおいて「だれが」、「どこから」印刷したものかを容易に判別できて、印刷元を明確化させることができます。

- 「文字列（例：有効期限*** など)」、「日付」を設定して印刷することで印刷ドキュメントの管理・有効性を高めることができます。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　ヘッダー・フッター機能を有効にする
Step 2　位置と印刷項目を選択する
Step 3　ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

Step 1　ヘッダー・フッター機能を有効にする

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開く。

❷ 左側の［機能選択］バーから［ヘッダー／フッター］ボタンを選択する。

❸ ［ヘッダー／フッター］の［ヘッダー／フッターを印刷する］をチェックする。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。

❷ ［ヘッダー／フッターを印刷する］をチェックする。

Step 2　位置と印刷項目を選択する

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ ［位置］からヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。

❷ ［印刷項目］からヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［レイアウト］シートの［ヘッダー／フッター印刷］を選択する。

［ヘッダー／フッター印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

❷ ［位置］からヘッダー／フッターを印刷する位置を選択する。

❸ ［印刷項目］からヘッダー／フッターに印刷する項目を選択する。

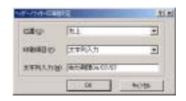
ヘッダー／フッターとして印刷できる項目は、「ユーザー名」、「コンピュータ名」、「ユーザー名／コンピューター名」、「日付」、「時刻」、「日付／時刻」、「ドキュメント名」、「ページ番号」、もしくは「任意の文字列」のいずれかです。「任意の文字列」を印刷する場合は、次ページのStep 3の手順に進んでください。

Step 3　ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

［印刷項目］ボックスから［文字列入力］選択し、［文字列入力］ボックスに印刷する文字列を入力します。

- 入力できる文字列は、全角文字で最大32文字、半角文字で最大64文字までです。
- アプリケーションの印刷プロパティから［ヘッダー／フッター］を設定した場合、アプリケーションが開いている間は設定が保持されます。
- 文字サイズは、MS Pゴシック10.5ポイント固定になります。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

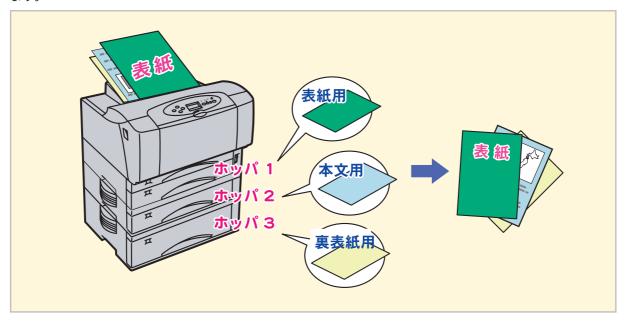
<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［OK］を、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、［ヘッダー／フッター印刷設定］ダイアログボックスの［OK］をクリックし、［レイアウト］シートの［OK］をクリックします。

チェック

両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）、複数ページレイアウト時でもヘッダー／フッターは設定可能です。ただし、その場合は論理ページごとにヘッダー／フッターが印刷されます。

ページ単位の給紙方法

いろいろな用紙の組み合わせに便利な給紙方法を設定する機能です。ページ単位の給紙方法指定機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

- マニュアル／テキスト／しおり などの作成で表紙・本編・裏紙をそれぞれ別の「用紙」で印刷したい時に使用します。

- 月末処理などで「大量印刷」を行う場合に、ジョブ単位の区切りを分かりやすくする場合に使用します。

設定方法

設定は次の手順で行ってください。

Step 1　給紙方法をページ単位で指定する
Step 2　詳細な設定をする

Step 1 給紙方法をページ単位で指定する

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ **Windows XP/2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［給紙方法］ボックスの［ページ単位で指定］を選択する。**

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ **［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。**

❷ **［給紙方法］ボックスの［ページ単位で指定］を選択する。**

Step 2 詳細な設定をする

❶ **［ページ単位の詳細設定］ダイアログボックスを開く。**

❷ **ページ単位の詳細な給紙方法を設定し、［OK］をクリックする。**

- 1ページ目の前もしくは最終ページの後に差紙（白紙ページ）を挿入する場合
  ［1ページ目の前に差紙をする］もしくは［最終ページの後に差紙をする］をチェックしてください。合わせて給紙口を選択してください。
- 1ページ目の給紙口を指定する場合
  ［1ページ目の給紙方法］を指定してください。
- 2ページ目の給紙口を指定する場合
  ［2ページ目の給紙方法］を指定してください。
- 2ページ目以降のページの給紙口を指定する場合
  ［その他のページの給紙方法］を指定してください。

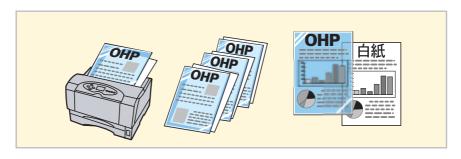
給紙口は、給紙する用紙種別が厚紙、OHPの場合は「ホッパ」は選択できません。

チェック

設定後、このダイアログボックスを表示させない場合は［以降、このダイアログをポップアップさせない］をチェックしてください。再びこのダイアログボックスを開き設定を行う場合は、［用紙］シートの［ページ単位詳細］をクリックしてください。

OHPに合い紙を入れる

OHP合紙機能を利用することにより、次のような文書管理が可能になります。

OHPフィルムに印刷を行う場合、各ページに「合い紙」を挿入したい場合に使用します。合い紙には、白紙もしくは同じ文章の印刷が選択できます。

設定方法

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［給紙方法］ボックスの［OHP合紙指定］を選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開く。

❷ ［給紙方法］ボックスの［OHP合紙指定］を選択する。

❸ ［OHP合紙の詳細設定］ダイアログボックスで、OHPと合紙の給紙口を設定する。

チェック

- 両面印刷機能を持つプリンターでも給紙方法を［OHP合紙指定］にすると、両面印刷はできません。両面印刷が設定されていた場合は、警告メッセージを表示して片面印刷となります。
- 設定後、このダイアログボックスを表示させない場合は［以降、このダイアログをポップアップさせない］をチェックしてください。再びこのダイアログボックスを開き設定を行う場合は、［用紙］シートの［OHP合紙詳細］をクリックしてください。

白紙の合紙を挿入する場合は、［合紙にプリントしない(白紙挿入)］をチェックします。

挿入する合紙にOHPと同じ文章を印刷して出力する場合は、［合紙にプリントする］をチェックします。

❹ ［OK］をクリックする。

ユーザー名を表示する

プリンターがデータを受信中、または処理中、印刷中に操作パネルのディスプレイ（下段）にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。Windows　XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

インサツチュウ
ﾔﾏﾀﾞ

設定方法

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

❶ Windows XP、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［その他］シートを開く。

❷ ［その他］シートで［操作パネル表示］を選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プロパティ］ダイアログボックスの［補助機能］シートを開く。

❷ ［操作パネル表示］を選択する。

❸ ［OK］をクリックする。

［操作パネル表示］について

- ［なし］
  ディスプレイには何も表示されません。
- ［ユーザ名］
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。［ユーザ名］を選ぶと［表示文字列］テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- ［指定文字列］
  ［表示文字列］テキストボックスに入力された文字列（半角で16文字まで）が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
		^	|	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾞ	ﾟ		｢	｣
､	｡	･							

リプリント機能

リプリント（再印刷）は、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷を実行することなく、再印刷する機能です。MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360ではコピー機感覚で操作できる「PrintAgent リプリント2」を提供しています。

PrintAgent リプリント2

この機能をご利用になるには、あらかじめPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。(PrintAgentのインストール方法について「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）をご覧ください)。「PrintAgent」ツールバーを使えば、PrintAgent リプリント2を簡単に呼び出し、再印刷することができます。

PrintAgent リプリント2では以下の便利な機能を備えています。

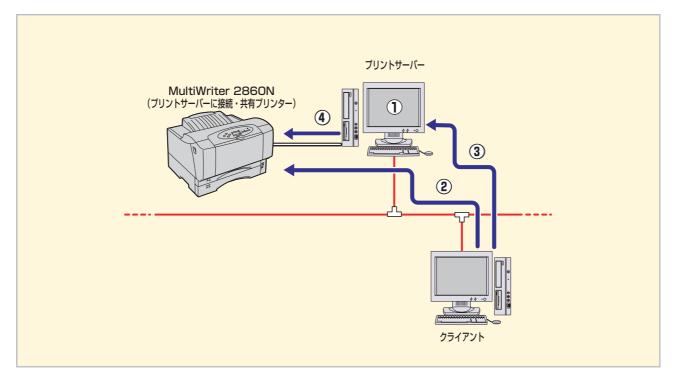
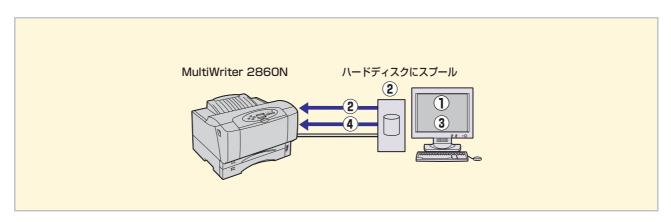
- 標準モード：　再印刷する文書に対して丁合い機能、ジョブセパレート機能を選択して仕分け印刷や、両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）をすることができます。
- ジョブ結合モード：一度印刷された複数の文書を結合し、一文書として再印刷することができます。(ジョブ結合の概要については次ページ以降の解説をご覧ください。)

PrintAgent リプリント2を起動するには、以下のとおり「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックします。

PrintAgentおよびPrintAgent リプリント2がインストールされている必要があります。PrintAgent リプリント2はWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent リプリント2」オプションをチェックしておく必要があります。

設定方法

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0が動作しているコンピューターで利用できます。リプリント機能を使うには次のステップが必要です。

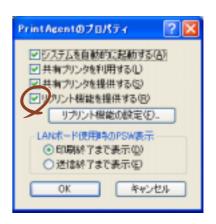
Step 1　リプリント機能を設定する（リプリント機能の提供）
Step 2　印刷する（リプリント用ファイルのスプール）
Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ（スプールファイルの選択）
Step 4　リプリントする（スプールファイルの出力）

クライアントサーバーの場合

ローカル接続の場合

Step 1　リプリント機能を設定する

ローカル接続されているコンピューターまたはプリントサーバーの「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニューからPrintAgentのプロパティを開くか、あるいはPrintAgentのシステムメニューからPrintAgentのプロパティを開き、［リプリント機能を提供する］をチェックする。

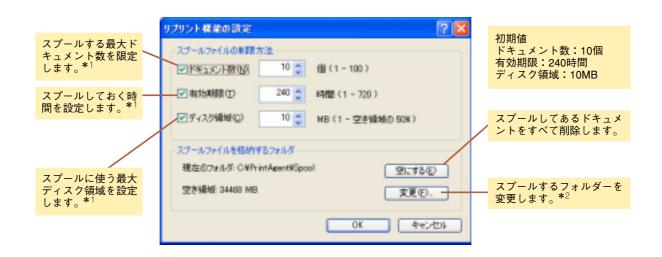
重要

この設定が行えるのは、以下のユーザーのみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

［リプリント機能を提供する］

リプリントを行う場合には、本項目をチェックしておきます。チェックすると、一度印刷したデータをコンピューター上でプライベートスプールします。プライベートスプールするときの設定を行うには［リプリント機能の設定］ボタンをクリックします。プライベートスプールとは、リプリントを行うためにPrintAgentがドキュメントを保有することです。プリントサーバーのハードディスクに印刷ドキュメントが保存されます。

［リプリント機能の設定］ボタン

このボタンをクリックすると、下図に示すダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスでリプリント機能に関する詳細な設定を行います。

*1　ここで設定した値のうちのいずれかを超えると、すでにスプールしているドキュメントの中から最も古いファイルの順に消去されます。

*2　空き容量が不足した場合など、このボタンからスプール先のフォルダーを変更できます。ネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

Step 2　印刷する

❶ **リプリント機能を利用するプリンターのプロパティダイアログボックスを開き、[リプリント機能を使用する] をチェックする。**

リプリント機能は標準で有効になっています。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

[印刷設定] ダイアログボックス（Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックス）の［メイン］シートの[機能選択]バーで[リプリント]ボタンを選択する。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

プリンターのプロパティの［出力制御］シート

❷ **アプリケーションでドキュメントを印刷する。**

✔チェック

［MOPYING設定ウィンドウを表示する］が有効になっている場合は、MOPYING設定ウィンドウで「リプリント機能を使用する」を有効にすることができます。

Step 3　リプリントしたい文書を選ぶ

❶ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

❷ **［標準］シートを開く。**

❸ **［PrintAgent リプリント2］でリプリントしたいドキュメントを選ぶ。**

✔チェック

標準ではリプリントできるドキュメント数は「10」に設定されています。変更するときは256ページを参照してください。

Step 4　リプリントする

再印刷するドキュメントの印刷部数、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷を設定して印刷する。

部数は、999部まで設定できます。

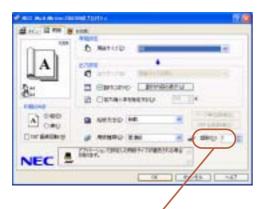
次ページの「リプリント機能を使用するときの注意事項」を参考にして設定してください。

リプリント機能を使用するときの注意事項

リプリント機能を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- **リプリントされるページは、最初に印刷したときのプロパティダイアログボックスの設定をそのまま使って印刷されます。**
  たとえば給紙方法や縮小・拡大率の設定、印刷位置の調整などはそのままの設定で印刷されます。

部数、丁合い、ジョブセパレートの設定は初期化されますので、再設定が必要です。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

リプリント出力時はクリアされます。リプリントするごとに部数を指定する必要があります。

- **MultiWriter 2830Nで両面印刷をするには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。**

- **リプリント機能で印刷できるページはアプリケーションで実際に印刷したページのみです。**
  たとえば10ページある文書の中から下の［印刷］ダイアログボックスのように2～3ページを印刷した場合、1ページと4～10ページをリプリントすることはできません。

＜Windows XPの場合＞

リプリントに有効なページは2～3ページです。

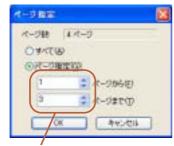
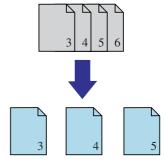
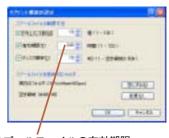
＜Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合＞

リプリントに有効なページは2～3ページです。

＜Windows 2000の場合＞

リプリントに有効なページは2～3ページです。

- **リプリント機能で印刷するページを指定する場合、最初にアプリケーションで印刷したときの開始ページが「1ページ目」として設定されます。**
  たとえばアプリケーションで文書の3～6ページを印刷して、リプリント機能で3ページのみを印刷するときのページ指定は「1」です。また、4、5ページを印刷するときの開始ページは「2」、終了ページは「3」です。

PrintAgent リプリント2の場合

リプリント機能での印刷：[1] ページから [3] ページまで

- **サーバー／クライアント環境での印刷ファイルはプリントサーバーにスプールされます。**
  スプールされたファイルは［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで設定された制限に従って古いものから消去されます。

スプールファイルの有効期限

文書を結合する

PrintAgent リプリント2を使い、一度印刷した複数の異なる文書を結合する（ジョブ結合）ことができます。

PrintAgent リプリント2を使ったジョブ結合

印刷文書　スプールフォルダー　通常の印刷結果

印刷結果を一度確認

リプリント出力

PrintAgent リプリント2を使ったジョブ結合

ジョブ結合　丁合い＆ジョブセパレート　両面印刷*

* 後述の「ジョブ結合における両面印刷の注意事項」（262ページ）を参照。

ジョブ結合

PrintAgentリプリント2で実現する機能です。一度印刷した複数の文書を選択した順番で自由に組み合わせ、ひとつのジョブとして再印刷することができます。さらにジョブ結合した文書に対しても丁合い出力やジョブセパレート出力による仕分け印刷ができます。コピー作業のように原稿を並べ替える必要はありません。すべてパソコンのデスクトップ上で原稿を並び替えることができ、しかもオリジナルでの出力（MOPYING）が可能です。

設定は［PrintAgent リプリント2］の［ジョブ結合］シートで行います。

*1　印刷データがA4サイズでジョブセパレート機能が有効な場合、選択できます。

*2　印刷データが定形サイズの普通紙および両面印刷機能を持つプリンターでその設定が有効な場合、選択できます。

設定方法

ジョブ結合設定の最初の手順は、PrintAgent リプリント2でリプリントする場合と同じです。

❶ **PrintAgentでリプリント機能の設定をする。**

PrintAgentリプリント2を使用するために、PrintAgentのプロパティでリプリント機能の設定をします。(詳細は256ページを参照)

❷ **アプリケーションから印刷する。**

リプリント機能を使用する設定でアプリケーションからドキュメントを印刷します。(詳細は257ページを参照)

❸ **「PrintAgent」ツールバーの［再印刷］ボタンをクリックする。**

PrintAgent リプリント2が起動します。

❹ **［ジョブ結合］シートを開く。**

❺ **ジョブ結合したいドキュメントを選択する。**

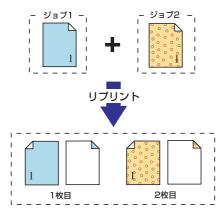
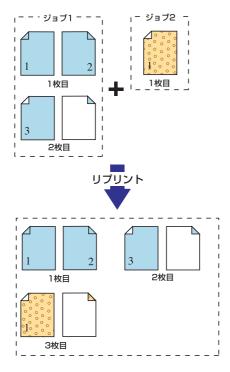
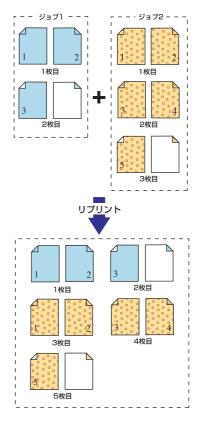
チェックした順に印刷順が指定されます。印刷順を変えたい場合は［前へ］ボタンまたは［後へ］ボタンをクリックして変更してください。

❻ **必要に応じて丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷機能を選択して、印刷仕上がりを設定する。**

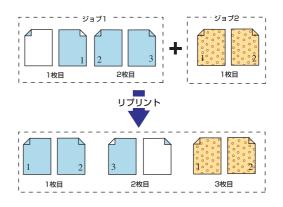
❼ **再印刷するドキュメントの印刷部数を設定し［スタート］ボタンをクリックする。**

ジョブ結合における両面印刷の注意事項

PrintAgent リプリント2のジョブ結合で両面印刷を利用するにあたっては、以下の内容を参考にしてください。

- **MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着することにより利用可能です。**
- **プリンタードライバーで片面に印刷設定されたドキュメントジョブを結合し、両面印刷設定をして印刷したときは、次のように印刷されます。**

ジョブ1が1ページ（片面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が1ページ（片面）の場合

ジョブ1が3ページ（両面）、
ジョブ2が5ページ（両面）の場合

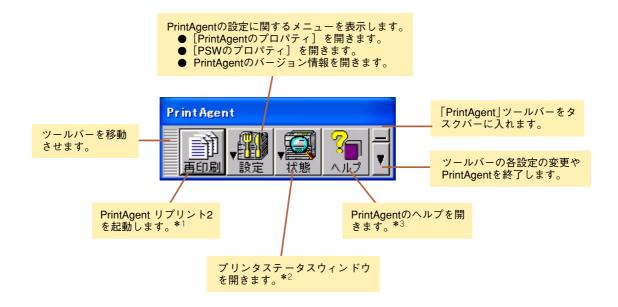
- **プリンタードライバーで裏面から印刷した両面のドキュメントジョブを結合し、両面設定をして印刷した場合は、次のように印刷されます。**

  開始ページを裏面からにして両面印刷したい場合は、「変更しない」を選択してください。

「PrintAgent」ツールバー

「PrintAgent」ツールバーでは、ボタン操作ひとつで簡単にPrintAgentの機能を呼び出すことができます。このツールバーはPrintAgentオプションの「ツールバー」をインストールすると、お使いになれます。

「PrintAgent」ツールバーを表示させるには、次のような方法があります。

- タスクバーのPrintAgentアイコンを左または右クリックし、［ツールバーを表示］をクリックする。
- タスクバーのPrintAgentアイコンをダブルクリックする。
  前回ツールバーを表示した状態でPrintAgentを終了した場合、「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの起動と同時に表示されます。

「PrintAgent」ツールバーの詳しい説明は、「PrintAgent」ツールバーのヘルプをご覧ください。

*1　PrintAgent リプリント2がインストールされていない場合、［再印刷］ボタンはご利用になれません。
*2　PrintAgent対応プリンタでない場合、［状態］ボタンはご利用になれません。
*3　ヘルプがインストールされていない場合、ヘルプボタンとツールバー設定ボタンメニューの［ヘルプ］ボタンはご利用になれません。

PrintAgentおよびツールバーがインストールされている必要があります。「PrintAgent」ツールバーはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できますが、そのためにはPrintAgentをインストールする際に「PrintAgent」ツールバーオプションをチェックしておく必要があります。

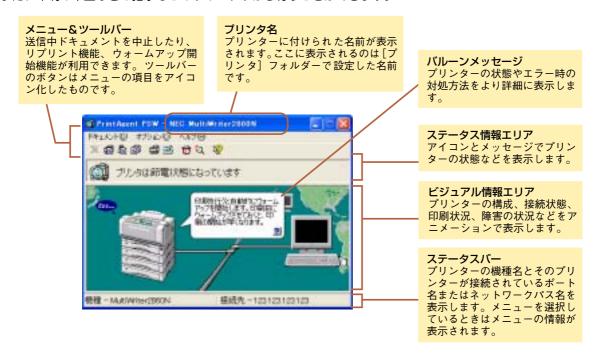
プリンタステータスウィンドウ

プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*によるメッセージで通知します。

* 音声は標準ではインストールされません。

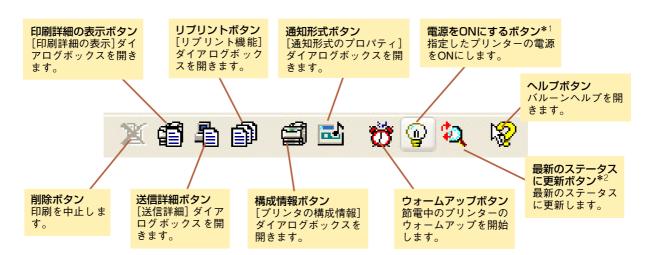
通常、プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

- 「PrintAgent」ツールバーから起動する
- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

チェック

PrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。
また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。

*1　プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番PR-NP-03TR2）に接続されている状態で、電源制御の設定が有効な場合に表示されます。

*2　初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントの印刷を中止する機能です。
［削除］ボタンをクリックします。

プリンターの構成情報を見る

MultiWriter 2860Nでの表示例

プリンターの構成情報（給紙構成、メモリー）を確認するダイアログボックスです（左図はMultiWriter 2860Nでの一例です）。

このダイアログボックスを表示させるには［構成情報］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［プリンタの構成情報］を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

常に最新の情報を取得したい場合は［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスで［常にステータスを取得］をチェックしてください。［通知形式のプロパティ］ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000：[プリンタのプロパティ] ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95：[プロパティ] ダイアログボックス
- Windows NT 4.0：[プロパティ] ダイアログボックス

通知形式を変更する

プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、プリンタステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうか、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

このダイアログボックスを表示させるためには、[通知形式] ボタンをクリックするか [オプション] メニューの [通知形式] を選択します。

チェック

[常にステータスを取得] について

- [常にステータスを取得] をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
  Windows XPの場合、アカウントの種類が [コンピュータの管理者] であるユーザーのみが設定を変更できます。
  Windows Server 2003、 Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。
- プリンタ自動切替機能をご利用の場合、グループを構成するプリンターではプリンターの状態を常に監視しているため設定の変更はできません。

ウォームアップを行う

[ウォームアップ開始] ボタンをクリックするか [オプション] メニューの [ウォームアップ開始] を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。
なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

プリンターの電源をONにする

［電源をONにする］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択すると指定したプリンターの電源をONにすることができます。リモート電源制御機能を有効にするためには、「リモート電源制御」（277ページ）をご覧ください。

チェック

プリンターがオプションのリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

最新のステータスに更新する

初期設定では、印刷していない時はプリンターの状態を定期的に監視していません。最新のステータスを取得するには［最新のステータスに更新］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［最新のステータスに更新］を選択してください。

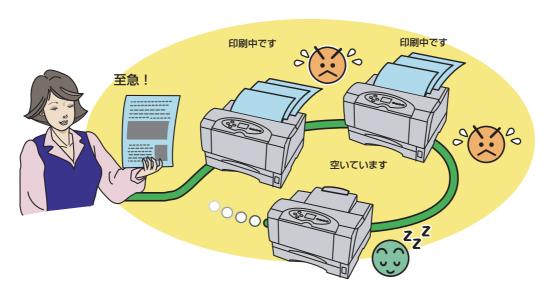
リプリント機能を使う

このダイアログボックスは［リプリント］ボタンをクリックするか、［ドキュメント］メニューの［リプリント機能］を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータであればアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より多くの機能がご利用できます。PrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。PrintAgent リプリント2の使用方法については、「リプリント機能」（254ページ）をご覧ください。

プリンターの自動切替

複数のプリンターをグループ化することにより、自動的に空いているプリンターへ出力する機能です。ネットワーク共有プリンターとして設定することにより、ネットワーク内のクライアントも利用することができます。設定方法については、270ページをご覧ください。

なお、グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriterシリーズのプリンターです。以下の「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してください。

グループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーによって、グループ化できるプリンターの機種は異なります。お使いのプリンターの種類によってグループプリンタの構成に使用するプリンタードライバーを次の表に従って選択してください。

グループプリンタとして設定可能なプリンター（1/2）

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
NEC MultiWriter 2860N	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2830N	MultiWriter 2830N MultiWriter 2860N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2360/2360N	MultiWriter 2360N、2360
NEC MultiWriter 1500N	MultiWriter 1500N
NEC MultiWriter 3300N	MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2130	MultiWriter 2130
NEC MultiWriter 2850/2850N	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 3650N	MultiWriter 3650N MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2350/2350N NEC MultiWriter 2300N	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N

グループプリンタとして設定可能なプリンター（2/2）

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
NEC MultiWriter 2800N NEC MultiWriter 2800 NEC MultiWriter 2150	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800 MultiWriter 2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2300	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300
NEC MultiWriter 2100	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 210S	MultiWriter 2130 MultiWriter 210S
NEC MultiWriter 2650M	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2150 MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 3300N
NEC MultiWriter 2250H	MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2350N、2350 MultiWriter 2300N、2300 MultiWriter 2250H
NEC MultiWriter 2650 NEC MultiWriter 2650E NEC MultiWriter 2250 NEC MultiWriter 2050	MultiWriter 2860N MultiWriter 2830N MultiWriter 2360N、2360 MultiWriter 2850N、2850 MultiWriter 2350N、2350、2150 MultiWriter 2800N、2800、2300N MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050 MultiWriter 3300N

使用条件

- プリンター管理者が複数のMultiWriterをグループプリンタとして登録することが必要です。
- Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用できます。
- プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。
- グループプリンタに設定するには、管理者向けインストールで「プリンタ自動切替」オプションを選択してインストールする必要があります。
- MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360やグループ可能なMultiWriterをプリントサーバーコンピューター上で複数台接続しているネットワーク環境でのみ利用できます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95をお使いの場合、プリントサーバーコンピューター上でグループプリンタとして登録できるプリンターは2台までです。

設定方法

プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360をグループプリンタとしてグループ化することで、印刷ジョブを自動的に切替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンタを共有化することで、ネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。グループプリンタとして設定可能なプリンターは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」(268ページ)を参照してください。(プリントサーバーのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合、グループ化できるプリンターは2台までです。)

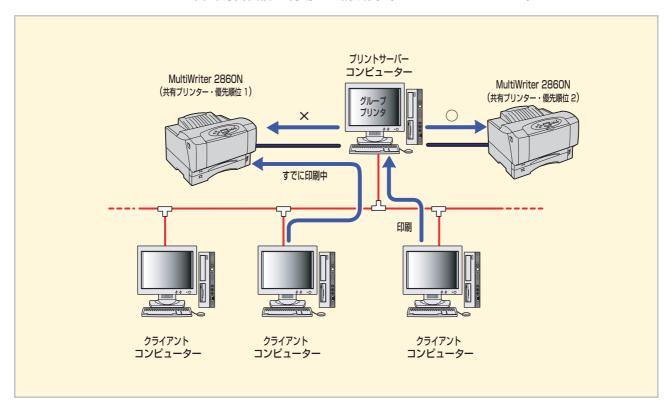
プリンターの切り替えは、プリンターの状態（印刷中など）、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位（プリンター管理者が設定します）の要素から決定し、印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。
また、設定は次の手順で行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定
Step 2　グループプリンタを共有 プリンタにする
Step 3　共有されたグループプリンタに接続する
Step 4　グループプリンタへ出力 する

重要

Step2、Step3を行う場合、プリントサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のネットワークコンポーネントをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
  - Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合：「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  - Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合：「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  - Windows NT 4.0の場合：「サーバー」
- ネットワーク環境で LAN プリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。

プリンタ自動切替機能を利用した構成例（MultiWriter 2860N）

Step 1　グループプリンタの設定

ここでは、グループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては、「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」(276ページ)をご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1. グループプリンタを作成する前に確認する
2. 場所を設定する
3. グループプリンタを作成する
4. グループプリンタを編集する

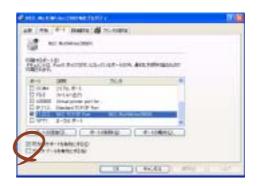
1　グループプリンタを作成する前に確認する

グループプリンタを作成する前に、以下の点を確認してください。

グループを構成できるプリンターについて

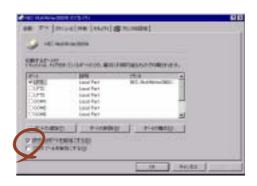
グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

- 「グループプリンタとして設定可能なプリンター」(268ページ)を参照してグループ化できるプリンターであること
- 双方向通信していること

  【Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合】
  ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

  【Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合】
  プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］シートで［プリンタスプールの設定］ダイアログボックスを表示させ、以下の項目がチェックされていることを確認します。

  Windows Meの場合：
  ［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］

  Windows 98、Windows 95の場合：
  ［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］

  【Windows NT 4.0】
  ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］がチェックされていることを確認します。

- 双方向通信が可能なポートに接続していること
  それぞれの接続形態において双方向通信が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンター ケーブル接続	LAN プリンター接続	USB 接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	USBxxx:
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	USBxxx*
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	−

* Windows 95は対応していません。

［設置場所の表示について］

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスに［設置場所］が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を使って［利用可能なプリンタ］に［設置場所］を設定することができます。設定方法については、次ページをご覧ください。Windows XPの場合は、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーであるとき、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、Administratorsの権限で［設置場所］を設定することができます。詳しくは、それぞれのOSのヘルプをご覧ください。

2　場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。Windows XPの手順を例にとってプリンターの場所を設定します。

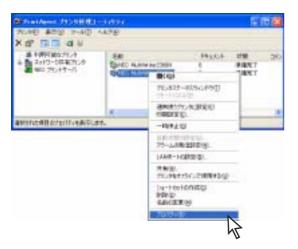
❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

❹ **リストビューから対象のプリンターを右クリックし［プロパティ］を選ぶ。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は［場所の設定］を選択し、［場所の設定］ダイアログボックスを表示させます。

❺ **場所を設定し、［OK］をクリックする。**

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は［プロパティ］ダイアログボックスで、場所の設定をすることができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

3　グループプリンタを作成する

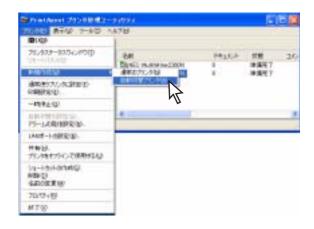
以下の手順でグループプリンタを作成します。

❶ **［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。**

❷ **パスワードを入力する。**

❸ **ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。**

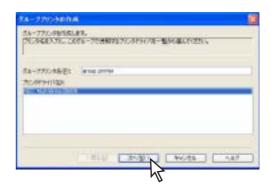
❹ **［自動切替プリンタの作成］ウィザードを起動する。**

［プリンタ］メニューの［新規作成］をポイントし、［自動切替プリンタ］をクリックします。

チェック

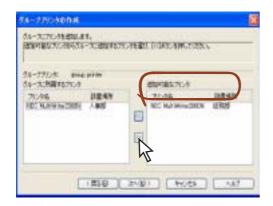
グループプリンタを設定するためには、あらかじめ管理者インストールで、自動切替オプションがインストールされている必要があります。（プリンター管理者用インストールについては の2章「プリンター管理者用インストール」（79ページ）を参照してください。）

❺ **［グループプリンタ名］を入力し、基本となる［プリンタドライバ］を選択し、［次へ］をクリックする。**

チェック

基本となるプリンタードライバーによって、選択できる構成プリンターが異なります。詳細な組み合わせは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」（268ページ）を参照してください。

❻ グループを構成するプリンターを選び、［次へ］をクリックする。

［追加可能なプリンタ］ボックスから希望のプリンターを選び［<<］をクリックします。

> チェック
>
> Windows Me、Windows 98、Windows 95をプリントサーバーのOSとして使用する場合、追加できるプリンターは2台までです。

❼ 印刷の優先順位を設定し、［完了］をクリックする。

希望のプリンター名を選び、［優先順位］の［▲］か［▼］をクリックして順位を変更します。

また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。（設定可能範囲は1～100）

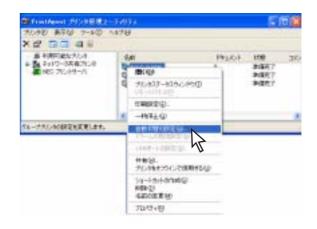
4 グループプリンタを編集する

以下の手順でグループプリンタを編集します。

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ リストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、［自動切替の設定］をクリックする。

❺ 必要に応じてプリンターを追加・削除する。

［次へ］をクリックすると、［グループプリンタの編集］ダイアログボックスが表示されます。

❻ 必要に応じて印刷の優先順位を変更する。

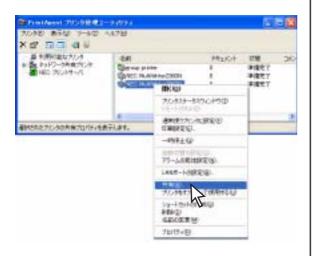
グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの［印刷ドキュメント一覧］で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。（設定可能範囲は1～100）

Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

❶ ［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

共有設定については、各OSのヘルプをご覧ください。

Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

❶ クライアントコンピューター上の接続先で［ネットワークコンピュータ］を選択し、プリンターソフトウエアをインストールする。

プリンターソフトウエアのインストールについては、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）を参照してください。

Step 4　グループプリンタへ出力する

ここでは、グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

印刷方法

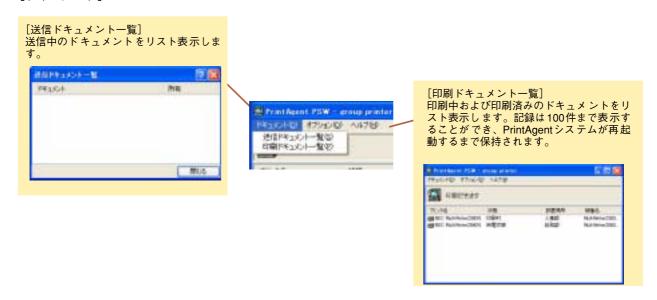
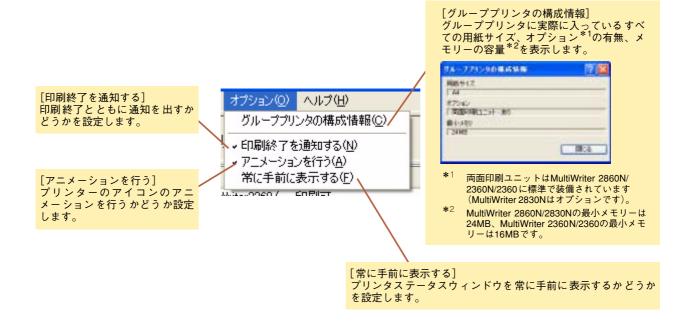
❶ 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。

❷ ［印刷］ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して［OK］をクリックする。

印刷が終了すると、このような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のプリンタステータスウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので、印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は［PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ］か［プリンター一覧］で行ってください。

- ［ドキュメント］

- ［オプション］

リモート電源制御

ネットワーク上にあるLANプリンターの電源をプリンタステータスウィンドウからONすることができます。この機能を利用するためには次の手順が必要です。Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でご利用になれます。

> チェック
> プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番 PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

1 電源制御の設定をする
2 プリンターの電源をONにする

1 電源制御の設定をする

OSごとに次の手順で設定します。

> チェック
> LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。（設定方法はLANアダプターの取扱説明書またはLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。）

<Windows XP、Windows Server 2003の場合>

❶ ［プリンタと FAX］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

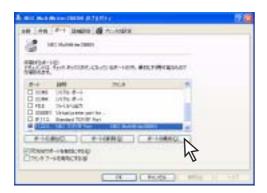
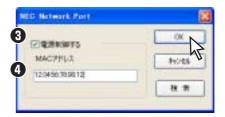
> チェック
> アカウントの種類が［コンピュータの管理者］のユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し、［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

❷ ［詳細］シートの［印刷先のポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの設定］を選択し、［NEC TCP/IP Printing System］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows 2000の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

チェック

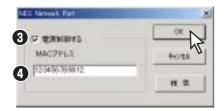
Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し、［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❶ ［プリンタ］フォルダーから対象プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを開く。

Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

❷ ［ポート］シートの［印刷するポート］で「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し、［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

❸ ［電源制御する］をチェックする。

❹ LANアダプターの［MACアドレス］を入力し、［OK］をクリックする。

プリンター本体および、LANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

2 プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウの［リモート電源ON］ボタンをクリックするか、［オプション］メニューの［電源をONにする］を選択します。

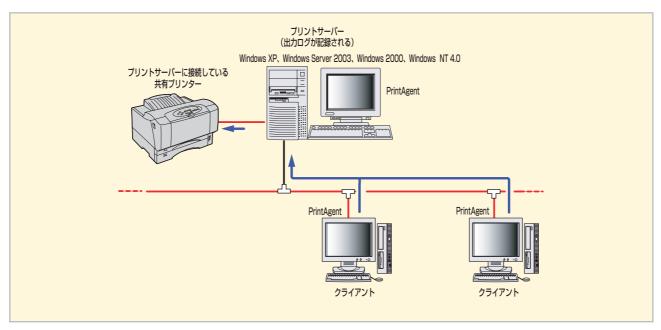
チェック

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源をOFFにするには、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを利用すると行えます。

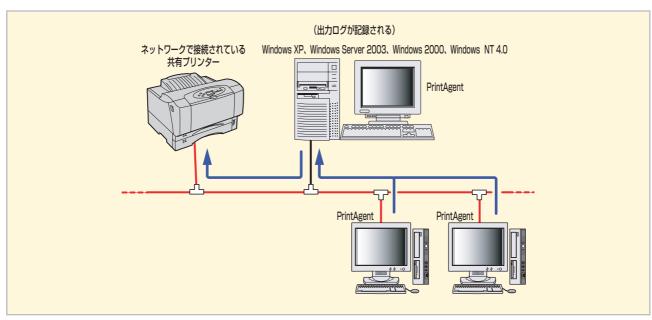
PrintAgentによる印刷ログの出力

PrintAgentがインストールされたプリントサーバーで管理されているプリンターが、どのくらい印刷したかを確認できるように、印刷履歴を残すことができる機能です。本機能はPrintAgentの機能で、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に対応しています。
この機能を利用するにはPrintAgentがインストールされたプリントサーバーとMultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが、直接接続されているMultiWriter 2860Nを共有プリンターに設定している例です。

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーが、ネットワークに接続されているMultiWriter 2860Nを共有プリンターに設定している例です。

ネットワークに直接接続されたプリンターの共有

設定方法

この設定が行えるのは以下の場合のみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

1 印刷ログ出力機能を設定する
2 印刷ログファイルを出力する

1 印刷ログ出力機能を設定する

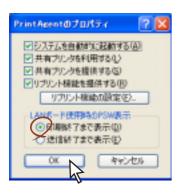
❶ **PrintAgentのプロパティを開く。**

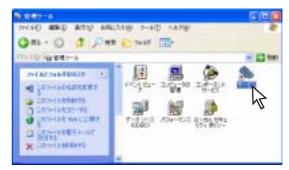
「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または［スタート］メニューから［プログラム］を選び、［MultiWriter2860N］の［PrintAgentシステムメニュー］から開きます。

❷ **［LANボード使用時のPSW表示］を［印刷終了まで表示］を選び、［OK］をクリックする。**

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順❸以降はOSごとに説明します。

<Windows XPの場合>

❸ **［コントロールパネル］の［パフォーマンスとメンテナンス］アイコンをクリックする。**

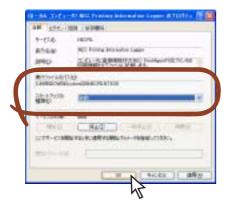
❹ **［管理ツール］アイコンをクリックする。**

❺ **［サービス］アイコンをダブルクリックする。**

❻ **リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。**

❼ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

＜Windows 2000の場合＞

❸ ［コントロールパネル］の［管理ツール］アイコンをダブルクリックする。

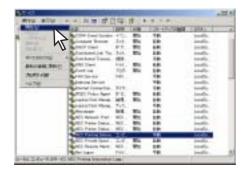
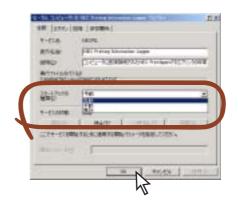
❹ ［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❺ リストビューから［NEC Printing Information Logger］を選び、［操作］メニューの［開始］をクリックする。

❻ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［操作］メニューから［プロパティ］を開く。

② ［全般］シートの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

＜Windows NT 4.0の場合＞

❸ ［コントロールパネル］の［サービス］アイコンをダブルクリックする。

❹ リストボックスから［NEC Printing Information Logger］を選んで、［開始］をクリックする。

❺ OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① ［スタートアップ］をクリックする。

② ［サービス］ダイアログボックスの［スタートアップの種類］で［自動］を選び、［OK］をクリックする。

2 印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter2860N.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

PrintAgentをインストールした時、インストール先フォルダーをデフォルトのWindowsインストールドライブにインストールし印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。なお、ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダーに登録した名前になります。

```
ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 2860N.log
```

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

```
"プリンタ名", "ドキュメント名", "ドキュメント所有者名", 印刷開始日, 印刷開始時刻, 印刷終了日, 印刷終了時刻,印刷枚数,
```

（例） ログファイルの内容

```
"NEC MultiWriter2860N", "アドレス一覧 - メモ帳", "佐藤", 2004/07/07, 13:28:46,2004/07/07, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter2860N", "「PrintAgent」ツールバーとは？", "鈴木", 2004/07/08, 13:29:11, 2004/07/08, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter2860N", "W2Kprlog", "山田", 2004/07/09, 13:30:09, 2004/07/09, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter2860N", "会議資料", "田中", 2004/07/10, 13:30:38, 2004/07/10, 13:30:54, 4,
```

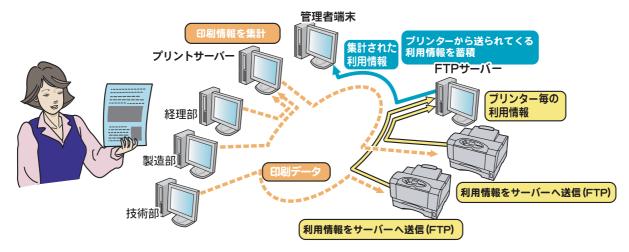
チェック

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".000", ".001"...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。

プリンタ利用情報通知機能を利用した印刷ログ集計

プリンタ利用情報通知機能とは

プリンターを使用したユーザーの印刷枚数・使用用紙サイズなどの情報をプリンターが蓄積し、一定の条件が揃うとFTPサーバーへ送信する機能です。FTPサーバーに蓄積される利用情報を集計することにより、管理者が各部門や個人の印刷量を管理するのに役立てられます。

FTPサーバーに通知された各プリンターからの利用情報を集計し、条件に合わせて印刷ログとして集計するには、「NEC印刷ログユーティリティ」が必要です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは

「NEC 印刷ログユーティリティ」とは、以下の2つで構成されいる利用情報を集計するツールで、本プリンターに添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。

- 合成サービス
- 集計サービス

重要

Windows XP Service Pack 2で動作しているコンピューターでの利用については「http://121ware.com」で情報を提供しています。詳しくは同ホームページをご覧ください。

合成サービス

プリンタ利用情報通知機能に対応した各プリンターからFTPサーバーに送信された利用情報をひとつのログファイル(以下マスターログと言います。)に合成するサービスです。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作します。

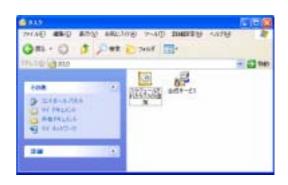
集計サービス

Microsoft Excelのマクロで作成されたユーティリティーです。合成サービスが作成したマスターログを利用者ごとに分類して一覧表示したり、用紙サイズごとに印刷枚数の集計が可能です。これらの表示/集計結果はMicrosoft Excelのブック形式で保存することができ、グラフ作成などの編集にも利用可能です。

「NEC 印刷ログユーティリティ」を使用すると

合成サービス

合成サービスをインストールすると、以下のようになります。

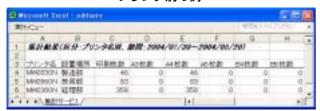
- タスクスケジューラに「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログが生成/更新されます。

- FTP サーバーにはプリンターログを保存するための仮想ディレクトリー“/PrinterLog”が作成されます。

集計サービス

部署別に集計、利用者別に集計、プリンター別に集計することができます。

部署別の例

利用者別の例

プリンタ別の例

以下の手順で利用情報を集計するFTPサーバーとプリンターの設定を行います。

設定方法

チェック

詳細な設定方法は、本プリンター添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス」（ファイル名：m_readme.txt）と「NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス」（ファイル名：edreadme.txt）を参照してください。

1 集計するサーバーの設定（合成サービスのインストールと設定）
2 プリンターの設定

1 集計するサーバーの設定（合成サービスのインストールと設定）

❶ **Windows XP、Windows Server 2003，Windows 2000、もしくはWindows NT 4.0でFTPサーバーを起動する。**

詳しくは、OSのマニュアルをご覧ください。

❷ **NEC 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMからNEC 印刷ログユーティリティー合成サービスをインストールします。インストールを行うと、FTPサーバーに”/PrinterLog”仮想ディレクトリーが自動的に作成されます。

タスクスケジューラには「合成サービス」のタスクが追加され、一定時間ごとにマスターログを生成/更新します。

❸ **［プリンタ名テーブル］シートを開いて、プリンターを登録する。**

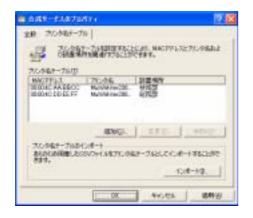
<Windows XP、Windows Server 2003の場合>

［スタート］－［すべてのプログラム］－［NEC印刷ログユーティリティー］－［合成サービスのプロパティ］を開くと以下の設定が可能です。

<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

［スタート］－［プログラム］－［NEC印刷ログユーティリティー］－［合成サービスのプロパティ］を開くと以下の設定が可能です。

［プリンタ名テーブル］シート

プリンタ名テーブルの追加/変更/削除およびインポート

［プリンタ名テーブル］

プリンターに装着されているLANインターフェースのMACアドレスとプリンタ名、設置場所を関連付けるテーブルです。この情報を設定しておくと、マスタログにプリンタ名、設置場所の情報が追加されます。

チェック

プリンタ名には、同じ名前は使用できません。

［プリンタ名テーブルのインポート］

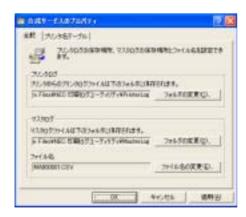
あらかじめ用意したCSVファイルをプリンタ名テーブルとしてインポートできます。

データ順序：MACアドレス、プリンタ名、設置場所（設置場所は省略可能）

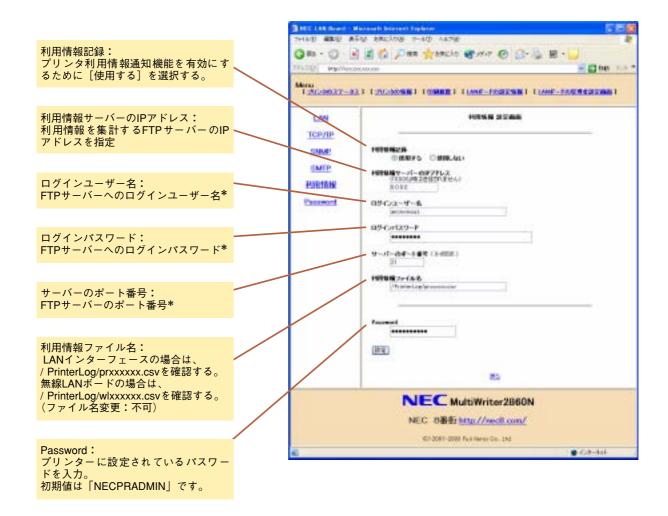
例）
00:00:4C:AA:BB:CC,MultiWriter2360N,技術部
00:00:4C:DD:EE:FF,MultiWriter2860N,総務部

［全般］シート

必要に応じて、以下のフォルダーおよびファイル名を設定します。通常は標準設定でご利用ください。

- プリンターから通知された利用情報を保存する保存先フォルダー
- マスターログの保存先フォルダおよびファイル名

2 プリンターの設定

❶ **プリンター（LANインターフェース）の設定をする。**
プリンタのIPアドレスなどの設定を行います。

❷ **利用情報機能の設定をする。**
Webブラウザのアドレスに、❶で設定したIPアドレスを指定し、「LANボードの管理者設定画面」を呼び出して、「利用情報」の設定を行います。

印刷を行うと利用情報がプリンターのメモリーに記録され、一定の条件が揃うとプリンターがFTPサーバーに利用情報を送信します。

* 各設定値については、サーバー管理者におたずねください。

利用情報の集計方法

❶ **NEC 印刷ログユーティリティー集計サービスのインストールをする。**

プリンターソフトウエアCD-ROMからNEC 印刷ログユーティリティー集計サービスをインストールします。

❷ **集計サービスを起動する。**

［スタート］－［プログラム］－［NEC 印刷ログユーティリティ］－［集計サービス］を開きます。

❸ **ユーザー情報テーブルの設定をする。**

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［ユーザー情報設定］を選択し、ユーザー名、IPアドレス、利用者名、社員番号、所属部門で分類し集計を行います。

❹ **マスターログの指定をする。**

集計サービスの［実行メニュー］－［環境設定］－［マスタログ指定］を選択し、合成サービスで設定したマスターログを指定します。

❺ **利用情報の集計する。**

- 利用情報の一覧表示
  - －集計サービスの［実行メニュー］－［ログ一覧］を選択します。
  - －［取り込み］をクリックすると利用情報を一覧表示します。
  - －必要に応じて［保存］をクリックして別名で保存します。
- 利用情報の集計
  - －集計サービスの［実行メニュー］－［集計］を選択します。
  - －［集計］ダイアログボックスで、集計期間を設定し、集計区分を選択します。

    集計区分：所属部門別・利用者別・プリンタ別・所属部門/プリンタ別・利用者/プリンタ別
  - －［開始］をクリックすると、設定した条件で収集を行います。
  - －必要に応じて、［保存］をクリックして別名で保存します。

必要な環境

FTPサーバー

次のコマンドをサポートしたFTPサーバー（Microsoft社製FTPサーバーを推奨）

USER/PASS/QUIT/PORT/TYPE/APPEND

対応プリンター

- MultiWriter 2860NまたはMultiWriter 2860N+無線LANボード　PR-WLX-13
- MultiWriter 2830NまたはMultiWriter 2830N+無線LANボード　PR-WLX-13
- MultiWriter 2360NまたはMultiWriter 2360N+無線LANボード　PR-WLX-13
- MultiWriter 2360+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WLX-13
- MultiWriter 3650NまたはMultiWriter 3650N+無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2850NまたはMultiWriter 2850N+無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2850+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2350NまたはMultiWriter 2350N+無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2350+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2150+LANボード（TCP/IP）PR-NP-04Tまたは無線LANボード　PR-WL-12
- MultiWriter 2800N
- MultiWriter 2800+PR-L2800-NP
- MultiWriter 2300N

集計ツール

プリンタ利用情報通知機能の集計ツールとして、以下の「NEC 印刷ログユーティリティ」を添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録しています。

	NEC 印刷ログユーティリティー合成サービス	NEC 印刷ログユーティリティー集計サービス
動作可能OS	• Windows XP Professional 日本語版 • Windows Server 2003 日本語版 • WIndows 2000 Professional/Server 日本語版 • Windows NT Workstation/Server 4.0 日本語版	• WIndows XP 日本語版 • Windows Me 日本語版 • WIndows 98 日本語版 • Windows 95 日本語版 • Windows Server 2003 日本語版 • Windows 2000 日本語版 • Windows NT 4.0 日本語版
必要なソフトウエア	Microsoft社製FTPサーバー、 タスクスケジュラーサービス	Microsoft Excel 97 以降のWindows版 Excel

その他

LANインターフェースのプリンターの利用情報通知機能を設定するには、Internet Explorer 3.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降と動作するコンピューターが必要です。

補足情報

利用情報詳細

記憶順	情報名称	説　明	備　考
1	プリンタ名	印刷出力したプリンターの名称	製品内に定義されている名称
2	――――	未使用	
3	ユーザ名	印刷データを送信したユーザー名	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。最大8バイト。
4	印刷開始日	印刷データを生成した日	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
5	印刷開始時刻	印刷データを生成した時刻	NEC製プリンタードライバー（Windows用）使用時に有効。
6	印刷終了日	印刷出力が終了した日	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
7	印刷終了時刻	印刷出力が終了した時刻	未設定（合成サービスを使用している場合は合成サービスが付加）
8	印刷枚数*	印刷出力した用紙の枚数	
9	ポート識別情報	印刷データを受信したポートの識別情報	Network/Parallel/USB/Other
10	IPアドレス	印刷データを送信した装置のIPアドレス	プリントサーバー経由の場合はサーバーのアドレスとなる。
11	A3サイズの印刷枚数	印刷出力したA3サイズの用紙の枚数	
12	A4サイズの印刷枚数	印刷出力したA4サイズの用紙の枚数	
13	A5サイズの印刷枚数	印刷出力したA5サイズの用紙の枚数	
14	B4サイズの印刷枚数	印刷出力したB4サイズの用紙の枚数	
15	B5サイズの印刷枚数	印刷出力したB5サイズの用紙の枚数	
16	レターサイズの印刷枚数	印刷出力したレターサイズの用紙の枚数	
17	その他のサイズの印刷枚数	印刷出力したその他のサイズの用紙の枚数	
18	総印刷枚数*	印刷出力した面数	

* 両面印刷で2ページ分のデータを1枚の紙に印刷した場合、印刷枚数=1、総印字枚数=2とカウントします。
用紙サイズ設定では［A4×2→A4］を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。
複数ページ印刷で［2ページ→1ページ］を選択して印刷した場合は、印刷枚数=1、総印字枚数=1とカウントします。

利用情報例

チェック

- 利用情報記録ファイルはCSV 形式です。
- FTP サーバーにすでにファイルが存在する場合は、そのファイルに追加します。ファイルが存在しない場合は、ファイルを作成します。

TCP/IPを使用したネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 2xxxx ¨ ,, “AAA”,2004/07/07,19:52:01,,,21, ¨ Network ¨ ,,192.168.0.131,21,0,0,0,0,0,0,2,,,,,,,,[CR][LF]

TCP/IPを使用しないネットワーク印刷

¨ NEC MultiWriter 2xxxx ¨ ,, “BBB” ,2004/07/07,20:00:12,,,10, ¨ Network ¨ ,,0,10,0,0,0,0,0,0,10,,,,,,,,[CR][LF]

パラレルインターフェースによる印刷

¨ NEC MultiWriter 2xxxx ¨ ,, “CCC” ,2004/07/07,10:00:00,,,1 , ¨ Parallel ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR][LF]

USBによる印刷

¨ NEC MultiWriter 2xxxx ¨ ,, “DDD” ,2004/07/07,05:00:00,,,1 , ¨ USB ¨ ,,0,0,1,0,0,0,0.1,,,,,,,,[CR][LF]

ステータス印刷/サンプル印刷によるポートを使用しない印刷

¨ NEC MultiWriter 2xxxx ¨ ,, “,,,,,,,,2, ¨ Other ¨ ,,2,0,0,0,0,0,2.2,,,,,,,,[CR][LF]

プリンターがFTPサーバーへ利用情報を送信するタイミング

- 一定時間経過時
  10分間（固定）経過したとき

- 利用情報格納エリアニアフル
  FTPサーバーへ利用情報を送信する間に生成される利用情報を格納するエリアを除いて、保存エリアがニアフルになったとき

- オペレータパネルリセット時
  ユーザーが操作パネルでリセット操作をしたとき

チェック

- FTPサーバーへの送信に失敗した場合は、ログ情報を印刷します。
- 利用情報がない場合は送信されません。

保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで［利用可能なプリンタ］としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

To：xxxx@yyy.zzzz
From：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Reply-To：日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Cc：zzzz@xxxx.yyyy
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent メール通知
通知概要： EPカートリッジ交換
プリンタ名： NEC MultiWriter2860N
通知アラーム： 76 トナーナシ
通知アラーム検出： 2004/07/07　00:00

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
EPカートリッジを交換してください。
****
NEC ☆※部
日電太郎
東京都○×区△1丁目2番3号
□■ビル 1F
03-XXXX-XXXX
****

保守情報の通知例

設定方法

❶ ［PrintAent プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

❷ パスワードを入力する。

❸ ツリービューから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

❹ ［ツール］メニューの［メール通知の設定］をクリックする。

［メール通知の設定］ダイアログボックスが表示されます。

❺ **メール送信情報と、ユーザー情報を入力する。**

✔チェック

メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は、メール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写でき、便利です。

［メール送信情報］シート

［ユーザ情報］シート

❻ **リストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの［アラームの発信設定］をクリックする。**

［アラームの発信設定］ダイアログボックスが表示されます。

❼ **必要に応じてEPカートリッジの交換と定期保守の設定の通知先情報を入力する。**

［通知設定の確認］をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

✔チェック

- 保守員コール、通報システム設定シートの設定は、お客様はご利用頂けません。設定は行わないでください。
- 通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。
- 「定期保守通知」は印刷枚数が10万、20万、30万、40万、50万ページに達したら、その都度一回だけ発信されます。

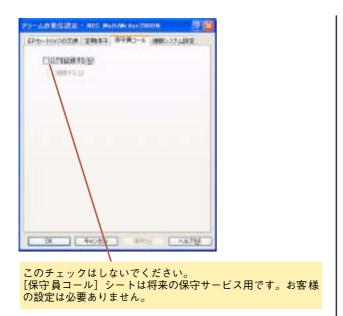
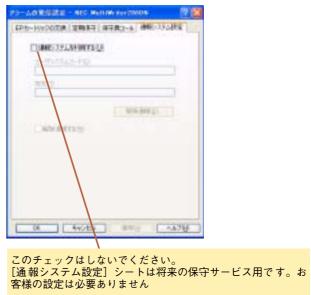
このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［EPカートリッジの交換］シート

このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてここの［写し］に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

［デフォルト］をクリックすると［メール通知の設定］ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

［定期保守］シート

［保守員コール］シート

［通報システム設定］シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentでは、保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの［PrintAgent］フォルダーに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成され、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成されます。
また、PrintAgentをインストールした時のインストール先ディレクトリーを変更せずに（Cドライブ）にインストールした場合、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

ログファイル：C:¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時　：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

Web PrintAgent

Web PrintAgentとは、ネットワーク上のクライアントコンピューターの汎用ブラウザーを利用して、プリントサーバーが管理しているプリンターの状態や設定を参照することができる機能です。

重要

Windows XP Service Pack 2で動作しているコンピューターでの利用については、「http://121ware.com」で情報を提供しています。詳しくは同ホームページをご覧ください。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

1. **プリントサーバーのコンピューターに Web サーバーをインストールする。**
   Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。
2. **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**
3. **プリントサーバーのコンピューターに、Web PrintAgentをインストールする。**
   プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールします。（詳しくは2章の「プリンター管理者用インストール」（79ページ）を参照してください。）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと、以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照してください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/

下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 6.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また、画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウエアCD-ROMからとネットワーク上のサーバ-クライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーを更新する手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウエアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー（OSに収録されているプリンタードライバーも含む）について、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ（更新）することができます。

動作環境

以下のOSで使用できます。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

設定方法

ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

❶ **プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。**

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.EXE」を実行してください。

❷ **画面左側の［バージョンアップ］をクリックする。**

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

❸ **製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。**

または［全追加］や［全削除］をクリックすることで、対象製品をすべて選択したり、解除することができます。

❹ ［バージョンアップ開始］をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。

確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックするとバージョンアップが開始されます。

バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

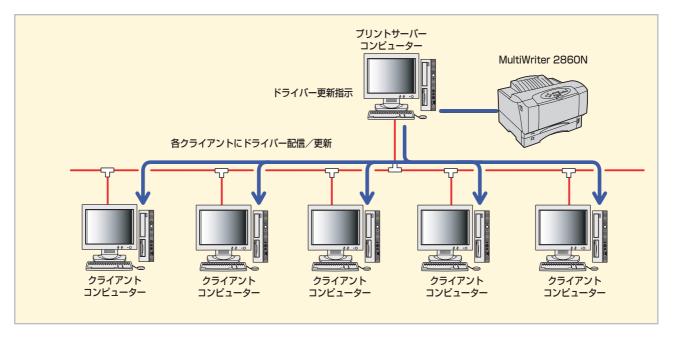
チェック

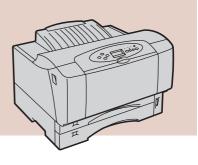
OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

使用上の注意事項

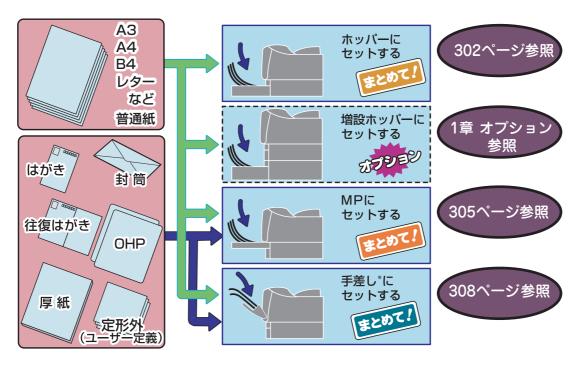
- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OS に添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XP、Windows Server 2003にインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。すべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が［コンピュータの管理者］の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

MultiWriter ドライバ配信機能

ネットワーク上のサーバークライアント環境で自動的にクライアントコンピューターへプリンタードライバーを配信し、更新する機能です。

詳しくは、プリンターソフトウエアCD-ROMの¥MWDUPフォルダーのREADME.TXT および¥MWDUP¥MANUALフォルダーのオンラインマニュアル（HTML形式）、¥XPSP2¥DU_UPDATフォルダーのREADME.TXTを参照してください。

5章
用紙のセット

この章では、本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

本プリンターは、豊富な給紙機構（ホッパー、MP、手差し*）を持つプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

本プリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。ホッパー、MP、手差し*、増設ホッパーに用紙をセットして印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙口に切り替える機能です。設定手順については1章の「リレー給紙の設定」（29ページ）をご覧ください。

* MultiWriter 2860N/2360N/2360のみサポートしています。

用紙について

ここでは本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については「付録　技術情報」（425ページ）を参照してください。

給紙口	セットできる用紙			両面印刷*[2]
	種類	サイズ	枚数*[1]	
標準ホッパー	普通紙*[3]（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250	○
	ラベル紙	A4、B4	30	×
MP	普通紙*[3]（乾式PPC用紙）	ー　A3、B4、A4、B5、A5、レター ー　定形外用紙*[5]（100～297×148～420mm）	100	○
	厚紙*[4]		ー	×
	ラベル紙	A4、B4	30	×
	はがき	はがき、往復はがき	30	×
	OHPフィルム	A4	30	×
	封筒	洋形4号	10	×
手差し*[2]	普通紙*[3]（乾式PPC用紙）	ー　A3、B4、A4、B5、A5、レター ー　定形外用紙*[5]（100～297×148～420mm）	30	○
	厚紙*[4]		ー	×
	ラベル紙	A4、B4	10	×
	はがき	はがき、往復はがき*[6]	10	×
	OHPフィルム	A4	10	×
	封筒	洋形4号	5	×
増設ホッパ（250）	普通紙*[3]（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250	○
増設ホッパ（500）	普通紙*[3]（乾式PPC用紙）	A3、B4、A4、レター	500	○

*1　坪量64.0g/m^2（連量55kg）の用紙を使用した場合です。
*2　MultiWriter 2860N/2360N/2360では両面印刷機能を標準でサポートしています。MultiWriter 2830Nではオプションの両面印刷ユニットが必要です。
*3　坪量64.0g/m^2～81.4g/m^2（連量55～70kg）の用紙です。
*4　坪量81.4g/m^2～128g/m^2（連量70～110kg）の用紙です。
*5　定形外用紙は、両面印刷に対応していません。
*6　官製往復はがきとそれに相当する往復はがきは縦置きにセットしてください。

普通紙（乾式PPC用紙、定形用紙）以外の用紙は両面印刷できません。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については310〜312ページに記載していますので、併せてお読みください。

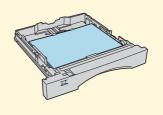
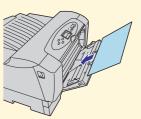
- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
  - 次のような状態のラベル紙
    台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
  - すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

用紙のセット方向

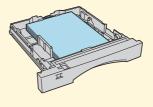
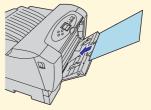
標準ホッパー、MP、手差し＊[1]にセットする用紙の方向は次のとおりです。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の5種類です。

B5、A5、A4、レター、往復はがき＊[2]、＊[3]

縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の6種類です。

A3、B4、A4、はがき、往復はがき＊[2]、＊[3]、封筒

＊1　MultiWriter 2860N/2360N/2360のみサポートしています。

＊2　往復はがきをMPまたは手差しにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットする時の注意」の「はがき、往復はがき」（310ページ）をお読みください。

＊3　日本郵政公社が発行している官製往復はがきを手差しにセットする場合は、縦置きにセットしてください。また、官製はがきに相当する往復はがきも縦置きにセットしてください。横置きにセットするときは事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認してください。

ホッパーに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙なら250枚までセットできます。

重要

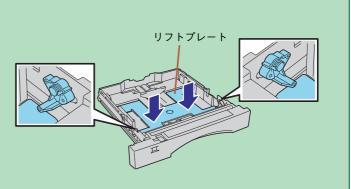
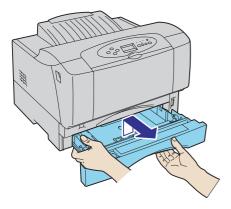
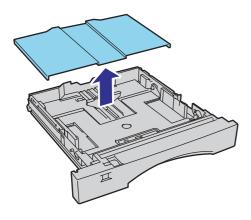
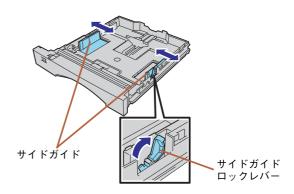
- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。
- 出荷時は用紙サイズ設定ダイヤルを「A4 ヨコ」に設定しています。

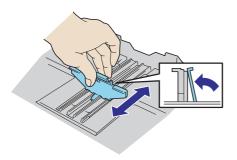
❶ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

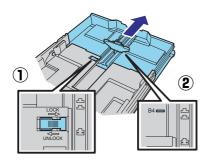
❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**

❹ エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4、レターサイズの場合>

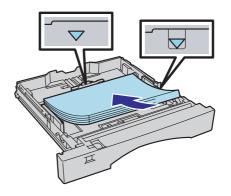
エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを左に動かして、“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

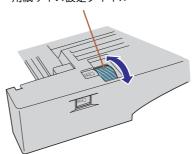
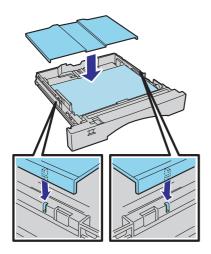
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

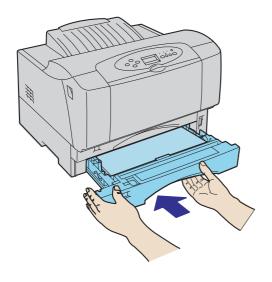
チェック

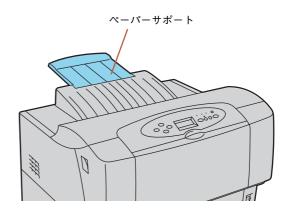
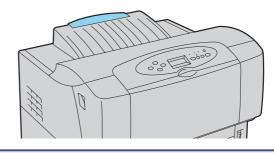
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

用紙サイズ設定ダイヤル

❼ **用紙カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。**

❽ **標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。**

> **重要**
>
> 用紙をセットした標準カセットは､重くなっています｡取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください｡

❾ **ペーパーサポートを引き出す。**

A3、B4、またはA4縦以上の定形外用紙の場合、ペーパーサポートを引き出します。

上記以外の用紙の場合、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど、癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

MPとは「マルチパーパス」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

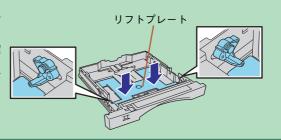
MPカセットの容量は坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。

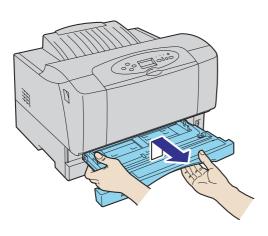
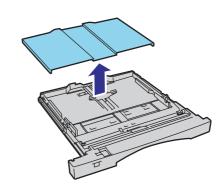
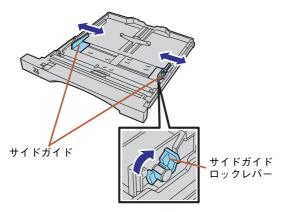
厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「MPヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は7章の「メニューツリー」（329ページ）を参照してください。厚紙は坪量81.4〜128.0g/m²（連量70〜110kg）までセットすることができます。

重要

- MPカセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をMPカセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「6章　操作パネル」（313ページ）を参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

チェック

- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。

❶ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

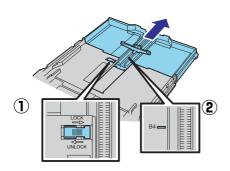
❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。

❹ エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4、レターサイズ、はがき、封筒、往復はがきの場合>

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズもしくはA4縦以上の定形外用紙の場合>

① スライドカセットロックを左に動かしに“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

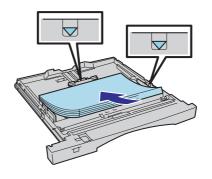
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの表示に合わせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

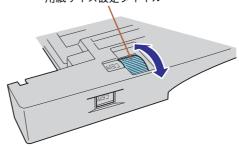
A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットできます。

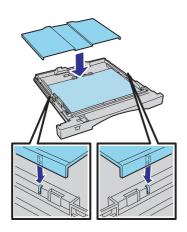
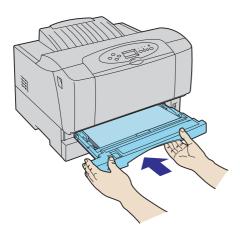
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✔チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。
- 出荷時は用紙サイズ設定ダイヤルを A4 タテに設定しています。

❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。

はがき、往復はがき、封筒、レターサイズ、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「＊」に設定してください。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❼ **用紙カセットカバーをMPカセットの溝に合わせて取り付ける。**

❽ **MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。**

重要

用紙をセットしたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

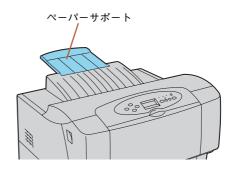
❾ **はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。**

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細は「6章　操作パネル」（313ページ）参照。）

チェック

用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「＊」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。

❿ **ペーパーサポートを引き出す。**

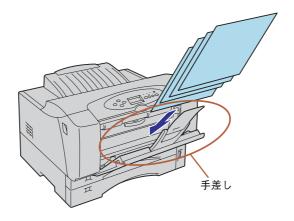
A3、B4サイズ、またはA4縦以上の定形外用紙の場合、ペーパーサポートを引き出します。

上記以外の用紙の場合、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

手差しに用紙をセットする

MultiWriter 2860N/2360N/2360では、手差しに普通紙をはじめ、ラベル紙や厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

注意

- 手差しに用紙以外の物や、手を載せないでください。手差しが破損する原因となるおそれがあります。
- 手差しから印刷しないときは、必ずフロントカバーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障の原因となるおそれがあります。

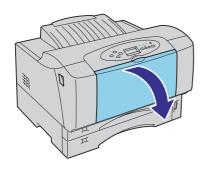
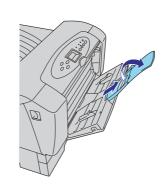
重要

- 手差しからの給紙をサポートしているのはMultiWriter 2860N/2360N/2360のみです。
  MultiWriter 2830Nには手差し口はありません。無理に前のカバーを開けると本体破損の原因となります。また、両面印刷ユニットを取り付けた際は、フロントカバーが開くようになりますが、手差し部より用紙を押し込まないようにしてください。紙づまりの原因となります。
- 手差しにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）を手差しにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 手差しに用紙をセットした時は、手差しの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は「6章　操作パネル」（313ページ）を参照して、[手差し]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にも、そのつど操作パネルで設定を行ってください。

チェック

厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「テサシ　ヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は329～339ページのメニューツリーを参照してください。

❶ フロントカバーを開く。

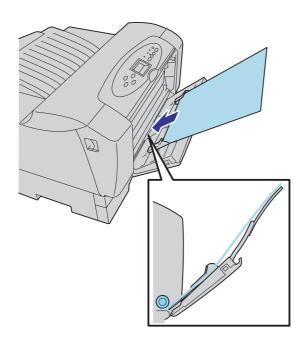
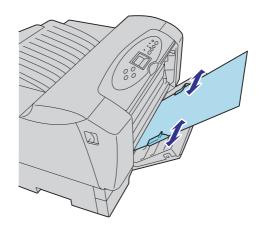
中央のくぼみをつかみ、ゆっくり手前に引きます。

❷ 中央にある手差し用紙サポートを引き出す。

❸ **印刷したい面を下にして、用紙を手差し用紙ガイドに沿って突き当たるまで挿入する。**

A3サイズ、B4サイズ、はがき、官製往復はがき*、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

A4サイズおよび普通紙相当の往復はがきは、縦置き、横置きどちらでもセットできます。

* 官製往復はがき相当の往復はがきをセットする場合も、縦置きにセットしてください。

✔チェック

手差しに用紙をセットする際には、印刷する面を下にしてください。

❹ **セットした用紙に手差し用紙ガイドを合わせる。**

❺ **操作パネルでセットした用紙サイズを設定する。**

操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[シフト]スイッチを押しながら、[手差し]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。（操作パネルの詳細は「6章　操作パネル」（313ページ）参照。）

- [シフト]スイッチを押しながら[手差し]スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。

  「A4タテ→A4ヨコ→A5→B4→B5→LT→ハガキ→ハガキ2ヨコ→ハガキ2タテ→フウトウ→A3」

- Windows環境において手差し給紙で定形外用紙に印刷する場合は、操作パネルで用紙サイズの設定は必要ありません。定形外用紙への印刷の場合は、操作パネルで設定されている用紙サイズは無効になり、プリンタードライバーの用紙サイズの設定で印刷を行えます。プリンタードライバーで給紙口と用紙サイズを設定し、印刷を行ってください。（詳しくは、4章の「定形外用紙サイズの用紙に印刷」（239ページ）を参照してください。）

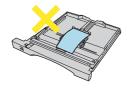
用紙をセットする時の注意

ここで示す注意事項をお守りください。加えて、セットできる給紙口を確認した上で印刷してください（「使用できる用紙」（300ページ）を参照してください）。

はがき、往復はがき

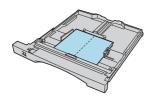
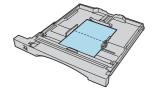
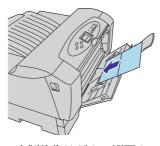
重要

往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が 2mm 以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は､はがきを十分さばいてからセットしてください。

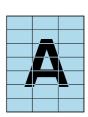
- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがき（官製往復はがきを含む）を MP カセットにセットする場合は、横置き、縦置きのどちらでもセットできます。横置き、縦置きにセットできる向きをそれぞれ下図に示します。操作パネルで設定する際にご注意ください。

往復はがき　横置き

往復はがき　縦置き

- ＜MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ＞
  官製往復はがきとそれに相当する往復はがきを手差しにセットする場合は、縦置きにセットしてください。

官製往復はがき　縦置き

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、1枚ずつ印刷することをお勧めします（MultiWriter 2860N/2360N/2360では手差し給紙をご利用ください）。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

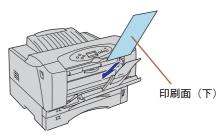
封筒

重要

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷しないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。
  ただし、封筒の材質により、ご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。

- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。

- MPカセットにセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

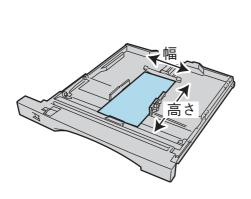
- <MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ>
  手差しにセットする場合は、印刷する面を下にして縦方向に封筒をセットしてください。

定形外用紙

重要

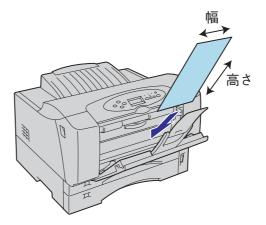
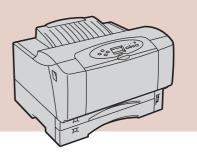
形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角ではない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

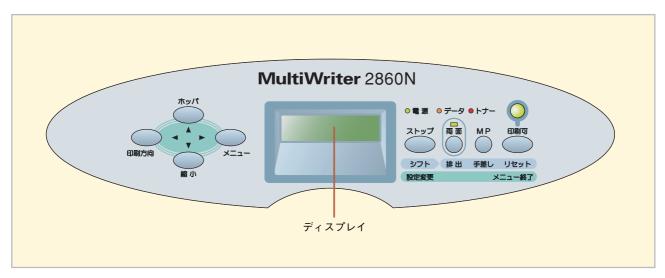
Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。詳細は7章の「メニューツリー」（329ページ）を参照してください。

- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズについて
  MPカセット、手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）にセットできる定形外用紙の用紙サイズは以下のとおりです。
  幅：100～297mm
  高さ：148～420mm

MPカセットに定形外用紙をセット

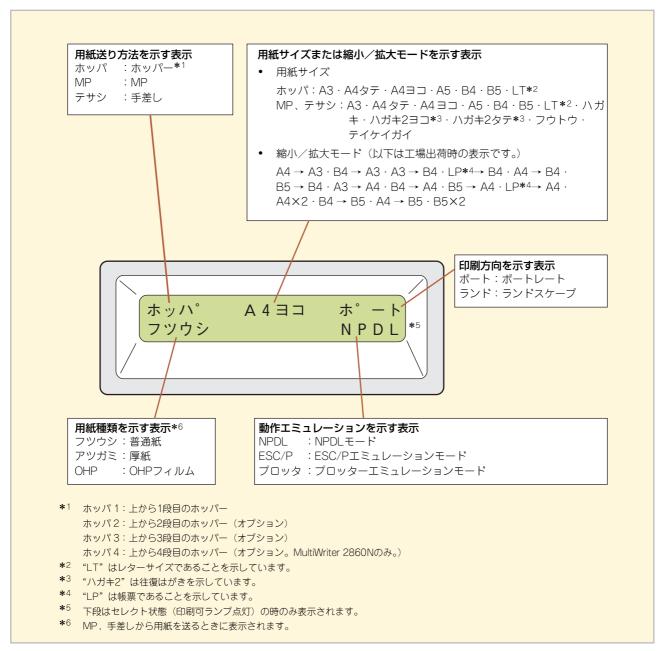
手差しに定形外用紙をセット

6章
操作パネル

この章では、操作パネルにあるスイッチやランプについて説明しています。

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

ESC/Pエミュレーションおよびプロッターエミュレーションでは、一部機能が異なります。詳しくは326～328ページの表をご覧ください。

操作パネル（MultiWriter 2860Nの場合）

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。

ディスプレイの表示

上記の表示で「テサシ（手差し）」はMultiWriter 2860N/2360N/2360でサポートしている機能です。
その他の表示内容については本書の9章の「アラーム表示が出ているときは」（380ページ）、7章の「メニューツリー」（329～339ページ）または、付録の「ディスプレイ表示一覧」（497ページ）をご覧ください。

ランプ

印刷可ランプ（緑／赤）

点灯（緑）　プリンターがセレクト状態（印刷データを受信できる状態）になっています。

点滅（赤）　点滅を繰り返し、30秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。

カセットに用紙がない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態を示します。詳細については9章の「アラーム表示が出ているときは」（380ページ）をご覧ください。

消灯　プリンターがディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になっています。（ただし、I/F設定がECPモード中は印刷データを受信します。）

電源ランプ（緑）

点灯　プリンターの電源がONになっています。

消灯　プリンターの電源がOFFになっています。

データランプ（橙）*

* I/F設定がECPモード中にディセレクト状態でデータ受信しているときはデータランプは点滅/点灯しません。

点灯
- プリンター内に印刷データが残っています。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅　プリンターが印刷データを受信中です。

消灯
- プリンター内にデータが残っていません。
- プリンターはデータを受信中ではありません。

トナーランプ（赤）

点灯　EPカートリッジのトナーの残量が少ない、またはEPカートリッジの寿命です。新しいEPカートリッジと交換してください。詳細については8章「EPカートリッジの交換」（369ページ）をご覧ください。

消灯　EPカートリッジのトナーが十分にあります。

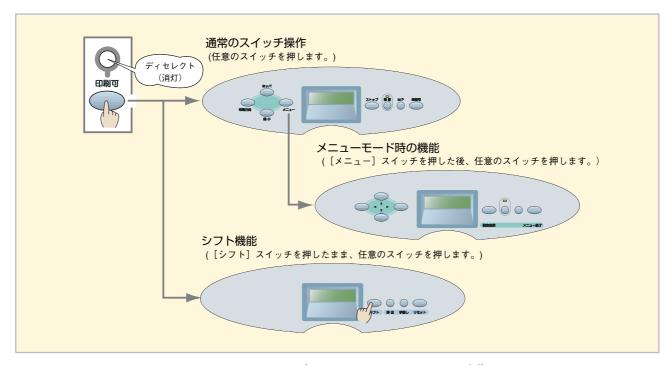
両面ランプ（緑）*

* MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着しているときのみ機能します。

点灯　両面印刷モードに設定されています。

消灯　両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。

スイッチのモード（MultiWriter 2860Nでの例）

通常のスイッチ機能	：	[印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く)。
メニューモード時のスイッチ機能	：	[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
シフト時のスイッチ機能	：	[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

チェック

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(380ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルにおいて、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

通常のスイッチ機能には以下の種類があります。なお、「手差し印刷」については、これらの機能をサポートするMultiWriter 2860N/2360N/2360に限って説明しています。

[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。
スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

[MP] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙口をMPにする。＊1
このスイッチを押すと、MP から用紙を給紙する状態に切り替わります。

MP給紙の用紙サイズを変更する。
MPにA3、A4、A5、B4、B5をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズの設定をしますが、レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒をセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、このスイッチを押して用紙サイズを設定します。このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

チェック

MPに用紙をセットした後は、用紙サイズ設定ダイヤル、および[MP]スイッチで用紙サイズを変更してください。

＊1　[ホッパ]スイッチでもMP給紙を選択することができます。
＊2　「LT」は「レター」を意味します。
＊3　「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

[両面] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。（MultiWriter 2830Nではオプションの両面印刷ユニットを取り付けたときに機能します。）

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。
両面ランプが消灯している状態で、このスイッチを押すと、両面印刷モードになります。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。次の場合、両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- 用紙サイズがA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズ以外の場合
- MP、手差し給紙で「厚紙」または「OHP」を指定した場合
- 定形外用紙に印刷した場合

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。
印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。

受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。

印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。
アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[メニュー] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。

[ホッパ] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙口を切り替える（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）。
手差しから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーもしくはMPから用紙を給紙する状態に切り替わります。

> **チェック**
>
> 手差しから用紙を送る状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。

給紙口を選択する（ホッパーを使用しているとき）。
ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパー /MPを次のように切り替えます。（選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。）

このスイッチを押したときの用紙サイズは、指定された給紙口の用紙サイズ設定ダイヤルにより自動設定されます。ただし、MP 給紙で用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定した場合は[MP]スイッチで設定した用紙サイズとなります。

＊1 ホッパー装着時のみ表示されます。
＊2 MultiWriter 2860N/2830Nのみ表示されます。

[印刷方向] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに切り替える。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

[縮小] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

> **チェック**
>
> - アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
> - 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド（FS f c1 c2 c3）によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。
> - 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。
このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

[A3] → [A4→A3] → [B4→A3] → [A3] →（繰り返し）

- A4サイズに印刷する

[A4] → [B4→A4] → [LP→A4]＊1 → [A3→A4] → [A4×2]＊2 → [B5→A4] → [A4] →（繰り返し）

- B4サイズに印刷する

[B4] → [LP→B4]＊1 → [A3→B4] → [B5→B4] → [A4→B4] → [B4] →（繰り返し）

- B5サイズに印刷する

[B5] → [A4→B5] → [B4→B5] → [B5×2]＊3 → [B5] →（繰り返し）

動作エミュレーションがプロッターモードに設定されているとき縮小／拡大モードの設定をする。
プロッター縮小機能が有効のときこのスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

[A3] → [B3→A3] → [A2→A3] → [B2→A3] → [A1→A3] → [B1→A3]
→ [A0→A3] → [B0→A3] → [A4→A3] → [B4→A3] → [A3] →（繰り返し）

- A4サイズに印刷する

[A4] → [B4→A4] → [LP→A4]＊1 → [A3→A4] → [B3→A4] → [A2→A4] → [B2→A4] → [A1→A4]
→ [B1→A4] → [A0→A4] → [B0→A4] → [A4×2]＊2 → [B5→A4] → [A4] →（繰り返し）

- B4サイズに印刷する

[B4] → [LP→B4]＊1 → [A3→B4] → [B3→B4] → [A2→B4] → [B2→B4] → [A1→B4] → [B1→B4]
→ [A0→B4] → [B0→B4] → [B5→B4] → [A4→B4] → [B4] →（繰り返し）

- B5サイズに印刷する

[B5] → [A4→B5] → [B4→B5] → [B5×2]＊3 → [B5] →（繰り返し）

＊1　LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。
＊2　A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。
＊3　B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能

メニューモード時のスイッチには、次の種類があります。[メニュー] スイッチを押した後、以下のスイッチが機能します。

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

[設定変更] スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。
メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、329～339ページの「メニューツリー」を参考にしてください。

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」（329～339ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能

シフト時のスイッチを機能させるには、［シフト］スイッチを押したまま、以下の中から任意のスイッチを押します。

[シフト] スイッチ

このスイッチが押されている間、［シフト］スイッチの右にある3つのスイッチは、左から順に「排出」、「手差し」（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）、「リセット」の機能を持ちます。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。

[排出] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インターフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。

チェック

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

[手差し] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。MultiWriter 2860N/2360N/2360でのみ機能します。

給紙口を手差しにする。

ホッパーまたはMPから用紙を給紙する状態で[シフト]スイッチを押しながら、このスイッチを押すと、手差しから用紙を給紙する状態に切り替わります。

手差し給紙の用紙サイズを変更する。

手差し給紙を選択中に、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。

＊1　「LT」は「レター」を意味します。
＊2　「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

[リセット] スイッチ

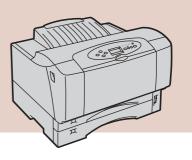
このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

チェック

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は「NPDLの初期状態」（450ページ）をご覧ください。

7章
メニューモード

メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

操作パネルでの設定方法

メニューモードの設定変更のしかた

❶ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

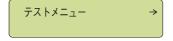
印刷可ランプが消灯します。

❷ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

❸ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　→”と表示します。

❹ **メニューモードの設定を変更する。**

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および329〜339ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

［◀］、［▼］、［▶］、［▲］スイッチ：

このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

［設定変更］スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

❺ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ホッパ゜　　A4ヨコ　ホ゜ート
NPDL

メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、2段目にオプションの増設ホッパ（500）を取り付けた場合のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「7-4」です。

❶ **プリンターの電源をONにする。**

❷ **［印刷可］スイッチを押して、ディセレクト状態にする。**

印刷可ランプが消灯します。

❸ **データランプが点灯していないことを確認する。**

点灯している場合は［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

❹ **［メニュー］スイッチを押す。**

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー　　→”と表示します。

テストメニュー　→

❺ **［▲］スイッチを1回押す。**

ディスプレイに“メモリスイッチメニュー　　→”と表示します。

メモリスイッチメニュー　→

❻ **［▶］スイッチを1回押す。**

MSW1が表示されます。

12345678
←MSW1　00000000*

❼ **［▲］スイッチ、または［▼］スイッチを押して、MSW7を表示させる。**

12345678
←MSW7　00000000*

❽ **［▶］スイッチを3回押して、カーソルをMSW7-4に移動する。**

12345678
←MSW7　00000000*

❾ **［設定変更］スイッチを1回押して、MSW7-4を“1”に変更する。**

12345678
←MSW7　00010000*

❿ **［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。**

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。

ﾎｯﾊﾟ　A4ﾖｺ　ﾎﾟｰﾄ
NPDL

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ (MSW)	ESC/P エミュレーション	プロッターエミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、プリンターの状態が印刷されます。	×	○	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○	○
	LANステータス印刷*1	LANインターフェース（オプションのLANボードを含む）のLANボードのコンフィグレーションページ（LANステータス）を印刷します。	×	○	○
	通信ログ印刷*1	LANインターフェース（オプションのLANボードを含む）の通信ログを印刷します。	×	○	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。	×	○	○
	トナー節約機能	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	印字濃度	印字濃度を5段階の中から設定できます。	×	○	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパー、MP、手差し*2設定を選択します。	×	○	○
	MPの用紙種別	MPで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	手差しの用紙種別*2	手差しで使用する用紙の種別を選択します。	×	○	○
	MP定形外用紙	MPで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	手差し定形外用紙*2	手差しで定形外用紙を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	×	○	○

*1　MultiWriter 2360ではオプションのLANボード（有線/無線）を取り付けている場合のみ、表示されます。
*2　手差し印刷はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応しています。設定項目もこれらのプリンターにのみあります。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整	ホッパー、MP、手差し、両面印刷時の表面・裏面の印刷位置を調整します。 LM TM ABCD 用紙送り方向	×	○	○
	ホッパ2微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ3微調整*[1]		×	○	○
	ホッパ4微調整*[1]*[2]		×	○	○
	MP微調整		×	○	○
	手差し微調整*[3]		×	○	○
	表面微調整*[4]		×	○	○
	裏面微調整*[4]		×	○	○
両面印刷メニュー*[4]	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	×	○	○
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	×	○	○
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	×	○	○
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行/改ページするかを設定します。	×	○	○
	奇数ページ	奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。	×	○	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○	○
	節電時間設定*[5]	節電するまでの時間を設定します。	×	○	○
	温度制御*[6]	温度制御を行うかどうかを設定します。	×	○	○
	自動排出*[7]	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○	○
	メモリー設定*[8]	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○	○
	総印字枚数*[9]	プリンターの総印字枚数を表示します。	×	○	○
	解像度設定*[10]	解像度の設定をします。	○	○	○
	プロッタ縮小	プロッターモードのみ使用可能な縮小機能を設定します。	×	×	○
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○	×
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○	×
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*[11]	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○	×

*[1] 増設ホッパー装着時のメニューです。
*[2] MultiWriter 2860N/2830Nの場合のみ表示されます。
*[3] MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応しています。設定項目もこれらのプリンターにのみあります。
*[4] MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着することにより設定可能です。
*[5] 節電機能有効時のみ表示されます。
*[6] MultiWriter 2360N/2360の場合のみ表示されます。
*[7] コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。
*[8] 64MB以上のメモリーを増設した時の初期設定は異なります。
*[9] 表示のみで、設定変更はできません。
*[10] MultiWriter 2360N/2360のみ1200dpiが設定できます。
*[11] 「ミンチョウ」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効　×：無効

設定項目		説　明	メモリースイッチ(MSW)	ESC/Pエミュレーション	プロッターエミュレーション
動作メニュー	動作エミュレーション	［インタフェース1］、［インタフェース2］＊3、［USB］で個別にプリンターの動作エミュレーションを設定します。	×	○	○
	動作自動切り替え	エミュレーションの自動切り替えを設定します。	×	○	○
NPDL設定メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○	×
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○＊1	×
プロッター設定メニュー	ペンの太さの選択、原点位置の選択、SPコマンドによる排出などの選択をします。		×	×	○
I/F設定メニュー	インタフェース1＊2	動作双方向の設定（ニブルモード、ECPモード、なし）とLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○	○
	インタフェース2＊3	LANインターフェースのIPアドレス、サブネットマスクなど＊4を設定します。	×	○	○
設定初期化メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○	○
	LAN初期化＊3	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	全初期化＊3	メニュー項目とLAN設定を初期設定に戻します。	×	○	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、［MP］スイッチ、および［手差し］スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○	○
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。（MSW1～10）		358～365ページ参照		

＊1　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。
＊2　I/F設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F設定メニューの動作双方向が「ECPモード」に設定されていて、［インタフェース1］にLANアダプター（型番　PR-NP-02T2と型番 PR-NP-03TR2）が接続されている場合、IPアドレスとサブネットマスクが有効になります。
＊3　MultiWriter 2360では［インタフェース2］のLANボード用スロットにオプションのLANボード（有線/無線）を取り付けている場合に表示されます。
＊4　設定項目は、オプションのLANボードまたは、製品により異なります。詳しくは、「メニューツリー」（329～339ページ）を参照してください。

メニューツリー

次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（グレー部分は出荷時の設定値です。）
「注」で示す補足的な説明は339ページにあります。

A
B
C
D
ヨウシメニュー
←リレーキュウシ セッテイ →
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜ リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜ リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜1 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜1 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜2 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜2 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜3 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜3 リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜4 リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←ホッパ゜4 リレー ON ＊
注4
（“ホッパ4”は MultiWriter 2860N/2830Nのみ）
リレーキュウシ セッテイ
←MP リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←MP リレー ON ＊
リレーキュウシ セッテイ
←テサシ リレー OFF＊
リレーキュウシ セッテイ
←テサシ リレー ON ＊
注3
ヨウシメニュー
←ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ→
ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ
← ムコウ＊
ジ゛ョブ゛セパ゜レートキノウ
← ユウコウ＊
注5
インジ゛イチセッテイメニュー→
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜ ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM +3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←TM −3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM +3．9ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ＊
ホッパ゜ ビ゛チョウセイ
←LM −3．9ミリ＊
注6
インジ゛イチセッテイメニュー
←ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM +3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←TM −3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM +3．9ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM 0ミリ＊
ホッパ゜1 ビ゛チョウセイ
←LM −3．9ミリ＊
E
F
G
H

E
F
G
H
注7
インジ イチセッテイメニュー
←ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←TM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←TM　−3. 9ミリ*
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←LM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜ 2　ビ゛チョウセイ
←LM　−3. 9ミリ*
注8
インジ イチセッテイメニュー
←ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←TM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←TM　−3. 9ミリ*
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←LM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜ 3　ビ゛チョウセイ
←LM　−3. 9ミリ*
注9
インジ イチセッテイメニュー
←ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ→
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←TM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←TM　−3. 9ミリ*
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←LM　+3. 9ミリ*
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ホッパ゜ 4　ビ゛チョウセイ
←LM　−3. 9ミリ*
インジ イチセッテイメニュー
←MP　ビ゛チョウセイ→
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　+3. 9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←TM　−3. 9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　+3. 9ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
MP　ビ゛チョウセイ
←LM　−3. 9ミリ*
I
J
K
L

I
J
K
L
注3
インジ゛イチセッテイメニュー
←テサシ　ヒ゛チョウセイ→
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
テサシ　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
注10
インジ゛イチセッテイメニュー
←オモテメン　ヒ゛チョウセイ→
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
オモテメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
注10
インジ゛イチセッテイメニュー
←ウラメン　ヒ゛チョウセイ→
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　+3.9ミリ*
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　0ミリ*
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←TM　−3.9ミリ*
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　+3.9ミリ*
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　0ミリ*
ウラメン　ヒ゛チョウセイ
←LM　−3.9ミリ*
M
N

M
N
注10
リョウメンインサツメニュー →
リョウメンインサツメニュー ←ショキセッテイ OFF*
リョウメンインサツメニュー ←ショキセッテイ ON *
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ロング1*
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ショート1*
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ロング2*
リョウメンインサツメニュー ←トジシロ ショート2*
リョウメンインサツメニュー ←ヨハク 0ミリ*
リョウメンインサツメニュー ←ヨハク 20ミリ*
リョウメンインサツメニュー ←クリップ OFF*
リョウメンインサツメニュー ←クリップ ON *
リョウメンインサツメニュー ←キスウページ カタメン*
リョウメンインサツメニュー ←キスウページ リョウメン*
注11
ウンヨウメニュー →
ウンヨウメニュー ←セツデンキノウ →
セツデンキノウ ← ムコウ*
セツデンキノウ ← ユウコウ*
注12
ウンヨウメニュー ←セツデンジカン セッテイ→
セツデンジカン セッテイ ← 5フン*
セツデンジカン セッテイ ← 10フン*
セツデンジカン セッテイ ← 30フン*
セツデンジカン セッテイ ← 60フン*
セツデンジカン セッテイ ← 90フン*
ウンヨウメニュー ←オンドセイギョキノウ →
オンドセイギョ ← OFF*
オンドセイギョ ← ON *
MultiWriter 2360N/2360のみ
ウンヨウメニュー ←ジドウ ハイシュツ →
ジドウ ハイシュツ ← ムコウ*
ジドウ ハイシュツ ← 5ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 15ビョウ*
ジドウ ハイシュツ ← 30ビョウ*
ウンヨウメニュー ←メモリ セッテイ →
メモリワリアテ ← ヒョウジュン*
メモリワリアテ ← デンシソートユウセン*
注13
ウンヨウメニュー ←ソウインジ マイスウ →
ソウインジ マイスウ ← 000000*
O
P
Q
R

O
P
Q
R
ウンヨウメニュー
←カイゾウド セッテイ →
カイゾウド
← 400DPI*
カイゾウド
← 600DPI*
カイゾウド
← 1200DPI*
注14
ウンヨウメニュー
←プロッタ シュクショウ →
プロッタシュクショウキノウ
← ムコウ*
プロッタシュクショウキノウ
← ユウコウ*
フォントメニュー →
フォントメニュー
←1バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー
←1バイトケイ ゼロ Ø*
注15
フォントメニュー
←2バイトケイ ゼロ 0*
フォントメニュー
←2バイトケイ ゼロ Ø*
フォントメニュー
←ANK ヒョウジュン*
フォントメニュー
←ANK イタリック*
フォントメニュー
←ANK クーリエ*
フォントメニュー
←ANK ゴシック*
フォントメニュー
←カンジ ミンチョウ*
フォントメニュー
←カンジ ゴシック*
フォントメニュー
←モジセット JIS1978*
フォントメニュー
←モジセット JIS1983*
フォントメニュー
←モジセット JIS1990*
フォントメニュー
←クニベツ ニッポン*
フォントメニュー
←クニベツ アメリカ*
フォントメニュー
←クニベツ イギリス*
フォントメニュー
←クニベツ ドイツ*
フォントメニュー
←クニベツ スウェーデン*
注16
ドウサメニュー →
ドウサメニュー
←ドウサ エミュレーション →
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1 NPDL*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1 ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース1 プロッタ*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2 NPDL*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2 ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←インタフェース2 プロッタ*
注1
ドウサ エミュレーション
←USB NPDL*
ドウサ エミュレーション
←USB ESC/P*
ドウサ エミュレーション
←USB プロッタ*
S
T
U
V

S
T
U
V
ﾄﾞｳｻﾒﾆｭｰ
←ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ→
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ｲﾝﾀﾌｪｰｽ1 OFF＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ｲﾝﾀﾌｪｰｽ1 ON ＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ｲﾝﾀﾌｪｰｽ2 OFF＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ｲﾝﾀﾌｪｰｽ2 ON ＊
注1
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←USB OFF＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←USB ON ＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ﾀｲﾑｱｳﾄ 5ﾋﾞｮｳ＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ﾀｲﾑｱｳﾄ 15ﾋﾞｮｳ＊
ﾄﾞｳｻｼﾞﾄﾞｳ ｷﾘｶｴ
←ﾀｲﾑｱｳﾄ 30ﾋﾞｮｳ＊
注17
NPDLｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ →
NPDLｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←A4ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ ｹﾀｽｳ→
A4ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ ｹﾀｽｳ
← 78ｹﾀ＊
A4ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ ｹﾀｽｳ
← 80ｹﾀ＊
注18
NPDLｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ →
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
← 201 ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ＊
ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
←ﾍﾟｰｼﾞﾌﾟﾘﾝﾀﾓｰﾄﾞ＊
注19
注20
NPDLｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ
←136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ→
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← ﾑｺｳ＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
← ﾕｳｺｳ＊
注21
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾖｳｼｲﾁ ﾋﾀﾞﾘ＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾖｳｼｲﾁ ﾁｭｳｵｳ＊
注22
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ 0＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ﾋﾀﾞﾘ 1＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ﾋﾀﾞﾘ15＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ 0＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ﾐｷﾞ 1＊
136ｹﾀﾓｰﾄﾞ ｾｯﾃｲ
←ﾋﾞﾁｮｳｾｲ ﾐｷﾞ 15＊
注23
W
X

W
X
プ ロッタセッテイメニュー →
プ ロッタセッテイメニュー
←ペ ンハバ セッテイ →
ペ ンハバ セッテイ
←ペ ン1 0．1ミリ＊
←ペ ン1 0．2ミリ＊
←ペ ン1 0．3ミリ＊
←ペ ン1 0．5ミリ＊
←ペ ン1 0．7ミリ＊
←ペ ン1 1．0ミリ＊
←ペ ン1 1．5ミリ＊
←ペ ン1 2．0ミリ＊
←ペ ン8 0．1ミリ＊
←ペ ン8 0．2ミリ＊
←ペ ン8 0．3ミリ＊
←ペ ン8 0．5ミリ＊
←ペ ン8 0．7ミリ＊
←ペ ン8 1．0ミリ＊
←ペ ン8 1．5ミリ＊
←ペ ン8 2．0ミリ＊
プ ロッタセッテイメニュー
←ゲ ンテンイチ セッテイ →
ゲ ンテンイチ セッテイ
← ヒダ リシタ＊
← チュウオウ＊
プ ロッタセッテイメニュー
←ニンイスケール セッテイ →
ニンイスケール セッテイ
← 10％＊
← 100％＊
← 200％＊
プ ロッタセッテイメニュー
←カイテンカクド セッテイ →
カイテンカクド セッテイ
← 0＊
← 90＊
← 180＊
← 270＊
Y
Z
a
b

Y
Z
a
b
プ゛ロッタセッテイメニュー
←センタンケイジ゛ョウセッテイ→
センタンケイジ゛ョウセッテイ
← ナシ*
センタンケイジ゛ョウセッテイ
← シカク*
センタンケイジ゛ョウセッテイ
← サンカク*
センタンケイジ゛ョウセッテイ
← マル*
プ゛ロッタセッテイメニュー
←セツゾ゛クケイジ゛ョウ →
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← ナシ*
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← マイタ*
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← マイタベ゛ベ゛ル*
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← サンカク*
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← マル*
セツゾ゛クケイジ゛ョウ
← ベ゛ベ゛ル*
プ゛ロッタセッテイメニュー
←マイタリミット セッテイ →
マイタリミット セッテイ
← ナシ*
マイタリミット セッテイ
← 1．0バ゛イ*
マイタリミット セッテイ
← 1．5バ゛イ*
マイタリミット セッテイ
← 5．0バ゛イ*
プ゛ロッタセッテイメニュー
←ＳＰコマンド゛ ハイシュツ →
ＳＰコマンド゛ ハイシュツ
← ＯＦＦ*
ＳＰコマンド゛ ハイシュツ
← ＯＮ *
プ゛ロッタセッテイメニュー
←ミラー セッテイ →
ミラー セッテイ
← ＯＦＦ*
ミラー セッテイ
← ＯＮ *
プ゛ロッタセッテイメニュー
←オーバ゛レイ セッテイ →
オーバ゛レイ セッテイ
← ＯＦＦ*
オーバ゛レイ セッテイ
← ＯＮ *
プ゛ロッタセッテイメニュー
←ＮＲコマンド゛ド゛ウサ →
ＮＲコマンド゛ド゛ウサ
← オンライン*
ＮＲコマンド゛ド゛ウサ
← オフライン*
プ゛ロッタセッテイメニュー
←カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ →
カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ
← １*
カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ
← ２*
カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ
← ３*
カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ
← ４*
カルーセ゛ルバ゛ンゴ゛ウ
← ５*
プ゛ロッタセッテイメニュー
←カクチョウモード゛ →
カクチョウモード゛
← ムコウ*
カクチョウモード゛
← ユウコウ*
c
d

c
d
I／Fセッテイメニュー →
I／Fセッテイメニュー
←インタフェース1 セッテイ →
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ニブル*
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ECP*
ソウホウコウ セッテイ
←インタフェース1 ナシ*
注24
IPアドレス I／F1
000.000.000.000*
サブネットマスク I／F1
000.000.000.000*
注25
注1
I／Fセッテイメニュー
←インタフェース2 セッテイ →
IPアドレス I／F2
011.022.033.044*
サブネットマスク I／F2
255.000.000.000*
ゲートウェイアドレス
000.000.000.000*
注26
DHCP
← OFF*
DHCP
← ON *
イーサネットセッテイ
← ジドウ*
イーサネットセッテイ
← 100BASE フル *
イーサネットセッテイ
← 100BASE ハーフ*
イーサネットセッテイ
← 10BASE フル *
イーサネットセッテイ
← 10BASE ハーフ*
注27
ネットワークメイ
←NECPRWRGRP *
ネットワークタイプ
← アクセスポイント*
ネットワークタイプ
← レジデンシャルG/W*
ネットワークタイプ
←ピアツーピアグループ*
注28
アクセスセイゲン
← OFF*
アクセスセイゲン
← ON *
セッテイショキカメニュー →
セッテイショキカメニュー
←メニューショキカ ジッコウ→
初期化実行
セッテイショキカメニュー
←LANショキカ ジッコウ→
LAN初期化実行 注1
セッテイショキカメニュー
←ゼンショキカ ジッコウ→
全初期化実行 注1
セッテイショキカメニュー
←ヨビダシ ジッコウ→
呼び出し実行
セッテイショキカメニュー
←キオク ジッコウ→
記憶実行
e
f

注1　MultiWriter 2360は［インタフェース2］のLANボード用スロットにオプションのLANボード（TCP/IP）（型番　PR-NP-04T）、無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を取り付けている場合のみ表示されます。
注2　装着されているホッパーのみ表示されます。ホッパーを増設していない場合は“ホッパ1”が“ホッパ”と表示されます。
注3　手差しはMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応しています。
注4　“ホッパ　リレー”はホッパーを増設していないとき表示されます。MultiWriter 2860N/2830Nで表示されるホッパー 1～4、MultiWriter 2360N/2360で表示されるホッパー 1～3はオプションの増設ホッパーを装着している場合に表示されます。
注5　ホッパーを増設していないときのみ表示されます。
注6　オプションの増設ホッパーを1台以上装着しているときのみ表示されます。
注7　オプションの増設ホッパーを1台以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-4＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-4＝0で250枚用の値を表示・設定します。
注8　オプションの増設ホッパーを2台以上装着しているときのみ表示されます。MSW7-5＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW7-5＝0で250枚用の値を表示・設定します。
注9　MultiWriter 2860N/2830Nで、オプションの増設ホッパーを3台装着しているときのみ表示されます。MSW9-3＝1で500枚用の値を表示・設定し、MSW9-3＝0で250枚用の値を表示・設定します。
注10　MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着することにより設定できます。
注11　MSW6-7と同期します。
注12　「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
注13　メモリーを増設している場合、工場設定値が「電子ソート優先」に変わります。
注14　MSW4-1、MSW4-2と同期します。 1200dpi（47.2ドット/mm）はMultiWriter 2360N/2360のみ有効です。
注15　MSW2-1と同期します。
注16　MSW1-1～MSW1-3と同期します。
注17　動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
注18　MSW2-7と同期します。
注19　MSW2-2と同期します。
注20　201エミュレーションモード時のみ表示されます。
注21　MSW3-7と同期します。
注22　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
注23　136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
注24　「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
注25　オプションのLANアダプターが装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
注26　DHCPがONの時は、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCP=OFFの設定値はクリアされます。）
注27　MultiWriter 2860N/2830N/2360Nの場合は標準のLANインターフェース、MultiWriter 2360の場合はオプションのLANボード（型番 PR-NP-04T）が有効時に表示されます。
注28　オプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）を取り付けている場合のみ表示されます。

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷
- LANステータス印刷
- 通信ログ印刷

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。［ストップ］スイッチを押した後、［シフト］スイッチを押しながら［リセット］スイッチを2回押してください。
プリント結果については付録の「テスト印刷のプリント結果」（499ページ）をご覧ください。

印刷設定メニュー

1.　コピー枚数

コピー枚数は“01”から“20”まで設定できます。
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウエアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウエアで設定したコピー枚数が優先します。

2.　トナー節約

トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。
トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windowsからプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバー上での設定が優先されます。

チェック

トナー節約機能を使用するため、「トナーセツヤク　ON」に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCRフォントやバーコード印刷を行った場合には正常に読み取れない場合があります。本機能は試し印刷する場合などにご使用ください。

3.　印字濃度

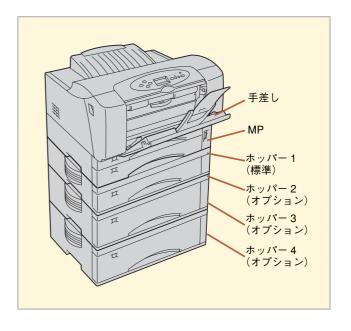
印字濃度を「淡い」、「やや淡い」、「普通」、「やや濃い」、「濃い」の5段階の中から設定できます。

用紙メニュー

1. ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパー、MPまたは手差しを選択します。
ホッパー 2〜4は増設ホッパー（オプション）が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー 1
- ホッパー 2
- ホッパー 3
- ホッパー 4 *1
- MP*2
- 手差し*3

*1　MultiWriter 2860N/2830Nのみ増設可能。
*2　MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろなサイズの用紙をセットすることのできる給紙機構を指します。
*3　MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応しています。

2. 用紙種別（MP／手差し）

MPおよび手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）で使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から設定します。
ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

3. 定形外用紙（MP／手差し）

MPおよび手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）での定形外用紙の使用を有効または無効にします。

4. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するか、しないかを選択します。
指定している給紙口に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかMPおよび手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）に同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向（「A4タテ」など）の用紙があれば、自動的に給紙口を切り替えて印刷を行う機能です。
リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定している給紙口がリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上の給紙口がリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能に使用される給紙口に同じサイズ、同じ種別の用紙を同じ方向にセットしている。

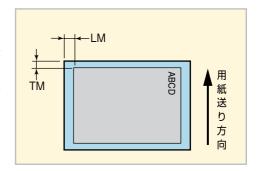
チェック

- MPおよび手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）に用紙をセットして、ホッパーを含めてリレー給紙機能を使用するには、「用紙メニュー」の「用紙種別」で「普通紙」に設定する必要があります。
- Windows環境で印刷する場合は、「リレー給紙の設定」（29ページ）を参照してください。

5. ジョブセパレート機能

ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細については4章「仕分け印刷」（223ページ）をご覧ください。

印字位置設定メニュー

ホッパー、MP、手差し＊1、両面印刷＊2時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。
調整できる範囲は、「−3.9ミリ」〜「＋3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。
［設定変更］スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「−3.9ミリ」を超えると「＋3.9ミリ」になります。

＊1　MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ対応しています。
＊2　MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要です。

チェック

この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。
またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

両面印刷メニュー

MultiWriter 2830Nではオプションの両面印刷ユニットを装着することにより両面印刷機能が有効になります。

1.　初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. 綴(と)じ代(しろ)

印刷したものを綴じるための余白の位置を設定します。

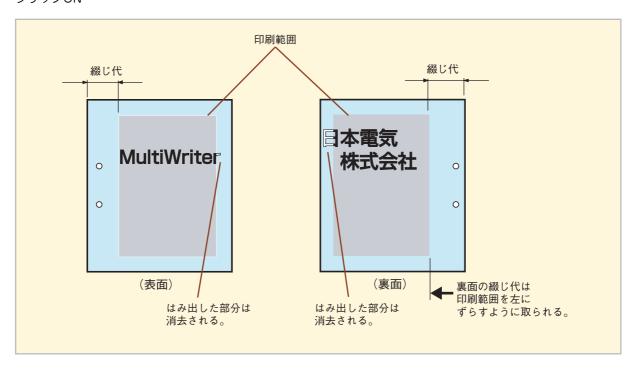
綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ	上綴じ
ショート1	上綴じ	右綴じ
ロング2	右綴じ	下綴じ
ショート2	下綴じ	左綴じ

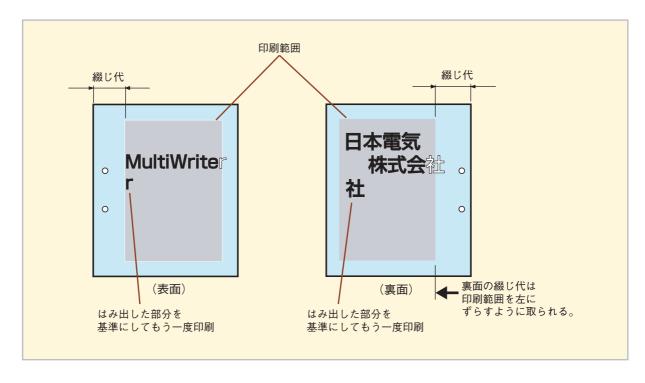
3. 余白

綴じ代の量を設定します。設定範囲は0〜20ミリで、1ミリ単位で設定できます。

4.　クリップ

余白（とじ代）を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることになります。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります）。

「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

- クリップON

- クリップOFF

5.　奇数ページ

両面印刷時の奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法について設定します。
「カタメン」（工場出荷時）は、片面分の最終ページを片面印刷時と同じく、両面印刷を行うための給紙動作をせず、印刷を行います。両面の印刷動作を行わず、より高速に印刷を行います。

「リョウメン」に設定すると、最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。これにより、両面印刷された用紙の奇数ページと最終ページ（奇数ページ原稿）の印刷する用紙を同じ印刷面で印刷を行い、排出します。

「リョウメン」設定時に、「82　メモリオーバー」もしくは「83　インサツフカ」のアラームが発生した場合は、「カタメン」設定時（工場出荷時）の動作になります。

運用メニュー

1.　節電機能

節電機能を有効にするか無効にするかを選択します。

2.　節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。

チェック

- プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を2860N/2830Nの場合は30W以下、MultiWriter 2360N/2360の場合は20W以下にする機能です。
- 節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

3.　温度制御（MultiWriter 2360N/2360のみ）

解像度を1200dpi（47.2ドット/mm）にして印刷すると用紙にしわなどが発生することがあります。この機能をONにすると定着器の温度が制御され、用紙のしわを防ぐことができます。ただし、印刷を開始するまでの時間が長くなることがあります。

4.　自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。
データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウエアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

5.　メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- 標準
  通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファーにメモリーを最適に割り当てます。通常はこのままの設定でお使いください。

- 電子ソート優先
  64MB以上のメモリーを増設した場合に設定できます。ただし、MultiWriter 2360N/2360のみ解像度指定が1200dpi（47.2ドット/mm）に設定されている場合は256MB以上のメモリーを増設した場合に設定できます。電子ソートのために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。電源投入時に64MB以上のメモリー増設が認識された場合、メモリー設定は自動的に電子ソート優先に変更されます。

解像度	メモリー設定	
	標準	電子ソート優先
400dpi	常時設定可能	64MB以上のメモリー増設で設定可能
600dpi	常時設定可能	64MB以上のメモリー増設で設定可能
1200dpi	常時設定可能	256MB以上のメモリー増設で設定可能

増設メモリーと電子ソート機能の最低保証枚数の関係は以下のとおりです。

増設メモリーと電子ソート機能使用時の最低保証枚数

用紙サイズ	印刷解像度	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400dpi	13枚	31枚	67枚
	600dpi	3枚	11枚	28枚
	1200dpi*2	–	–	3枚
B4片面	400dpi	18枚	42枚	90枚
	600dpi	5枚	15枚	37枚
	1200dpi*2	–	–	5枚
A4片面*1	400dpi	27枚	63枚	135枚
		13枚	31枚	67枚
	600dpi	7枚	23枚	56枚
		3枚	11枚	28枚
	1200dpi*2	–	–	8枚
		–	–	4枚

– ：電子ソート機能が働きません。
*1　上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート：OFFとして印刷した場合
下段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート：ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合
*2　MultiWriter 2360N/2360のみ対応

6. 総印字枚数

プリンターの総印字枚数を表示します。本メニューは変更できません。また、設定初期化メニューの初期化実行では、初期化されません。

枚数のカウント方法について

- 片面印刷で、用紙サイズがA4、B5、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒の場合「1」、A3、B4では「2」とカウントします。また、定形外用紙の場合は、用紙サイズがB4用紙より小さいサイズの時は「1」、B 4 用紙より大きなサイズの場合は「2」としてカウントします。
- 両面印刷（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットが必要）をした場合、片面印刷の 2 倍をカウントします。また、片面のみの印刷であっても両面の印刷動作を行う場合は、両面印刷として片面印刷の 2 倍をカウントします。

7. 解像度設定

プリンターの解像度を切り替えます。この設定はメモリーの容量に関係なく変更できます。また、使用する用紙サイズによっては印刷が保証できない場合があります。MultiWriter 2360N/2360では64MBまたは128MBのメモリーを増設し、「メモリー設定」の「電子ソート優先」が設定されている状態で、解像度設定を1200dpi（47.2ドット/mm）に変更すると「メモリー設定」は「標準」設定に変更されます。

メモリースイッチ4-1～4-2でも選択できます。
メモリーと解像度設定、および用紙サイズの関係は「増設メモリー対応表」（503ページ）を参照してください。

8. プロッター縮小

プロッターエミュレーションモードでのみ有効な機能です。
プロッター縮小機能を有効にすることにより、A0やB0などのA3より大きな用紙サイズからA3以下への縮小印刷が可能になります。NPDLモードあるいはESC/PエミュレーションモードではA0やB0からの縮小印刷は行えません。

- プロッター縮小機能無効の場合（工場出荷時）

出力する用紙	拡大縮小率
A3	A4→A3／B4→A3
A4	A3→A4／A4X2→A4／B4→A4／B5→A4／LP→A4
B4	A3→B4／A4→B4／B5→B4／LP→B4
B5	A4→B5／B4→B5／B5X2→B5

- プロッター縮小機能有効の場合

出力する用紙	拡大縮小率
A3	A0→A3／A1→A3／A2→A3／A4→A3／B0→A3／B1→A3／B2→A3／B3→A3／B4→A3
A4	A0→A4／A1→A4／A2→A4／A3→A4／A4X2→A4／B0→A4／B1→A4／B2→A4／B3→A4／B4→A4／B5→A4／LP→A4
B4	A0→B4／A1→B4／A2→B4／A3→B4／A4→B4／B0→B4／B1→B4／B2→B4／B3→B4／B5→B4／LP→B4
B5	A4→B5／B4→B5／B5X2→B5

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」(431ページ）をご覧ください。

1. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

2. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0またはØ）を選択します。

3. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

4. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

5. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

6. 国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

動作メニュー

1. 動作エミュレーション

［インタフェース1］、［インタフェース2］、および［USB］のインターフェースポートで個別にプリンターの動作モードを設定します。

- NPDLモード
- ESC/Pエミュレーションモード
- プロッターエミュレーションモード

MS-DOSなどのアプリケーションで、NPDLや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2. 動作自動切り替え

この機能をONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。また、自動切り替えがうまく行えなかった場合は、「ドウサ　エミュレーション」で設定されたエミュレーションで印刷を行います。
この設定は各ポート（［インタフェース1］、［インタフェース2］、［USB］）単位で行えます。

また、どれか１つのポートでもONにすると、各ポートを切り替えるタイムアウト時間が設定できるようになります。これは、１つのポートでデータを受信している時は、他のポートは使用不能状態になっており、データの受信が終了して一定時間、何も送られてこないと他のポートも使用可能な状態にします。このデータ受信終了から他のポートを使用可能にするまでの時間をタイムアウト時間として、30秒、15秒、5秒のいずれかから選択することができます。工場出荷時は30秒に設定されています。

タイムアウトをあまり短い時間に設定していると、コンピューターからのデータ送信が設定した時間以上停止した場合、ポートが切り替わってしまい、思ったような印刷結果が得られないことがあります。

NPDL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリースイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリースイッチ2-2でも選択できます。

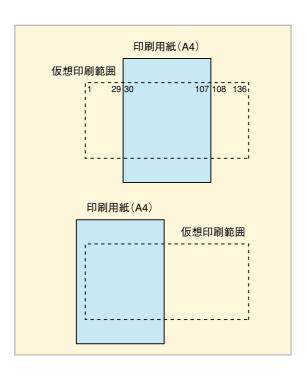
3. 136桁モード設定

- 136桁モード
  136桁モードの有効・無効を選択します。
  メモリースイッチ3-7でも選択できます。

- 用紙位置
  136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリースイッチ3-6でも選択できます。

  － 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの用紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。

  － 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。

- 微調整
  136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
  メモリースイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。

プロッター設定メニュー

1.　ペン幅設定

プロッターモードで使用するペン1～8の線幅を設定することができます。
各ペンに設定できる値は0.1mm、0.2mm、0.3mm、0.5mm、0.7mm、1.0mm、1.5mm、2.0mmの範囲です。

2.　原点位置設定

プロッターモードでの原点位置を設定します。用紙左下あるいは中央のどちらかを選択することができます。

3.　任意スケールの設定

任意倍率によるスケール比で、選択された用紙サイズに縮小または拡大することができます。10%～200%の範囲で10%単位で指定することができます。

4.　回転角度の設定

回転角度を設定します。回転角度は0度、90度、180度、270度の中から指定します。

5.　線端の形状の設定

線端の形状をなし（絶ち切り型）、四角型、三角型、丸型の中から指定します。

6.　線接続形状の設定*

線接続の形状をなし、マイター（尖頭型）、マイターベベル（尖頭切り落とし型）、三角、丸、ベベル（切り落とし型）の中から指定します。

* 線接続形状の初期設定がマイターであるため、直線の接続角度が狭い場合、先端が飛び出して印刷される場合があります。この場合には、線接続形状をマイターから丸に指定を変更することで回避できます。

7.　マイターリミットの設定

線接続がマイター（尖頭型）およびマイターベベル（尖頭切り落とし型）の時、マイター長のしきい値として線幅の倍数で指定します。なし、1.0倍～5.0倍の範囲を線幅倍数0.5倍単位で選択することができます。

8.　SPコマンドの排出設定

プロッターモード時、コマンドの「SP Ø;」、「SP;」で印刷データを排出するかどうかを選択します。

9.　ミラー設定

現在の座標系をミラー座標に変換します。

10.　オーバーレイ設定

受信データの処理終了後の排紙方法について設定します。ONの時、操作パネルの［排出］スイッチだけで排出し、排紙命令コマンドの受信では排出しません。OFFの時、排紙命令コマンドの受信により排出します。

11.　NRコマンド動作の選択

NR命令を受信したときのレディ状態を設定します。オンラインの時はセレクト状態、オフラインではディセレクト状態となります。

12.　カルーゼル番号の選択

カルーゼルとはペンホルダーを表し、ペンの種類（ファイバーチップペン、インクペンなど）により番号が決められています。

13.　拡張機能モードの選択

HP 7550Aが持つ拡張機能（エンハンスモード）について設定します。「ムコウ」の場合は座標単位がプロッターユニットで処理され、「ユウコウ」の場合はユーザーユニットで処理されます。

インターフェース設定メニュー

1. インターフェース1

- インターフェース通信モード
  パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	パソコン側での呼び方	
	PC98-NX（パラレルモード）	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 対応機）
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし（コンパチブル）	出力のみ	

チェック

通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源再投入後に有効となります。

- IPアドレス、サブネットマスク
  LANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。
  設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章「10　ネットワークに接続する」をご覧ください。

チェック

本設定項目は、[インタフェース1］の場合、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

2. インターフェース2

- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
  LANボード（標準装備含む）または無線LANボードのIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。
  設定手順については、ユーザーズマニュアルの1章「10　ネットワークに接続する」をご覧ください。

- DHCP

チェック

DHCPがONに設定されているときは、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。また、DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCPがOFFの設定値はクリアされます。）

- イーサーネット設定
  MultiWriter 2860N/2830N/2360Nにおいては標準LANインターフェース、MultiWriter 2360においてはオプションのLANボードが有効である場合に表示され、通信速度とデュプレックスモードの設定を行います。工場設定値は「ジドウ」であり、通信速度および、デュプレックスモードの制御は自動となります。

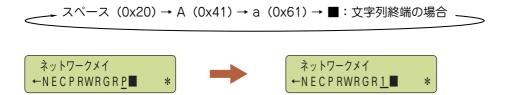
- ネットワーク名

無線LANボード（型番 PR-WLX-13）装着時のみ表示／設定ができます。

【文字について】

文字の入力は、最大32文字まで入力することができ、有効な文字コードは、“；”（0x3B）を除く“スペース”（0x20）～“チルダ”（0x7E）です。有効な文字の詳細は、「ネットワーク名として使用できる英数記号」（354ページ）を参照してください。
文字列の最後に■（黒四角）を表示していますが、これは文字ではなく終端記号です。ネットワーク名が可変長であるために、操作パネル上で文字列の終端を明示するために■としています（本来は見えない記号です）。

【文字を変更する】

［▶］スイッチを押すことにより、カーソルが右方向に動きます。
現在表示しているカーソルの位置の文字に対し、［設定変更］スイッチを押すたびに文字が変わります（通常のメニュー変更ルールと同じです）。
ただし、［設定変更］スイッチを1秒以上押し続けると以下のように文字が変わります（内輪で最も近いコードにスキップします）。

【文字を挿入する】

現在表示しているカーソルの位置の文字を■以外の文字に変更すると、1文字挿入となります。

【文字を削除する】

現在表示しているカーソルの位置の文字が最終文字の時に■に変更すると、文字が削除されて、カーソルが1文字戻ります。

【文字の表示】

表示は操作パネルの下段に1～14文字目まで表示されます（カレント位置はカーソル付加）。

```
ネットワークメイ
←abcdefghijklmn*
```

右から2文字目の位置でさらに［▶］スイッチを押すと、11～24文字目の再表示を行います。(10文字分右シフト)。

```
ネットワークメイ　　　15
←klmnopqrstuvwx*
```

再度右から2文字目の位置で［▶］スイッチを押すと、21～32文字目の再表示を行います。現在のカーソルの位置は上段右端に表示を行います

```
ネットワークメイ　　　25
←uvwxyz123456■ *
```

現在のカーソルの位置が、最終文字の時にさらに［▶］スイッチを押すと、現在のカーソルの位置が1文字目に戻ります（IPアドレスなどの移動ルールと同じです）。

```
ネットワークメイ
←abcdefghijklmn*
```

「ネットワーク名として使用できる英数記号」を次ページの表に示します。セミコロン（0x3B）については、ターミネートコードであるため使用不可になります。

ネットワーク名として使用できる英数記号

ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考	ASCII コード	文字	備考
0x20		スペース	0x40	@	アットマーク	0x60	`	バックコーテーション
0x21	!	イクスクラメーション	0x41	A		0x61	a	
0x22	"	ダブルコーテーション	0x42	B		0x62	b	
0x23	#	シャープ	0x43	C		0x63	c	
0x24	$	ダラー	0x44	D		0x64	d	
0x25	%	パーセント	0x45	E		0x65	e	
0x26	&	アンパサンド	0x46	F		0x66	f	
0x27	'	アポストロフィ	0x47	G		0x67	g	
0x28	(	左カッコ	0x48	H		0x68	h	
0x29	)	右カッコ	0x49	I		0x69	i	
0x2A	*	アスタリスク	0x4A	J		0x6A	j	
0x2B	+	プラス	0x4B	K		0x6B	k	
0x2C	,	カンマ	0x4C	L		0x6C	l	
0x2D	-	ハイフン	0x4D	M		0x6D	m	
0x2E	.	ピリオド	0x4E	N		0x6E	n	
0x2F	/	スラッシュ	0x4F	O		0x6F	o	
0x30	0		0x50	P		0x70	p	
0x31	1		0x51	Q		0x71	q	
0x32	2		0x52	R		0x72	r	
0x33	3		0x53	S		0x73	s	
0x34	4		0x54	T		0x74	t	
0x35	5		0x55	U		0x75	u	
0x36	6		0x56	V		0x76	v	
0x37	7		0x57	W		0x77	w	
0x38	8		0x58	X		0x78	x	
0x39	9		0x59	Y		0x79	y	
0x3A	:	コロン	0x5A	Z		0x7A	z	
			0x5B	[	左角カッコ	0x7B	{	左中カッコ
0x3C	<	左山カッコ	0x5C	¥	エン	0x7C	¦	縦線
0x3D	=	イコール	0x5D	]	右角カッコ	0x7D	}	右中カッコ
0x3E	>	右山カッコ	0x5E	^	カレット	0x7E	˜	チルダ
0x3F	?	クエスチョン	0x5F	_	アンダースコア			

- ネットワークタイプ
  無線LANボード装着時のみ表示／設定ができます。

- アクセス制限
  ある特定のコンピューター、またはネットワークからの印刷要求を許可あるいは拒否する設定をします。
  設定については3章の「アクセス制限」（205ページ）を参照してください。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したMP、手差し（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）の用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- メニュー初期化実行
- LAN初期化実行
- 全初期化実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

チェック

- ［インタフェース1］の場合

  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されます。「LAN初期化実行」、「全初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。

- ［インタフェース2］の場合

  「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどは「メニュー初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。標準のLANインターフェースおよびLANボードの設定を初期化する場合は、「LAN初期化実行」または「全初期化実行」を行ってください。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定（1/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
トナー節約	無効
印字濃度	普通
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー 1
MPの用紙種別	普通紙
手差しの用紙種別＊1	普通紙
MP定形外用紙設定	OFF
手差し定形外用紙設定＊1	OFF
リレー給紙設定（MP、ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4＊2、手差し＊1）	無効
ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定メニュー	
ホッパー微調整	0（TM、LM）
MP微調整	0（TM、LM）
手差し微調整＊1	0（TM、LM）
両面印刷時のページの微調整＊3	0（TM、LM）
両面印刷メニュー＊3	
両面印刷の初期設定	無効
綴じ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
奇数ページ	片面
運用メニュー	
節電機能	有効
節電までの時間	10分
温度制御＊4	無効
自動排出	無効
メモリー割り当て設定	標準
解像度設定	600dpi（23.6ドット/mm）
プロッター縮小	無効
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

＊1 MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ有効です。
＊2 MultiWriter 2860N/2830Nで、増設ホッパ4を装着している場合に表示されます。
＊3 MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。
＊4 MultiWriter 2360N/2360のみ有効です。

メニューモードの項目と初期設定（2/2）

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
動作メニュー	
［インタフェース1］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース2］の動作エミュレーション*	NPDL
［USB］の動作エミュレーション	NPDL
［インタフェース1］の動作自動切り替え	OFF
［インタフェース2］の動作自動切り替え*	OFF
［USB］の動作自動切り替え	OFF
タイムアウト	30秒
NPDL 設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード：無効 用紙位置　：左 微調整　　：0
プロッター設定メニュー	
ペン幅（ペン1～ペン8）	0.1mm
原点位置	左下
任意倍率	100%
回転角度	0度
線端形状	なし（断ち切り型）
線接続形状	マイター
マイターリミット	なし
SPコマンド排出	OFF
ミラー	OFF
オーバーレイ	OFF
NRコマンド動作	オンライン
カルーゼル番号	1
拡張機能	無効
インターフェース設定メニュー	
［インタフェース1］双方向設定	ニブル
メモリースイッチメニュー	
358～359ページの一覧表を参照してください。	

* MultiWriter 2860N/2830N/2360Nでは常に表示します。MultiWriter 2360では［インターフェース2］にLANボード（オプション）を装着しているときのみ表示します。

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります（未使用のスイッチもあります）。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作	プロッターモードでの動作
1-1 1-2 1-3	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		○	×
1-4	グレースケールの網点の切り替え＊1	**粗い**	細い	×	×
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	×
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○	×
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え	**0**	Ø	○	×
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PL　エミュレーション**	ページプリンター（NPDL）	×	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×	×
2-4～2-5	（未使用）			－	－
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	**78桁**	80桁	○	×
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	**4/5倍**	2/3倍	○	×
3-1 3-2 3-3 3-4	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		○	×
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○	×
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○	×
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	×＊2	×
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○	○
4-1、4-2	物理解像度の設定	2つのスイッチの1／0の組み合わせにより、1200dpi＊3、600dpi、400dpiのいずれかを設定します。 **600dpi**（4-1：0、4-2：0）		○	○
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	**反時計回り**	時計回り	○	○
4-6～4-8	（未使用）			－	－

＊1　解像度が600dpiの時のみ有効です。

＊2　ESC/Pエミュレーションでは常に136桁モードになります。

＊3　MultiWriter 2360N/2360のみ有効です。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容（続き）

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作	プロッターモードでの動作
5-1	同期コードの無効／有効の切り替え＊1	**無効**	有効	○	○
5-2～5-8	（未使用）			－	－
6-1	SETを使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-2	メモリーオーバー時の動作指定	**停止する**	解像度を下げて印刷	○	○
6-3～6-6	（未使用）			－	－
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○	○
6-8	（未使用）			－	－
7-1	データストローブ信号のデータラッチタイミング［インタフェース1］	**前縁ラッチ**	後縁ラッチ	○	○
7-2、7-3	（未使用）			－	－
7-4	ホッパー 2に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○	○
7-5	ホッパー 3に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○	○
7-6	（未使用）			－	－
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え	**表示する**	表示しない	×	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え	**自動縮小する**	自動縮小しない	×	×
8-1、8-2	ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY－ACKのタイミングを切り替えます。**タイミングA**（8-1：0、8-2：0）		○	○
8-3、8-4	アクノリッジ（ACK）の幅［インタフェース1］	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、ACKの幅を切り替えます。**1μs**（8-3：0、8-4：0）		○	○
8-5～8-8	（未使用）			－	－
9-1～9-2	（未使用）			－	－
9-3＊2	ホッパー 4に装着した増設ホッパーの種類	**増設ホッパ（250）**	増設ホッパ（500）	○	○
9-4	（未使用）			－	－
9-5	節電モードの選択＊3	**節電モード0**	節電モード1	○	○
9-6	（未使用）			－	－
9-7	印刷向き180度回転	**無効**	有効	○	○
9-8	（未使用）			－	－
10-1～10-8	（未使用）			－	－

＊1　本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

＊2　MultiWriter 2860N/2830Nのみ有効です。

＊3　節電モードの内容は以下のとおりです。

［MultiWriter 2860N/2830Nの場合］

節電モード0（9-5:0）　：標準設定です。消費電力は30W以下です。

節電モード1（9-5:1）　：節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、21秒以下（室温20℃）になります。

［MultiWriter 2360N/2360の場合］

節電モード0（9-5:0）　：標準設定です。消費電力は20W以下です。

節電モード1（9-5:1）　：節電モード0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は15W以下です。ウォームアップ時間は、15秒以下（室温20℃）になります。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3　各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
＜日本＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。
表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」（434ページ）をご覧ください。

1-4　グレースケールの網点の切り替え

グレースケールのパターンを切り替えます。ただし「細かく」を選定した場合、印刷の階調性は低くなります。

1-5　DC1、DC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6　自動復帰改行の切り替え

バッファーフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7　印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8　CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1　1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2　エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3　グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6　7ビット／8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7　A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8　B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの［縮小］スイッチまたは制御コード（FS f）を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4　印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。
エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。
レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。
レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。
印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。
用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。
調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

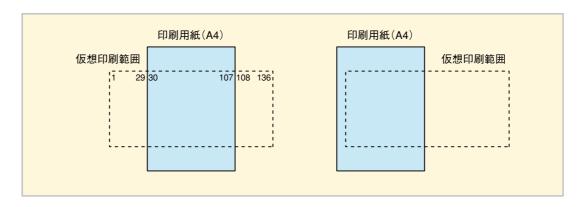
レフトマージン量／用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
＜0インチ＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞	＜0＞
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

3-5　用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-6　用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で、136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）時に有効です。

3-7　136桁モードの有効／無効の切り替え

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8　ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-1、4-2　物理解像度の設定

プリンターの解像度を切り替えます。

解像度	4-1	4-2
<600dpi>	<0>	<0>
400dpi	1	0
1200dpi*	0	1
1200dpi*	1	1

*　メモリースイッチ4-2＝1のときはメモリースイッチ4-1の設定に関係なく1200dpiになります。（MultiWriter 2360N/2360のみ有効）

<文字>は工場出荷時の設定を示します。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリースイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

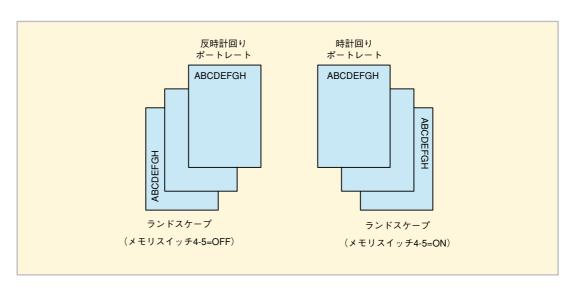
FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリースイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。

5-1

同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。

重要

本メモリースイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-1

SETを使用する／しないの切り替え

SETを使用するか、しないかを切り替えます。

6-2

メモリーオーバー時の動作指定

メモリーオーバーが起きた場合の動作を指定します。

0（OFF）にすると、メモリーオーバーが起きたときアラームを表示して印刷を停止します。[印刷可]スイッチを押せば解像度を落として印刷を再開することができます。
1（ON）にすると、アラームを表示せずに解像度を落として印刷が継続されます。

6-7

節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストローブ信号のデータラッチタイミング

[インタフェース1] パラレルインターフェースのデータストローブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-4　ホッパー 2に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ（250）または増設ホッパ（500）のどちらがホッパー2に装着されているのかを設定します。

7-5　ホッパー 3に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ（250）または増設ホッパ（500）のどちらがホッパー3に装着されているのかを設定します。

7-7　FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

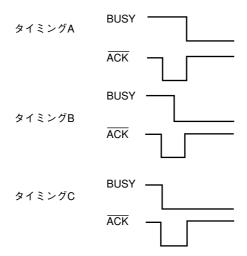
7-8　FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2　ビジィアクノリッジ（BUSY－ACK）のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、［インタフェース1］のパラレルインターフェースのBUSY－ACKのタイミングを切り替えます。

ACK のタイミング	8-1	8-2
＜タイミングA＞	＜0＞	＜0＞
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

8-3、8-4　アクノリッジ（ACK）の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、[インタフェース1]のパラレルインターフェースのACKの幅を切り替えます。

ACK の幅	8-3	8-4
4μs	1	0
＜1μs＞	＜0＞	＜0＞
2μs	0	1
10μs	1	1

＜文字＞は工場出荷時の設定を示します。

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

9-3　ホッパー４*に装着した増設ホッパーの種類

増設ホッパ(250)または増設ホッパ(500)のどちらがホッパー4に装着されているのかを設定します。

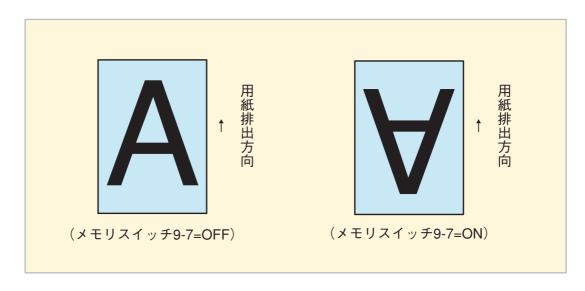
*　MultiWriter 2860N/2830Nのみ。

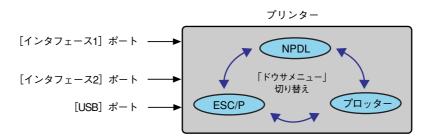
9-5　節電モードの設定

＜MultiWriter 2860N/2830Nの場合＞
節電モード0（9-5:0）：標準設定です。消費電力は30W以下です。
節電モード1（9-5:1）：節電モード 0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は 15W以下です。ウォームアップ時間は、21秒以下（室温20℃）になります。

＜MultiWriter 2360N/2360の場合＞
節電モード0（9-5:0）：標準設定です。消費電力は20W以下です。
節電モード1（9-5:1）：節電モード 0に比べ消費電力をより少なくなるモードです。消費電力は 15W以下です。ウォームアップ時間は、15秒以下（室温20℃）になります。

9-7　印刷向き180度回転

印刷イメージを180度回転させて印刷するかしないかを切り替えます。
本スイッチが1（ON）の場合、メモリースイッチ4-5の設定は無効になります。

動作エミュレーションの切り替え

NPDLモード、ESC/Pエミュレーションモード、プロッターエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います（メニューモードの設定変更方法は324ページを参照してください）。メニューモードの「動作メニュー」では［インタフェース1］、［インタフェース2］、「USB」の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。
インターフェースの動作は、工場出荷時「NPDL」モードに設定されています。

メニューモードの設定項目については326ページ、メモリースイッチの詳細については358ページをご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記3つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

- 「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。
- MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360のESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。

❶ メニューモードに入る。

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー　→”を表示させます。

❷ 操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を329～339ページを参照してください。

❸ ［メニュー終了］スイッチを押す。

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ      A4ﾖｺ ﾎﾟｰﾄ
             ESC/P
```

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

```
ﾎｯﾊﾟ      A4ﾖｺ ﾗﾝﾄﾞ
             ESC/P
```

❹ 設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを326～328ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してプロッターエミュレーション（HP社7550Aに準拠）に切り替えることができます。

プロッターエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

チェック

「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。

❶ メニューモードに入る。

［印刷可］スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、［メニュー］スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

❷ 操作パネルの［▼］スイッチ、［▶］スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“プロッタ”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」を329～339ページを参照してください。

❸［メニュー終了］スイッチを押す。

プロッターエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

```
ホッパ゜      A4ヨコ ランド゛
                  プ゜ロッタ
```

モード切り替え時は「ランド」が選択されます。

プロッターエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

```
ホッパ゜      A4ヨコ ホ゜ート
                  プ゜ロッタ
```

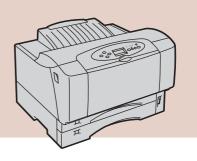
❹ 設定が終わったら、アプリケーションでHP社プロッター7550Aに対応したプリンターを指定する。

その他メニューモードの設定がプロッターエミュレーションで可能かどうかを326～328ページにまとめてあります。参照してください。

プロッターエミュレーションで利用の場合の注意事項

プロッターエミュレーションモードをお使いになる際は以下の点にご注意ください。

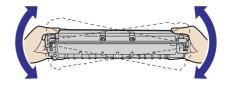
- プロッターモードにおいて、RS232C インターフェースを制御して印刷を行うアプリケーションでは正常な印刷が行えない場合があります。
- 動作エミュレーションをプロッターエミュレーションモードに設定した場合、印刷方向の初期状態は、ランドスケープに設定されます。
- メニューモードのNPDL設定メニューについて
A4ポートレート桁数78桁／80桁の設定は、NPDLモードでは有効（印刷に影響を与える）ですが、プロッターエミュレーションモードでは無効（印刷に影響を与えない）になります。ただし、プロッターエミュレーションモードでも桁数の切り替えは可能であり、プロッターエミュレーションモードで動作時に78桁から80桁に切り替えた場合は、NPDLモードに動作モードが切り替わったときから80桁が有効になります。
- プロッターエミュレーションモードでの縮小印刷について
プロッターエミュレーションモードでは、A3よりも大きな用紙サイズからの縮小が可能です。この機能をご使用の場合には、メニューモードの「運用メニュー」-「プロッター縮小」で設定を変更してください。

8章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　EPコウカン”または“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。ディスプレイが“89　EPジュミョウ　EPコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」（371ページ）を参照してください。もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、もうしばらくの間、そのEPカートリッジを使用することができます。

重要

EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。

新しいEPカートリッジを振るときは、保護シャッターを止めているテープをはがさずに行ってください。

それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換してください。
トナーランプが点灯していなくても、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けたりする場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

回収について

使用済みのNEC製EPカートリッジは、地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するホームページ

「ECOLOGY＆TECHNOLOGY」
URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/ep_recycle.html

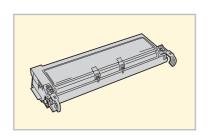
購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

重要

このプリンターは、純正のEPカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のEPカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、EPカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360でご使用になるEPカートリッジは以下の純正品をお勧めいたします。

EP カートリッジ		対応しているプリンター	
型番*	印刷可能ページ	MultiWriter 2860N/2830N	MultiWriter 2360N/2360
PR-L2800-11	約6,000枚	○	×
PR-L2800-12	約14,000枚	○	×
PR-L2300-11	約6,000枚	×	○
PR-L2300-12	約12,000枚	×	○

* ご購入時に添付されているEPカートリッジは、MultiWriter 2860N/2830Nの場合は、PR-L2800-11（相当品）、MultiWriter 2360N/2360の場合は、PR-L2300-11（相当品）です。

チェック

- 各EPカートリッジの１個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の片面連続印刷を行ったときの値です。（「EPカートリッジの寿命」（372ページ）参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

EPカートリッジの交換手順

EPカートリッジの交換手順を説明します。

- このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。
- EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、火傷をするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

注意

電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

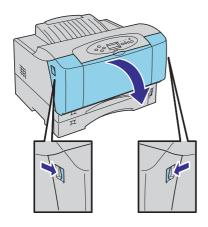
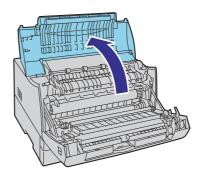
チェック

作業は強い光の当たる場所を避け、なるべく5分以内に終わらせてください。

❶ **電源スイッチをOFFにする。**

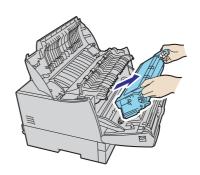
電源ランプが消灯します。

❷ **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

❸ **トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。**

❹ **左右の取っ手を図のように持ち､使い終わったEPカートリッジを引き出す。**

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

重要

トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については370ページをご覧ください。

❺ **新しいEPカートリッジをユーザーズマニュアル1章の「5 EPカートリッジを取り付ける」に従って取り付ける。**

❻ **電源スイッチをONにする。**

❼ **テスト印刷を実行する。**

ユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 2860N/2830Nに添付されているEPカートリッジ（PR-L2800-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の片面連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L2800-11使用時も同等）になります。また、PR-L2800-12使用時は約14,000枚になります。

MultiWriter 2360N/2360に添付されているEPカートリッジ（PR-L2300-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の片面連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L2300-11使用時も同等）になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。(これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです)。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々 5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００%です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５%より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例

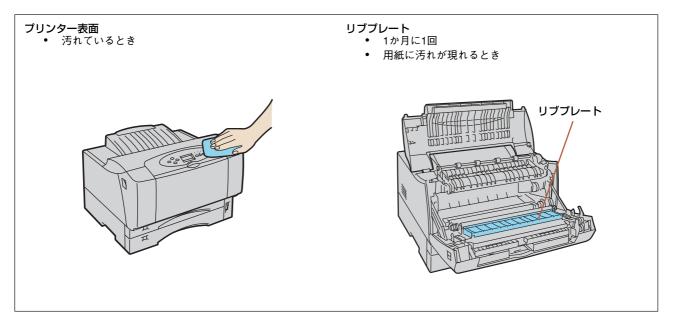
✔チェック

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

清　掃

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

プリンターの清掃手順

プリンターの清掃手順について説明します。

- このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

注意

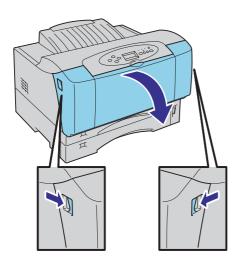
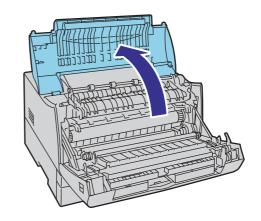
- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。

リブプレートの清掃

給紙方向に縦にかすれる、白いスジが入る、文字や黒い部分の輪郭がにじむときに行います。

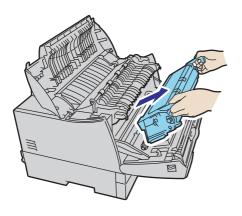
❶ **プリンターの電源をOFFにし、プリンター背面の電源コネクターとコンセントから電源コードを抜く。**

❷ **左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。**

フロントユニットが開いて止まります。

❸ **トップカバーの左右を持ちゆっくり開ける。**

❹ **左右の取っ手を図のように持ち､EPカートリッジを取り出す。**

EPカートリッジは手前にスライドさせれば簡単に取り出せます。

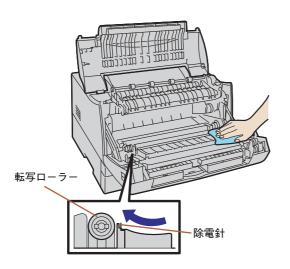
重要

トナーで手や衣服を汚さないように気を付けてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

チェック

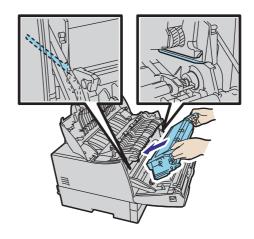
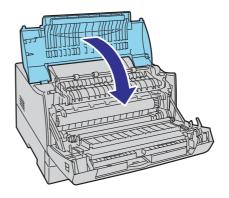
清掃時に取り外したEPカートリッジは立てたり､裏返しに置いたりしないでください。また、直射日光が当たる場所や、ほこりの多い場所は避け、水平な場所に置いてください。

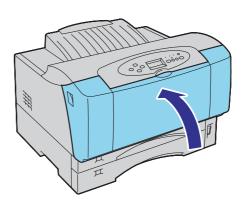
❺ **リブプレートの汚れを乾いた柔らかい布でふき取る。**

重要

転写ローラーと除電針には触らないようにしてください。

❻ **EPカートリッジをプリンター本体に再びセットする。**

図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ち、EPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットします。

EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになっていたりせずに確実に奥までセットされていることを確認してください。

❼ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

❽ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

カチッと音がするまでゆっくりとフロントユニットを押し上げ、確実に閉まったことを確認してください。

❾ **プリンター背面の電源コネクターに電源コードのプラグを差し込み、もう一方のプラグをコンセントに差し込む。**

❿ **プリンターの電源スイッチをONにする。**

⓫ **テスト印刷を実行する。**

ユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

プリンターの表面の清掃

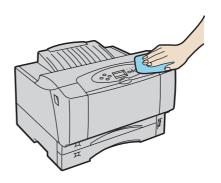
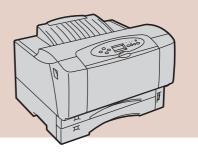
プリンターの表面が汚れているときに行います。

❶ **外観の汚れは柔らかい清潔な布で拭き取る。**

汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭き取ります。

重要

- アルコールまたはシンナーなどはプリンターの表面を傷めますので、使用しないでください。
- 水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

❷ **乾いた布で拭く。**

9章
故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処理方法を説明します。

□ 印刷結果の問題
→「印刷できないときは」（378ページ）を参照。
→「印刷に異常が見られるときは」（383ページ）を参照。
→「思うように印刷できないときは」（386ページ）を参照。

□ プリンターの問題
→「アラーム表示が出ているときは」（380ページ）を参照。
→「紙づまりのときは」（406ページ）を参照。

□ ネットワークの問題
→「ネットワークで思うように印刷できないときは」（403ページ）を参照。

□ ソフトウエアの問題
→「PrintAgentシステムが起動しないときは」（390ページ）を参照。
→「プリンタステータスウィンドウがおかしいときは」（391ページ）を参照。
→「リプリント機能が動作しないときは」（393ページ）を参照。
→「ジョブセパレート機能が動作しないときは」（394ページ）を参照。
→「PrintAgentを正しく動作させるために」（395ページ）を参照。

その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報がプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」（README.TXT）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

以上の処理を行っても、改善されない場合は、無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際のディスプレイのアラーム表示や印刷サンプルは修理の際の有力な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号や受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

プリンターをお持ち込みいただくときはユーザーズマニュアルや梱包箱に表示されている手順を参照して、プリンターを梱包してください。詳しくは、「プリンターを運搬するときは」（416ページ）を参照してください。

重要

海外でのご使用について
このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** →　電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** →　プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** →　配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** →　[印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。** →　ユーザーズマニュアルの「1 章　プリンターの設置」を参照して、プリンターケーブル、USBケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** →　[シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない（印刷可ランプ（赤）点滅）。** →　「5章　用紙のセット」（299ページ）を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ（赤）が点灯している。** →　「アラーム表示が出ているときは」（380ページ）をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** →　本プリンターはページ単位で処理するため、1 ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。 **MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** →　コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。** →　セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。 **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「ホッパーに用紙をセットする」（302ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
MPから印刷ができない	**給紙方法で「MP」を指定していない。** →　プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 **MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** →　A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「*」に設定して、[MP]スイッチで用紙サイズを設定してください。（305～307ページ参照） **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「MPに用紙をセットする」（305ページ）を参照して用紙をセットし直してください。
手差しから印刷ができない、または給紙方法を手差しとし、印刷したのに「テサシ　XX　セット」が表示される（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）	**給紙方法で「手差し」を指定していない。** →　プリンタードライバーの給紙方法を手差しに設定し直してください。 **手差しにセットした用紙サイズが正しく設定されてない。** →　[手差し]スイッチで用紙サイズを設定してください。（308ページ参照） **用紙のセットのしかたが悪い。** →　「手差しに用紙をセットする」（308ページ）を参照して用紙をセットし直してください。

症状	原因と処理方法
給紙口をMPに指定していないのに「MP A4タテ　ホキュウ」が表示される。	**印刷データがA4サイズ、用紙種別が普通紙（標準設定）にして印刷している場合、ジョブセパレート機能が機能している。** →　MPカセットにA4サイズの用紙を縦方向にセットしてください。 →　MPカセットの用紙設定ダイヤルをA4 タテ以外にセットしてください。 →　プリンタードライバーの給紙方法を「自動」以外に設定してください。 →　プリンタードライバーのジョブセパレート機能を無効にしてください。 →　ジョブセパレート機能の詳細については、「4章　より進んだ使い方」（215ページ）を参照してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。

チェック

- メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。
- アラーム表示と処理方法について、オプションのスキャナユニットを接続してご使用の場合は、スキャナユニットのユーザーズマニュアルも合わせて参照してください。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゜1　A4ヨコ　ホキュウ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3、または4*1）が表示されます。 MP　A4ヨコ　ホキュウ フツウシ テサシ　A4ヨコ　セット *2 フツウシ	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　標準カセット、MPカセット、または手差しのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
MP　テイケイガ゛イ　ホキュウ フツウシ	**用紙がない。** →　用紙をMPカセットにセットしてください。 **セットされた用紙の確認（MPカセットのダイヤルが「＊」に設定され、すでに定形外の用紙がセットされている場合）。** →　セットした用紙が定形外用紙であることを確認して、[印刷可]スイッチを押してください。 **MPカセットのダイヤルが「＊」に設定されていない。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、用紙を確認してください。
テサシ　テイケイガ゛イ　セット *2 フツウシ	**用紙がない** →　用紙を手差しにセットしてください。
ヨウシカセット　ナシ ホッパ゜ 増設ホッパーが選択されているときは、ホッパー番号（1、2、3、または4*1）またはMPが左端に表示されます。	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP　LT　ホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス	**MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」のときに設定の異なる用紙サイズを指定して印刷した。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 →　MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 →　[印刷可]スイッチを押してください。

＊1　MultiWriter 2860N/2830Nで、増設ホッパーを3台装着している場合に表示されます。
＊2　手差し（テサシ）はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみサポートしています。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
72 カバ－オープン ホンタイ 72 カバ－オープン リョウメン *1	**フロントユニット、トップカバー、両面カバーが開いている。** → フロントユニット、トップカバー、両面カバーをきちんと閉じてください。
73 EPカートリッジナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** → EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。
74 カミヅマリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** → 「紙づまりのときは」(406ページ)を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75 ヨウシサイズエラー ホッパ1 増設ホッパーが選択されているときはホッパー番号(1、2、3、または4*2)、またはMP、テサシが右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** → 指定サイズの用紙をホッパーにセットして、[印刷可]スイッチを押してください。 → MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。 → 用紙サイズ設定ダイヤルと異なる用紙に印刷を行った場合、[印刷可] スイッチを押し、用紙を変更するか、用紙設定ダイヤルがセットされている用紙サイズに合わせてください。
76 トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」(369ページ)に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76 トナーナシ”アラームは解除できません。
77 テイキホシュ	**定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期を示している。** → 販売店または保守サービス窓口にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77 テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ヨウシピックミス ホッパ 増設ホッパーが選択されているときは、ホッパー番号(1、2、3、または4*2)またはMP、テサシ*1が左端に表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82 メモリオーバ－ メモリヲゾウセツシテクダサイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している(メモリースイッチ6-2 OFFの場合のみ表示する)。** → [印刷可]スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83 インサツフカ”のアラーム表示をします。 → メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** → [印刷可]スイッチを押してください。解像度を落として印刷を行おうとしたページのデータを廃棄します。 → メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ－XXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → [印刷可]スイッチを押してください。アラームの対象となった番号(×××)のフォームデータが読み捨てられます。 → メモリーを増設してください。

*1 手差し、および“テサシ”はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみサポートしています。両面、および“リョウメン”はMultiWriter 2860N/2360N/2360、またはオプションの両面印刷ユニットを装着したMultiWriter 2830Nでサポートしています。
*2 MultiWriter 2860N/2830Nで、増設ホッパーを3台装着している場合に表示されます。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
85 セツゾクエラー	**[インタフェース2]に不正なオプションが接続されている。** →　オプションボードの型番を確認してください。対応するオプションボードは、1章の「オプション」（15ページ）を参照し、[インタフェース2]LANボード用スロットに取り付け、テスト印刷を行ってください。 **オプションの無線LANボードに無線LANカードが正しく挿入されていない。** →　一度プリンターの電源をOFFにして、無線LANカードを無線LANボードのPCカードスロットの奥までゆっくりと押し込んでください。（1章の「無線LANボードの取り付け」（37ページ）を参照。）取り付けられたら、テスト印刷を行ってください。（ユーザーズマニュアル1章の「8 テスト印刷をする」を参照。）テスト印刷結果のLANボードの項目に「無線LAN」、I/F設定の項目に「インタフェース2」と記載されていることを確認してください。
88 EPタイプチガイ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** →　正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。「EPカートリッジの交換」（369ページ）に従ってEPカートリッジを取り付け後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）に従ってEPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX コールXXX	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。販売店または保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 →　ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混ざることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** →　電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** →　「用紙の規格」（430ページ）を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →　「5章 用紙のセット」（299ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **MPまたは手差し給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない（手差し給紙はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）。** →　メニューモード、プリンタードライバー正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき	**プリンターの内部が汚れている。** →　「清　掃」（373ページ）を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **トナー節約機能を使用している。** →　メニューモード、プリンタードライバーでトナー節約機能を解除してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **MPまたは手差し給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない（手差し給紙はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）。** →　メニューモード、プリンタードライバーで正しい用紙種類を設定し直してください。
何も印刷されない	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　ユーザーズマニュアル1章の「5　EPカートリッジを取り付ける」を参照して、トナーシールを引き抜いてください。
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
文字のグレー印刷ができない	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000＞ プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 ＜Windows NT 4.0＞ プリンタードライバーの[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**転写ローラが汚れている。** →　数枚テスト印刷をしてください。 **重要** 転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。 **リブプレートが汚れている。** →　「清　掃」（373ページ）を参照して、プリンターの内部を清掃してください。
部分的に白く抜けるとき	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「5章　用紙のセット」（299ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（430ページ）を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある（冬期など）。** →　電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（369ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。 →　LANインタフェースに接続を変更してください。

症　状	原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 5 6 1 2 3 4 E F A B C D e f a b c d 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
再生紙を使用すると頻繁に紙づまりが起きる	**再生紙がプリンターに適合していない可能性がある。** →　再生紙の使用については制限があります。お買い求めの販売店またはNEC121コンタクトセンターまでお問い合わせください。NEC121コンタクトセンターの電話番号および受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。
ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** →　プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1、COM1 など）に対し常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** →　お使いのプリンターをWindowsからお使いのプリンターに印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのままにして、メニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要です。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** →　お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターの I/F 設定の動作モードを同じ設定にしてください。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** →　「PrintAgentシステムが起動しないときは」（390ページ） を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ） を参照してください。
斜線の太さが均一でない（線の角度によって、線の太さが違っている） 写真などの絵やグラデーションがおかしい	**SETの設定が「ON」になっている。** →　プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードで SET の設定を「OFF」にしてください。SETは、印刷時の解像度を拡張して斜線や曲線の印刷品質を向上させるための機能ですが、印刷内容によってはこのような症状になることがあります。 **トナー節約機能がONになっている。** →　プリンタードライバーのプロパティまたはメニューモードでトナー節約機能を「OFF」にしてください。トナー節約機能はトナーの使用を節約する試し印刷用の機能です。この機能を使うと細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** →　メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** →　「用紙の規格」（430ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。

症　状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない（続き）	**以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** →　プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0＞ ［プロパティ］─［プリンタの設定］シート─［従来互換の印刷範囲］ ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プロパティ］─［印刷品質］シート─［従来互換の印刷範囲を使用する］
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 →　プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションの場合は、コンピューターから用紙送りコマンド「PG」を送り、用紙を排出してください。また、メニューモードの「プロッタセッテイメニュー」の「SPコマンドハイシュツ」を“SPコマンドハイシュツ　ON”に設定すれば、コマンド「SPØ;」または「SP;」で用紙を排出することができます。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 **綴じしろが合っていない。** →　印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。詳細は「両面印刷メニュー」（342ページ）参照してください。

症　状	原因と処理方法
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　ユーザーズマニュアル「2章 プリンターソフトウエアのインストール」を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　「7章　メニューモード」（323ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで136桁モードを有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	**メニューモードが合っていない。** →　メニューモードの両面印刷に関する設定を確認してください。 **セットされている用紙サイズが合っていない。** →　両面印刷は普通紙のA3、A4、A5、B4、B5、レターサイズでしか機能しません。セットされている用紙を確認してください。 **MPおよび手差しの用紙種類を普通紙以外に設定している。** →　MPおよび手差しから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 **MPおよび手差しの定形外用紙がONになっている。** →　メニューモードで定形外用紙を「OFF」にしてください。 **メモリーが足りない。** →　A3、B4サイズの用紙に両面印刷を行う場合、メモリーの増設が必要です。1章の「増設メモリー」（44ページ）をご覧になり、メモリーを増設してください。 **メモリースイッチ5-1がONになっている。** →　メモリースイッチ5-1を「OFF」にしてください。特定の環境下で同期コードを有効にし、アプリケーションがページごとに同期を取っている場合には、正しく機能しないことがあります。 **両面印刷ユニットが正しく取り付けられていない。（MultiWriter 2830Nのみ）** →　1章の「両面印刷ユニット」（31ページ）を参照して正しく取り付けてください。

<table>
<tr><th>症　状</th><th>原因と処理方法</th></tr>
<tr><td>1200dpi印刷時に“82メモリオーバー”が表示され、一部分が白紙で印刷される
（MultiWriter 2360N/2360のみ）</td><td>プリンターのメモリーが足りない。
→　メモリーの増設が必要です。503 ページの「増設メモリー対応表」をご覧になり、印刷保証容量のメモリーを増設してください。</td></tr>
<tr><td>解像度1200dpi時で用紙にしわが入る
（MultiWriter 2360N/2360のみ）</td><td>メニューモードが正しく設定されていない。
→　400dpi、600dpiで印刷を行った後で1200dpiに解像度を切り替えて印刷した場合、用紙にしわができる場合があります。メニューモードのウンヨウメニューで「オンドセイギョキノウ」を「ON」に設定し直してください。ただし、この場合、印刷開始時間が通常よりも遅くなります。</td></tr>
<tr><td>丁合い印刷ができない
または多部数印刷ができない</td><td>プリンターと双方向通信ができない。
→　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照してください。
→　双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、4章の「電子ソート機能」（224ページ）をご覧ください。
→　アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。</td></tr>
<tr><td>印刷速度が遅い</td><td>プリンターバッファーなどを取り付けている。
→　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。
プリンターと双方向通信ができない。
→　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照してください。
Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。
→　本章の「その他の注意事項」（400ページ）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>オプションが選択できない</td><td>PrintAgentが正しく動作していない。
→　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照してください。
PrintAgentをインストールしていない。
→　プリンタードライバーでオプションの設定をしてください。設定は［プロパティ］シートで行います。
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0>
［プロパティ］－［プリンタの設定］シート－［プリンタの構成］

<Windows Me、Windows 98、Windows 95>
［プロパティ］－［プリンタの構成］シート</td></tr>
</table>

1200dpiでの印刷について

MultiWriter 2360N/2360をお使いで、プロッターコマンドのパラメーターがセットした用紙の印刷範囲をはみ出すような結果となる座標を指定した場合に、解像度1200dpiでの印刷を行いますと、印刷したいイメージと相違が出る場合があります。この場合は、解像度を600dpi（23.6ドット/mm）または400dpi（15.7ドット/mm）に落として印刷することをお勧めします。

プリンターをリセットする方法について

プリンターをリセットするには以下の手順で行います。

［シフト］スイッチを押した状態で［リセット］スイッチを2回押す。

［シフト］スイッチから指を離すとディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失され、プリンターは初期状態になります。

❷ **リセット後、ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが緑点灯したことを確認する。**

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

症　状	原因と処理方法
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	**［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスで［システムを自動的に起動する］をチェックしていない。** →　チェックしてください。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は次回ログオン時から、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から自動的に表示されます。 **PrintAgentを終了している。** →　［スタート］－［プログラム］－［MultiWriter2860N］（または［MultiWriter2830N］／［MultiWriter2360/2360N］）－［PrintAgentシステム起動］を実行してください。
PrintAgentが機能しない	**PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。** →　Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを再起動して、プリンターソフトウエアを再インストールしてください。 **マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用している。** →　マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）は、PrintAgentには対応していません。
双方向機能が有効になっていない	**Windowsのポートが正しく設定されていない。** →　双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。 上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効（サポートしない）に設定してください。 →　プリンターのプロパティで双方向通信を有効（サポートする）に設定してください。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照してください。

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったり、表示内容がおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが［スタート］メニューに登録されていない	**カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。** →　システムの管理者にご相談ください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	**プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter2860N」または「NEC MultiWriter2830N」、［NEC MultiWriter2360/2360N］のプリンターが登録されていない。** →　PrintAgentおよび、プリンタードライバーをインストールしてください。 **プリンタードライバーが変更されている。** →　プリンタードライバーを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバーを削除し、再度プリンタードライバーをインストールしてください。
プリンタステータスウィンドウが起動しない	**プリンターのアクセス権がない。** →　権限を確認してください。 **必要なファイルが削除されている。** →　PrintAgentを再インストールしてください。 **コンピューターのメモリー不足。** →　必要のないアプリケーションを終了してください。 **プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。** →　コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が［Guest］となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
プリンタステータスウィンドウの表示内容が不正である、アニメーションが行われない	**印刷データを直接プリンターに送信している。** →　印刷データ（ジョブ）をスプールするように設定してください。 **［通知形式のプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定内容を確認してください。
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続く）	**最新のステータスを取得していない。** →　プリンタステータスウィンドウの［最新のステータスに更新］ボタンをクリックしてください。 **14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。** →　このインターフェースではプリンターの情報を取得することができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）をお使いになることをお勧めします。 **クライアント・サーバーシステムでWindows XPにサービスパックを適用している。** →　ネットワーク上のプリンターの状態を正しく表示させるためには「設定ツール」による設定の変更が必要な場合があります。詳しくは、「クライアント・サーバーシステムでお使いの場合」（398ページ）をご覧ください。

症　状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない（続き）	**プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　<Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows NT 4.0> ［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 <Windows Me> ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 <Windows 98、Windows 95> ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 **プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタープールを使用している。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンターのプロパティの［ポート］－［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。 **お使いのコンピュータープリンターポート（パラレルポート）の設定とプリンターのI/F設定が異なっている。** →　双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」（401ページ）を参照してください。
プリンタステータスウィンドウの音声メッセージが通知されない	**音声がインストールされていない。** →　標準インストールでは音声はインストールされません。アプリケーションの追加と削除で音声を選択してインストールしてください。（77ページ参照） **音声を通知しない設定になっている。** →　［通知形式のプロパティ］の設定を確認してください。 **［PSWのプロパティ］の［自分のドキュメントを印刷していないときの設定］が「自動起動する」になっていない。** →　自分のドキュメントを印刷していないときの音声メッセージは「自動起動しない」と設定されているときは通知されません。「エラー発生時にウィンドウで自動起動する」と設定されているときはエラー時のみ通知されます。 **ボリューム、Windowsのサウンド設定が変更されている。** →　設定を確認してください。
プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない	**印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。** →　すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。 **プリンターのアクセス権がない。** →　ネットワーク管理者に権限を確認してください。 **印刷先がネットワーク共有プリンターである。** →　ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。
プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう	**［PSWのプロパティ］の設定が変更されている。** →　設定を確認してください。詳細はPrintAgentのヘルプを参照してください。 **LANボードまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。** →　LANプリンターをサーバーを介さずに使用している場合は［PSWのプロパティ］で［自分のドキュメントを印刷していないとき］の起動条件として［印刷中にアイコンで自動起動する］を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。
プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている	**プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファーなどを経由して接続されている。** →　プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。 **プリンターの情報をうまく取得できない。** →　ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症　状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	**［リプリント機能を提供する］がチェックされていない。** →　PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。（ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。） **プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。** →　<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0> ［プリンタのプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］をチェックしてください。 <Windows Me> ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 <Windows 98、Windows 95> ［プロパティ］の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選んでください。 →　1章の「使用できるプリンターケーブル」（48ページ）を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 **PrintAgent リプリントがインストールされていない。** →　PrintAgent リプリント2を追加インストールしてください。（73ページ参照） **プリンタードライバーがインストールされていない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（49ページ）を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	**［リプリント機能を使用する］がチェックされていない。** →　<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000> ［印刷設定］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 <Windows Me、Windows 98、Windows 95> ［プロパティ］ダイアログボックスの［出力制御］シートを開き、確認してください。 <Windows NT 4.0> ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの［メイン］シートで機能選択バーの［リプリント］を選択し、確認してください。 **ドメインに参加していない。** →　ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行う場合リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	**印刷ジョブのスプールサイズが大きい。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（256ページ）参照） **ドキュメント数が制限を超えている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（256ページ）参照） **有効期限が過ぎている。** →　［PrintAgentのプロパティ］ダイアログボックスを開き、［リプリント機能の設定］ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。（4章の「リプリント機能を設定する」（256ページ）参照）

ジョブセパレート機能が動作しないときは

データを送ったが、ジョブセパレートできなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症　状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能が使用できない	**A4サイズが縦置き、横置きでセットされていない。** →　プリンターにセットされている用紙の向きを確認してください。（301ページ参照） **MPの用紙サイズが設定されていない。** →　MPの用紙サイズを「A4ヨコ」もしくは「A4タテ」に設定してください。 →　メニューモードのヨウシメニューで「MP　テイケイガイヨウシ」を「OFF」に設定してください。 **給紙方法が自動に設定されていない。** →　プリンタードライバーの［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、自動に設定してください。 **［ジョブセパレート機能を使用する］がチェックされていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者（クライアント）の設定をプリンタードライバーで［ジョブセパレート機能を使用する］にしてください。 **プリンターで双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」（390ページ）を参照してください。双方向通信ができない場合には、丁合い機能と組み合わせた多部数印刷時のジョブセパレートはできません。
ジョブセパレート機能がうまく働かない	**丁合い機能が正しく選択されていない。** →　アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。 **すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用できる設定になっていない。** →　ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが［ジョブセパレート機能を使用する］に設定していることを確認してください。
PrintAgent リプリント2でジョブセパレートが設定できない	**プリンタードライバーの給紙方法が［自動］以外の設定で印刷された印刷ジョブを選択している。** →　給紙方法を［自動］に設定し、印刷してください。 **A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。
PrintAgent リプリント2でジョブ結合したとき、ジョブセパレートが設定できない	**A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブがある。** →　A4サイズ以外の用紙で印刷されたジョブの選択を解除してください。 →　結合するジョブをA4サイズで設定された印刷ジョブにしてください。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備の LANインターフェースやネットワークオプションを使用してプリンターがネットワークに接続されている。（PrintAgentに対応している型番については「1章　オプション」（15ページ）をご覧ください。）
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANボード（型番 PR-WLX-13）で接続されている。
- 共有プリンターの場合（クライアント・サーバー接続）、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネット ワークボード／カード／アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウエアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- 他のユーザーがインストールしようとしているコンピューターにログオンしている場合はインストールできません。
  - Windows XPの場合：
各ユーザーに切り替えてログオフしてからインストールを行ってください。
  - Windows Server 2003：
他のユーザーをログオフしてからインストールを行ってください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。

[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは引き続きPrintAgentをご利用になれます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
  - ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

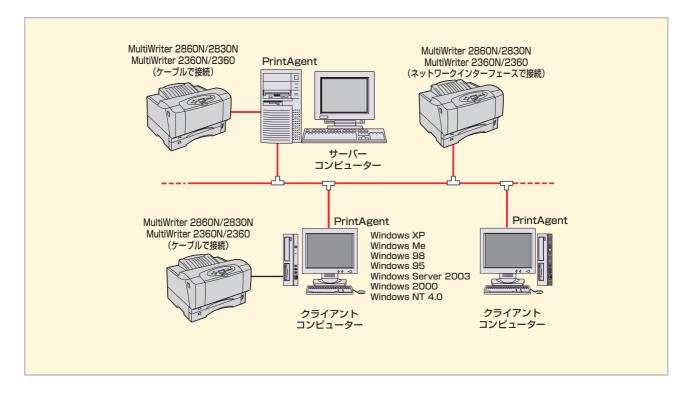
  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。
- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[プリンタのプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でSrandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、[SNMPステータスを有効にする]のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。

- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）
- Windows XPにService Pack 2を適用しているコンピューターでは、添付のプリンタソフトウエアCD-ROMにある「設定ツール」を使って設定を変更しないと正しく機能しない場合があります。
「設定ツール」に関する詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMにある「README.TXT」および「INSTALL.TXT」を参照してください。それぞれのテキストファイルは次の場所にあります。
  - PrintAgentに関する情報
［CD-ROMドライブ名］:¥XPSP2¥PA_UPDAT
  - MultiWriterドライバ配信機能に関する情報
［CD-ROMドライブ名］:¥XPSP2¥DU_UPDAT

チェック

上記の「設定ツール」はWindowsのセキュリティ機能に関する設定を変更します。設定にあたっては、テキストファイルにある説明をよく読み、システム管理者と十分相談した上で操作してください。

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

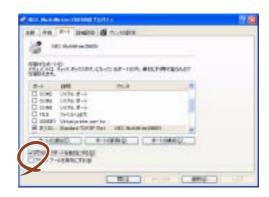
- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

OS	パラレル インターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、 Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

* Windows 95日本語版には、対応していません。

- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。PrintAgentの機能はご利用になれません。
- ネットワークオプションの型番 PR-NPX-05はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

<Windows Meの場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows 98、Windows 95の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスで[ポート]シートの[双方向サポートを有効にする]をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[プリンタのプロパティ]の[ポート]-[プリンタプールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、標準のLANインターフェースおよびLANボード、無線LANボードまたは、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceを実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  ＜MultiWriter 2860Nの場合＞
  - Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー：¥MW2860N¥WIN2KTS
  - Windows NT 4.0対応プリンタードライバー：¥MW2860N¥NT40TSE

  ＜MultiWriter 2830Nの場合＞
  - Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー：¥MW2830N¥WIN2KTS
  - Windows NT 4.0対応プリンタードライバー：¥MW2830N¥NT40TSE

  ＜MultiWriter 2360N/2360の場合＞
  - Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー：¥MW2360N¥WIN2KTS
  - Windows NT 4.0対応プリンタードライバー：¥MW2360N¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」（185ページ）を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行うこともできます。
- Windows XP Service Pack 2が動作しているコンピューターでPrintAgentが提供する機能の一部である「Web PrintAgent」および「印刷ログユーティリティ」を利用する場合は「http://121ware.com」で公開している情報を併せて参照していください。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタ ステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「7章　メニューモード」（323ページ）を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」(75ページ)、「PrintAgentの追加・削除」(77ページ)の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。

  「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「￥PAeraser￥Readme.txt」をご覧ください。
- Web　PrintAgentをご利用の場合、OSをアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネット　インフォメーション　サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

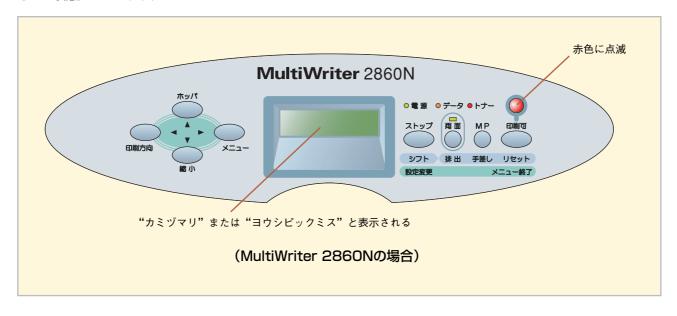
症状	原因と対策
Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。** **標準のLANインターフェースまたはLANボードをご使用の場合** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンターのリンクランプ（橙色）は点灯していますか？ →　プリンターおよびHUBのリンクランプは点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「？」と表示されるときはHUBの通信設定を固定にするかWWWブラウザーまたはPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを用いてプリンターの通信設定を固定してください。 →　IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 **無線LANボードをご使用の場合** →　無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか？ 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANボードの電源ランプが点灯していますか？ 無線LANボードに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANボードの取り付け不十分が考えられます。37ページを参照して正しく取り付けてください。また、無線LANボード電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANボードとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 →　暗号キーやネットワーク名は間違っていませんか？ 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

症　状	原因と処理方法
プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。（続き）	**2.　コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** →　＜Windows Me 日本語版の場合＞ ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［MS-DOSプロンプト］を選択する。 ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス）。 （例） C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 ［return］ Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms 応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。 また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致している必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。
コンフィグレーションページが印刷されない。	→　標準のLANインターフェースおよびLANボード/LANアダプターは動作していますか？ 標準のLANインターフェースおよびLANボード/LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。
印刷速度が遅い	→　無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありませんか？ 無線LANボードは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。 •　近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 •　アクセスポイントなどの通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 •　プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。
丁合い印刷、多部数印刷ができない。 ジョブセパレートができない。	**プリンターと双方向通信が有効でない。** →　PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、本章「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（399ページ）を参照してください。 →　丁合い印刷には、メモリー増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「電子ソート機能」（224ページ）を参照してください。 →　丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。
SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。	→　ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→　ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名をLANボードに設定してください。
Windowsターミナルサービス環境で使用できない。	→　添付のプリンターソフトウエア CD-ROM からターミナルサービス用のプリンタードライバーをインストールしてください。詳しくは、4章の「ターミナルサービス環境」（185ページ）を参照してください。
無線LANカードに添付のユーティリティから無線LANボードの接続が確認できない。	→　ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティによっては、無線LANボードとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンタリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。

症　状	原因と処理方法
Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。 白紙が印刷される。	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、［印刷履歴］を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また、「LPRバイトカウントを有効にする」設定を有効にしてください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェース、USBインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
従量課金回線でご使用の場合	→ Standard TCP/IP PortのLPRを用いて印刷している場合、「SNMPステータスを有効にする」のチェックを外してください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。 「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
UNIX をご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	→ プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。euc コードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、「3章　ネットワークでの設定」の「UNIX環境の設定」（188ページ）を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイルなどの転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可ランプが赤色に点滅し、ディスプレイの上段に“74　カミヅマリ”または“78　ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷データを受信できない状態）になります。

（MultiWriter 2860Nの場合）

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）が発生している箇所を表しています（「手差し部」はMultiWriter 2860N/2360N/2360のみです）。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74　カミヅマリ”	“ホンタイ”	B 本体部 E 手差し部
	“リョウメン”	C 両面部
	“キュウシ”	D 給紙部
“78　ヨウシピックミス”	“ホッパ”	A 用紙カセット
	“MP”	
	“テサシ”	E 手差し部

次ページの図を参考にしてA、B、C、D、Eのいずれかを開けて、つまった箇所を調べてください。つまった箇所に応じて、400ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。

A～Eで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については次ページ以降を参照してください。

C　両面部
（MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着している場合）

B　本体部

定着ユニット

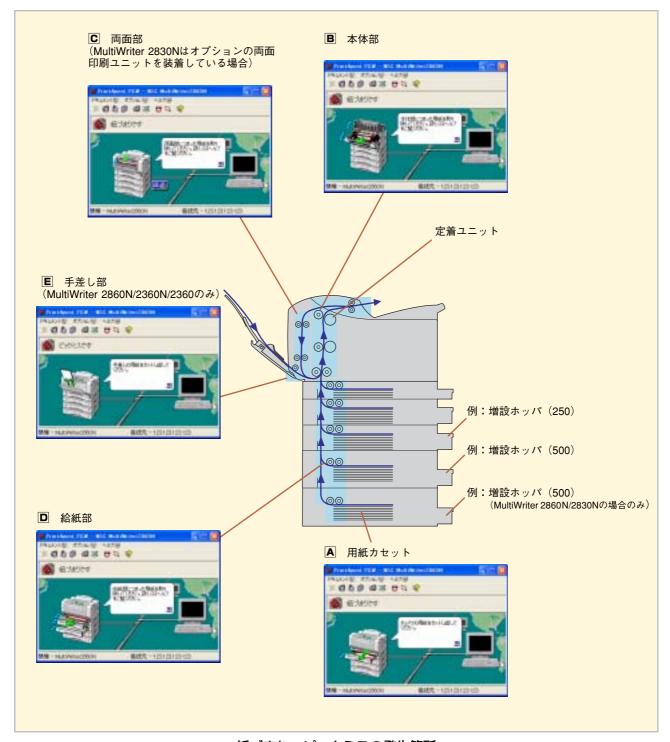
E　手差し部
（MultiWriter 2860N/2360N/2360のみ）

例：増設ホッパ（250）

例：増設ホッパ（500）

例：増設ホッパ（500）
（MultiWriter 2860N/2830Nの場合のみ）

D　給紙部

A　用紙カセット

紙づまり、ピックミスの発生箇所

定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

ピックミス（用紙給紙ミス）の処理

発生箇所（A、E）に応じて、ピックミス（用紙給紙ミス）の処理をしてください。

給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（415ページ）を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。

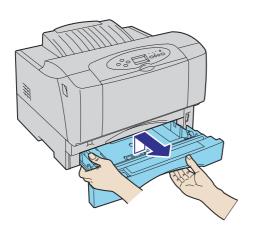
A 用紙カセット

用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ 操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。

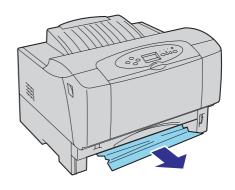
❷ プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。

重要

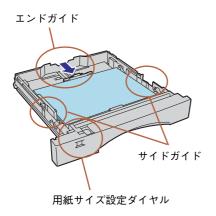
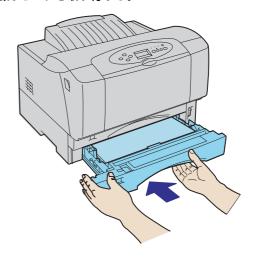
用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。カセットを両手で上に軽く持ち上げ持って取り外してください。

❸ 給紙されなかった用紙を取り除く。

チェック

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❹ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。

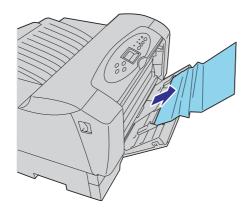
「5章　用紙のセット」（299ページ）を参照してください。

❺ **用紙カセットを取り付ける。**

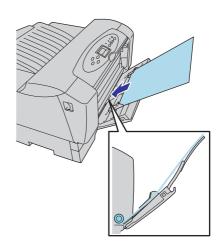
重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

E 手差し部

MultiWriter 2860N/2360N/2360の手差し部でピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま手差し給紙できなかった用紙を取り除く。**

❷ **新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。**

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は手差しから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❸ **用紙のセット方法が正しいか確認する。**

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。

5章の「手差しに用紙をセットする」（308ページ）を参照してください。

紙づまりの処理

発生箇所（B、C、D、E）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（415ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

チェック

- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

B　本体部の紙づまり

本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

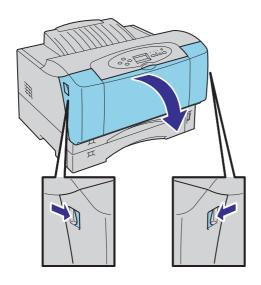
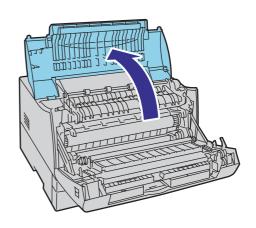
定着ユニット周辺、および装置内部の金属部は高温になっています。触れると火傷をするおそれがありますので、十分に注意してください。

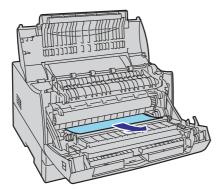
チェック

作業は強い光の当たる場所を避け、なるべく5分以内に終わらせてください。

❶ **プリンターの電源をONにしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。**

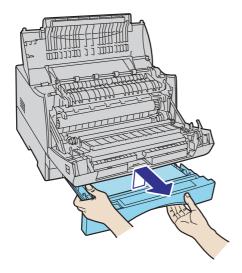
フロントユニットが開いて止まります。

このとき、フロントカバーは閉じてください。

❷ **トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。**

❸ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❻に進んでください。

❹ トップカバーをゆっくりと閉じる。

❺ フロントユニットをゆっくりと閉じる。

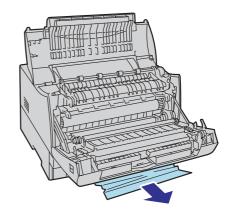
つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❻ 標準カセット、またはMPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。

❼ つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。

つまっている用紙が見つからなかった場合は、そのまま次の手順へ進んでください。

チェック

つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。

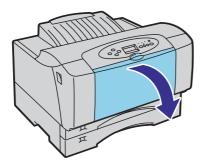
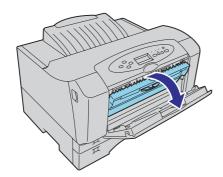
用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❽ トップカバーをゆっくりと閉じる。

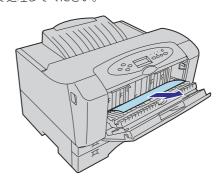
❾ フロントユニットをゆっくりと閉じる。

❿ 取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。

C 両面部の紙づまり

MultiWriter 2860N/2360N/2360、またはオプションの両面印刷ユニットを装着したMultiWriter 2830Nの両面部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

1 プリンターの電源をONにしたままフロントカバーのつまみをつまんでフロントカバーをゆっくり開ける。

2 両面カバーを開ける。

3 つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。

用紙が取れない、または見つからない場合はフロントカバーを閉じた後、「B本体部の紙づまり」（410ページ）の手順に従って処理してください。

4 両面カバーを閉める。

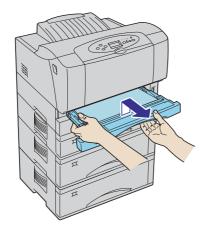
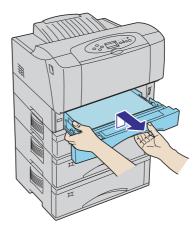
5 フロントカバーをゆっくりと閉める。

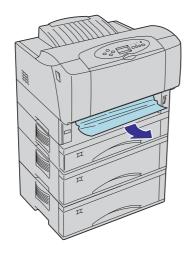
D 給紙部の紙づまり

給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、増設ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

重要

- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

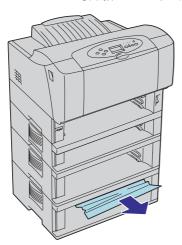
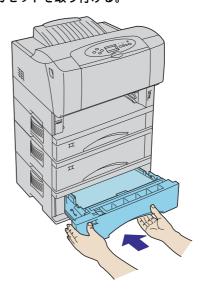
1 MPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。

2 標準カセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。

❸ つまった用紙をゆっくり引き抜く。

用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。
つまった用紙が見つからない場合は、手順❺に進んでください。

❹ 標準カセット、MPカセットを取り付ける。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❺ つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。

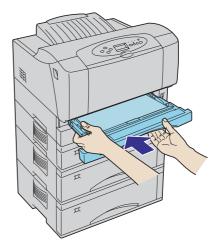
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

❻ 増設カセットを取り付ける。

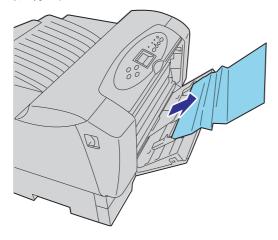
重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❼ 標準カセット、MPカセットを取り付ける。

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

E 手差し部の紙づまり

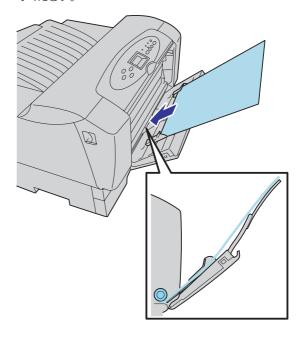
MultiWriter 2860N/2360N/2360の手差し部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ プリンターの電源をONにしたまま、つまった用紙を取り除く。

❷ 用紙が取れない、または見つからない場合は「B本体部の紙づまり」（410ページ）の手順に従って処理する。

このとき、フロントカバーは閉じてください。

❸ 新しい用紙を手差しの奥まで確実にセットする。

手差し用紙ガイドの位置はセットした用紙に合わせてください。

5章の「手差しに用紙をセットする」（308ページ）を参照してください。

チェック

- セットする用紙の種類が正しいか確認してください。
- 給紙されなかった用紙は取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- □ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- □ 用紙は正しくセットされていますか。
- □ セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。
- □ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」（430 ページ）に記載されている事柄は守られていますか。
- □ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイド、およびサイドガイドの最大積載表示（▽）以下にセットされていますか。（坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。）
- □ 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- □ プレ印刷用紙（すでに罫線などが印刷されている用紙）を使用していませんか。
- □ フロントユニット、トップカバー、両面カバー*は確実に閉じられていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- □ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- □ MultiWriter 2830Nで両面部（オプション）の紙づまりが頻繁に発生する場合は、両面印刷ユニットの取り付け状態を確認してください。

* MultiWriter 2830Nはオプションの両面印刷ユニットを装着した場合。

上記の確認後、ユーザーズマニュアル1章の「8　テスト印刷をする」に従って印刷が正しく行われることを確認してください。（紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。）

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ 付属品および消耗品（EP カートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（ユーザーズマニュアル「1章 プリンターの設置」を参照してください。）

> **重要**
>
> どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

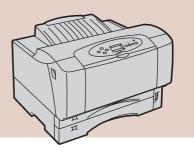
❷ オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、「1章　オプション」（15ページ）を参照して取り外す。

❸ 購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。

> **⚠注意**
>
> プリンターを移動する際は、装置側面の取っ手を持ち、装置前面に手をそえて2人以上で運んでください。プリンターの標準の質量（EPカートリッジ含まず）は以下のとおりです。
>
> - MultiWriter 2860N：約17.8kg
> - MultiWriter 2830N：約17.3kg
> - MultiWriter 2360N/2360：約17.2kg
>
> 1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。
>
> また、プリンターの重心は前面にあります。前面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製のEPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、8章の「EPカートリッジの回収と購入」（370ページ）を参照してください。

10章
ユーザーサービス

NECは、MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをご利用になる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

お客様登録について

お客様登録をしていただきますと、安心・充実したサービスとサポートを受けることができます。ぜひご登録ください。
お客様登録には2つの方法があります。

インターネットによる登録（こちらをお勧めします）

お客様登録をしながらNECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」でさまざまなサービスとサポートをご利用になるための「ログインID」と電話お問い合わせ時に必要な「121wareお客様登録番号」が同時に取得することができます。

1. **NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウント（http://121ware.com/my/）にアクセスする。**
2. **ログインIDを取得する。**
   すでに取得済みの場合は、「ログイン」をクリックし、取得済みのIDとパスワードでログインしてください。
3. **「保有商品情報」の「新規・追加登録」をクリックする。**
4. **画面の案内に従って商品を登録する。**

FAXによる登録

インターネットをお使いになれないお客様は、FAXを使って登録してください。

1. **お手持ちのFAXから「0120-977-121（フリーコール）」に電話する。**
   窓口案内の音声が流れたら、9番（FAX情報サービス窓口）を押してください。
2. **音声ガイダンスに従ってボックス番号「7612#」を押し、お客様登録用紙を取り出す。**
3. **お客様登録用紙に必要事項を記入してFAXで送り返す。**

ご登録の特典

ご登録いただいたお客様には、以下のひとりひとりに合わせたOne to Oneサービス&サポートをご提供いたします。

- **特典1　電話サポート（無償）**
  商品についての電話相談窓口「121コンタクトセンター」をご利用いただけます。

> ✔チェック
>
> NEC121コンタクトセンターに技術的なお問い合わせをする際は、「121wareお客様登録番号」が必要になります「121wareお客様登録番号」はインターネットで登録された場合、121ware.comのマイアカウントに表示されます。FAXで登録された場合は、Eメールまたは郵送でお知らせします。

- **特典2　メールサービス（無償）**
  ご利用製品のサポート情報やキャンペーンのご案内などをメールマガジンにてお届けいたします。
- **特典3　インターネットサービス&サポート**
  NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」で、「ログインID」を取得していただきますと、さまざまなサービス&サポートをご利用いただけます。ログインIDは「121ware.com」およびNECショッピングサイト「NEC Direct」で共通にご利用いただけるIDです。

> ✔チェック
>
> 「FAX」で登録された方が121ware.comでのサービスをご利用するには、Eメールまたは郵送でご連絡いたします「121wareお客様登録番号」が届き次第、インターネットにてログインIDを取得していただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

なお、ご登録に関するお問い合わせについては、下記までお願いいたします（電話番号はよくお確かめのうえ、おかけください）。

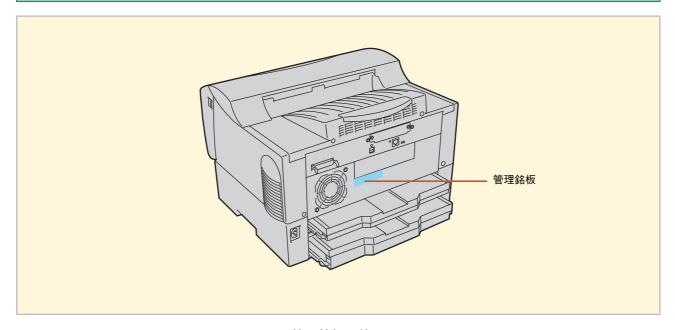
121ware登録センター　0120-469-121　（フリーコール）

受付時間　月～金 9:00～17:00（祝祭日および弊社休業日を除く）
または、Eメール「webmaster@121ware.com」宛にお願いいたします。

保証について

プリンターには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社＊1をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- PrinterSupportPack
  プリンター本体の購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約＊2。
- **年間保守契約**
  年間一定額の料金にて、プリンターの故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約。
  契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- **スポット保守サービス＊3（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）**
  - 引き取り修理サービス
  - 出張修理サービス

＊1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのWebページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htmをご覧ください。
＊2 技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/をご覧ください。
＊3 施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間が多少異なりますので、各施設にご確認ください。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360の製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

型番　PR-L2860N、PR-L2830N、PR-L2360N、もしくはPR-L2360

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、管理銘板や保証書で確認し、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター
URL： http://pcm.mepros.com
電話： 03-5471-5215
受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX： 03-5471-3996
受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット　「NEC 8番街」 URL：http://nec8.com/

- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

プリンターソフトウエアをフロッピーディスクで必要な場合

通常プリンターソフトウエアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成（インストール媒体の作成）」をご覧ください。

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウエアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウエアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

• マスターとして	本プリンター用プリンターソフトウエアをすべてコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です)
• 「カスタム」インストール用として	機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウエアをコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク9枚が必要です)

プリンターソフトウエアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウエアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウエアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、MultiWriter 2860Nを例にとってWindows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

❶ プリンターソフトウエア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。

[インストール]をクリックしてから、[MultiWriter2860N]を選んで[インストール開始]をクリックします。

❷ FD作成の[作成]をクリックする。

❸ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウエアがフロッピーディスクにコピーされます。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

[マスタ媒体として作成する。]を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。

<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❼へ進んでください。

<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>

手順❹へ進んでください。

❹ **プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。**

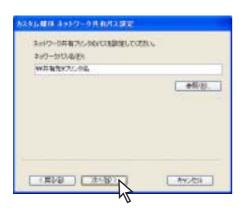
＜[未指定]を選んだ場合＞

手順❺に進んでください。

＜[ローカルポート]を選んだ場合＞

希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。

＜[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合＞

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

＜[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合＞

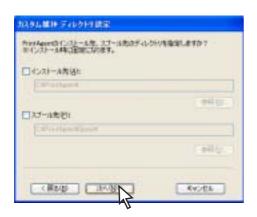
標準装備のLANインタフェースまたはプリンターに接続しているネットワークオプションのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。

❺ **任意の機能を選ぶ。**

[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

> ✔チェック
>
> ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

❻ **インストール先、スプール先を指定し、[次へ] をクリックする。**

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

❼ **設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。**

❽ **[OK]をクリックする。**

インストール媒体の作成が開始します。

❾ **[OK]をクリックする。**

チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk1： インストールプログラム

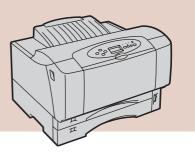
Disk2： Windows Me、Windows 98、Windows 95プリンタードライバー（Windows Me、Windows 98用USBドライバーを含みます。）

Disk3： Windows NT 4.0プリンタードライバー

Disk4： Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000プリンタードライバー

Disk5～Disk9：PrintAgentソフトウエア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウエアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

付録
技術情報

この章では、本プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕　様

MultiWriter 2860N/MultiWriter 2830N

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><th>MultiWriter 2860N</th><th>MultiWriter 2830N</th></tr>
<tr><td colspan="2">印刷方式</td><td colspan="2">電子写真記録方式
露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー
現像方式：1成分乾式</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷速度*1
（A4サイズ横置き、
ホッパー給紙、片面印刷時）</td><td colspan="2">約28ページ/分（600dpi時）

<補足>
はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約12ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約6ページ/分になります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウォームアップの待ち時間
（室温20℃）</td><td colspan="2">電源投入時：21秒以下
節電時：9秒以下</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファーストプリントタイム
（600dpi時）</td><td>片面印刷時</td><td colspan="2">A4サイズ：約6.5秒（横置き、ホッパー給紙）
A3サイズ：約8.5秒（ホッパー給紙）
B4サイズ：約8秒（ホッパー給紙）</td></tr>
<tr><td>両*2面印刷時</td><td colspan="2">A4サイズ：約14秒（横置き、ホッパー給紙）
A3サイズ：約16秒（ホッパー給紙）
B4サイズ：約15秒（ホッパー給紙）</td></tr>
</table>

*1　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

*2　MultiWriter 2830Nで両面印刷するには、オプションの両面印刷ユニットが必要です。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><th>MultiWriter 2860N</th><th>MultiWriter 2830N</th></tr>
<tr><td colspan="2">用紙容量</td><td>標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
MP：100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
手差し：30枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合</td><td>標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
MP：100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合</td></tr>
<tr><td colspan="2">スタック容量</td><td colspan="2">250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドット間隔</td><td colspan="2">0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">CPU</td><td colspan="2">RM5231A（200MHz）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリー</td><td colspan="2">標準24MB、最大280MB（オプション増設時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">オプションメモリーソケット</td><td colspan="2">1ソケット（SO-DIMM用）</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターフェース</td><td colspan="2">IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェースに準拠（背面に1つ装備）
USB2.0に準拠*[1]（背面に1つ装備）
イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX）
IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）</td></tr>
<tr><td colspan="2">環境</td><td colspan="2">動作温度：10～32.5℃
動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと
保管温度：0～35℃
保管湿度：10～80%（RH）ただし結露しないこと
塵埃量：一般事務室程度
ガス成分：一般事務室程度
気　圧：1013～752.4 hPa（海抜0～2500m）</td></tr>
<tr><td colspan="2">騒音
（音圧レベル、A補正）</td><td colspan="2">動作時：53dB以下
待機時：36dB以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan="2">電　圧：AC 100V± 10%
周波数：50/60Hz± 1Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="3">消費
電力*[2]</td><td>動作時
最大*[3]</td><td colspan="2">プリンター単体時：920W以下（930VA以下）
フルオプション時：930W以下（940VA以下）</td></tr>
<tr><td>動作時平均</td><td colspan="2">プリンター単体時：520W以下</td></tr>
<tr><td>節電
モード時</td><td colspan="2">30W以下（節電モード0：工場出荷時）
15W以下（節電モード1）</td></tr>
</table>

*[1]　USBインターフェースは、すべてのUSB対応機器について動作を保証するものではありません。
*[2]　電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
*[3]　最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

<table>
<tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><th>MultiWriter 2860N</th><th>MultiWriter 2830N</th></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="2">459（幅）x 598（奥行き）x 319mm（高さ）　（カセット伸長時、突起部除く）
459（幅）x 463（奥行き）x 319mm（高さ）　（カセット縮小時、突起部除く）</td></tr>
<tr><td>質量</td><td>約17.8kg（EPカートリッジ、オプション含まず）
約19.6Kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）</td><td>約17.3kg（EPカートリッジ、オプション含まず）
約19.1.Kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）</td></tr>
<tr><td>製品寿命*[1]</td><td colspan="2">印刷枚数60万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方</td></tr>
<tr><td>消耗品寿命</td><td colspan="2">EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数）
（ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）</td></tr>
<tr><td>言語</td><td colspan="2">• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む）
• ESC/Pエミュレーション
• プロッターエミュレーション（HP 7550A準拠）</td></tr>
<tr><td>内蔵フォント</td><td colspan="2">明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、
OCR-B相当文字*[2]、バーコード*[2]、*[3]（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）</td></tr>
<tr><td>対応OS</td><td colspan="2">• Microsoft Windows XP 日本語版*[4]、*[5]
• Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*[4]
• Microsoft Windows 98 日本語版*[4]
• Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*[4]
• Microsoft Windows 95 日本語版
• Microsoft Windows Server 2003 日本語版*[4]、*[6]
• Microsoft Windows 2000 日本語版
• Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
• 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V）
• Mac OS日本語版*[7]</td></tr>
</table>

*[1] 10万ページ印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。

*[2] OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

*[3] MS-DOSなどのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

*[4] USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821シリーズのUSBインターフェース接続には対応していません。

*[5] Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

*[6] 64ビットバージョンWindows Server 2003には対応していません。

*[7] Mac OS対応プリンタードライバーは、「http://121ware.com/」で提供しています。詳細は、同ホームページをご覧ください。

MultiWriter 2360N/MultiWriter 2360

項目	内容	
	MultiWriter 2360N	MultiWriter 2360
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式	
印刷速度＊1 （A4サイズ横置き、ホッパー給紙、片面印刷時）	約21ページ/分（600dpi時） 約12ページ/分（1200dpi時） <補足> • A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約15.1ページ/分になります。ただし、100枚を超える連続印刷を行った場合は約10～12ページ/分になります。 • はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約9ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約4.5ページ/分になります。	
ウォームアップの待ち時間 （室温20℃）	電源投入時：15秒以下 節電時：8秒以下	
ファーストプリントタイム（600dpi時）　片面印刷時	A4サイズ：約7秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約9.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9秒（ホッパー給紙）	
ファーストプリントタイム（600dpi時）　両面印刷時	A4サイズ：約15秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約18.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約17秒（ホッパー給紙）	
用紙容量	標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP：100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 手差し：30枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合	
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合	
ドット間隔	0.0212×0.0212mm（1/1200×1/1200インチ） 0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ） 0.0635×0.0635mm（1/400×1/400インチ）	
CPU	RM5231A（200MHz）	
メモリー	標準16MB、最大272MB（オプション増設時）	
オプションメモリーソケット	1ソケット（SO-DIMM用）	
インターフェース	IEEE1284　規格準拠双方向パラレルインターフェースに準拠（背面に1つ装備） USB2.0に準拠＊2（背面に1つ装備） イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX） IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）	IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェースに準拠（背面に1つ装備） USB2.0に準拠＊2（背面に1つ装備） イーサネット（10BASE-T/100BASE-TX）（オプション） IEEE802.11b規格準拠の無線LAN（オプション）
環境	動作温度：10～32.5℃ 動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：0～35℃ 保管湿度：10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量：一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気　圧：1013～752.4 hPa（海抜0～2500m）	
騒音 （音圧レベル、A補正）	動作時：50dB以下 待機時：36dB以下	
電源	電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz	

＊1　印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

＊2　USB インターフェースは、すべての USB 対応機器について動作を保証するものではありません。

項目		内容	
		MultiWriter 2360N	MultiWriter 2360
消費電力*[1]	動作時最大*[2]	プリンター単体時：830W以下（840VA以下） フルオプション時：850W以下（860VA以下）	
	動作時平均	プリンター単体時：425W以下	
	節電モード時	20W以下（節電モード0：工場出荷時） 15W以下（節電モード1）	
外形寸法		459（幅）x 598（奥行き）x 319mm（高さ）　（カセット伸長時、突起部除く） 459（幅）x 463（奥行き）x 319mm（高さ）　（カセット縮小時、突起部除く）	
質量		約17.2kg（EPカートリッジ、オプション含まず） 約19.0Kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）	
製品寿命*[3]		印刷枚数60万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方	
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）	
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション • プロッターエミュレーション（HP 7550A準拠）	
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、 OCR-B相当文字*[4]、バーコード*[4]、*[5]（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）	
対応OS		• Microsoft Windows XP 日本語版*[6]、*[7] • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*[6] • Microsoft Windows 98 日本語版*[6] • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*[6] • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版*[6]、*[8] • Microsoft Windows 2000 日本語版 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版*[9]	

*[1] 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。
*[2] 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。
*[3] 10万ページ印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。
*[4] OCR-B相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。
*[5] MS-DOSなどのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。
*[6] USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821シリーズのUSBインターフェース接続には対応していません。
*[7] Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。
*[8] 64ビットバージョンWindows Server 2003には対応していません。
*[9] Mac OS対応プリンタードライバーは、「http://121ware.com/」で提供しています。詳細は、同ホームページをご覧ください。

用紙の規格

手差し印刷に関する記載は、これらの機能をサポートするMultiWriter 2860N/2360N/2360のみに適用されます。両面印刷に関する記載は、MultiWriter 2860N/2360N/2360またはオプションの両面印刷ユニットを装着したMultiWriter 2830Nに適用されます。

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
片面印刷時			
普通紙（乾式PPC用紙）	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ（約216×約280mm） 定形外用紙（100〜297×148〜420mm）（定形外用紙はMP、手差しのみ）	ホッパー給紙：64〜81.4g/m²（連量*55〜70kg） MP給紙：64〜81.4g/m²（連量*55〜70kg） 手差し給紙：64〜81.4g/m²（連量*55〜70kg）	1×10⁹〜1×10¹²Ω
厚紙		MP給紙：81.4〜128g/m²（連量*70〜110kg） 手差し給紙：81.4〜128g/m²（連量*70〜110kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき（100×148mm） 官製往復はがき（200×148mm）	MP給紙：157g/m²（連量*135kg） 手差し給紙：157g/m²（連量*135kg）	—
OHPフィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210×297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm（100μm± 25μm）	—
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210×297mm） B4判（257×364mm）	—	—
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものに限ります。ただし、材質によってご使用になれない場合があります。	105×235mm	—	—
両面印刷時			
普通紙（乾式PPC用紙）	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ（約216×約280mm）	ホッパー給紙：64〜81.4g/m²（連量*55〜70kg） MP給紙：64〜81.4g/m²（連量*55〜70kg）	1×10⁹〜1×10¹²Ω

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

チェック

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量：64〜67g/m^2（JIS P8124）
- 紙厚：0.085〜0.092mm（JIS P8118）
- 平滑度：25〜50sec（JIS P8119）
- 剛度：60cm^3/100以上（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗：1×10^9〜1×10^{12}Ω

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号　96種 （スペース、0を含む）	○
カタカナ・記号　63種	○
ひらがな　55種	○
CGグラフィック　56種	○
各国文字　15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978 準拠*

文字の種類	明朝体アウトライン	ゴシック体アウトライン
記号　96種 （スペースを含む）	○	○
英数字　62種	○	○
ひらがな　83種	○	○
カタカナ　86種	○	○
ギリシャ文字　48種	○	○
ロシア文字　66種	○	○
半角文字　212種 （スペースを含む）	○	○
JIS第一水準漢字　2965種	○	○
JIS第二水準漢字　3384種	○	○

* JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔（インチ）
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27～1/10
2バイト系文字	7ポイント*1	1/10
	10.5ポイント*2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1 正確には7.2ポイントです。
*2 正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成*1 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（mm）
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*2	3.39×B*2
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*2	1.69×B*2
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

*1　論理解像度400dpi時のサイズです。

*2　プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15〜37ドット（400dpi）、23〜55ドット（600dpi）、45〜120ドット（1200dpi：MultiWriter 2360N/2360のみ）B：0.95〜2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成*3 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法 （ボディフェース） ＜縦 × 横＞（mm）
2バイト系文字	7ポイント	全角	40×40	2.54×2.54
		半角	40×20	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	60×60	3.81×3.81
		半角	60×30	3.81×1.91
	12ポイント	全角	67×67	4.23×4.23
		半角	67×34	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット		67×n	4.23×m

*3　論理解像度400dpi時のサイズです。

文字コード表

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリースイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR			注15	
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US	注15	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/		
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注17	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_		
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o		
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12			注16
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注13	
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	注13	
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	注14	
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	注14	
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	注14	
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜	注14	
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注13	
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									注13	

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR			注15	
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US	注15	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/		
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	注17	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O		
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_		
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o		
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12			注16
80	▁	▂	▃	▄	▅	▆	▇	█	▏	▎	▍	▌	▋	▊	▉	┼	注13	
90	┴	┬	┤	├	▔	─	│	▕	┌	┐	└	┘	╭	╮	╰	╯	注13	
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ	注14	
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	注14	
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	注14	
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜	注14	
E0	═	╞	╪	╡	◢	◣	◥	◤	♠	♥	♦	♣	●	○	╱	╲	注13	
F0	╳	円	年	月	日	時	分	秒									注13	

注1～12　各国特殊文字が入ります（メモリースイッチ1-1～1-3で切り替えます。）
注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC ＆で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC ＄で指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリースイッチ2-1により「Ø」に変更できます。

国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	¦	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	¦	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J” のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	¦	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		｡	｢	｣	､	･	ｦ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ
00B0	ｰ	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ
00C0	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	ﾏ
00D0	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ﾝ	ﾞ	ﾟ
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS　1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜” のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
2130	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
2140	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
2150	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
2160	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
2170	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2220		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
2340		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
2350	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
2360		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
2370	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
2630	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鰺	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檮	棟
4570	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

漢字コード表（続き）

	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
4820	函箱硲	箸肇筈櫨	幡肌畑畠	八鉢溌発
4830	醗髪伐罰	抜筏閥鳩	噺塙蛤隼	伴判半反
4840	叛帆搬斑	板氾汎版	犯班畔繁	般藩販範
4850	釆煩頒飯	挽晩番盤	磐蕃蛮匪	卑否妃庇
4860	彼悲扉批	披斐比泌	疲皮碑秘	緋罷肥被
4870	誹費避非	飛樋簸備	尾微枇毘	琵眉美
4920	鼻柊稗	匹疋髭彦	膝菱肘弼	必畢筆逼
4930	檜姫媛紐	百謬俵彪	標氷漂瓢	票表評豹
4940	廟描病秒	苗錨鋲蒜	蛭鰭品彬	斌浜瀕貧
4950	賓頻敏瓶	不付埠夫	婦富冨布	府怖扶敷
4960	斧普浮父	符腐膚芙	譜負賦赴	阜附侮撫
4970	武舞葡蕪	部封楓風	葺蕗伏副	復幅服
4A20	福腹複	覆淵弗払	沸仏物鮒	分吻噴墳
4A30	憤扮焚奮	粉糞紛雰	文聞丙併	兵塀幣平
4A40	弊柄並蔽	閉陛米頁	僻壁癖碧	別瞥蔑箆
4A50	偏変片篇	編辺返遍	便勉娩弁	鞭保舗鋪
4A60	圃捕歩甫	補輔穂募	墓慕戊暮	母簿菩倣
4A70	俸包呆報	奉宝峰峯	崩庖抱捧	放方朋
4B20	法泡烹	砲縫胞芳	萌蓬蜂褒	訪豊邦鋒
4B30	飽鳳鵬乏	亡傍剖坊	妨帽忘忙	房暴望某
4B40	棒冒紡肪	膨謀貌貿	鉾防吠頬	北僕卜墨
4B50	撲朴牧睦	穆釦勃没	殆堀幌奔	本翻凡盆
4B60	摩磨魔麻	埋妹昧枚	毎哩槙幕	膜枕鮪柾
4B70	鱒桝亦俣	又抹末沫	迄儘繭麿	万慢満
4C20	漫蔓味	未魅巳箕	岬密蜜湊	蓑稔脈妙
4C30	粍民眠務	夢無牟矛	霧鵡椋婿	娘冥名命
4C40	明盟迷銘	鳴姪牝滅	免棉綿緬	面麺摸模
4C50	茂妄孟毛	猛盲網耗	蒙儲木黙	目杢勿餅
4C60	尤戻籾貰	問悶紋門	匁也冶夜	爺耶野弥
4C70	矢厄役約	薬訳躍靖	柳藪鑓愉	愈油癒
4D20	諭輸唯	佑優勇友	宥幽悠憂	揖有柚湧
4D30	涌猶猷由	祐裕誘遊	邑郵雄融	夕予余与
4D40	誉輿預傭	幼妖容庸	揚揺擁曜	楊様洋溶
4D50	熔用窯羊	耀葉蓉要	謡踊遥陽	養慾抑欲
4D60	沃浴翌翼	淀羅螺裸	来莱頼雷	洛絡落酪
4D70	乱卵嵐欄	濫藍蘭覧	利吏履李	梨理璃
4E20	痢裏裡	里離陸律	率立葎掠	略劉流溜
4E30	琉留硫粒	隆竜龍侶	慮旅虜了	亮僚両凌
4E40	寮料梁涼	猟療瞭稜	糧良諒遼	量陵領力
4E50	緑倫厘林	淋燐琳臨	輪隣鱗麟	瑠塁涙累
4E60	類令伶例	冷励嶺怜	玲礼苓鈴	隷零霊麗
4E70	齢暦歴列	劣烈裂廉	恋憐漣煉	簾練聯
4F20	蓮連錬	呂魯櫓炉	賂路露労	婁廊弄朗
4F30	楼榔浪漏	牢狼籠老	聾蝋郎六	麓禄肋録
4F40	論倭和話	歪賄脇惑	枠鷲亙亘	鰐詫藁蕨
4F50	椀湾碗腕			
4F60				
4F70				

	0 1 2 3	4 5 6 7	8 9 A B	C D E F
5020	弌丐丕	个丱丶丼	丿乂乖乘	亂亅豫亊
5030	舒弍于亞	亟亠亢亰	亳亶从仍	仄仆仂仗
5040	仞仭仟价	伉佚估佛	佝佗佇佶	侈侏侘佻
5050	佩佰侑佯	來侖侭俔	俟俎俘俛	俑俚俐俤
5060	俥倚倨倔	倪倥倅伜	俶倡倩倬	俾俯們倆
5070	偃假會偕	偐偈做偖	偬偸傀傚	傅傴傲
5120	僉僊傳	僂僖僞僥	僭僣僮價	僵儉儁儂
5130	儖儕儔儚	儡儺儷儼	儻儿兀兒	兌兔兢竸
5140	兩兪兮冀	冂囘册冉	冏冑冓冕	冖冤冦冢
5150	冩冪冫决	冱冲冰况	冽凅凉凛	几處凩凭
5160	凰凵凾刄	刋刔刎刧	刪刮刳刹	剏剄剋剌
5170	剞剔剪剴	剩剳剿剽	劍劔劒剱	劈劑辨
5220	辧劬劭	劼劵勁勍	勗勞勣勦	飭勠勳勵
5230	勸勹匆匈	甸匍匐匏	匕匚匣匯	匱匳匸區
5240	卆卅丗卉	卍凖卞卩	卮夘卻卷	厂厖厠厦
5250	厥厮厰厶	參簒雙叟	曼燮叮叨	叭叺吁吽
5260	呀听吭吼	吮吶吩吝	呎咏呵咎	呟呱呷呰
5270	咒呻咀呶	咄咐咆哇	咢咸咥咬	哄哈咨
5320	咫哂咤	咾咼哘哥	哦唏唔哽	哮哭哺哢
5330	唹啀啣啌	售啜啅啖	啗唸唳啝	喙喀咯喊
5340	喟啻啾喘	喞單啼喃	喩喇喨嗚	嗅嗟嗄嗜
5350	嗤嗔嘔嗷	嘖嗾嗽嘛	嗹噎噐營	嘴嘶嘲嘸
5360	噫噤嘯噬	噪嚆嚀嚊	嚠嚔嚏嚥	嚮嚶嚴囂
5370	嚼囁囃囀	囈囎囑囓	囗囮囹圀	囿圄圉
5420	圈國圍	圓團圖嗇	圜圦圷圸	坎圻址坏
5430	坩埀垈坡	坿垉垓垠	垳垤垪垰	埃埆埔埒
5440	埓堊埖埣	堋堙堝塲	堡塢塋塰	毀塒堽塹
5450	墅墹墟墫	墺壞墻墸	墮壅壓壑	壗壙壘壥
5460	壜壤壟壯	壷壹壻壼	壽夂夊夐	夛梦夥夬
5470	夭夲夸夾	竒奕奐奎	奚奘奢奠	奧奬奩
5520	奸妁妝	佞侫妣妲	姆姨姜妍	姙姚娥娟
5530	娑娜娉娚	婀婬婉娵	娶婢婪媚	媼媾嫋嫂
5540	媽嫣嫗嫦	嫩嫖嫺嫻	嬌嬋嬖嬲	嫐嬪嬶嬾
5550	孃孅孀孑	孕孚孛孥	孩孰孳孵	學斈孺宀
5560	它宦宸寃	寇寉寔寐	寤實寢寞	寥寫寰寶
5570	寳尅將專	對尓尠尢	尨尸尹屁	屆屎屓
5620	屐屏孱	屬屮乢屶	屹岌岑岔	妛岫岻岶
5630	岼岷峅岾	峇峙峩峽	峺峭嶌峪	崋崕崗嵜
5640	崟崛崑崔	崢崚崙崘	嵌嵒嵎嵋	嵬嵳嵶嶇
5650	嶄嶂嶢嶝	嶬嶮嶽嶐	嶷嶼巉巍	巓巒巖巛
5660	巫已巵帋	帚帙帑帛	帶帷幄幃	幀幎幗幔
5670	幟幢幤幇	幵并幺麼	广庠廁廂	廈廐廏
5720	廖廣廝	廚廛廢廡	廨廩廬廱	廳廰廴廸
5730	廾弃弉彝	彜弋弑弖	弩弭弸彁	彈彌彎弯
5740	彑彖彗彙	彡彭彳彷	徃徂彿徊	很徑徇從
5750	徙徘徠徨	徭徼忖忻	忤忸忱忝	悳忿怡恠
5760	怙怐怩怎	怱怛怕怫	怦怏怺恚	恁恪恷恟
5770	恊恆恍恣	恃恤恂恬	恫恙悁悍	惧悃悚

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
5830	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
5870	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
5B20		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	桧	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	梼	梹	桴
5B70	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
5C20		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
5C50	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
5C60	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
5C70	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	
5D20		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
5D30	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
5D40	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	涛	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
5E50	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	潅	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
6130	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
6140	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	砿	砠	砺	硅	碎	硴	碆	硼
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
6360	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
6430	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
6440	篝	篩	簑	簔	篦	篥	篭	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
6460	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
6520		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
6550	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
6570	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
6750	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	

漢字コード表（続き）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
6850	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
6870	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
6920		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蛎	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
6960	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
6A60	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
6A70	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6B60	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
6C30	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
6C40	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
6C50	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
6D30	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
6D40	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
6D60	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
6E70	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
6F30	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
6F40	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

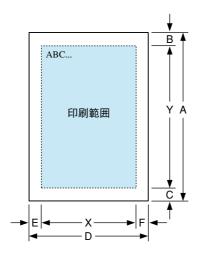
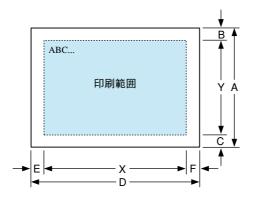
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
7160	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
7220		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
7230	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鯵	鯲	鯱
7250	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
7260	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
7320		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
7330	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
7370	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、論理印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート

- ランドスケープ

MS-DOS環境

以下の印刷範囲はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックしたときの値です。

- ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*[1]	行*[2]	mm	mm	mm	ドット*[1]	文字*[3]	文字*[4]
A3	A3	420	5.00	6.06	3864	96	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B4	364	17.28	5.94	3864	96	257	10.12	7.70	2712	113	75
	A4	297	19.39	4.98	3864	96	210	14.77	3.88	2712	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	3336	83	297	13.47	7.73	2280	95	63
	B4	364	5.00	5.94	3336	83	257	8.00	7.70	2280	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	3336	83	210	26.84	22.30	2280	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	3336	83	210	10.75	6.21	2280	95	63
	B5	257	10.50	11.12	3336	83	182	12.66	8.48	2280	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	12.49	1872	78	52
	A3(80)	420	5.00	13.15	2712	67	297	7.12	5.40	1920	80	53
	B4	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	11.09	1872	78	52
	B4(80)	364	5.00	14.51	2712	67	257	8.11	5.05	1920	80	53
	A4	297	5.00	4.98	2712	67	210	8.00	3.88	1872	78	52
	A4(80)	297	5.00	4.98	2712	67	210	3.40	3.40	1920	80	53
	B5	257	8.60	9.22	2712	67	182	10.54	6.36	1872	78	52
	B5(80)	257	8.60	9.22	2712	67	182	8.85	3.82	1920	80	53
A4×2	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	3828	-	210	14.77	3.88	2712	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	2328	58	257	13.29	5.37	1608	67	44
	A4	297	9.23	6.14	2328	58	210	10.12	5.36	1608	67	44
	B5	257	5.00	5.62	2328	58	182	8.00	3.82	1608	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	3288	-	182	13.93	3.82	2328	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	1896	47	148	8.00	4.11	1284	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	3264	81	257	25.78	7.70	2640	110	73
	A4	297	30.82	35.88	3264	81	210	19.85	3.88	2640	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	1320	33	100	8.00	5.64	816	34	22
レター	レター	280	5.00	5.00	2544	63	216	8.00	4.80	1920	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	1303	32	200	5.00	5.00	1796	70	46
封筒	封筒	235	5.00	5.00	2126	53	105	5.00	5.00	898	37	24

*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

- ランドスケープ

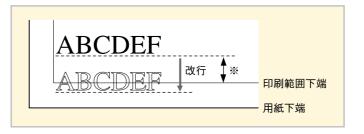
データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット*1	行*2	mm	mm	mm	ドット*1	文字*3	文字*4
A3	A3	297	4.98	5.00	2712	67	420	5.00	6.06	3864	161	107
	B4	257	9.82	8.00	2712	67	364	9.66	13.56	3864	161	107
	A4	210	10.65	8.00	2712	67	297	19.39	4.98	3864	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	2280	57	420	10.29	14.84	3264	136	90
	B4	257	7.70	8.00	2280	57	364	5.00	13.56	3264	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	2280	57	297	30.82	35.88	3264	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	2280	57	297	9.55	11.01	3264	136	90
	B5	182	8.48	12.66	2280	57	257	13.04	13.66	3264	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	A3(80)	297	12.49	7.12	1872	46	420	5.00	13.15	2712	113	75
	B4	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	B4(80)	257	7.91	11.28	1872	46	364	5.00	14.51	2712	113	75
	A4	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	A4(80)	210	3.88	8.00	1872	46	297	5.00	4.98	2712	113	75
	B5	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
	B5(80)	182	6.36	10.54	1872	46	257	8.60	9.22	2712	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	18.55	8.37	3828	-	-
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	2712	-	297	15.16	4.98	3924	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	1608	40	364	11.35	7.63	2328	97	64
	A4	210	7.48	8.00	1608	40	297	9.23	6.14	2328	97	64
	B5	182	3.82	8.00	1608	40	257	5.00	5.62	2328	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	2328	-	257	12.20	12.82	3288	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	1284	32	210	5.00	4.34	1896	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	2640	66	364	35.90	51.66	3264	136	90
	A4	210	15.73	8.00	2640	66	297	30.82	35.88	3264	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	816	20	148	5.00	5.84	1296	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	1920	48	280	5.00	5.76	2544	106	70
往復 ハガキ	往復 ハガキ	200	5.00	5.00	1796	21	148	5.00	5.00	1303	104	72
封筒	封筒	105	5.00	5.00	898	22	235	5.00	5.00	2126	88	59

*1　論理解像度240dpiの場合。
*2　改行ピッチが6LPIの場合。
*3　文字ピッチが10CPIの場合（7.2ポイントのフォント使用時）。
*4　10.8ポイントのフォント使用時。

補足説明

- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲（印刷可能ドット数）は、すべて240dpiで規定されています。各解像度での印刷可能ドット数は以下のようになります。
  400dpi　：240dpiのドット数を5/3倍にした値
  600dpi　：240dpiのドット数を5/2倍にした値
  1200dpi：240dpiのドット数を5倍にした値
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。

  - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として（0, 39）（240dpi）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
  - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。
- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があり、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。

  - 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。
- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
  計算に用いる値は右のとおりです。
  - 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
  - 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
  - 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

種　別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポイント(3/20インチ)	36ドット
		12ポイント(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

プロッターエミュレーションモード

- 印刷範囲
  プリンターの動作エミュレーションがプロッターエミュレーションモード時の印刷範囲を以下に示します。

用紙サイズ	印刷方向	印刷範囲	
		X	Y
A0	ポートレート	33240	46200
	ランドスケープ	46200	33240
A1	ポートレート	23360	32280
	ランドスケープ	32280	23360
A2	ポートレート	16400	22400
	ランドスケープ	22400	16400
A3	ポートレート	11480	16358
	ランドスケープ	16358	11480
A4	ポートレート	7924	11480
	ランドスケープ	11480	7924
A5	ポートレート	5436	8026
	ランドスケープ	8026	5436
B0	ポートレート	40800	56880
	ランドスケープ	56880	40800
B1	ポートレート	28720	39840
	ランドスケープ	39840	28720
B2	ポートレート	20200	27760
	ランドスケープ	27760	20200
B3	ポートレート	14160	19240
	ランドスケープ	19240	14160
B4	ポートレート	9652	14122
	ランドスケープ	13818	9652
B5	ポートレート	6808	9856
	ランドスケープ	9856	6808
帳票	ポートレート	11176	13818
	ランドスケープ	13818	11176
レター	ポートレート	8128	10770
	ランドスケープ	10770	8128
はがき	ポートレート	3454	5588
	ランドスケープ	5486	3454
往復はがき	ポートレート	5516	7603
	ランドスケープ	7603	5516
封筒	ポートレート	9000	3800
	ランドスケープ	3800	9000

単位　1/1016インチ（25µmに相当）

- スケールポイント
  スケールポイントP1およびP2の標準設定値を以下に示します。ポジティブモード、ネガティブモードどちらも同じです。

用紙サイズ		設定値			
		P1		P2	
		XI	Y1	X2	Y2
A0	ポートレート	430	380	29385	43309
	ランドスケープ	380	430	43309	29385
A1	ポートレート	430	380	20778	31304
	ランドスケープ	380	430	31304	20778
A2	ポートレート	430	380	14716	21194
	ランドスケープ	380	430	21194	14716
A3	ポートレート	430	380	10430	15580
	ランドスケープ	380	430	15580	10430
A4	ポートレート	200	430	7400	10430
	ランドスケープ	430	200	10430	7400
A5	ポートレート	200	430	5139	7421
	ランドスケープ	430	200	7421	5139
B0	ポートレート	430	380	35970	53233
	ランドスケープ	380	430	53233	35970
B1	ポートレート	430	380	25477	37400
	ランドスケープ	380	430	37400	25477
B2	ポートレート	430	380	18026	26175
	ランドスケープ	380	430	26175	18026
B3	ポートレート	430	380	12764	18258
	ランドスケープ	380	430	18258	12764
B4	ポートレート	430	380	8838	13502
	ランドスケープ	380	430	13220	8838
B5	ポートレート	200	430	6386	9015
	ランドスケープ	430	200	9015	6386
帳票	ポートレート	430	380	10165	13220
	ランドスケープ	380	430	13220	10165
レター	ポートレート	430	380	7510	10388
	ランドスケープ	380	430	10388	7510
はがき	ポートレート	200	430	3338	5298
	ランドスケープ	430	200	5159	3338
封筒	ポートレート	200	430	3653	8270
	ランドスケープ	430	200	8270	3653
往復はがき	ポートレート	200	430	5212	7053
	ランドスケープ	430	200	7053	5212

単位　1/1016インチ（25μmに相当）

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙（A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒）以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

チェック

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウエアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。
- メニューモードの「ヨウシメニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、MPまたは手差しを使用してください。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。用紙サイズ設定ダイヤルを［＊］に設定してから、操作パネルの［MP］スイッチまたは［手差し］スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。

重要

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

チェック

- 定形外用紙はホッパーからは給紙できません。
- 手差しができるのはMultiWriter 2860N/2360N/2360のみです。

余白について

印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

重要

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

印刷位置について

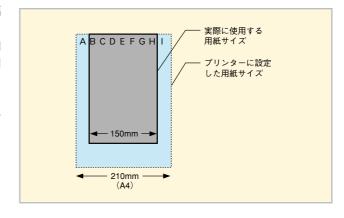
次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行桁モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

- ポートレートの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

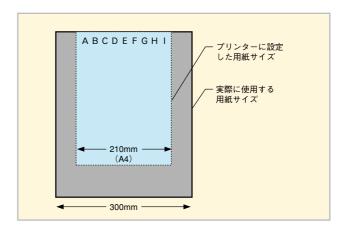
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

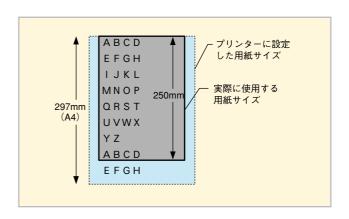
$$必要なスペース=\frac{A\text{-}B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅
B: 実際に使用する用紙の幅

- ポートレートの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

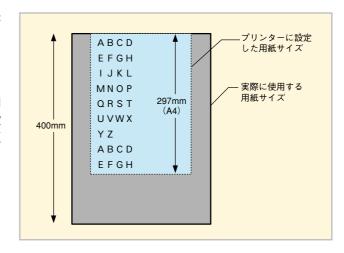
例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ポートレートの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

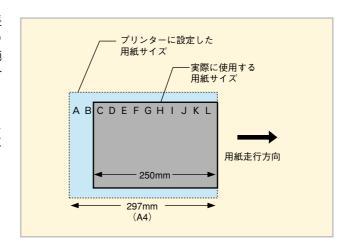
このような場合には、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ポートレートの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

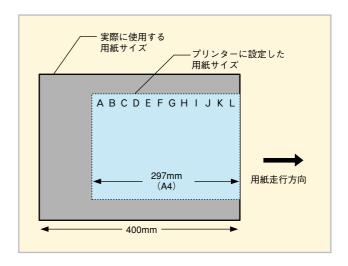
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの桁方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端（行の先頭）の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース＝A－B
　A：プリンターに設定されている用紙の幅
　B：実際に使用する用紙の幅

- ランドスケープの桁方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合､プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

- ランドスケープの行方向（プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当な量の余白（改行）をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。
必要な余白の量は次のように算出してください。

プリンターに設定した用紙サイズ
実際に使用する用紙サイズ
A B C D
E F G H
I J K L
M N O P
Q R S T
U V W X
Y Z
150mm
210mm（A4）
用紙走行方向

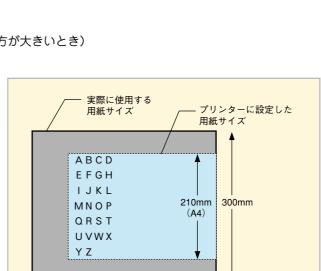
$$必要なスペース=\frac{C\text{-}D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ当たりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ランドスケープの行方向（実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき）

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。

チェック

80桁モードについて

本プリンターの印刷可能桁数は78桁（A4用紙、パイカモード時）です。したがって、80桁のシリアルプリンターでバッファーフル印刷を利用して改行を行うソフトウエアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。

このため、本プリンターではバッファーフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます（A4ポートレートの場合のみ可能です）。設定はメニューモードの「A4ポートレートケタスウ」メニューで行います。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
  →未印刷データをすべて消します。
- ソフトウエアリセット（ESC c1）を実行したとき
  →印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT･PRIME信号を受信したとき
  →印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。
  未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット（ESC c8）を実行したとき
  →VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113　A4：078（80桁モード時 080）　A5：053 B4：095　B5：067　レター：080　はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3: 96行　A4: 67行　A5: 47行 B4: 83行　B5: 58行　レター：63行　はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット（CH2）	A3:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目 A4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目 A5:第7、13、19、25、31、37、43行目 B4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目 B5:第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター :第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 はがき:第7、13、19、25、31行目				変化せず
	VTセット（CH3〜CH6）	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファー		クリア		クリアせず		
ページバッファー		クリア		クリアせず		
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンター）				変化せず
印刷方式		パイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">内部状態</th><th colspan="5">イニシャライズ（初期化）の種類</th></tr>
<tr><th>電源ON</th><th>操作パネルリセット</th><th>ESC c1</th><th>INPUT・PRIME</th><th>ESC c8</th></tr>
<tr><td colspan="2">倍率指定</td><td colspan="5">縦横とも解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">修飾印刷</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アンダーライン</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>線種</td><td colspan="5">実線、一重線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">2ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">網かけ</td><td>指定</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">白黒反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">固定ドットスペース</td><td colspan="5">左右とも0ドット</td></tr>
<tr><td colspan="2">縦方向文字位置オフセット</td><td colspan="5">0ドット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">1バイト文字登録</td><td>パターン</td><td colspan="5">ROMパターン</td></tr>
<tr><td>登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">2バイト文字登録</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドット切り替え</td><td colspan="5">メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷フォーマット</td><td>印刷方向</td><td colspan="2">ポートレート</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td>縮小モード</td><td colspan="2">解除</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コピー枚数</td><td>コード（FSx）</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">メニュー設定に従う</td></tr>
<tr><td>操作パネル</td><td colspan="2">1枚</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標指定単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">描画座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td colspan="2">全点アドレス印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フォーム</td><td>登録</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td>参照</td><td colspan="4">解除</td><td>変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">図形印刷モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフ描画モード</td><td colspan="5">絶対描画モード</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンター単位</td><td colspan="5">1/240インチ</td></tr>
<tr><td rowspan="7">線分</td><td>線種</td><td colspan="5">実線</td></tr>
<tr><td>線幅</td><td colspan="5">1ドット幅</td></tr>
<tr><td>線長</td><td colspan="5">P_1 P_2の対角線距離の4%</td></tr>
<tr><td>線端タイプ</td><td colspan="5">断切り型</td></tr>
<tr><td>接続タイプ</td><td colspan="5">マイター接続</td></tr>
<tr><td>選択パターン</td><td colspan="5">黒べた</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ペン</td><td>座標</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>上下位置</td><td colspan="5">アップ状態</td></tr>
<tr><td colspan="2">塗り潰しモード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td rowspan="2">塗り潰し</td><td>選択パターン</td><td colspan="5">パターン番号1</td></tr>
<tr><td>登録パターン</td><td colspan="4">クリア（未登録状態）</td><td>クリアせず</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スケーリング
ポイント</td><td>P1</td><td colspan="5">（X，Y）＝（0，0）</td></tr>
<tr><td>P2</td><td colspan="5">各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置</td></tr>
<tr><td colspan="2">スケーリング</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウィンドウ領域</td><td colspan="5">各用紙サイズでの最大</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系反転</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">座標系回転</td><td colspan="5">0度</td></tr>
<tr><td colspan="2">論理描画</td><td colspan="5">OR</td></tr>
<tr><td colspan="2">パス構築モード</td><td colspan="5">解除</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスデータ</td><td colspan="5">廃棄</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー指定</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（ホッパー 1
/ホッパー 2/ホッパー 3/ホッパー 4＊1/MP）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">ホッパー／MP／手差し＊2</td><td colspan="2">ホッパー給紙</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷＊3</td><td colspan="2">メニュー設定に従う（片面印刷/両面印刷）</td><td colspan="3">変化せず</td></tr>
</table>

＊1　MultiWriter 2860N/2830Nで、オプションの増設ホッパーを3台装着した場合のみ。
＊2　手差しおよび両面印刷をサポートしているのはMultiWriter 2860N/2360N/2360のみ。
＊3　MultiWriter 2830Nではオプションの両面印刷ユニットが必要。

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。
制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」（458ページ）で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード　　　P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	印刷方向の設定およびホッパ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および用紙サイズ選択	FS f c_1 c_2 c_3 .	○	○
	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
■行桁制御印刷コード	ドットスペース（1～8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9～25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	1/6インチ改行モードの設定	ESC A	○	○
	1/8インチ改行モードの設定	ESC B	○	○
	N/120インチ改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
■行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの切り替え	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS Ø4 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
■ドット列印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
■その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC ＊	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /Ø	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS Ø6F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS Ø6F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC hØ	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC sØ	○	○
	文字サイズの設定	FS Ø4S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3/20インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/5インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：10.5ポイント）	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/10インチ、文字サイズ：7ポイント）	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：1/6インチ、文字サイズ：12ポイント）	FS G	○	×
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 16Ø.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 24Ø.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XXØ	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画（続き）	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C Ø	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC Ø	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC $	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC :	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機　能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC ＊	ビットイメージ選択
ESC ＊	ビットイメージリピート
ESC ?	ビットイメージ変換
ESC @	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

プロッターエミュレーションサポートコマンド

コード区分	コマンド	機　　能
セットアップ	DF IN IP SC GM	プリンターを標準値状態にする。 プリンターを初期設定する。 スケーリングポイントを設定する。 スケーリングポイントにユーザーユニットを割り当てる。 バッファーサイズを変更する。
基本プロット	SP PU PD PA PR	ペンを選択する。 ペンを上げる。 ペンを下げる。 絶対座標値でペンを移動する。 相対座標値でペンを移動する。
拡張プロット	XT YT TL SM LT	X軸に目盛りを描く。 Y軸に目盛りを描く。 座標軸の目盛りの長さを指定する。 各描画点に文字を描く。 実線と6種の線種タイプを指定する。
円・円弧 多角形プロット	CT CI AA AR FT UF PT WG EW RA EA RR ER PM EP FP	分解能パラメーターのモードを指定する。 円を描く。 絶対座標値で円弧を描く。 相対座標値で円弧を描く。 ハッチングのパターンを指定する。 任意間隔のハッチングを定義する。 ハッチングの間隔を指定する。 扇形にハッチングを行う。 扇形を描く。 絶対座標値で指定された四角形にハッチングを行う。 絶対座標値で四角形を描く。 相対座標値で指定された四角形にハッチングを行う。 相対座標値で四角形を描く。 多角形モードを設定する。 多角形の外周をプロットする。 多角形内部をシェイディングする。（偶奇則）
基本文字プロット	LB DT SI SR SL DI DR LO CP ES BL PB OL	文字描画を行う。 文字描画のターミネーターを指定する。 文字の大きさを絶対値で指定する。 文字の大きさを相対値で指定する。 文字の傾きを指定する。 文字描画の方向を絶対値で指定する。 文字描画の方向を相対値で指定する。 文字のプロット位置を指定する。 指定された文字数だけペンを移動する。 文字や行の間隔を調整する。 ラベルバッファーにラベル用文字列をストアする。 ラベルバッファーの内容をプロットする。 ラベルバッファーの情報を出力する。
拡張文字プロット	CS CA SS SA CM UC DL	標準文字セットを指定する。 代替文字セットを指定する。 標準文字セットを選択する。 代替文字セットを選択する。 文字セットの選択と使用モードを指定する。 任意文字を描画する。 任意の文字セットを作成しダウンロードする。
プロット領域変更	IW OW OH OP RO	設定した領域に描画を制限する。 プリンターのウィンドウを出力する。 ペンが移動できる機械的限界領域の座標値を出力する。 スケーリングポイントを出力する。 座標系を回転する。
プリンタ制御	PG AF AH NR BF RP WD	用紙送り命令を行う。 プロット中の用紙送りを行う。 プロット中の用紙送りを行う。 装置をNOT-READY状態に設定する。 プロット命令をリプロットバッファーにストアする。 リプロットバッファーのデータでリプロットする。 メッセージをフロントパネルに表示する。

プロッターエミュレーションサポートコマンド

コード区分	コマンド	機　　能
デジタイズ	DP OD DC	デジタイズしたい点の座標を読み取る。 デジタイズした座標値とペン状態を出力する。 デジタイズモードを終了させる。
内部状態出力	IM OA OC OE OF OI OO OS OT	各マスク値を設定する。 現在のペンの座標と状態を出力する。 プリンターに送られた最後の座標とペンの状態を出力する。 エラー番号を出力する。 1ミリ当たりのプリンターユニットの数を出力する。 プリンターの機種番号を出力する。 プリンターのオプションの状態を出力する。 プリンターのステータスバイトを出力する。 カルーゼルの型とストールの占有状態を出力する。
デバイス制御命令	ESC. @ ESC. B ESC. E ESC. H ESC. I ESC. L ESC. M ESC. N ESC. O ESC. R ESC. T	プロッターの構成を設定する。 バッファースペースを出力する。 拡張エラーを出力する。 ハンドシェークモード1を設定する。 ハンドシェークモード2を設定する。 バッファーサイズを出力する。 出力モードを設定する。 拡張出力モードとハンドシェークモードを設定する。 拡張ステータスを出力する。 ハンドシェークを再設定する。 バッファーメモリーの割当を行う。

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 文字明度の指定 1バイト文字サイズの設定 2バイト文字サイズの設定 1バイト文字縦横サイズの設定 2バイト文字縦横サイズの設定	FS D FS $ FS Ø7 S1 FS Ø7 S2 FS 12 S1 FS 12 S2	○ × × × × ×	× ○ ○ ○ ○ ○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS` $p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.d_1d_2d_3d_4$・・・	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
ページ制御コード	縮小印字の設定 印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定 両面印刷設定	FS Ø5f FS f $c_1c_2c_3c_4c_5$. FS '	○ ○ ○	× ○ ○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1- ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画 楕円弧の描画 自由曲線の描画（絶対座標モード） 自由曲線の描画（相対座標モード）	EL ED, EN BA BR	× × × ×	○ ○ ○ ○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形　式　FS D

記述例

```
LPRINT CHR$（&h1C）; CHR$（&h44）;
または
LPRINT  CHR$（28）; "D";
```

文字明度の指定 FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　FS $ p_1 .

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0～100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1=0で黒、p_1=100で白）
- p_1 省略時およびp_1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h1C）;CHR$（&h24）;"50.";
または
LPRINT  CHR$（28）;"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS Ø7S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h31) ;
        CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT  CHR$ (28) ;"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS Ø7S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS Ø 7 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1 c_2 c_3 c_4 で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_1 c_2 c_3 c_4 の有効範囲は0001～9999です。

記述例　文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT  CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h32) ;
        CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT  CHR$ (28) ;"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 1 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRIN    CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h31）;
         CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
         CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT   CHR$（28）;"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形　式　FS 1 2 S 2 — c_1 c_2 c_3 c_4 — c_5 c_6 c_7 c_8

- c_1 c_2 c_3 c_4で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- c_5 c_6 c_7 c_8 で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。

記述例　縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT   CHR$（&h1C）;CHR$（&h31）;CHR$（&h32）;CHR$（&h53）;CHR$（&h32）;
         CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
         CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h32）;CHR$（&h30）;CHR$（&h30）;
または
LPRINT   CHR$（28）;"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式　FS p 2 , p_1 / p_2 .

- p_1／p_2で文字幅を設定します。
- p_1は文字幅の分子、p_2は文字幅の分母を表します。
- p_2を240に設定したとき、p_1は1～240の値が有効となります。
- p_2を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h70）;"2,30/240.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　FS g c_1 c_2 c_3 , p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . c_4 c_5 d_1 … d_n

- c_1はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R	登録
A	クリア
M	印刷文字選択

- c_2 c_3は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式 / キャラクターモード	
K	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	カタカナ
H	N H E Q P	パイカ パイカ エリート コンデンス プロポーショナル	ひらがな
2	K	漢字	

- c_1がAのときは、c_2 c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1がMのときは。c_2 c_3は次の意味を持ちます。
  このとき、この制御コードはp_1以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	1200dpi	動作
H or K	36	60	90	180	―
2の時	24 26 40	40 60 67	60 90 100	120 180 200	7.2ポイントの登録を意味する 10.8ポイントの登録を意味する 12ポイントの登録を意味する

- p_2は左スペース量を表します。p_2はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	1200dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59	0〜119
P以外	0			

- p_3は文字幅を表します。p_3はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

またc$_3$=pのときは　$p_2+p_3+p_4≦24$　(240dpi)
$p_2+p_3+p_4≦40$　(400dpi)
$p_2+p_3+p_4≦60$　(600dpi)
$p_2+p_3+p_4≦120$　(1200dpi)　でなくてはなりません。

c_3	p_3			
	240dpi	400dpi	600dpi	1200dpi
N	24	40	60	120
H				
E	20	34	50	100
Q	14	24	35	70
P	1〜24	1〜40	1〜60	1〜120
K	p_1	p_1	p_1	p_1

- p_4は右スペース量を表します。p_4はc_1がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	1200dpi
P	0〜23	0〜39	0〜59	0〜119
P以外	0			

- p_1〜p_4はc_1c_2の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（　）内は省略時の値

- c_4c_5は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次のとおりです。

c_2=HまたはKのとき　21h≦c_4≦7Eh　80h≦c_4≦9Eh　A1h≦c_4≦FEh　c_5は指定しない
c_2=2のとき　76h≦c_4≦78h　20h≦c_5≦7Fh

上記以外の値を指定したときは、c_2=HまたはKのときはc_4までを、c_2=2のときはc_5までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- d_1〜d_nはパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は$p_1×p_4÷8$とします。
- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。

- 本装置では、登録可能な文字数は次のとおりです。

  c_2=HまたはKのもの　128文字（1バイト系）
  c_2=2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　FS `

バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  ― 縦横拡大指定（FS m）
  ― 網かけ、反転（FS n）
  ― アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  ― 縦方向オフセット（FS t）
  ― 固定ドットスペース（FS w）

形　式　FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 …

- p_1はバーコードの種類を設定します。

  ＜201PLエミュレーションモード＞

p_1		バーコードの種類
Ø	1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
Ø	2	NW-7
Ø	3	JAN
Ø	4	CODE 39
Ø	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
Ø	6	INTERLEAVED 2 OF 5

＜ページプリンターモード＞

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

p_1の指定により、p_2～p_7、d_1～d_nの値は変化します。

- p_2はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
Ø	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1=7の時のみ有効）

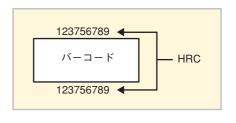
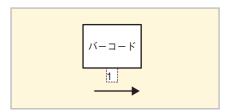
＊ HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

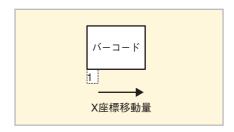
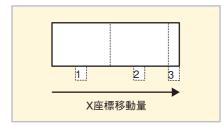
バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot（240dpi）の隙間を開けている。

HRCの均等割付け方法

バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。

＜201PLエミュレーション＞

1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。

＜ページプリンターモード＞
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。

複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。

- p_3はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。
  ＜201PLエミュレーション＞
  指定範囲：2≦p_3≦4（160dpi）
  ＜ページプリンターモード＞
  指定範囲：4≦p_3≦10（400dpi）、4≦p_3≦15（600dpi）、4≦p_3≦30（1200dpi）
- p_4はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
  p_4＝30のみ有効
- p_5はバーコード高さをドット単位で指定します。
  ＜201PLエミュレーション＞
  0≦p_5≦999（160dpi）
  p_5が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。
  ＜ページプリンターモード＞
  指定範囲：
  10≦p_5≦1665（400dpi　1ドット＝約0.064mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
  10≦p_5≦2498（600dpi　1ドット＝約0.042mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
  10≦p_5≦4995（1200dpi　1ドット＝約0.021mm なるべく150～300程度の値でご使用ください）
- p_6はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)
7	1～25

- p_7はp_3、p_5の解像度を指定します。
  ＜201PLエミュレーション＞
  省略してください。（160dpi）
  ＜ページプリンターモード＞
  指定：p_7＝400（400dpi）、p_7＝600（600dpi）、p_7＝1200（1200dpi）
- d_1、d_2、d_3、d_4･･･はデータキャラクターまたはスタート／ストップキャラクター（p_1＝1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

記述例　p_1=1、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h60）;"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT　CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

• p_1=1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクターを指定します。）
- バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクターの設定を行います。
- スタート／ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。（初期状態は“a”）
  a b c d e n t ＊ A B C D E N T
  また、p_2～p_5およびp_7は省略されます。
  記述例スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
  LPRINT CHR$（&h1C）;"`1,,,,,2,.ab";

• p_1=2のとき（NW-7）
- p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。
- データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － ＄．／：＋
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

• p_1=3のとき（JAN）
- p_3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
- p_6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
- データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- JAN 標準でデータキャラクターの1 バイト目（フラグキャラクター）が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
- レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

• p_1=4のとき（CODE-39）
- p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- p_6=0のときは、スタート／ストップキャラクター（“＊”固定）のみ印刷します。
- データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － ＄．／＋％ SP（スペース）
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

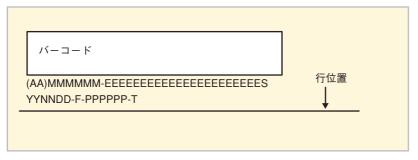
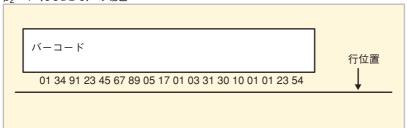
• p_1=5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
- p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
- データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

• p_1=6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
- p_3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3×p_4／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
- p_6＝0のときは、スタート／ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
- データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
- データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

• p_1=7のとき（UCC/EAN-128）

– p_3の値が最小バーの幅に対応し、それに対して1:2:3:4の幅で他のバーを表現します。
– p_6（データキャラクターの長さ）は1～25（バイト）とし、それ以外の時はピリオドまで読み捨てます。
– データキャラクターとして指定可能な文字はASCIIコードすべてとし、バーコードデータのキャラクター構成は、CODE-128と等しい。
– 初期コードセットは、CODE Cです。
– 1個のデータキャラクターを1つのバーコードデータとして印刷します。HRCは本装置の1バイト系文字で印刷可能であればそのまま印刷し、それ以外の場合はスペースを印刷します。HRCは、コードセットに従います。
– データの最後のストップキャラクターを自動的に負荷して印刷します。
– データキャラクターには、特殊キャラクターを含みます。特殊キャラクター対応コードを以下に示します。

特殊キャラクター	HEX 表現値
START(CODE A)	F0
START(CODE B)	F1
START(CODE C)	F2
SHIFT	F3
CODE A	F4
CODE B	F5
CODE C	F6
FNC1	F7
FNC2	F8
FNC3	F9
FNC4	FA

– p_2=3指定の場合は、バーコードの下に以下のようなフォーマットでHRCを付加します。HRCにおける改行表示、括弧「()」、ハイフン「-」は自動的に付加されますが、バーコードには含まれません。また、これらの自動的付加は桁位置で判断し、データの正当性や内容は問いません。データの25バイト目に付加されるチェックデジットは、バーコード上には表示しますが、HRC上には表示されません。

＜補足＞
p_2=1（CODE C）の場合

面制御コード

フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　FS u c_1 , p_1 , c_2 .

- c_1で登録か参照かを設定します。

c_1	機　能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2はc_1=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1=2（フォーム参照モード）のときは、c_2でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機　能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h75）;CHR$（&h31）;CHR$（&h2C）;"2";CHR$（&h2E）;
または
LPRINT　CHR$（28）;"u1,2.";
```

ページ制御コード

縮小印字の設定　FS Ø5f

形式　FS Ø 5 f c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3で縮小率を設定します。
  組み合わせせは次の中から選択します。

c_1	c_2	c_3	設定内容
1	Ø	Ø	縮小印字解除(原寸)
Ø	8	Ø	4/5縮小印字
Ø	6	7	2/3縮小印字

- c_4で縮小基準位置を設定します。
  設定は次のとおりです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）; CHR$（&h30）; CHR$（&h35）;
CHR$（&h66）; "080L"
または
LPRINT　CHR$（28）; "05f"; "080L"
```

印刷方向の設定およびホッパの選択　FS f c_1 c_2 c_3 .

プリンターの印刷方向およびホッパーの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターではMP指定、手差し指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	機　能
M	Ø	手差し指定
M	P	MP指定

記述例　印刷方向をポートレートで、給紙口にMPを指定して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PMP.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PMP.";
```

印刷方向の設定および用紙サイズの設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および用紙サイズの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは封筒指定、往復はがき指定が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
E	N	V	4	封筒
U	P	P	C	往復はがき

記述例　印刷方向をポートレートで、往復はがきに印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PUPPC.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PUPPC.";
```

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 .

- c_1は印刷方向を設定します。

c_1	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- 本プリンターでは縮小／拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

<追加パラメーター>

c_2	c_3	c_4	c_5	機　能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

記述例　印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）;CHR$（&h66）;"PA4A3.";
または
LPRINT　CHR$（28）;"f";"PA4A3.";
```

両面印刷設定 FS '

両面印刷を設定します。

形　式　FS ' c_1 , c_2 , p_1 , p_2 .

- c_1で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1で片面印刷を指定した場合は、c_2以降のパラメーターは無効になります。
- c_2で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、$0 \leqq p_2 \leqq 20$です。
  綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1、p_2を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例　印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT　CHR$（&h1C）; CHR$（&h27）； "B,F,1,10.";
または
LPRINT　CHR$（28）; " ' "; "B,F,1,10.";
```

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定 FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形　式　FS i p_1 , p_2 , p_3 , p_4 / p_5 , p_6 / p_7 , p_8 , p_9 . d_1 … d_n

- p_1はイメージ領域のXサイズです。
- p_2はイメージ領域のYサイズです。
- p_3はデータの形式です。
- p_4はX方向拡大率の分子です。
- p_5はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等)。
- p_6はY方向拡大率の分子です。
- p_7はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等)。
- p_8はパターンデータのバイト数です。
- p_9はイメージデータの解像度を指定します。p_9を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi
1200	1200dpi

- d_1～d_nはnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　FS < p_1 / p_2 , c_1 .

- p_1は単位量の分子を表します。
- p_2は単位量の分母を表します。
- c_1はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1、p_2、c_1は下記の値が有効です。

<table>
<tr><th>p1</th><th>p2</th><th>c1</th><th>座標指定単位</th></tr>
<tr><td>1</td><td>160</td><td rowspan="7">i</td><td>1/160インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>200</td><td>1/200インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>240</td><td>1/240インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>400</td><td>1/400インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>600</td><td>1/600インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>720</td><td>1/720インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1200</td><td>1/1200インチ</td></tr>
<tr><td>1</td><td>100</td><td>m</td><td>1/100mm</td></tr>
</table>

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量などは変化しません。
- p_1が省略された場合は1、p_2が省略された場合は240、c_1が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

  ① POWER ON時
  ② 操作パネルでリセットが実行されたとき
  ③ ソフトウエアリセットを受けたとき
  ④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS Ø6F1-ØØ4

形　式　FS Ø 6 F 1 — Ø Ø 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
  - アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。

    このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
  - アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します（詳細はユーザーズマニュアル参照）。

    なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」などの固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れない場合があります。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択 FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　　FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2、n_3は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90°回転）
853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180°回転）
854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270°回転）
CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。

カスタマーバーコードのキャラクター指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

数字（‘0’ ～ ‘9’）　：2330h～2339h（数字の ‘0’ ～ ‘9’）
ハイフン　：215Dh（マイナス記号 ‘—’）
英字用制御コード（CC1～CC3）：2361h～2363h（小文字アルファベットの ‘a’ ～ ‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）：2364h～2368h（小文字アルファベットの ‘d’ ～ ‘h’）
スタートコード（STC）：2163h（不等号 ‘<’）
ストップコード（SPC）：2164h（不等号 ‘>’）

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

日本郵政公社のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）
一方、プリンタはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関するすべての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）
このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。
また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

•数字（‘0’ ～ ‘9’）

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　4	1　1　4	1　3　2	3　1　2	1　2　3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1　4　1	3　2　1	2　1　3	2　3　1	4　1　1

•ハイフン

キャラクター	ー
文字コード	ー (215Dh)
カスタマーバーコード	
バー種類	4　1　4

•英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマーバーコード			
バー種類	3　2　4	3　4　2	2　3　4

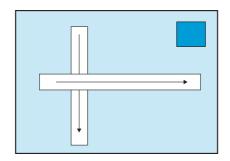
•予備用制御コード

キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマーバーコード					
バー種類	4　3　2	2　4　3	4　2　3	4　4　1	1　1　1

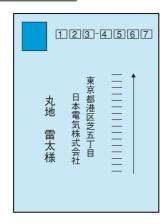
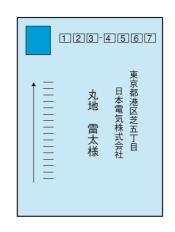
•スタート／ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	＜ (2163h)	＞ (2164h)
カスタマーバーコード		
バー種類	1　3	3　1

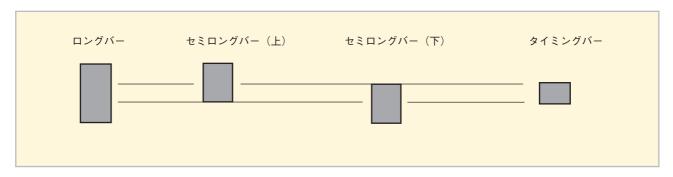
備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

宛名が横書きの場合

日本郵政公社の資料には記載されていない印刷例

宛名が縦書きの場合

カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上）、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。

カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして（10ポイントの場合、a/10=1）、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

a ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.6×a/10	3.40×a/10〜3.60×a/10
タイミングバー長さ	2	1.2×a/10	1.05×a/10〜1.35×a/10
バーピッチ	2	1.2×a/10	0.95×a/10〜1.30×a/10
バー幅	1	0.6×a/10	0.50×a/10〜0.70×a/10
バースペース	1	0.6×a/10	0.45×a/10〜0.60×a/10

8≦a≦11.5

8 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	2.88	2.72〜2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84〜1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76〜1.04
バー幅	1	0.48	0.40〜0.56
バースペース	1	0.48	0.36〜0.48

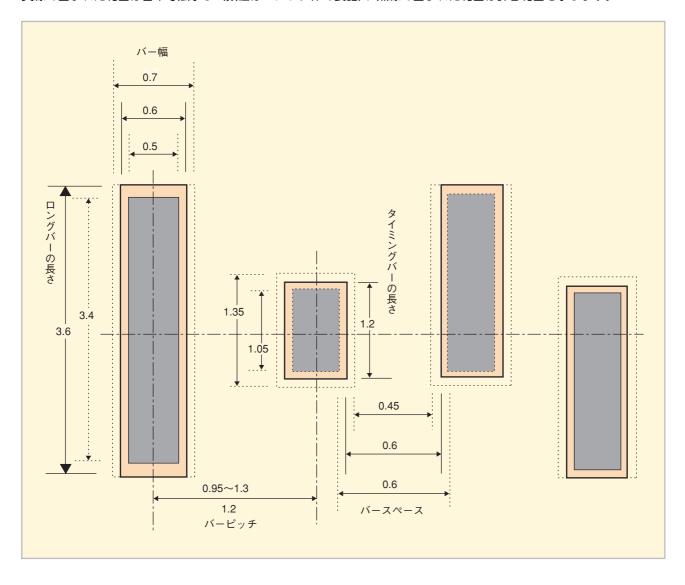
9 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.24	3.06〜3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95〜1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86〜1.20
バー幅	1	0.54	0.45〜0.63
バースペース	1	0.54	0.41〜0.54

10 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	3.60	3.40〜3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05〜1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95〜1.30
バー幅	1	0.60	0.50〜0.70
バースペース	1	0.60	0.45〜0.60

11.5 ポイント	比率	基準寸法（mm）	許容範囲（mm）
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

（注1）カスタマーバーコードは、すべての規定（ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース）が許容範囲に収まらなければなりません。
（注2）各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太りなどを考慮したものです。

【例1】カスタマーバーコードの寸法（10p相当）

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し（数値はゴシック体で表記）、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。

【例2】ドット割付寸法（参考）

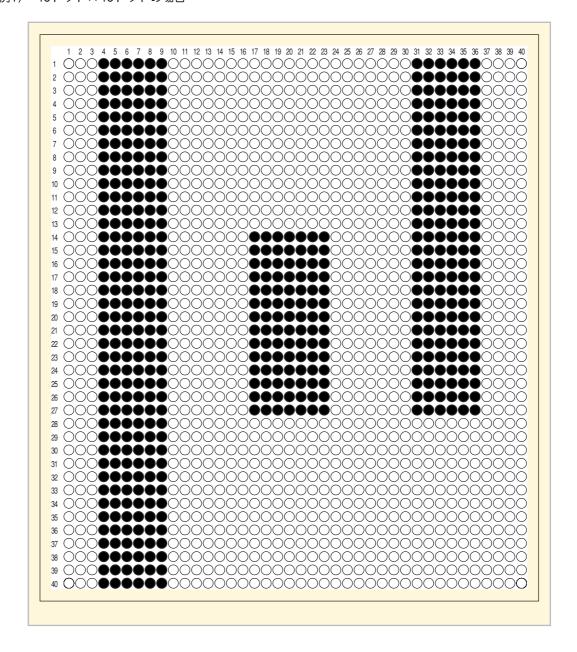
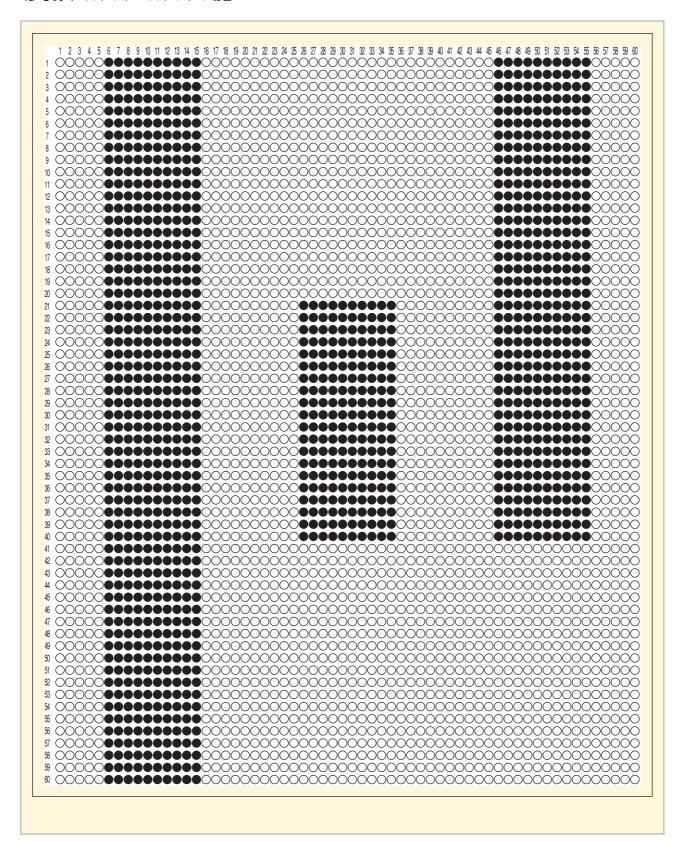
レーザープリンターなどドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

マトリックスサイズ	横７分割 W, B, W, B, W, B, W	縦３分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

（B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、
M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数）

- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉 40ドット×40ドットの場合

〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合

カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット　：スタートコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックデジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　(7)　(13)　(1)　(1)

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を超える場合：
13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：
13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC 1	CC 2	CC 3	CC 4	CC 5	CC 6	CC 7	CC 8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS Ø5F2

形　式　FS Ø 5 F 2 — c_1 c_2

- c_1 c_2で漢字コード表を設定します。

c_1c_2	漢字コード表
ØØ	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
Ø1	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
Ø2	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理などの都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT   CHR$（&h1C）;CHR$（&h30）;CHR$（&h35）;CHR$（&h46）;
         CHR$（&h32）;CHR$（&h2D）;CHR$（&h30）;CHR$（&h31）;
または
LPRINT   CHR$（28）;"05F2-01";
```

図形の描画コード

楕円の描画　EL

現在の座標位置を中心に楕円を 描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式

E L r_1 , r_2 , θ ;

- r_1は楕円の長軸を、r_2は楕円の短軸を示します。
- θは楕円の回転角度を示します。θは省略した場合0°とみなします。
- θ=360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。またθは負の値も設定可能です。たとえば－1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2は下記の値以下でなければなりません。
  400dpiで印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）
  600dpiで印刷する場合：　32767-600=32167　（約1362mm）
  1200dpiで印刷する場合：32767-1200=31567　（約668mm）

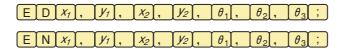
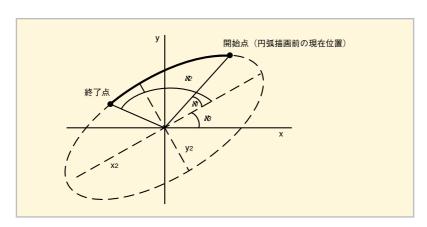
記述例

長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h45）;CHR$（&h4C）;"1000, 500, 30;";
または
LPRINT　"EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式

- （x_1, y_1）は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0～359（度単位）が有効です。
  θ_2が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
  θ_3が省略された場合、回転なしと解釈されます。

- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

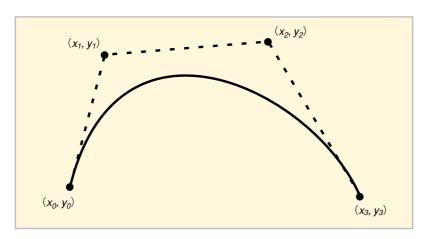
LPRINT　"ED100,100,1000,500,15,120,30;";

従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード）　BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

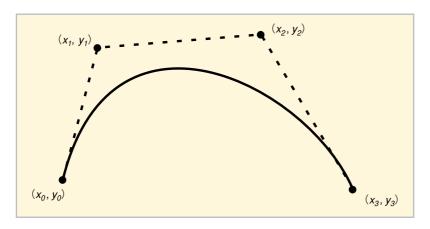
形　式　B A x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h42）;CHR$（&h41）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT　"BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";

自由曲線の描画（相対座標モード）　BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式　B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 … , x_n , y_n ;

- 現在の座標を（x_0 y_0）として（x_0, y_0）、（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。

- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　現在の座標位置から（x_1, y_1）、（x_2, y_2）、（x_3, y_3）を結ぶ曲線を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h42）;CHR$（&h52）;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT　"BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";

プリンター単位指定

プリンター単位の設定　SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形　式　　S U n_1 , n_2 , n_3 ;

- n_1、n_2、n_3でプリンター単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンター単位
1,16Ø,Ø	1/160インチ
1,2ØØ,Ø	1/200インチ
1,24Ø,Ø	1/240インチ
1,4ØØ,Ø	1/400インチ
1,6ØØ,Ø	1/600インチ
1,12ØØ,Ø	1/1200インチ
1,72Ø,Ø	1/720インチ
1,1ØØ,Ø	1/100ミリ

- プリンター単位の初期設定は 1/240 インチです。初期化動作（電源 ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

SGは形式、パラメーターの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　　S G n_1 , n_2 ;

- n_1、n_2は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0〜100
n_2	線分描画で使用	0〜100

- n_1、n_2の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です。）
- n_1、n_2とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①〜④まで有効です。

  ① 初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ② イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③ 初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択（PP）の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45°です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第 1 位を四捨五入した値です。

  パターン番号 ＝ パラメーター × 63/100

  （例）　パラメーターで70を指定するとき
  70 × 63/100 ＝ 44.1
  選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT  CHR$（&h53）;CHR$（&h47）;"50,0;";
または
LPRINT  "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

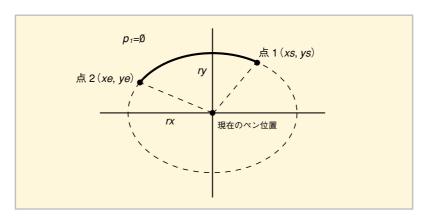
楕円弧の描画 AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

形　式　A V *rx* , *ry* , *xs* , *ys* , *xe* , *ye* , p_1 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1＝0の時、反時計回り
  p_1＝1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
  p_1に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT  CHR$（&h41）; CHR$（&h56）; rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ;
または
LPRINT  " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形描画

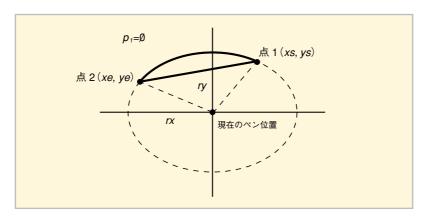
弓形の描画　CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

形　式　　C V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① *rx*.............x半径
② *ry*.............y半径
③ *xs*............点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*............点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*............点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*............点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径*rx*、*ry*の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

LPRINT　CHR$（&h43）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "

扇形描画

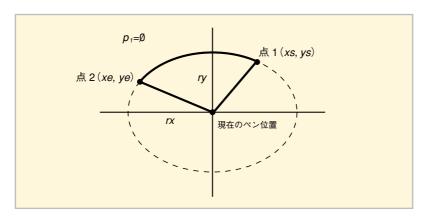
扇形の描画　FV

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形　式　F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p_1 , p_2 ;

パラメーター

① rx ....x半径
② ry ....y半径
③ xs ....点1のx座標（絶対座標）
④ ys ....点1のy座標（絶対座標）
⑤ xe ....点2のx座標（絶対座標）
⑥ ye ....点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.............描画モード
⑧ p_2.............描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ry の楕円と、中心と点1（xs、ys）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p_2＝0の時、反時計回り。
  p_2＝1の時、時計回り。
  省略時は反時計回りになります。
  p_2に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h46）; CHR$（&h56）; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT　"FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

角丸矩形描画

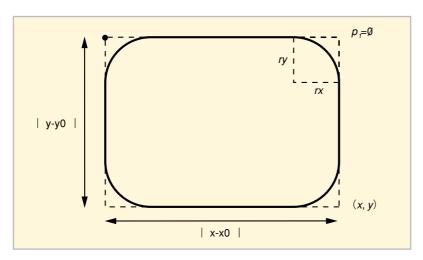
角丸矩形の描画　RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

形　式　R B *x* , *y* , *rx* , *ry* , p_1 ;

パラメーター

① *x* ....矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y* ....矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx* ....角丸のx半径
④ *ry* ....角丸のy半径
⑤ p_1.............描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
  p_1＝1の時、塗りつぶしのみ
  p_1＝2の時、輪郭＋塗りつぶし
  p_1に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x-x0｜＞2 × *rx*かつ｜y-y0｜＞2 × *ry*のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- *x*、*y*半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2＞半径の場合は、線幅/2＝半径になるように線幅を丸めます。

記述例　現在のペン位置から *x*、*y*で示される矩形に半径 *rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT　CHR$（&h52）; CHR$（&h42）; " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT　" RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ　XXX　XXX	ホッパー給紙を選択しています。
		ホッパ1　XXX　XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ2　XXX　XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ3　XXX　XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[1]
		ホッパ4　XXX　XXX	上から4段目のホッパーからの給紙を選択しています。*[2]
		MP　XXX　XXX	MP給紙を選択しています。
		テサシ　XXX　XXX	手差し給紙*[3]を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	XXX　A3　XXX	A3サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B4　XXX	B4サイズの用紙を選択しています。
		XXX　B5　XXX	B5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　A5　XXX	A5サイズの用紙を選択しています。
		XXX　LT　XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX　ハガキ　XXX	はがきサイズの用紙を選択しています（MP/手差し*[3]使用時)。
		XXX　フウトウ　XXX	封筒サイズの用紙を選択しています（MP/手差し*[3]使用時)。
		XXX　A4タテ　XXX	A4サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX　A4ヨコ　XXX	A4サイズ（横置き）の用紙を選択しています。
		XX　ハガキ2ヨコ　XXX	往復はがきサイズ（横置き）の用紙を選択しています（MP/手差し*[3]使用時)。
		XX　ハガキ2タテ　XXX	往復はがきサイズ（縦置き）の用紙を選択しています（MP/手差し*[3]使用時)。
		XXX　テイケイガイ　XXX	定形外用紙を選択しています（MP/手差し*[3]使用時)。
		ヨウシサイズヲヘンコウシマス	用紙サイズ設定ダイヤルで設定できない用紙が指定されています。
	縮小／拡大モードに関する表示*[4]	XXX　A4→A3　XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B4→A3　XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→B4　XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→B4　XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B4　XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　B5→B4　XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX　A3→A4　XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→A4　XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　LP→A4　XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4 × 2　XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B4→B5　XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　A4→B5　XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5 × 2　XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX　B5→A4　XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	印刷方向に関する表示	XXX　XXX　ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
		XXX　XXX　ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。

*[1] オプションの増設ホッパーを取りつけている場合のみ表示されます。
*[2] オプションの増設ホッパーを3台まで増設可能なMultiWriter 2860N/2830Nでのみ表示されます。
*[3] 手差し給紙はMultiWriter 2860N/2360N/2360でのみサポートしています。
*[4] プロッター縮小機能が無効の場合。

表示の種類		表　示	表示の意味
通常表示	用紙の種類に関する表示	フツウシ　　XXX　XXX	普通紙を選択しています（MP/手差し*[1]使用時）。
		アツガミ　　XXX　XXX	厚紙を選択しています（MP/手差し*[1]使用時）。
		OHP　　XXX　XXX	OHPシートを選択しています（MP/手差し*[1]使用時）。
	動作モードに関する表示	XXX　　XXX　NPDL	動作モードにNPDLモードを選択しています。
		XXX　　XXX　ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。
		XXX　　XXX　プロッタ	動作モードにプロッターモードを選択しています。
ステータス表示		コピー　XXX　マイ	コピー枚数がXXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大20枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
		イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
		ウォームアップチュウ	ウォームアップ中です。
		ジュシンチュウ	データを受信中です。
		セツデンチュウ	節電中です。
		ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
		インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
		テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
		データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
		16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
		リセットジッコウ	リセット中です。
アラーム表示		ホッパX　XX　ホキュウ MP　　XX　ホキュウ テサシ　XX　セット	ホッパー、またはMP、手差し*[1]に用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。増設ホッパーを取り付けている場合には、「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパーの番号が表示されます。
		ヨウシカセット　ナシ XXX	用紙カセットがセットされていません。Xの箇所にセットされていないカセットが表示されます。
		72　カバーオープン ホンタイ	フロントユニットまたはトップカバーが開いています。
		72　カバーオープン リョウメン	両面カバーが開いています*[2]。
		73　EPカートリッジナシ	EPカートリッジが取り付けられていません。
		74　カミヅマリ ホンタイ　リョウメン　キュウシ	プリンター本体、両面印刷ユニット*[2]、給紙部で紙づまりが発生しています。ディスプレイ下段には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。
		75　ヨウシサイズエラー XXX	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。Xの箇所に発生している場所が表示されます。
		76　トナーナシ EPコウカン	EPカートリッジの交換時期です。
		77　テイキホシュ	定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期です。
		78　ヨウシピックミス XXX	用紙ピックミスが発生しています。Xの箇所に発生している場所が表示されます。
		82　メモリオーバー メモリヲゾウセツシテクダサイ	データを印刷するためのメモリーが不足しています。
		83 インサツフカ メモリヲゾウセツシテクダサイ	プリンターのメモリーオーバーのため解像度を落として印刷しようとしましたがそれでもメモリーが不足したため印刷できませんでした。
		84　フォーム　オーバー XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。
		85　セツゾクエラー	インターフェーススロットへの不正な接続をしています。
		88　EPタイプチガイ EPコウカン	EPカートリッジのタイプが違います。
		89　EPジュミョウ EPコウカン	EPカートリッジの寿命です。
		その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示		メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「7章　メニューモード」（323ページ）をご覧ください。	

*[1]　手差し給紙はMultiWriter 2860N/2360N/2360でのみサポートしています。

*[2]　両面印刷はMultiWriter 2860N/2360N/2360、またはオプションの両面印刷ユニットを装着したMultiWriter 2830Nでサポートしています。

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズの用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

←1バイト系　標準　パイカ文字

←1バイト系　標準　エリート文字

←1バイト系　標準　コンデンス文字

←1バイト系　標準　プロポーショナル文字

←1バイト系　イタリック　パイカ文字

←1バイト系　イタリック　エリート文字

←1バイト系　イタリック　コンデンス文字

←1バイト系　イタリック　プロポーショナル文字

←1バイト系　クーリエ　パイカ文字

←1バイト系　クーリエ　エリート文字

←1バイト系　クーリエ　コンデンス文字

←1バイト系　クーリエ　プロポーショナル文字

←1バイト系　ゴシック　パイカ文字

←1バイト系　ゴシック　エリート文字

←1バイト系　ゴシック　コンデンス文字

←1バイト系　ゴシック　プロポーショナル文字

←2バイト系　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第二水準漢字（7ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系　　明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。（このステータス印刷はMultiWriter 2860Nのものです。NPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーション、プロッターエミュレーションでも有効です。）

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter2860N
00000000

H/W情報

項目	内容	設定値
Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
LANボード	なし	
メモリ容量	24MB	
給紙構成	ホッパ1	A４　横
	MP	A４　縦
	手差し	A４　縦

メニュー情報

項目	内容	設定値
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	トナー節約	OFF
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	MP	普通紙
	手差し	普通紙
	定形外用紙	
	MP	OFF
	手差し	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	手差し	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	手差し微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	表面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	裏面微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
両面印刷メニュー	初期設定	OFF
	綴じ代	ロング1
	余白	0mm
	クリップ	ON
	奇数ページ	片面
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	総印字枚数	1枚
	解像度設定	600DPI
	プロッタ縮小機能	無効
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	インタフェース2	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	インタフェース2	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
プロッタ設定	ペン幅設定	
	ペン1	0.1mm
	ペン2	0.1mm
	ペン3	0.1mm
	ペン4	0.1mm
	ペン5	0.1mm
	ペン6	0.1mm
	ペン7	0.1mm
	ペン8	0.1mm
	原点位置設定	左下
	任意スケール	100%
	回転角度設定	0°
	線端形状	なし
	接続形状	マイタ
	マイタリミット	なし
	SPコマンド排出	OFF
	ミラー設定	OFF
	オーバレイ設定	OFF
	NRコマンド動作	オンライン
	カルーゼル番号	1
	拡張モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
	インタフェース2	
	IPアドレス	11.22.33.44
	サブネットマスク	255.0.0.0
	ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	0.0.0.0
	DHCP	OFF
	イーサネット設定	自動
	アクセス制限	OFF
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

ステータス印刷例（MultiWriter 2860N）

増設メモリー対応表

MultiWriter 2860N/2830N/2360N/2360の増設メモリー対応表を次に示します。両面印刷に関する記載はMultiWriter 2860N/2360N/2360、またはオプションの両面印刷ユニットを装着したMultiWriter 2830Nに適用されます。

MultiWriter 2860N/2830Nの場合

プリンターの設定																
メモリー容量			24MB（標準）		+64MB				+128MB				+256MB			
メモリー割当設定			標準		標準		電子ソート優先		標準		電子ソート優先		標準		電子ソート優先	
プリンタードライバーの設定	用紙サイズ	用紙解像度	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi
	A3片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎
	A3両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎
	B4片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎
	B4両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎
	A4横片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎
	A4横両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎	—	◎

MultiWriter 2360N/2360の場合

プリンターの設定															
メモリー容量			16MB（標準）			+64MB					+128MB				
メモリー割当設定			標準			標準			電子ソート優先		標準			電子ソート優先	
プリンタードライバーの設定	用紙サイズ	用紙解像度	400dpi	600dpi	1200dpi	400dpi	600dpi	1200dpi	400dpi	600dpi	400dpi	600dpi	1200dpi	400dpi	600dpi
	A3片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	◎	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	○	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
	A3両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	○	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	○	◎	—	○	—	○	◎	—	○
	B4片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	◎	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	○	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
	B4両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	○	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	○	◎	—	○	—	◎	◎	—	○
	A4横片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	◎	◎	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
	A4横両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	—	○	◎	—	◎	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎
		1200dpi	—	○	○	—	○	◎	—	◎	—	◎	◎	—	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
ー：解像度400dpiで印刷されます。

プリンターの設定								
メモリー容量			+256MB					
メモリー割当設定			標準			電子ソート優先		
プリンタードライバーの設定	用紙サイズ	用紙解像度	400dpi	600dpi	1200dpi	400dpi	600dpi	1200dpi
	A3片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
	A3両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	○	◎	－	○	◎
	B4片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
	B4両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	◎	◎	－	○	◎
	A4横片面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
	A4横両面	400dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	－	◎	◎	－	◎	◎
		1200dpi	－	◎	◎	－	◎	◎

◎：印刷保証
○：印刷可能（印刷データによっては、メモリーの増設を必要とする場合があります）
－：解像度400dpiで印刷されます。

メモリー割当て設定について

プリンターの操作パネルで切り替えます。
メニューモードの「運用メニュー」の「メモリー設定」で行います。詳しくは「7章　メニューモード」(323ページ) をご覧ください。

メモリー増設量	メモリー割当設定	
64MB～増設時	ヒョウジュン	＜デンシソートユウセン＞

＜文字＞は、メモリーを増設したときの初期設定です。

MultiWriter 2360N/2360の電源投入時のプリンター解像度を1200dpiに設定した場合、電子ソート機能を使用するためには、256MBの増設メモリーが必要です。

プリンターの電源投入時の解像度について

プリンターの操作パネルで切り替えます。工場出荷時は、600dpiに設定されています。

電源投入時の解像度	設定の変更方法（以下のいずれかの方法で行います。）
400dpi	• メモリスイッチの設定：MSW4-1＝ON、MSW4-2＝OFFに設定 • メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を400dpiに設定
＜600dpi＞ （工場出荷時の設定）	• メモリスイッチの設定：MSW4-1＝OFF、MSW4-2＝OFFに設定 • メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を600dpiに設定
1200dpi*	• メモリスイッチの設定：MSW4-1＝OFF、MSW4-2＝ONに設定 • メニューモードの“ウンヨウメニュー”→“カイゾウドセッテイ”を1200dpiに設定

*　MultiWriter 2360N/2360のみ対応しています。

例）MultiWriter 2360N/2360で、用紙サイズ：A3、レイアウト: 両面印刷、解像度1200dpiで印刷する場合は、以下の条件で印刷保証となります。

- 増設メモリーを64MB以上にする。
- メモリー割当設定を「標準」に設定する。
- プリンターの電源投入時解像度を1200dpiにする

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。

プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

用紙サイズ	解像度(dpi)	増設メモリー容量		
		+64MB	+128MB	+256MB
A3片面	400	13枚	31枚	67枚
	600	3枚	11枚	28枚
	1200*2	–	–	3枚
B4片面	400	18枚	42枚	90枚
	600	5枚	15枚	37枚
	1200*2	–	–	5枚
A4片面*1	400	27枚	63枚	135枚
		13枚	31枚	67枚
	600	7枚	23枚	56枚
		3枚	11枚	28枚
	1200*2	–	–	8枚
		–	–	4枚

–：電子ソート機能が働きません。

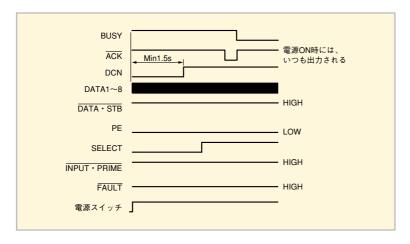
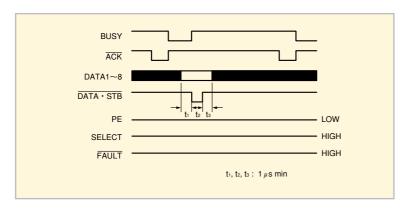
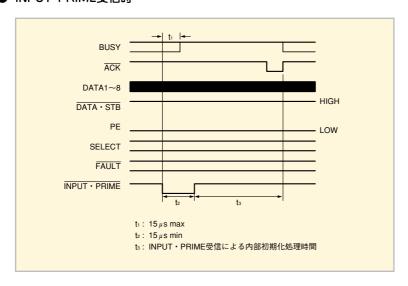
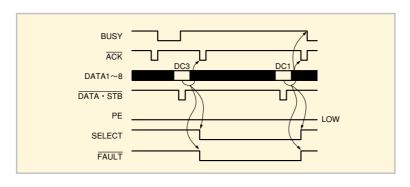
*1　それぞれの解像度の上段はプリンタードライバーなどでジョブセパレート=OFFとして印刷した場合です。
下段はプリンタードライバー上でジョブセパレート=ON（プリンタードライバーの初期設定）として印刷した場合です。
*2　MultiWriter 2360N/2360のみ対応。

インターフェース

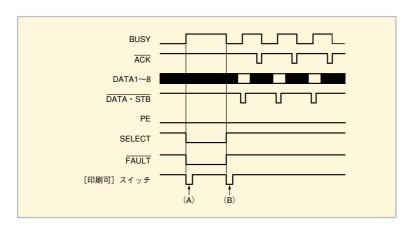
インターフェース信号の機能

ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストローブ	DATA・STB	PR←PC	DATA 1〜8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1〜8を読み込む。パルス幅は最小1μsとする。
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA･STBの前後1μsの範囲でDATA 1〜8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA･STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1μsLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジィ	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 • SELECT信号がLOWのとき。 • FAULT信号がLOWのとき。 • INPUT･PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 • データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 • 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 ［補足］ 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファーのほかに、受信用のバッファーを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファーに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファーが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 • 設定されたサイズの用紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 • データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 ［セレクトになる条件］ • 電源ONしたとき • ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 ［ディセレクトになる条件］ • セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 • メモリースイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 • PE=1のとき。 • FAULT=0のとき。
14〜15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19〜30	GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットプライム	INPUT･PRIME	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15μs以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT･PRIMEは有効。INPUT･PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。(本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること) • SELECT＝0のとき。 • プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34〜36	—	—	—	将来の拡張用

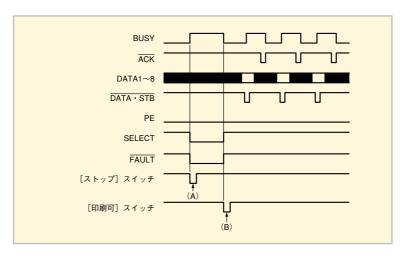
タイムチャート

● 電源ON時

● データ受信時

● INPUT・PRIME受信時

● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え

◇ DC1、DC3の処理は受信用バッファーから読み出された後に実行される。

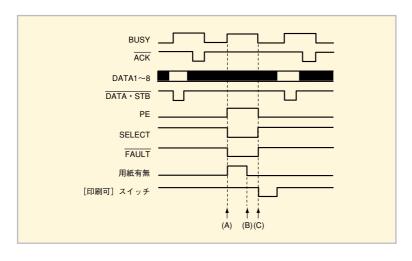
◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え

（A）セレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

（B）ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

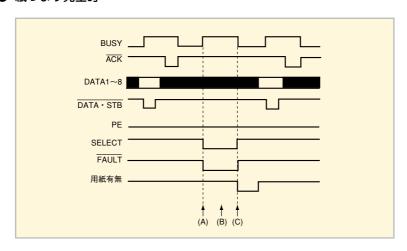
● ［ストップ］スイッチによる一時停止

（A）セレクト状態で［ストップ］スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

（B）ディセレクト状態で［印刷可］スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時

（A）印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。

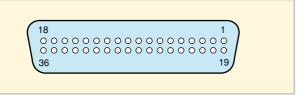
（B）用紙をセットする。

（C）用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時

（A）用紙ジャム発生状態

（B）用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。

（C）［印刷可］スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクターピン配置

各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」をご覧ください。

16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1～8 ［インタフェース1］	+5V 1kK 510K 470pF LS244相当品
$\overline{\text{DATA・STB}}$ $\overline{\text{INPUT・PRIME}}$	+5V 1kK 510K 470pF LS14相当品

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT $\overline{\text{DCN}}$	LS240相当品 220pF

用語解説

英数字

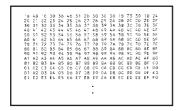
[?]ボタン

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-T/100BASE-TX

ネットワークの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターではこれらの規格のケーブルを使ってネットワークに接続することができる（一部のプリンターではネットワークオプションが必要）。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。プリンターの動作を調べるときに使用する。（→ステータス印刷）

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウエアまたはプロトコル。

CR

Carriage Return（キャリッジリターン）の略。改行を表す文字コード。もともとはタイプライターのキャリッジを左端に戻すという意味。プリンターの制御コード（コマンド）のひとつ。

CSV形式

データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する場合の形式のひとつ。データを区切り符号で仕切ることで異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略。ネットワーククライアントにIPアドレスなどのパラメーターを配布するプロトコル。DHCPサーバーにおいてIPアドレスなどを一括管理し、クライアントは起動時にDHCPサーバーにIPアドレスの貸し出しを要求する。IPアドレスの一括管理によりアドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

DPI（dpi）

Dots Per Inchの略。1インチ当たりのドット数。プリンターの解像度などを表す単位。（→解像度）

EPカートリッジ

OPCドラム、現像ユニットなどが一体化された部品。ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させるはたらきをする（→OPC）。消耗品のため「76 トナーナシ EPコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数はカートリッジの種類、印刷するデータによって異なる（詳細は8章「日常の保守」参照）。

ECP

Extended Capabilities Portの略。コンピューターとプリンターをつなぐパラレルインターフェースであるIEEE1284が使用する、データ転送モードのひとつ。米マイクロソフト社と米ヒューレット・パッカード社が中心となって提案した。データ転送速度は従来のセントロニクスの最大150KB/秒に比べ、2MB/秒と高速である。また、双方向通信機能やデータ圧縮機能を備える。使用するにはコンピューターとプリンターなど周辺機器の両方が対応している必要がある。

ESC/P

セイコーエプソン株式会社が開発したプリンターを制御する命令（コマンド）の集まり。

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号（アドレス）。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPP

Internet Printing Protocolの略。Windows 2000で標準にサポートされたインターネット印刷プロトコル。イントラネットやインターネットを通じてURLの指定を受けたプリンターに印刷することができる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN

Local Area Networkの略。構内情報通信網のこと。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。

LPR

Line Printer Remoteの略。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、UNIXに標準でサポートされている。ネットワーク上でコンピューターからプリンターへ印刷することができる。

LPRバイトカウント
LPRプロトコルで、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能。

Macintosh
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターの総称。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。

Mac OS
米国アップルコンピュータ社が開発したパーソナルコンピューターのMacintoshのOSのこと。個々の名称はSystem（日本語では漢字Talk）であるが、総称としてMac OSと呼ぶようになった。

MIB
Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したもの。

MOPYING
Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MP
Multi Purposeの略。いろいろなサイズの用紙をセットできる給紙機構のこと。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI
ネットビューイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NMPS
NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるようにするためのシステム。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム
OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。本プリンターで印刷するときは、MPまたは手差しを用いる。

OPC
Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS
Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

ping
packet internet groperの略。インターネットなどのTCP/IPネットワークで相手のコンピューターに小さなパケットデータを送り、その戻り時間により相手先コンピューターや通信回線の状況をチェックするのに利用するコマンド（→TCP/IP）

PrintAgent
双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウエア。MultiWriterシリーズに搭載。

RGBガンマ
Red Green Blueガンマ
使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

Service Pack
（→サービスパック）

SET
Sharp Edge Technologyの略。MultiWriterシリーズに採用されている高精細印字機能。

SNMP
Simple Network Management Protocolの略。ネットワーク管理プロトコルの一種。事実上TCP/IPを使ったネットワーク管理の標準。コンピューター間ではMIBで定義された管理情報がやり取りされる。（→MIB）

SO-DIMM
SO=Small Outlineの略。Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどに使われるメモリーの一種。

TCP/IP
Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType
米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウエアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX
AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB
Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクターとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN
Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまでですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWinodws 98 Second Editionもある。

Windows Me
マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT
マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows Server 2003
マイクロソフト社が開発したサーバー用OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows XP
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me、Windows 98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

WWW
World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント
ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック（ad hoc）
無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター（Administrators）
管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。（→システム管理者）

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット（Ethernet）
LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米ディジタルイクイップメント（DEC）社と米インテル社が協同で開発、規格した。3 社の頭文字をとって DIX 規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウエアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウエアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ（25.4mm）当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC （1BH）、FS （1CH）、のように後に続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。（←→基本制御コード）

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定] ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR （0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。（←→拡張制御コード）

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター（またはサーバー）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー（システム）

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター（サーバー）が共有の資源（ハードディスクやプリンター）を管理し、接続を許されたコンピューター（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
（→ハーフトーン）

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。ドラムカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

サービスパック（Service Pack）
発売済みのソフトウエアに対して、不具合の修正や機能の向上のためにマイクロソフトが無償で提供する更新プログラムのこと。

システム管理者
コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウエアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙
カット紙（単票用紙）を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出
コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター
文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

ジョブ結合
PrintAgent リプリント2で実現する機能。これを利用すると一度印刷してスプールしてあるドキュメントを組み合わせて、一つにまとめて印刷することができる。再印刷のために複数のアプリケーションを起動する手間を省くことができる。

[スタート]ボタン
Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

ステータス印刷
テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール
ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード
プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、CR（改行コード）やFF（改ページ）など。

セントロニクス・インターフェース
旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われ続けている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクターで使用できる。

双方向通信
コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースか双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア
コンピューターやプリンターなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。（↔ハードウエア）

ダイアログボックス
設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ
Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。

ダブルクリック
マウスのポインター（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス
ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON／OFFの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。

通常使うプリンタ

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚 1m^{2}単位の重さをいう。(ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m^2)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。オプションの増設メモリーをプリンターに取り付けることで実現する。

動作環境

ソフトウエアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

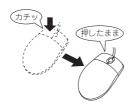
ドライバー

周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。
(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理で必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハードウエア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(←→ソフトウエア)

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点(網点)に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファーフル

ページバッファーに1ページ分の印刷データがたまることをバッファーフルという。バッファーフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4〜32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANボードとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ(スイッチ)に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクターのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式(IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース)が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューター同士、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(←→クライアント・サーバー)

ピア・ツー・ピアグループ

無線LAN機器が備える設定の一つ。無線親機(アクセスポイント)なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel(Picture elementからの合成語)。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザー

インターネット上のWebページを閲覧(ブラウズ)するためのソフトウエア。WWWブラウザーとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル
コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバー
コンピューターとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファー
一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファーと呼ぶ。

プリンタープール
複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル
コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ
ファイルやソフトウエアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字
印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語
１ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター
ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）
マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）
印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート
コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート
用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。（⇔ランドスケープ）

ボタン
ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインター
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。

丸め誤差
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN
ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク（LAN）を構成するシステム。IEEE802委員会がIEEE802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、IEEE802.11bに準拠している。

メニュー
ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューバー
すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー
データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ（MSW）
不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON／OFFを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード
プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン
ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。

ランドスケープ
用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。（⇔ポートレート）

リストボックス
ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。標準シートとジョブ結合シートがある。

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、PrintAgent リプリント2のウィンドウを使って実現し、その際に、丁合い、ジョブセパレート、両面印刷の設定も可能。

PrintAgent リプリント2のウィンドウ
（MultiWriter 2860N）

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

A

B

C

D

E

F

G

H

I

L

M

N

O

P

S

T

U

V

W

ア

イ

ウ

エ

オ

カ

キ

ク

ケ

コ

サ

シ

ス

ヌ

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

ム

メ

モ

ユ

ヨ

ラ

リ

レ

ロ

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*の無線LANボード(型番：PR-WLX-13)、マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）及び、MultiWriter 2360をお使いのお客様でLANボード（TCP/IP）（型番：PR-NP-04T）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション*のLANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2／PR-NP-03TR2）およびスキャナオプション*（型番：PR-MW-SC13）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションについては、1章「オプション」（15ページ）を参照してください。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

レーザー製品の安全基準について

この装置は、JIS C 6802規格に基づくクラス1レーザ製品です。本書に記載されている以外の操作や調整および分解は行わないでください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 2860N / 2830N / 2360N / 2360

レーザプリンタ

NEC